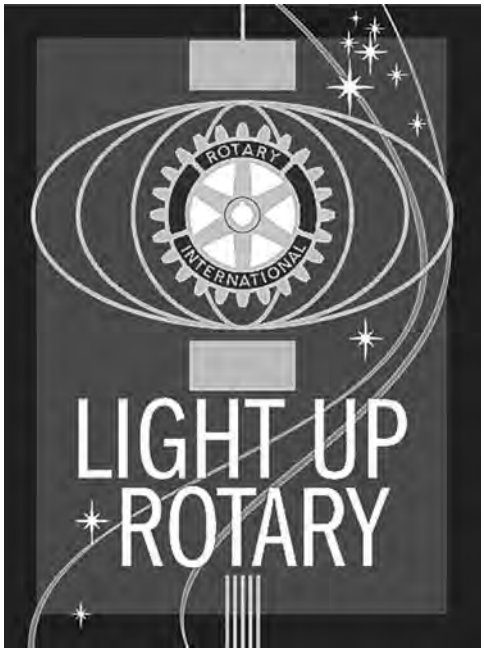
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮崎　清彰

Vol.1
2014.7.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

見慣れた写真と何か違う。

ＲＩ会長とガバナーが握手を交わしていない。

そう、この頃宮﨑ガバナーは心臓の手術を受けた直後であって、国際協議会への参加にはドクター・ストップが掛かっていたからです。でも、今はこんなに元気です。健康第一に一年間の重責を果たす覚悟を決めています。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
会長メッセージ……2
国際ロータリー会長経歴……3
ガバナー経歴……4
2014−2015年度地区方針・目標……5
Governor's message ……6
ガバナー補佐挨拶……8
ガバナー公式訪問、クラブ協議会日程表……13
地区主要行事予定表……15
地区組織図……17
地区関係予算……19
送金のしおり……21
報告のしおり……22
「川にまつわる物語」……裏表紙

会長メッセージ

『ロータリーに輝きを　Light Up Rotary』

ロータリーは、誰にでも何かをもたらしてくれます。ロータリアンは、１世紀以上にわたり、奉仕することを目的として、世界中の地域社会で集ってきました。

創立以来、大勢のロータリアンが、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域会共同隊、青少年交換や、その他多くのプログラムへの参加を通じて、ロータリーの奉仕の喜びを発見してきました。

私たちは皆、ロータリーファミリーの一員であり、ロータリーの奉仕の経験から多くを得ています。ロータリーを通じて私たちは、友情を育み、地元に貢献し、また、より良く、より安全で健康な世界を実現するために力を尽くしてきました。そして、真に国際的なボランティアのネットワークを形づくっただけでなく、人々が互いの違いを乗り越えて手をつなげば、驚くべきことが達成できることを、実証してきました。

ロータリアンが大切にしてきた考え方や価値観の多くは、ロータリーに限られたものではありません。私自身がロータリーに深く共鳴するのも、ロータリーの価値観に、奉仕や責任の重視、家族や他者の尊重といった中華的価値観と重なるところがあるからだと思います。ですからロータリーの奉仕において、私はよく孔子の教えを指針とします。孔子は、私にとって「元祖ロータリアン」だと言ってもいいかもしれません。ポール・ハリスが誕生する2,000年以上前、孔子はこう述べています。

まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となる。

ロータリアンは、超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体に対する手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していくことが必要です。

2014－15年度には、ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらしていただけるようお願いいたします。

本ロータリー年度、新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、ロータリーを輝かせてください。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。例えば、地元で「ロータリーデー」を開催してロータリーを知ってもらいましょう。ロータリーはそれ自体がファミリーであり、家族のためのものですから、配偶者をはじめご家族に入会を検討するよう勧めるとともに、青少年交換の元参加者や財団学友にも声をかけましょう。クラブの現状を直視して、新会員の入会理由と、既存会員の退会理由を検討しましょう。

そして、多忙な職業人やまだ幼い子供がいる人たちにとって、ロータリーを魅力的で興味をそそるものにするために何をできるか考えてみましょう。さらには、ポリオを撲滅して「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史に１ページを刻みましょう。ロータリアンのこれまでの勢いをもってすれば、今後数年以内にポリオを世界からなくすことは、明らかに可能です。ポリオ撲滅を実現することの重要性を、今こそ、ご友人、同僚、地元の議員や政府関係者に伝えてください。ポリオプラス基金に寄付し、ほかの方々にもそれを勧めてください。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの新しいチャレンジに応えることで、ロータリアンの資金を３倍生かすことができます。この史上最大の、公共・民間のパートナーシップに、ぜひともご参加いただき、ポリオのない世界が実現した際には、世界中の人たちと誇りと喜びを分かち合いましょう。

2014－15年度、34,000を超える地域社会で、クラブを強化し、「ロータリーに輝きを」もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう。

ゲイリー　C．K．ホァン
2014－15年度国際ロータリー会長

国際ロータリー会長経歴

国際ロータリー会長
ゲイリーC．K．ホァン（台湾台北）

国際ロータリー会長（2014－15年度）
ロータリー財団管理委員（2004－06年度）
国際ロータリー副会長（2001－02年度）
国際ロータリー理事（2000－01年度）

ゲイリーC．K．ホァン氏は、中国の南部に生まれ、台湾で育ち、米国のイースタン・ミシガン大学を卒業した後、ニューヨーク州の保険大学でMBA取得されました。ホァン氏は、マラヤ華僑保険会社の社長を務めた後、現在は新光セキュリティー会社の名誉会長となっておられます。

台湾非営利連盟から台湾市民奉仕賞、台湾内務省より卓越した社会奉仕貢献賞を受賞され、2001年のロータリーの国際大会では、米国テキサス州サンアントニオ市から「名誉市長」という称号を贈られました。

1976年以来のロータリアンであるホァン氏は、台北ロータリークラブの会員で、地区ガバナー、ＲＩの理事、副会長、財団管理委員、ならびにその他数多くの委員会やタスクフォースの委員ならびに委員長を歴任されました。

氏は、アジアにおけるロータリーの会員増強に多大な貢献をされたほか、ロータリーの100周年記念には、ロータリー財団管理委員として、台湾に100名の新しいメジャードナーを誕生させる目標を立てました。その結果、2005年には106名、2006年には103名のメジャードナーが生まれ、当時の年次プログラム基金に200万米ドルを超える寄付を集めることに成功しました。

ビジネスとロータリーでの経験をつづった著書『Finding Solutions, Not Excuses』を出版し、ＲＩ超我の奉仕賞、会長賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞されたホァン氏は、コリーナ夫人との間に、息子さんが１人、娘さんが２人おられ、全員がロータリー財団のメジャードナーです。

ガバナー経歴

国際ロータリー第2740地区
ガバナー
宮　崎　清　彰

生年月日　　1946年２月３日
現 住 所　　諫早市永昌東町9−23
学　　歴　　1964年　慶応義塾志木高等学校卒
　　1968年　慶応義塾大学商学部卒

■職　歴
　1968年　　科研化学㈱福岡支店入社
　　薬品問屋川口屋勤務を経て
　1971年　　不知火薬品㈱入社
　1975年　　〃　　常務取締役
　1981年　　不知火薬品㈱代表取締役社長

■ロータリー歴
　1971年　　諫早北ロータリークラブ入会
　1981年　　〃　　クラブ幹事
　1996年　　〃　　クラブ会長
　1992年～'94年　　第2740地区ＧＳＥ委員
　1994年～'96年　　〃　　委員長
　1996年　　第2740地区ＧＳＥ委員
　2004年　　第2740地区クラブ奉仕・ロータリー情報委員長
　2006年～'07年　　第８グループガバナー補佐

　1981年　　ポール・ハリスフェロー
　1996年　　マルチプル・ポール・ハリスフェロー
　1996年　　米山功労者　メジャードナー
　2000年　　ベネファクター

■団体歴
　諫早市永昌東町商店街㈶理事長
　諫早商工会議所副会頭
　公益社団法人　諫早大村法人会副会長
　一般財団法人　長崎県社会保険協会会長

2014－2015年度地区方針・目標

１．地区スローガン『地域に輝くロータリー』の実践

この実践にあたり何より大事だと感じることは
『あせらず』『無理せず』
『感　謝』 の気持ちを持つことだと思います。

『あせらず』『無理せず』 自分にできることをさがしていきましょう。
『健　康』 これも失ってみてはじめてわかった大切なことです。
①十分な睡眠をとる
②朝ごはんをしっかりとる
③手洗い、うがいを怠るな
④予防接種をうける
⑤定期健康診断をうける
⑥筋肉を鍛える
⑦腹式呼吸法
をモットーにこの一年を務めたいと思います。

２．ロータリーデーを設ける

クラブの大小を問わず、どのクラブでもロータリーデーを実施できます。クラブは、ロータリーデーの内容を自由に決める事ができます。大切はことは、参加者が楽しみ、関心をもてるようなイベントを計画することです。

例として、バーベキュー大会・スポーツ行事・コンサート・家族向けのマラソン大会等、地域社会の人々と楽しみながらロータリーを紹介できる、参加しやすいイベントを開催することです。

地元のメディアにイベントの情報や記事を掲載していただき、ロータリー活動を広報しましょう。

３．会員増強の目標は各クラブ純増２名以上、2300名を目指す

熱心な会員に長くクラブにとどまってもらうことは、新会員を入会させることと同様、クラブの末永い発展と成功に欠かすことができません。既存のクラブにおける会員の高い入替り率は、今日ロータリーが直面する緊急を要する会員問題の１つです。これに加え、新会員の勧誘と維持においては、経験豊富で積極的な現会員が極めて重要な役割を果たします。

ある程度の自然な会員減少は避けられませんが、あらゆる属性の会員を含むバランスの取れたクラブ会員組織を持てるよう努力することで、減少の可能性を最小限に抑えることができるでしょう。会員の維持とは継続的なプロセスであり、絶えず注意を払い、対策を実施し、真剣に取り組む必要があります。

４．ロータリー財団への年次寄付目標

一人平均 150ドル／年間

５．米山記念奨学会への寄付目標

一人平均 16,000円／年間

ガバナー就任にあたって

３年前、諫早北ＲＣ栗林パストガバナーが突然立ち寄り「第2740地区のガバナーが当グループにまわってくるので是非引き受けてほしい」という一言を残し、車で去って行かれた。同じクラブの大先輩でもあり、現在いる２人のチャーターメンバーの１人である。私も25歳で入会し43年が過ぎ去り、その間クラブ幹事、会長、ガバナー補佐、地区委員長等いろいろと経験させて頂き、ロータリーとは何ぞやがようやく解る年代になって来た。もう１人のチャーターメンバーは松角雅夫先生で私にロータリーの入会を薦めてくれた恩人でもある。実はこの２人は義兄弟でもある。いろいろなご縁の中で今の自分があると思えばノーという返事は考えられなかった。若い頃からロータリーに入り頼まれたら断ってはいけないと教えられた。よほどの事情がない限り今までも断って来なかった。ただ、「女房にはよく相談しとけ」と言われた。ロータリーの事を十分に解っていない彼女もアメリカに行けるという事といろいろな方とお友達になれるという期待でどうにか納得してくれた。（多分しぶしぶながら）

ただ平成26年は結婚40周年になるので記念に再びアメリカもいいなと思った。当時、ロス、サンフランシスコ、グランドキャニオンを訪れたので新婚時代を思い出し新たな出発点にしようと思っていた。

昨年９月２日～４日東京でガバナーエレクトと配偶者の研修会があり、２人で出席した。全国34名のガバナーエレクトと配偶者の顔合わせでもあり奥様へのロータリーに対する勉強会や思いを伝える会であった。朝９時から夕方５時までみっちりとスケジュールが組まれ６時からは懇親会が始まった。その頃には仲間意識が生まれ会話がはずむ様になっていた。また、一人一人の自己紹介と研修会の感想を述べる時間もあっという間に過ぎていった。

その席上、奥様達がロータリーを理解し主人の支えになりたいと殆どの人が言っていたし（今まではそうではなかったらしい）会を主催された理事の皆様のロータリーに対する思いがすべて伝わった気がしてとても嬉しかった。皆、ロータリーが好きで、生活の一部になっている感じがした。

次の日は国際協議会の話が中心となり、サンディエゴまで直行便で行くか、サンフランシスコからバスで行くか、又、飛行機はエコノミーかビジネスかという様な話、奥様達は協議会での余興の話で盛り上がっていたらしい。12月にガバナーエレクト会があるという事で１月の国際協議会に思いを馳せながらまたお会いしましょうとそれぞれが帰途についた。

ところが突然、９月の中旬に私の体に異変が起きた。なかなか疲れがとれない。今まではビールを１杯飲んで寝ると朝は元気になっていた。それが今回は全然回復しない。ちょうど１週間後に会社の定期検診の予定だったけれど調子が悪くもう待てない。すぐに病院に駆け込んだ。レントゲン、尿検査、心電図等をとり、いよいよ診察の番がやってきた。ドクターはレントゲンをみるなり「すぐ入院です」と言われた。「えっ」自分がびっくり。今運転してきて、何も持ってきていないので一度家に帰りたいと言うと「帰ったら死にますよ」と言われた。半信半疑「本当ですか」「そうです。驚かしているのではありません」と言われる。そこで自分も「わかりました」という事で女房に電話をし、その数分後に突然息が苦しくなり「急げ急げ」と酸素ボンベを持って来られ緊急入院となる。ドクター、看護師さんの慌ただしい動きだけが脳裏を駆け巡る。かすかな意識の中で今まで経験した事のない世界へと突入した。

９月25日から12月26日までの３カ月という長い間、結果的に３つの病院に入院することになった。幻のガバナーで終わるかと思いつつベッドで寝ていた。

最初の１週間は酸素と水だけの生活、筆談で事を済ませる日々。10日後に栗林パストガバナーに連絡をすると、びっくりされ「とにかく検査をしてこの際ゆっくり治してからでいい、焦らず療養して元気になって戻ってくるように」と力強い言葉で私も一瞬ホッとした気分になった。

検査の結果「大動脈弁狭窄兼閉鎖不全症」という診断。治療方法は手術しかないという事。12月５日長崎大学病院にて大動脈弁置換手術を受け無事元気に12月末退院することが出来た。その間、各パストガバナー始め多くの皆様にお見舞いに来ていただき、又、励ましの言葉をいただきまし

た。感謝の気持ちでいっぱいです。呼吸器、循環器、心臓血管外科３カ所の科を受診しました。お陰様でいろいろなご縁で本当に素晴らしいドクター、看護師さん、リハビリの先生に巡り合い幸せだったと思います。有難うございます。

これからは、生かされた自分を大切にして少しでも社会のために役立つ人間になれるよう努力したいと思います。結果的にアメリカの国際協議会には参加できませんでした。代わりに３月に第３ゾーンＲＩ研修リーダー三木明先生の補講を受けました。博多にて、国際協議会の内容やロータリーに対する考え方等の補講を２日間していただきました。当地区の野口パストガバナーと同期ということで野口先生も一緒にご出席いただき大変お世話になりました。感謝申し上げます。

今年度のＲＩテーマ「Light Up Rotary　ロータリーに輝きを」は非常にシンプルなテーマです。一人一人のロータリアンが輝けば必然的にロータリーが輝くことだと思います。

１月にガバナー補佐会議、２月に地区チーム研修セミナー（福本ＰＧ有難うございました）、３月に諫早西ＲＣにお願いしてＰＥＴＳを開催していただき大成功に終わりました。（隅田ＰＧ有難うございました）

４月には親クラブである諫早ＲＣにお願いして地区研修・協議会を開催していただき大盛会でした。

私としては10年後にガバナー選出が当地区に回ってくるので是非その時は諫早ＲＣよりガバナーが輩出されることを願いながら、ホストクラブとしてこの協議会を運営していただきました。各部会ではプレゼンテーションに入念な準備と詳しい資料をそろえていただき、出席者一同に2014－2015年度への決意と示唆を与えて下さいました。（栗林ＰＧ、岩永ＰＧ有難うございました）

なお、地区大会は11月に諫早で開催する予定です。緒方聖実行委員長を筆頭に準備を進めております。多くの皆様にご出席いただきますようお願い致します。

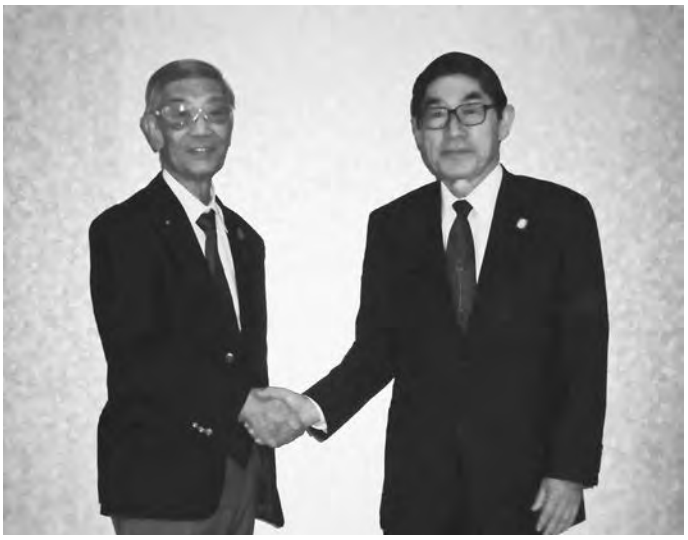
最後になりましたが、塩澤直前ガバナー１年間大変お疲れ様でした。先生の地区大会で歌う姿は脳裏から離れません。先生の素朴さと人懐っこい表情が大好きです。支えていた竹田前地区幹事、スタッフの皆様お疲れ様でした。

ＲＩテーマを受けて第2740地区のテーマは「地域に輝くロータリー」としました。「あせらず」「無理せず」「感謝」「健康」健康でなくては何も始まりません。自分の闘病生活でその思いを大にしました。

これから１年間、ガバナー補佐の皆様、地区委員長及び委員の皆様、57クラブの会員の皆様「あせらず」「無理せず」一人一人ができることから始めようではありませんか。

波乱のスタートを無事なんとかのりきれたのも森地区幹事のお陰です。いろいろお世話になります。１年間よろしくお願いします。ガバナー事務所を担当する宮田さん、相内さん、くれぐれもよろしくお願いします。（幸せな事に10年前の栗林パストガバナーの時のスタッフで、大変助かっています）

一人一人のロータリアンに感謝を込めて！



ガバナー補佐挨拶

第１グループ ガバナー補佐 **西岡　健次**（牛津ＲＣ）

経　歴

1978.5
牛津ＲＣ入会
1995～1996
牛津ＲＣ会長

ポール・ハリス・フェロー
米山功労者
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

2014～2015年度、第１グループガバナー補佐を仰せつかりました牛津ロータリークラブの西岡です。

担当は佐賀ＲＣ、小城ＲＣ、多久ＲＣ、佐賀大和ＲＣ、牛津ＲＣの５クラブです。

2740地区は宮﨑ガバナーの方針に沿って各ロータリークラブの活動が円滑に進められていくように補佐することがガバナー補佐の仕事と理解しております。

本年度ＲＩ会長は「ロータリーに輝きを」というロータリアンが社会的価値観をより向上させるための崇高なテーマを掲げ示されました。

私の役割は、ガバナーと、それぞれのクラブとのコミュニケーションの円滑なパイプ役を果たすことであります。

最初の仕事として効率的な充実したガバナーの公式訪問に向け全力で取り組むつもりです。

また、会員増強・米山財団の地区目標に於きましても第１グループ会員皆様方の温かいご支援、ご協力のほど心よりお願い申し上げます。

特に会員増強に於きましては、全国ほとんどのロータリークラブがもう随分長い間会員減少に苦しんでいます。第１グループの皆様方、地区目標２名以上全クラブ達成に向けて努力しましょう。私も今年度頑張ります。

最後になりましたが、ロータリークラブの皆様のご指導、ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

第２グループ ガバナー補佐 **北島　恭一**（佐賀南ＲＣ）

経　歴

1985年
佐賀南ＲＣ入会
2004～2005
クラブ会長
1996～1998
地区財団学友委員会委員長
1998～2001
地区GSE委員会委員長

マルチプル・ポール・ハリスフェロー
ベネファクター
米山功労者

私が所属する佐賀南ロータリークラブは今年創立30周年を迎えました。

ロータリーについて何も分からない状況で初代のクラブ幹事、10周年に実行委員長、20周年にクラブ会長、地区では財団・ＧＳＥ等の委員長などこれまで貴重な経験と友人を得ることが出来ました。ご指導いただきました先輩諸氏、支えていただきました方々に心より感謝申し上げます。

しかし、この10年間公務もあり私のロータリー活動の意欲は停滞していました。今回クラブよりガバナー補佐に推薦いただき、年当初より地区でのエレクト研修が始まりました。

そこで、国際ロータリー会長が提唱される今年度のテーマ「ロータリーに輝きを Light Up Rotary」を知り、まずは私自身の心にローソクの火を灯すことだと決意しました。私の大好きな言葉である「情熱は人を動かす」をモットーにお返しをする１年間にしたいと考えています。

さて、第２グループは佐賀西、佐賀北、神埼、佐賀空港、佐賀南の５クラブです。地理的に近隣であり経済的にも同じ商圏内にあります。従ってお知り合いの方々も多くガバナー補佐の義務であるクラブ協議会やガバナー公式訪問などを楽しみにしています。

宮﨑清彰地区ガバナーは地区方針として「地域に輝くロータリー」の実践にあたり「あせらず」「むりせず」何より大事なことは「感謝」の気持ちを持つことであり、自らの体験に基づいた「健康」の大切さを地区運営方針に掲げられています。ガバナー補佐としての役割である地区からのクラブへの伝達とクラブに対する援助を全うしたいと思っています。

尚、第１・第２グループの合同例会を８月21日㈭、ＩＭを来年３月７日㈯に開催予定です。いずれも会員の皆様のご出席をお待ちしています。

最後になりましたがロータリアン各位のご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐挨拶

第３グループ ガバナー補佐 **富永　正嗣**（武雄ＲＣ）

経　歴

1989.2
武雄ＲＣ入会
1998～1999
武雄ＲＣ幹事
2007～2008
武雄ＲＣ会長

ポール・ハリス・フェロー
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

私は、平成元年２月２日に武雄ロータリークラブへ入会いたしました。
当時は一業種一人が原則でそう簡単には入会ができない時期でした。
ロータリークラブの国内会員数が最も多かったのは、1996年11月末で130,982名の会員がいました。それが2014年２月末には88,816名と18年間に42,166名（32.2％）も減少しています。第2740地区も全く同じように推移しています。
この会員の減少は、バブル経済の破裂により日本経済の低迷が続いたため、企業の経営環境が厳しい状況となり、また、突然のリーマンショックの影響もあって、なお一層、経営環境の厳しさが増し、退会せざるをえなくなった会員が続出したのが最大の理由です。また、組織の拡大のため毎年のように無理な会員増強を行ったことも、ロータリークラブに馴染まない会員が増加し、この会員たちが短期間で退会したのも、会員の減少を招いたもう一つの原因であると思います。
私たちの子どもの世代は、受験戦争、学習塾、ゲームなど個人主義が強い時期に生きているため集団行動が苦手のようです。日本が経済大国となり、豊かな生活を体験してきた若者たちは、地域の団体、業界の団体、親睦団体などいずれの団体にも全く関心がないようです。
宮崎ガバナーの地区運営方針では、会員増強の目標は各クラブ純増２名以上で地区の会員数2,300名を目指すとなっています。次の世代を担う若者たちが、このようでは会員増強は難しいと思われます。しかし、全員が会員増強委員長の気持ちで行動すれば、若い世代にもロータリアンに相応しい人材がいるはずです。各クラブがその人材探しに真剣に取り組み、各クラブが地区目標を達成できるよう援助するのが、ガバナー補佐としての最大の責務であると思います。目標達成のため奮励努力いたします。

第４グループ ガバナー補佐 **曽我　文雄**（伊万里西ＲＣ）

経　歴

1977.1
伊万里西ＲＣ入会
2004～2005
伊万里西ＲＣ会長
2007～2010
地区米山記念奨学委員
2010～2013
地区米山記念奨学委員長

ポール・ハリス・フェロー
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者（マルチプル）

１月のガバナー補佐研修会で福元直前ガバナーからご指導を頂き役割が理解出来たつもりでしたが、具体的に文章にすることは難しいことだと思い知らされています。
この１年間第４グループ６クラブの現状や要望をガバナーに伝えると共に、国際ロータリーに対する疑問点等もお尋ねして、地区運営に協力していきたいと考えています。
私はRC入会を勧められた時に「役員をしなくて良ければ入会します」とお願いしました。それは業界の県会長・九州及び全国の理事をしていたためです。その為にロータリーのことは何も解らず、幹事もせずに会長を引き受けたのは、入会して27年後の2004年で、何とそれはロータリー100周年の年でした。
私はロータリークラブで不思議だなーと思うことが時々あります。他人に聞いても知っている人がいません。又、この件はこうした方が良いのじゃないかなーと考える事もあります。
ガバナーの考えを皆さんへお伝えするのは当然のことですが、この様な疑問や提案も皆さんから出して頂き、それをガバナーから本部に伝えて頂けたら有り難いと思っています。
私は2006年にクラブ米山委員長に任命されました。米山委員会が何をするのか全く知らなかったので、いろんな資料を調べて米山梅吉氏の偉大な行跡を知り、感銘を受けました。それから地区委員・委員長と2013年迄７年間、米山奨学会の事業にタッチしてきました。米山奨学会の事業は国際ロータリーにも承認されている日本が世界に誇るべき一大事業です。それなのに地区委員長の手引きにも、ガバナー補佐の手引きにも、米山奨学委員会のことは全く記載されていません。
ロータリアンはお互いを君付けで呼んでいますが、一般には同級生や部下に対して使われている言葉です。何故、○○さんと呼ばないのでしょう？
この様に、常に何故か？　という疑問を持って、この１年間にいろいろ勉強して、皆さん方のお役にたちたいと思っています。

ガバナー補佐挨拶

第５グループ ガバナー補佐 **中野　　浩**（平戸ＲＣ）

経　歴

1983.1
平戸ＲＣ入会
1995～1996
平戸ＲＣ会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
メモリアル　コントリビューター
ベネファクター
米山特別功労法人
米山功労者（マルチプル）

「2013／09／14　松岡、東、竹田氏来宅。谷川君宅から寄り道。ガバナー補佐を受ける様にとの要請有り。事前に谷川君からも話があり、予想もしていた事でもあり、また、松岡、東両先輩のご心労を拝察し、覚悟を決めて快諾する。「義を見てせざるは勇無き也」になるか「君子危うきに近寄らず」になるかは終わってみなければ判らないが、「人事を尽くして、天命を待つ」心境か？」

以上は、私のガバナー補佐を引き受ける時の心境をメモったものです。２年程前、塩澤ガバナーエレクトが誕生する頃、ガバナー補佐をクラブで引き受けるか他のクラブにお願いするかの議論を私は人ごとの様に聞いていました。入会以来30年にならんとする私には過去にも少しだけ打診が有りましたが、私は30年を機に辞めようと思っていて、塩澤さんがガバナーを引き受けるならそれが終わってから辞めるかという様な事を思っていましたので、この頃は全く人ごとの話でした。

それが何故引き受けたかと申しますと、大先輩の松岡さん、チャーターメンバーの東さんが、わざわざ拙宅にお出ましになり、これ以上先輩方にご苦労をお掛けするのも心苦しく思い承った次第でした。この様な次第ですから格段こうせねばという考えは有りませんでした。

しかし、「ロータリーの友」地区委員として多くの仲間と交わるうちに次第に考え方が変わり、ロータリーの為に一肌脱ごうと思った次第です。

ＲＩ会長の「ロータリーに輝きを」並びに宮崎清彰ガバナーの「地域に輝くロータリー」を踏まえ、あせらず・無理せず・感謝・健康を咀嚼し、懸命に頑張りたいと思います。

また、会員増強についても、20名を超す自らの経験を生かし、アドバイスが出来ればと思っています。

最後になりましたが、皆様の絶大なるご支援ご指導をお願い申し上げます。

第６グループ ガバナー補佐 **宮原　明夫**（佐世保北ＲＣ）

経　歴

1997
佐世保北ＲＣ入会
2006～2007
佐世保北ＲＣ幹事
2010～2011
佐世保北ＲＣ会長

ポール・ハリス・フェロー
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

第６グループのガバナー補佐のご指名いただきました佐世保北RCの宮原明夫です。担当は佐世保南、佐世保東、佐世保北、佐世保中央、佐世保東南、HTB佐世保の６クラブです。浅学菲才ではありますが、１年間一生懸命頑張るつもりですのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

私どもの佐世保北RCは今年４月で創立30周年を迎えました。私自身も今年還暦を迎えました。その節目の年にガバナー補佐を拝命できたのは光栄ですし、クラブの仲間のお陰と感謝しています。

1997年に入会して今年で18年目になり、2006年に幹事、2010年に会長を務めました。職業分類は「精神科病院」で、佐世保市で精神科病院を開業しています。出身は佐世保市ですが、中学校から市外に出たため、1995年に戻ってきた時には知り合いはほとんどいない状況でした。そんな時、ロータリーに入会させていただき、同業者以外の多くの職種の方々とお知り合いになれ、本当に良かったと感謝しています。

ゲイリーC.K.ホァンＲＩ会長は、ＲＩテーマを『ロータリーに輝きを』とし、ロータリーの奉仕を人々と分かち合い、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、『ロータリーに輝きを』もたらしましょうとしています。また、宮崎清彰ガバナーはＲＩのテーマを基に、地区のテーマを『地域に輝くロータリー』とされ、ご自身が昨年に大病をされたこともあり、「あせらず」「無理せず」、「感謝」と「健康」を地区運営方針の基本とされました。

ガバナー補佐の主な役割は、担当クラブが効果的に運営されるようサポートすることによって、ガバナーを補佐することです。ガバナーの地区運営の基本方針をよく理解し、かつ担当の６クラブの伝統と個性も尊重しながら、１年間、宮崎ガバナーと各クラブの橋渡しになれればと考えています。皆様どうぞ宜しくご協力とご指導をお願い申し上げます。

ガバナー補佐挨拶

第７グループ ガバナー補佐 音成　征彦（大村北ＲＣ）

経　歴

1981.8
大村北ＲＣ入会
1987～1989
大村北ＲＣ幹事
1993～1994
大村北ＲＣ会長
2006～2007
地区ロータリー情報・広報委員

第７グループのガバナー補佐を拝命いたしました。

ロータリークラブ在籍は30年を超えていますが、そのうち半分は出席に汲々とする名前だけの会員で、誇るべき活動実績は全くありません。しかし、それなりにクラブ会長や幹事、RYLAや周年事業の実行委員長など経験させていただき、ロータリークラブでの役割はもう一通り終えたものとして、窓際で居眠りを楽しんでいたところを突然揺り起こされた感じです。

第７グループは島原半島の３クラブと大村市内の３クラブから成りますが、ガバナー補佐の輪番制が定着しており、６年ごとに回ってきます。わがクラブのように会員二十数名のクラブからガバナー補佐を出すのはなかなか大変なことです。クラブ会長や幹事さんも人選に苦慮されたようで、一番ひま、いや時間に余裕がありそうな私に白羽の矢を立てられたようです。

最近はＩ.M.や地区大会にもほとんど出席せずメーキャップも必要なかったため、もっぱらホームクラブに引きこもっていました。にもかかわらず、二つ返事というわけでもなかったのですが、あまり抵抗もせずガバナー補佐就任を引き受けてしまいました。しかし、いきさつがどうであれ、私はこのたびのガバナー補佐就任をロータリーやわがクラブを違う角度から見るよい機会と捉えたいと思っています。この歳でいまさらと思わないではないのですが、自分自身の修練、自己改善の機会にしたいと思っています。

さりながら、私も歳相応の慢性的持病がありますので、宮崎ガバナーの「焦らず、無理せず」のお言葉に甘えて、焦らず、無理せず、しかし大村北クラブの名を汚さぬよう、できる事はしっかりやって職責を果たしたいと思います。

１年間よろしくおねがいします。

第８グループ ガバナー補佐 千葉まさこ（諫早南ＲＣ）

経　歴

2002.5
諫早南ＲＣ入会
2009～2010
諫早南ＲＣ会長
2012～2014
地区米山記念奨学会委員

ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者（マルチプル）

このたび、第８グループを担当することになりました。諫早で最初のロータリークラブである諫早RCは、長崎RCをスポンサーとして1960年６月30日に認証され、その後、諫早北、諫早西、多良見、諫早南と続きました。

私は12年前に諫早南RCに入会しました。私には何よりも、継続的な出席自体が困難でしたが、やめるという選択肢はありませんでした。

女性の入っているロータリーは、その頃、諫早では、我が諫早南ロータリーだけでした。諫早南は、できてから３年目のまだ若いクラブでした。女性入会に尽力したのは、諫早南RCチャーターメンバーの立川安二郎氏でした。

他のクラブは、『女なんか、絶対に入れんぞ！』とみんな言っている封建的なクラブとの話でした。『男だけの世界の素晴らしさを放棄したくない』と。ごもっともと同情したくもなります。

しかし、今はどうでしょう。女性会員がしっかり在籍しています。あの頃反対の急先鋒も女性歓迎に変わりました。

昔はロータリーは封建的で、女性は入会できませんでした。日本でロータリークラブが認証されたのは1920年、94年前。ポールがロータリークラブを創設したのは1905年。アメリカ連邦最高裁判所が、「ロータリーが女性の会員入会を認めないのは、カリフォルニアの州法に抵触し、違法である」という判決を下したのは1987年でした。

現在は女性もロータリークラブに入会できるようになりました。女性にも社会貢献、奉仕が求められるようになったと理解しています。

ロータリー創立から約110年。世界的な組織となったロータリーの発展には、会員増強によるパワー維持は必須です。ロータリーの魅力を増し、社会貢献活動への評価を高め、会員増強推進に努めます。Light Up Rotary ！

今年一年、女性目線から、宮崎清彰ガバナーを精一杯補佐する覚悟です。

何卒、会員の皆様のご寛容とご支援をお願い申し上げます。

ガバナー補佐挨拶

第９グループ ガバナー補佐 長谷川　宏（長崎琴海ＲＣ）

経　歴

1992
長崎琴海ＲＣ入会
1998～1999
長崎琴海ＲＣ会長
2012～2013
長崎琴海ＲＣ会長
2002～2005
地区米山記念奨学委員

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
米山功労者

2014～15年度の第９グループガバナー補佐を仰せつかりました、長崎琴海ＲＣの長谷川です。自身のロータリー歴を申しますと、1992年に入会しましたが、2006年に一度退会し、2008年に再入会しました。よろしくない経歴の持ち主ですが、持ち回りの宿命でしょうか、少人数クラブのため、私ごときに役が回ってきました。何事も断らないというロータリーの精神に従い、おこがましくも引き受けてしまった次第です。お許しください。

今年度は、宮﨑清彰ガバナーが地区運営方針として「地域に輝くロータリー」を挙げられています。これを「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちを持ち、ありがとうの言葉に表しながら、「健康」に気をつけて実践していくことを目標に掲げられました。その他、具体的な目標も決められており、これらを各クラブに宣伝していくことがガバナー補佐の役目と考えています。

また、各クラブの意見をガバナー事務所に伝えていくことも大切な役割と考えています。クラブ訪問時や何かでお会いした時に、意見を聞かせて頂ければ幸いです。

ロータリークラブを辞書で引いてみると「国際親善と社会奉仕を目的とする実業人・専門職業人の国際的な社交団体」とあります。また、会員一人一人はクラブに属するも国際ロータリーには属さないという特徴があります。最近このことで国際ロータリーと各会員にすれ違いがあるように感じる時があります。各クラブには強い独立性がありますし、社交団体と奉仕団体の違いが理解できない時もあります。自分の中で矛盾を感じながらガバナー補佐をやっていくのは不安ですが、一年間頑張っていきたいと思います。

第９グループの長崎ＲＣ、福江ＲＣ、長崎北東ＲＣ、福江中央ＲＣ、長崎西ＲＣ、そして長崎琴海ＲＣの６クラブの皆様、よろしくお願いいたします。

第10グループ ガバナー補佐 植松　俊徳（長崎中央ＲＣ）

経　歴

1996.7
長崎中央ＲＣ入会
2007～2008
長崎中央ＲＣ会長

米山功労者

この度、第10グループのガバナー補佐を仰せつかりました。この年でのガバナー補佐就任は「要請されたら快く承諾するのがロータリアンの使命」とはいい乍ら、私のロータリー人生のシナリオにはありませんでした。２月頃から次年度の各種研修を受け、だんだんその責任の重さを痛感し、心許ない限りですが、この上はグループ会員皆様の“好意と友情”を唯一の支えとして、私なりに精一杯努めたいと思いますので宜しくお願い致します。

今年度のＲＩテーマは「Light up Rotary」―ロータリーに輝きを―です。「ただ坐して暗闇を呪うよりもローソクをともしたほうがいい」つまり、世界には問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。「自分にできる事はない」と言って何もせずにただ座っているだけでは暗闇のままです。

一人一人がローソクをともし、120万人全員のローソクで力を合せれば世界を光で輝かせることができます。

クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで「ロータリーに輝きを」もたらせましょう。

これを受けて、宮﨑清彰ガバナーは地区目標として次の項目を掲げています。

- 会員増強目標　純増２名以上
- ロータリー財団への寄付目標　一人平均150ドル（年間）
- 米山記念奨学会への寄付目標　一人平均16,000円（年間）

経済状況が大きく影響すると思いますが、数年間減り続けた会員数も昨年度増加に転じました。この勢いで今年度も増やせればと思っています。同時にロータリー財団、米山記念奨学会への寄付もほぼ同様です。

地区方針として宮﨑ガバナーはお互い「健康」にくれぐれも注意して何事にも常に「感謝の気持ち」を忘れず「あせらず」「無理せず」自然体でロータリーの活動に取り組んで欲しいと願っておられます。

宮﨑ガバナーの真摯な思いを汲み取り、各クラブの皆様に伝え、逆に各クラブ会員皆様の要望等もガバナーにお伝えして双方のパイプ役を果たせればと思っております。第10グループ会員皆様のご協力、ご指導を宜しくお願い申し上げます。

宮﨑清彰ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表

	クラブ名	クラブ協議会	公式訪問	
			訪問日	例会場
第1グループ	佐賀	7月24日(木)	7月31日(木)	ホテル　ニューオータニ佐賀
	小城	7月30日(水)	8月6日(水)	小城商工会館　2階ホール
	牛津	9月12日(金)	9月19日(金)	「セリオ」内
	多久	9月11日(木)	9月18日(木)	多久商工会館　2階
	佐賀大和	9月2日(火)	9月9日(火)	ホテル龍登園
第2グループ	佐賀西	7月14日(月)	8月11日(月)	マリトピア
	佐賀北	8月20日(水)	9月3日(水)	グランデはがくれ
	佐賀南	7月22日(火)	7月29日(火)	※グランデはがくれ
	神埼	9月30日(火)	10月7日(火)	※割烹きはら
	佐賀空港	7月23日(水)	7月30日(水)	佐賀空港ターミナルビル3F会議室
第3グループ	有田	7月29日(火)	8月5日(火)	大有田焼会館3階
	武雄	7月28日(月)	8月4日(月)	※武雄温泉ハイツ
	鹿島	7月8日(火)	7月15日(火)	鹿島商工会館3階
	嬉野	8月29日(金)	9月5日(金)	観光ホテル大正屋
	大町	9月4日(木)	9月11日(木)	大町マーケット2階
	白石	9月10日(水)	9月17日(水)	白石商工会研修センター2階会議室
	太良	9月25日(木)	10月2日(木)	※太良ロータリークラブ会館
第4グループ	唐津	7月15日(火)	7月29日(火)	唐津信用金庫本店4階
	伊万里	7月16日(水)	7月23日(水)	ロイヤルチェスター伊万里
	唐津東	7月31日(木)	8月7日(木)	唐津シーサイドホテル
	唐津西	10月1日(水)	10月8日(水)	唐津市商工会館4階会議室
	伊万里西	8月21日(木)	8月28日(木)	伊万里迎賓館2階
	唐津中央	9月5日(金)	9月12日(金)	唐津ロイヤルホテル
第5グループ	佐世保	7月9日(水)	7月16日(水)	佐世保玉屋8階文化ホール
	平戸	8月28日(木)	9月4日(木)	国際観光ホテル　旗松亭
	佐世保西	8月12日(火)	8月19日(火)	セントラルホテル佐世保
	北松浦	8月26日(火)	9月2日(火)	サンパーク吉井（ソレイユ）
	松浦	7月25日(金)	8月1日(金)	松浦シティホテル

※印は夜の例会

	クラブ名	クラブ協議会	公式訪問	
			訪問日	例会場
第6グループ	佐世保南	7月11日(金)	7月18日(金)	JAながさき西海させぼホール
	佐世保東	7月17日(木)	7月24日(木)	ホテルオークラJRハウステンボス
	佐世保北	8月4日(月)	9月1日(月)	㈱西沢本店8階カトレアホール
	佐世保中央	7月31日(木)	8月21日(木)	セントラルホテル佐世保
	佐世保東南	9月24日(水)	10月1日(水)	ホテルオークラJRハウステンボス
	HTB佐世保	9月30日(火)	10月7日(火)	ホテルヨーロッパ内宴会場「レンブラントホール」
第7グループ	大村	8月19日(火)	8月26日(火)	※いけす寿楽
	島原	8月5日(火)	8月12日(火)	ホテル南風楼
	雲仙	9月20日(土)	10月4日(土)	九州ホテル
	大村北	9月3日(水)	9月10日(水)	※長崎空港観光ホテル
	島原南	9月17日(水)	9月24日(水)	原城温泉「真砂」
	大村東	9月22日(月)	9月29日(月)	長崎インターナショナルホテル
第8グループ	諫早	9月19日(金)	9月26日(金)	水月楼
	諫早北	10月2日(木)	10月9日(木)	L&Lホテルセンリュウ
	諫早西	9月3日(水)	9月10日(水)	平安閣　諫早サンプリエール
	諫早多良見	9月16日(火)	9月30日(火)	ホテルグランドパレス諫早
	諫早南	9月8日(月)	9月22日(月)	諫早観光ホテル道具屋
第9グループ	長崎	7月10日(木)	7月17日(木)	ホテルニュー長崎
	福江	7月18日(金)	7月25日(金)	カンパーナホテル
	長崎北東	8月6日(水)	8月20日(水)	長崎新聞文化ホール　アストピア
	福江中央	7月22日(火)	7月25日(金)	※観光ビルはたなか
	長崎西	9月9日(火)	9月16日(火)	ホテルニュー長崎
	長崎琴海	9月18日(木)	9月25日(木)	パサージュ琴海
第10グループ	長崎北	7月14日(月)	7月28日(月)	ホテルニュー長崎
	長崎南	8月20日(水)	8月27日(水)	ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル
	長崎東	8月1日(金)	8月8日(金)	㈱平安閣サンプリエール
	長崎みなと	8月19日(火)	8月26日(火)	ホテルJALシティ長崎
	長崎中央	8月11日(月)	8月18日(月)	ベストウエスタンプレミアホテル長崎
	長崎出島	7月18日(金)	8月22日(金)	ホテルニュー長崎

※印は夜の例会

地区主要行事予定表　国際ロータリー第2740地区 2014～2015年度

2014年

月	強化月間	日・曜日	ガバナー事務所	日・曜日	地区委員会	日・曜日	グループ・クラブ
7月		1日(火) 2日(水) 9日(水)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会 R財団地域セミナー 第1回諮問委員会	2日(水) 12日~13日 13日(日) 20日(日) 26日~27日	米山奨学生プログラム学校担当説明会 米山奨学生研修旅行 クラブ奉仕・会員増強セミナー 青少年交換学生選考会 インターアクト年次大会		
8月	会員増強及び拡大月間			24日(日) 30日(土)	米山カウンセラー交流会 職業奉仕セミナー		
9月	新世代のための月間		GETS 地区研修リーダー	28日(日) 未定	青少年奉仕セミナー 米山地区委員会	27日(土)	長崎南RC 創立50周年
10月	職業奉仕月間	未定	第2回諮問委員会	7日(火) 未定	青少年交換学生おくんち見学 米山の集い	5日(日) 25日(土)	長崎西RC 創立30周年 佐賀南RC 創立30周年
11月	ロータリー財団月間	14日(金) 15日(土) 16日(日) 25日~28日	地区大会（RI会長代理晩餐会他） 地区大会（本会議） 懇親ゴルフ大会 ロータリー研究会	24日(月)	米山面接官オリエンテーション	26日(水)	佐賀北RC45周年
12月	家族月間	未定 未定	第2回ガバナー会議、GETS等 第3回諮問委員会	7日(日) 14日(日)	社会奉仕セミナー 米山奨学生面接試験		

2015年

月	強化月間	日・曜日	ガバナー事務所	日・曜日	地区委員会	日・曜日	グループ・クラブ
1月	R理解推進月間		国際協議会	未定	地区補助金セミナー	17日(土) 31日(土)	太良ＲＣ20周年 第５・６Ｇ　ＩＭ
2月	世界理解月間	22日(日)	地区チーム研修セミナー	未定	米山地区委員会	７日(土) 11日(水) 14日(土) 21日(土) 28日(土)	諫早西ＲＣ30周年 第９・10Ｇ　ＩＭ 唐津東ＲＣ50周年 第４Ｇ　ＩＭ 第７・８Ｇ　ＩＭ
3月	識字率向上月間	29日(日)	ＰＥＴＳ			７日(土) 14日(土)	第１・２Ｇ　ＩＭ 多久ＲＣ30周年
4月	雑誌月間	19日(日)	地区研修・協議会			26日(日)	大村ＲＣ55周年
5月							
6月	ロータリー親睦活動月間	7日~10日	国際大会 （サンパウロ）			１日(月)	長崎中央ＲＣ25周年

地区組織図　国際ロータリー第2740地区 2014～2015年度

RI会長
ゲイリー C.K.ホァン

ガバナー諮問委員会		
PG	逸見　嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古　亮尊	大村北
PG	野﨑　元治	長崎
PG	武井　洋一	佐世保
PG	隅田　達男	伊万里
PG	安部　直樹	佐世保
PG	栗林　英雄	諫早北
PG	本城　好春	唐津
PG	田口　　厚	長崎
PG	野口　　清	佐賀
PG	高城　昭紀	島原
PG	高原　武彦	有田
PG	岩永　信昭	長崎北東
PG	福元　裕二	佐賀北
PG	塩澤　恒雄	平戸

ガバナー指名委員会		
PG	逸見　嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古　亮尊	大村北
PG	野﨑　元治	長崎
PG	武井　洋一	佐世保
PG	隅田　達男	伊万里
PG	安部　直樹	佐世保
PG	栗林　英雄	諫早北
PG	本城　好春	唐津
PG	田口　　厚	長崎
PG	野口　　清	佐賀
PG	高城　昭紀	島原
PG	高原　武彦	有田
PG	岩永　信昭	長崎北東
PG	福元　裕二	佐賀北
PG	塩澤　恒雄	平戸
G	宮﨑　清彰	諫早北

ガバナーエレクト	
太田　善久	唐津東

地区拡大委員会	
福元　裕二	佐賀北
塩澤　恒雄	平戸

財務委員会	
中野　哲生	長崎北東
古賀　久志	佐賀北
竹田　健介	平戸

地区委員会（◎印は委員長　○印は小委員長）

①クラブ奉仕統括委員会		
◎	佐藤　　豊	長崎琴海
	岩下　眞司	唐津西
	永田　武義	佐世保北
	井上　　亮	佐世保中央
	髙木　義和	島原
	宇戸　一夫	諫早南

②職業奉仕委員会		
◎	駒井　英基	佐賀南
	吉岡　義治	佐賀南
	鬼橋　正敏	武雄
	井手　誠一	大村
	梶原　亮謙	長崎琴海

③社会奉仕委員会		
◎	坂井　智照	佐世保中央
	小田　　浩	松浦
	帯屋　　徹	大村
	松原　　究	諫早
	森崎　良昌	長崎中央

④青少年奉仕統括委員会		
◎	中島　洋三	佐世保南
	古賀　秀仁	伊万里西
	佐古　亮景	大村北
	若杉　能將	諫早多良見
	北郷　雅子	長崎出島

会員増強委員会				
◎	貞方　正一	平戸	中川　英俊	HTB佐世保
	谷上　　守	牛津	上田　善行	大村北
	真弓　幸滋	佐賀西	山口　大司	諫早西
	古川　尋美	佐賀南	丸木　覚誠	長崎北東
	谷嶋　正信	嬉野	佐藤　　豊	長崎琴海
	深谷　誓志	唐津中央	小林　純一	長崎北
	福田　敏幸	北松浦		

インターアクト委員会		
◎	若杉　能將	諫早多良見
	楠田　俊明	佐賀
	山下　　功	武雄
	松尾　繁樹	唐津
	下津浦正明	佐世保南
	井手眞一郎	大村東
	松田　洋一	諫早北
	瀬崎　陽三	長崎東

ローターアクト委員会		
◎	古賀　秀仁	伊万里西
	大島　　隆	佐賀
	小野原勝春	鹿島
	川原　浩心	唐津東
	藤岡　良規	長崎
	岩永　和之	長崎北

ライラ委員会		
◎	北郷　雅子	長崎出島
	下村　敬司	佐賀南
	池田　直彦	平戸
	小溝　忠徳	諫早北
	山口　宏二	長崎

国際青少年交換委員会		
◎	佐古　亮景	大村北
	鬼崎健次郎	佐賀北
	織田　高徳	鹿島
	藤山　英周	唐津
	中村　静生	佐世保北
	辻　登志美	諫早北
	ｱｰﾘｰ・ｼﾞｪﾌﾘｰ	諫早多良見
	中村　重敏	長崎
	梶原　亮謙	長崎琴海

ガバナー（RI役員）	
宮﨑　清彰	諫早北

ガバナー補佐		
担当	氏名	所属
1	西岡　健次	牛津
2	北島　恭一	佐賀南
3	富永　正嗣	武雄
4	曽我　文雄	伊万里西
5	中野　　浩	平戸
6	宮原　明夫	佐世保北
7	音成　征彦	大村北
8	千葉まさこ	諫早南
9	長谷川　宏	長崎琴海
10	植松　俊徳	長崎中央

※クラブのグルーピングは従来どおり

戦略計画委員会		
委　員	塩澤　恒雄	平戸
委　員	宮﨑　清彰	諫早北
委　員	太田　善久	唐津東

地区研修委員会		
リーダー	福元　裕二	佐賀北
委　員	千葉まさこ	諫早南
委　員	本多　善彦	雲仙

「ロータリーの友」地区代表委員	
杉原　宏一	諫早北

㈶米山記念奨学会		
2012～2016年度常務理事	栗林　英雄	諫早北
2012～2015年度評議員	高城　昭紀	島原

国際ロータリー第3ゾーン公共イメージコーディネーター		
2013～2016年度	岩永　信昭	長崎北東

ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーター	
石坂　和彦	大村

ガバナー事務所スタッフ			
役職	担当	氏名	所属
幹　事	総　括	森　栄一郎	諫早北
副幹事	クラブ奉仕部門	古川　泰蔵	諫早北
副幹事	職業奉仕、社会奉仕	池田　栄雄	諫早北
副幹事	青少年奉仕部門	野田　弘之	諫早北
副幹事	青少年奉仕部門	吉田　英雄	諫早北
副幹事	ロータリー財団部門	本田　清秀	諫早北
副幹事	ロータリー財団部門	宮田　茂樹	諫早北
副幹事	米山記念奨学	渡瀬　　寛	諫早北
会計長	会計	光石　尚彦	諫早北
編集長	月信、HP	緒方　　聖	諫早北
編集委員	月信、HP	武田　義憲	諫早北
編集委員	月信、HP	深川　　寛	諫早北
編集委員	月信、HP	芦塚　文美	諫早北
事務局長		大石　竜基	諫早北

PETS実行委員会		
委員長	中村　正美	諫早西
副委員長	吉田健一郎	諫早西

地区研修・協議会実行委員会		
委員長	長島　吉實	諫早
副委員長	中道　節也	諫早

地区大会実行委員会		
委員長	緒方　　聖	諫早北
副委員長	白倉　一男	諫早北
幹　事	大石　竜基	諫早北

青少年危機管理委員会		
委員長	中島　洋三	佐世保南
委　員	古賀　秀仁	伊万里西
委　員	西川　義文	大村
委　員	本多　善彦	雲仙
委　員	佐古　亮景	大村北
委　員	若杉　能將	諫早多良見
委　員	山田　　晃	長崎南
委　員	北郷　雅子	長崎出島
ガバナー	宮﨑　清彰	諫早北
地区幹事	森　栄一郎	諫早北
弁護士	牟田　伊宏	諫早北

⑤ロータリー財団委員会		
◎	山田　　晃	長崎南
	永尾　竹則	佐賀西
	溝口　尚則	佐世保
	西川　義文	大村
	岡村　康司	長崎南

⑥米山記念奨学委員会		
◎	本多　善彦	雲仙
	大家　和義	小城
	古賀　益子	佐賀北
	花島　光喜	鹿島
	八島　弘直	唐津東
	岩屋　和俊	北松浦
	直江　弘明	佐世保南
	近藤　祐子	諫早北
	牧　　文春	長崎西
	八木　浩二	長崎みなと

補助金委員会		
◎	西川　義文	大村
○ 財団奨学・学友小委員会	隅　　康二	佐賀西
	岡田　金助	HTB佐世保
	喜多　清基	島原
	原田　知行	長崎中央
○ グローバル補助金小委員会	山形　浩介	長崎出島
	平野功二郎	唐津東
	橘高　克和	佐世保
	塚原　浩三	諫早西
	安達　栄太	長崎東
○ 地区補助金小委員会	立石　泰彦	佐賀北
	江口　善紀	佐賀南
	伊達　秀喜	大村
	川﨑　伸一	HTB佐世保
	梅田　裕一	諫早多良見

資金推進委員会		
◎	永尾　竹則	佐賀西
	大坪　恵介	佐賀
	馬場　久之	伊万里西
	岩永　則昭	諫早南
	有田　信一	長崎中央

ポリオプラス委員会		
◎	溝口　尚則	佐世保
	香月　　武	佐賀
	山﨑　光英	伊万里西
	村木昭一郎	長崎出島

資金管理委員会		
◎	岡村　康司	長崎南
	中道　節也	諫早
	草野　恒史	長崎西

2014～2015年度 地区関係予算

Ⅰ．地区関係資金人頭分担金

（単位：円）

			13～14年度予算	14～15年度予算	前年予算対比
(1) 地区資金会計	地区資金		6,300	6,300	0
	地区大会分担金		5,300	5,300	0
	日本事務局分担金	Ｒ文庫協力金	300	300	0
		全国Ｇ会運営費	200	200	0
		平和奨学生支援金	15	15	0
	特別会費分担金	世界社会奉仕資金	360	360	0
	小　計		12,475	12,475	0
(2) Ｇ事務所分担金	Ｇ事務所分担金		4,500	4,500	0
	月信費		1,900	1,900	0
	小　計		6,400	6,400	0
(3) 国際青少年交換資金会計			1,800	1,800	0
合　計			20,675	20,675	0
予算算定基礎会員数			2,200	2,200	0

Ⅱ．地区資金一般会計

（単位：千円）

			13～14年度予算	14～15年度予算	前年予算対比
収入の部	(1) 地区資金		13,860	13,860	0
	(2) 地区大会分担金		11,660	11,660	0
	(3) 日本事務局分担金		1,133	1,133	0
	(4) 特別会計分担金		792	792	0
	(5) その他収入		500	500	0
収入合計　（A）			27,945	27,945	0
支出の部	(1) ガバナー関係費		6,700	6,700	0
		ＧＥ国際協議会	1,200	1,200	0
		全国Ｇ・ＰＧ会議費	2,500	2,500	0
		地区Ｇ・ＰＧ会議費	1,300	1,300	0
		各種会議費	1,000	1,000	0
		Ｇ記念品代	100	100	0
		渉外・広報費	600	600	0
	(2) 地区活動費・補助金		14,060	14,060	0
		地区大会	11,660	11,660	0
		地区研修・協議会	300	300	0
		ＰＥＴＳ	300	300	0
		地区チーム研修セミナー	400	400	0
		インターアクト助成金	600	600	0
		ローターアクト助成金	400	400	0
		ＲＹＬＡ助成金	300	300	0
		Ｒ財団学友会	100	100	0
	(3) Ｇ補佐費		1,700	1,700	0
	(4) 地区委員会費		3,100	3,230	130
		クラブ奉仕	200	200	0
		会員増強	300	300	0
		職業奉仕	300	300	0
		社会奉仕	200	200	0
		青少年奉仕	100	200	100
		青少年危機管理委員会	―	―	0
		ＩＡ	400	400	0
		ＲＡ	200	200	0
		ＲＹＬＡ	200	230	30
		国際青少年交換	―	―	0
		国際奉仕	―	―	0
		Ｒ財団	200	200	0
		補助金委員会	150	500	350
		資金推進	150	100	△ 50
		資金管理	150	100	△ 50
		ポリオプラス	150	100	△ 50
		財団奨学・学友	200	―	△ 200
		米山記念奨学	200	200	0
	(5) 日本事務局分担金		1,133	1,133	0
	(6) 特別会計繰入金		992	992	0
	(7) 研修会関係費用		200	100	△ 100
	(8) 予備費		60	30	△ 30
支出合計　（B）			27,945	27,945	0
収支差額　（A）－（B）			―	―	

Ⅲ．ガバナー事務所・月信会費会計

（単位：千円）

		13～14年度予算	14～15年度予算	前年予算対比
収入の部	G事務所分担金	9,900	9,900	0
	月信費	4,180	4,180	0
	RI補助金	1,500	1,500	0
	雑収入・その他	―	―	0
	収入合計 （A）	15,580	15,580	0
支出の部	公式訪問費	200	300	100
	人件費	2,900	2,900	0
	月信費	4,180	4,180	0
	通信費	550	550	0
	消耗品費	900	900	0
	室料及び会議費	1,100	1,000	△ 100
	旅費交通費	200	200	0
	GE事務所費	5,400	5,400	0
	直前G事務所費	100	100	0
	予備費	50	50	0
	支出合計 （B）	15,580	15,580	0
収支差額 （A）－（B）			―	―

Ⅳ．国際青少年交換資金会計

（単位：千円）

		13～14年度予算	14～15年度予算	前年予算対比
収入の部	国際青少年交換資金	3,960	3,960	0
	クラブ負担金	―	―	0
	来日学生負担金	―	―	0
	前年度繰越金	―	―	0
	収入合計 （A）	3,960	3,960	0
支出の部	学生滞在費補助金	1,600	2,000	400
	学生旅行補助	400	700	300
	オリエンテーション費用	600	200	△ 400
	学生歓送迎会費他	100	400	300
	委員会費・全国委員会費	300	300	0
	印刷費他	150	50	△ 100
	通信費	100	50	△ 50
	RIJYEC維持協力金	―	220	220
	損害保険料	―	20	20
	予備費	710	20	△ 690
	支出合計 （B）	3,960	3,960	0
収支差額 （A）－（B）		―	―	―

Ⅴ．特別会計

（単位：千円）

	年度	期首残高	収入	支出	期末残高	備考
世界社会奉仕	12～13年決算	5,514	786	―	6,300	
	13～14年予算	6,300	792		A	
	14～15年予算	A	792		B	
規定審議会	12～13年決算	700	300	1,000	―	開催年度
	13～14年予算	―	200	―	200	
	14～15年予算	200	200	―	400	
VTT	12～13年決算		8,000	―	8,000	
	13～14年予算	8,000	―	―	8,000	
	14～15年予算	8,000	―	―	8,000	

世界社会奉仕会計　14－15年度　　792千円は特別会計繰入金

送金のしおり

	送金資金の種類		金　　額	期　　限	振　込　先
人頭分担金	ＲＩ人頭分担 前期　2014年６月30日現在会員 後期　2014年12月31日現在会員		（年頭US$　54.00） US$　27.00 US$　27.00	2014年６月30日及び2014年12月31日の会員数を基準に15日以内に送金を行う。	【三井住友銀行】 新宿通支店（普）6733244 国際ロータリー日本事務局
	中途入会会員ＲＩ人頭分担金 ※新会員の入会年月日により納入額が変わります。		※１．下記参照	請求書にて請求された時	
	規定審議会の為の追加人頭分担金		上期のみUS$1.00	2014年７月15日	
	地区資金等	地区資金	年間　6,300円（半期　3,150円）	2014年７月１日及び2015年１月１日の会員数を基準に15日以内に送金を行う。	【十八銀行】 諫早支店（普）1088401 国際ロータリー第2740地区 会計長　光石　尚彦
		ロータリー文庫協力金	年間　300円（半期　150円）		
		全国ガバナー会運営費	年間　200円（半期　100円）		
		平和奨学生支援金	年間　15円（後期のみ15円）		
		世界社会奉仕資金	年間　360円（半期　180円）		
		ガバナー事務所費	年間　4,500円（半期　2,250円）		
		ガバナー月信購読料	年間　1,900円（半期　950円）		
		国際青少年交換資金	年間　1,800円（半期　900円）		
		計	年間 15,375円（半期　7,680円）		
	地区大会分担金		年間　5,300円	後程ご案内いたします	後程ご案内いたします
寄付金	ロータリー財団寄付金		寄付者：個人／法人／クラブ 寄付分類： 年次寄付 ポリオ・プラス 恒久基金1,000$以上でベネファクター マッチング・グラント（提唱者負担分） グローバル補助金（提唱者負担分） その他	随時	【三井住友銀行】 赤羽支店（普）3978101 公益財団法人 ロータリー日本財団
	米山記念奨学会寄付金		（普通寄付） 金額×会員数（６月30日、12月31日現在）	2014年７月１日 2015年１月１日	【三井住友銀行】 京橋支店（普）0920373 ㈶ロータリー米山記念奨学会
			（特別寄付）　表彰金額 準米山功労者　３万円以上 10万円未満 米山功労者　10万円以上 準米山功労法人　5万円以上 50万円未満 米山功労法人　50万円以上 100万円未満 米山特別功労法人　100万円以上	随時	
その他	ザ・ロータリアン誌購読料		１部・半期分US$12.00	2014年７月１日 2015年１月１日	ＲＩ人頭分担金と同じ
	「ロータリーの友」購続料		１部・半期分1,200円（税別） ※購読部数	請求書にて請求された時	【三井住友銀行】 浜松町支店（普）7450015 ㈳ロータリーの友事務局
	文献資料代		表示価格	随時	

※１．中途入会会員ＲＩ人頭分担金について
中途入会会員の登録後、請求書が届き次第、その金額に応じて早急に納めてください。

報告のしおり

報告の種類	報告期日	報告書式	報告先
半期報告	前期2014年７月１日 後期2015年１月１日	ＲＩ事務所から送付された用紙を使用	ＲＩ日本事務局経理室
次年度会長・幹事 決定報告 （公式名簿掲載資料）	2014年12月31日	「会員アクセス」からオンライン登録 ※ガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所には、 メールもしくはＦＡＸ	ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
クラブ事務所通知 （変更の場合）	都度速やかに	書式自由	ＲＩ日本事務局 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
会員の入会・退会・変更	都度速やかに	ＲＩ所定の用紙を使用又は、「会員アクセス」から オンライン登録	ＲＩ日本事務局 ガバナー事務所
会長・幹事変更、 例会日時・場所等	都度速やかに	書式自由	ＲＩ日本事務局 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
クラブ月報	毎月15日	所定の用紙	ガバナー事務所
国際大会信任状	2015年４月末日	ＲＩ事務所から送付された用紙を使用 会長・幹事の署名が必要	2014～2015年度 ガバナー事務所

報 告 先

◆国際ロータリー日本事務局
〒108-0073
東京都港区三田１丁目4-28
三田国際ビル24F
クラブ・地区支援室…TEL.03-5439-5800(旧奉仕室)
FAX.03-5439-0405
室長：中井 啓介　keisuke.nakai@rotary.org
財団室……TEL.03-5439-5805
FAX.03-5439-0405
室長：清水 優季　yuki.shimizu@rotary.org
経理室……TEL.03-5439-5803
FAX.03-5439-0405
室長：斎藤 愛子　aiko.saito@rotary.org
資料室……TEL.03-5439-5802
FAX.03-5439-0405
シニア・コーディネーター
森　智洋　tomohiro.mori@rotary.org
縄田　怜　satoru.nawata@rotary.org

◆ガバナー会事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園２丁目6-15
黒龍芝公園ビル４F
TEL.03-3433-6497
FAX.03-3433-7395

◆ロータリー文庫
〒105-0011
東京都港区芝公園２丁目6-15
黒龍芝公園ビル３F
TEL.03-3433-6456
FAX.03-3459-7506
rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp

◆一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園２丁目6-15
黒龍芝公園ビル４F
TEL.03-3436-6651
FAX.03-3436-5956
henshu@rotary-no-tomo.jp

◆公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011
東京都港区芝公園２丁目6-15
黒龍芝公園ビル３F
TEL.03-3434-8681
FAX.03-3578-8281
mail@rotary-yoneyama.or.jp

◆ガバナー事務所
〒854-0016
長崎県諫早市高城町5-10 諫早商工会館302号
TEL.0957-56-9331
FAX.0957-56-9332
ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

氾濫

―流れ町の恐怖―

風木雲太郎

諫早の街は
一夜にして泥水と化した
つつじの花陰をうつし
蛍の光をやさしくともした
あの風流な本明川が
黄に奔る濁流となって
青葉の街に荒れ狂った
天に蒼白な亀裂を走らせ
地をふきなぐり　たたきつける
雷鳴と土砂降りの夜
川は突然野性にかえり
激怒する自然の暴力となって
諫早の街を地獄の姿に変えた
七月二十六日の朝が漸く明けると
泥土と濁水に埋れた残害の跡から
犠牲者の生々しい死体の列が通り
痛烈な悲しみが泥の街から噴き流れる
この人間の悲しみを
忘却の泥土に埋らせてはならぬ
心と心の花をひらき
生命と生命の葉を繁らせ
われらの美しい街を
新しく強くつくりあげ
水の尊い犠牲者の祭壇に捧げよう

7月26日　雨と風と暗黒の夜
とぼしいローソクの灯りの下で

ガバナー事務所のある諫早商工会館

犠牲者の慰霊観音像

洪水の水位を示す石柱

編集後記：サッカーワールドカップ、ブラジル大会を目前に、気もそぞろで編集にあたっています。月信担当者は顔を出さない。一体どんな奴だろう、とそれはご想像にお任せするとして、ロータリーの皆さんの目を向けさせるために鋭意務める心算です。宜しくお付き合いください。

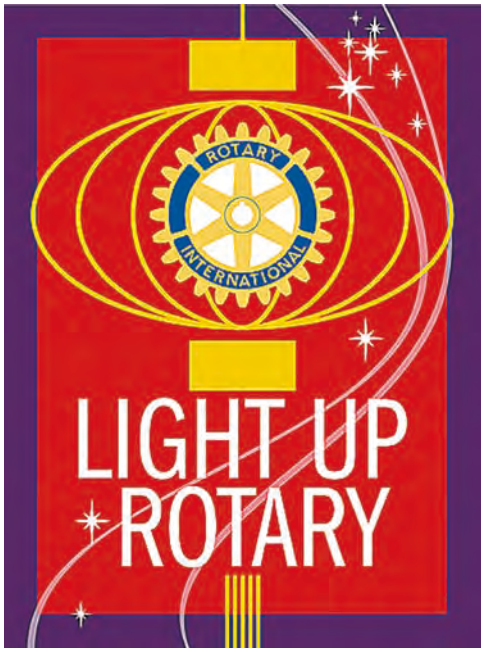
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮崎　清彰

Vol.10
2015.4.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

桜の花吹雪

すっかり春、各地で花の便りが聞かれるようになった。どんなに美しい花でも、その盛りを過ぎたものは矢張り華やかな時期と比較されるので、貧相で哀れに見える。その点、桜の花程、その散り際の潔さや美しさを讃えられるものは他にない。満開の桜も見事であるが、春風に誘われ散ってゆく花吹雪もまた、風情がある。その「いさぎよさ」が尊ばれて、日本人の精神教育に流用された時期はあったけれど、朽ち果てた姿を残さず去りゆく花の姿に惹かれる人は今も昔も変わらない。

（諫早市森山町の桜並木）

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
地区チーム研修セミナー報告……4
第９・10グループＩM開催報告……5
ロータリーに音楽を！ ア・カペラコンテスト ……6
コーディネーターニュース３月号……7
2015年１月会員数・出席報告……8
新入会員紹介……9
物故者紹介……9
寄付者紹介……10
ロータリー文庫通信……10
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

「地区大会に参加して」

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　﨑　清　彰

全国に34名のガバナーがいます。その地区ごとに毎年地区大会が開かれます。ガバナーは自分の都合のいい時に他地区の大会に参加出来ます。今年度はちなみに12月までに開催された地区が22地区、翌年４月までに開催される地区が12地区という状況です。私は44年間ロータリーに在籍してますが、今まで１回も他地区の大会に参加したことはありませんでした。ガバナーならではの機会だと思います。普通余程の事がない限り参加する機会がありません。

第2730地区（鹿児島・宮崎）

九州には４人のガバナーが出てますのでお互いの地区大会には出席しようという話になりました。幸いにも開催日が違ってましたのでラッキーでした。第2730地区が10月17日～19日に鹿屋で行われましたので早速女房と一緒に登録をしＲＩ会長代理歓迎晩餐会から出席しました。鹿児島にはたびたび行く機会がありましたが鹿屋は初めてなので楽しみにしてました。諫早から途中新幹線を利用して鹿児島までの時間と鹿児島より桜島を眺めながら船で渡ってバスで鹿屋までの時間がほぼ同じで九州とはいえすごく遠い感じがしました。天気もよく桜島を見ながらの船旅は素敵でした。ＲＩ会長代理歓迎晩餐会とガバナーエレクト激励壮行会が同時に行われました。地区内の各クラブの距離が遠いのでなかなか集まりにくいから一緒にされたのかなと思いながら参加してました。ＲＩ会長代理は韓国の方で大勢同志の方も参加され友好を深められていました。記念講演にはＰＧ水野正人さん（東京ＲＣ）2020年東京オリンピック招致の立役者の一人であり、ＩＯＣ総会最終プレゼンテーションにおける熱意あふれるスピーチでオリンピックをたぐり寄せた話や、いろんな情報収集の事やおもてなしの心等大変きめ細かい行き届いた接客の話等、数多くの素敵な話を聞かせて頂きました。

次の日はせっかく鹿屋に来たので戦時中に多くの若者が旧海軍航空基地から特攻作戦に飛び立った地を見学しようと思った。現在も海上自衛隊鹿屋航空基地が国防の最前線の役割を果たし、東シナ海の警戒監視に向かうＰ３Ｃ哨戒機が飛び交う。歴史を勉強しようと海自鹿屋航空基地史料館へとタクシーでかけつけた。今まで「特攻」といえば知覧と思っていました。大学を卒業して入社した科研化学の社員に１年先輩で鹿児島出身の鳥浜義八さんがいて、なんと彼のおばさんが知覧で食堂を営み隊員たちを世話した「特攻の母」といわれていた話を聞き以前知覧特攻平和会館に足を運んだことがあった。知覧・鹿屋両会館を訪れてみてつくづく平和の有難さが身にしみた。若者が家族にあてた遺書は力強く立派な書体で、特攻に向かう一日前の手紙などを読むと涙をこらえきれなかった。二度と戦争のない平和な世界を祈る。

「鹿屋の歴史は戦争の縮図」1941年ここで太平洋戦争の火ぶたを切った真珠湾攻撃の極秘協議「鹿屋会談」が開かれたと書いてあった。真珠湾と錦江湾がよく似た地形だったらしい。特攻戦死者は知覧の436人に対して鹿屋は908人と多くの若者の命を失った。ただただご冥福を祈るだけだった。

第2580地区（東京・沖縄）

２月16日～17日、第2580地区大会が新宿の京王プラザホテルで開催された。歓迎晩餐会には台湾より蔡衍榮ＲＩ会長代理が同志約40名と共に参加され、自国の歌や代理自ら作成したＤＶＤの映像を披露され日本と台湾とのますますの友好関係を確立したいという話があり、大変なごやかな中に友好の輪が広がった感がした。又、クラシック、ミュージカル、ポップスなどそれぞれの大舞台で活躍する各ジャンルの

ヴォーカリストが集まり結成された日本初の男女混声によるスーパーヴォーカルユニット（男性４名、女性２名）の豪華メンバー。大人の魅力と実力をあわせもつゴールデンヴォイスがこれまで聴いたことのないクライマックスシーンを歌い上げ、晩餐会に出席した約250名がまるでディナーショーに出席しているような気分で２時間半があっという間に過ぎ去り、とても素敵な時間を過ごした。34名のガバナーのうち32名が出席した素敵な晩餐会だった。

友情の広場では三宅太鼓や高円寺阿波踊りがホテル４Ｆで行われ、５Ｆでは上智大学応援団チアリーディング部イーグルスが日々練習に励んでいる成果を会場の皆様に元気と笑顔と共に届けてくれていた。懇親会では日本を代表する国際的アーティスト日野皓正氏によるジャズライブが行われていた。なにせホテルが広いのでいろいろな事が出来、さすが東京という感を強く受けた。記念講演では宇宙飛行士、日本科学未来館館長毛利衛氏が「宇宙からの視点―我々は何故挑戦し続けるのか―」という題で話された。

第2750地区（東京、北マリアナ諸島、グアム、ミクロネシア、パラオ）

２月24日～25日、第2750地区大会がグランドプリンスホテル新高輪で行われた。この地区は当時同期のガバナーエレクト小粥定美さんの地区でした。昨年アメリカでの国際協議会に出席され張り切っておられましたが病に倒れられ帰らぬ人となり大変残念でした。その後パストガバナーだった坂本俊雄さんが小粥さんの思いを胸に再登板され本当に良かったと思います。この地域は範囲が広いのでお体を大切にご自愛いただき、我々にもいろいろご指導いただきたいと思います。小粥さんが生前地域テーマ「充実したロータリーライフを送ろう」を掲げていらして、それを継承され大会実行委員長も小粥さんの無念さを述べられ、皆の力で地区大会を成功させようと一致団結したというお話がありました。

坂本俊雄ガバナーの報告によると小粥さんの思いで過去にない大勢のロータリアンが参加した大会になったとの事、又小粥さんを追悼して「小粥定美特別賞」を設け授与するとのお話大変嬉しく思いました。小粥さん自身ロータリーを愛し本当にすばらしいロータリアンだったと改めて思いました。小粥さんの奥様にお目にかかることが出来、久し振りにお話して本当に参加してよかったと思いました。ご主人の分まで元気に長生きしてほしいと心からそう思いました。

ＲＩ会長代理歓迎晩餐会にはＲＩ理事であり日頃我々ガバナー達がいろいろとご指導いただいている北清治さんでした。内心ホッとしました。とても歯切れのいい解りやすいお話でとてもよかったです。記念公演「ピアノライブ」ではレ・フレールの兄弟によるピアノデュオ。ともに15歳よりルクセンブルク国立音楽学校に留学され現在横須賀において「レ・フレール（フランス語で「兄弟」を意味する）」として活動を開始されてます。ＮＨＫでも紹介され知ってはいましたが生の演奏は初めて聴きました。（１台４手連弾など）そのすばらしさにはびっくりしました。

記念講演は「心臓外科ひとすじ」という題で順天堂大学医学部心臓血管外科 天野篤教授のお話でした。天皇陛下の心臓手術をされた有名な先生でもあり、私自身昨年長大病院にて大動脈弁置換手術を受けたので大変勉強になるお話でした。

３カ所の地区大会に出席した時の一部をご紹介してみました。この３カ所共地区大会においてガバナーノミニー、ガバナーノミニー・デジグネートのご紹介があり我が地区も早くそうなりたいと思いを強くしました。その後の予定は３月21日～22日第2720地区大会（熊本、大分）と４月12日第2700地区大会（福岡、佐賀、長崎）、４月18日～19日第2670地区大会（愛媛、香川、徳島、高知）に参加する様に計画してます。私のガバナーとしての任期も残り３カ月となりましたのでよろしくお願いします。

地区チーム研修セミナー報告 ―次年度体制移行へ本格始動―

2015－2016年度　地区編集委員　**吉　木　正　彦**（唐津東ＲＣ）

2015～2016年度の地区チーム研修セミナーが２月22日、太田善久ガバナーエレクトが所属する唐津東ロータリークラブのホームグラウンド、唐津市の唐津シーサイドホテルで開催されました。太田ガバナーエレクトから次年度ガバナー補佐や地区委員長に委嘱状が交付され、体制移行へ、いよいよ本格始動です。

宮﨑ガバナー、塩澤恒雄直前ガバナー、宮島傳兵衛パストガバナー、﨑永剛ガバナーノミニーら42人が出席しました。宮﨑ガバナーはその先週、唐津東ロータリークラブの創立50周年記念式典に出席されたばかりで、さらにこの日は伊万里市で開かれた第2740地区第４グループのＩＭとの“掛け持ち”と、多忙な１日となりました。

宮﨑ガバナーは「任期もあと４カ月となりましたが、あす２月23日はちょうどロータリー設立記念日で、心新たに活動に取り組んでいきたい」と述べました。

年明け、米・サンディエゴでの国際協議会に出席した太田ガバナーエレクトは「日本ロータリーの父とされる米山梅吉氏が東京大会の講演で言われたように、まさに人種や言語を超えた職業奉仕団体のインターナショナルな会合でした」とその印象を語りました。

その上で「世界のプレゼントになろう」という次年度の国際ロータリーのテーマに沿って、地区テーマを「地域へのプレゼントになろう」とすることを発表。「人口が減少し、立ちゆかなくなる地域が出てくると言われる中、どうすれば維持できるか、地域と一緒になって考え、汗を流していこう」と訴えました。

引き続き、消化器科医師である塩澤直前ガバナーが地域の医療課題について講演。2025年には地域の高齢化率（65歳以上）が35％に達するなどという予測に、ロータリアンとしての生き方を考えました。

地区運営では会員増強を各クラブ純増２名以上とすることなどを確認。ガバナー公式訪問は７月14日の鹿島ＲＣを皮切りに57クラブを回り、地区大会は11月13日から15日まで唐津を会場に開催することが報告されました。

第９・10グループＩM開催報告

実行委員長　**森　　義　彦**（長崎北東ＲＣ）

２月11日㈬に第９・10グループのＩＭを恙なく終了することが出来ました。当グループでは12ロータリークラブが活動しています。今年度は、第９グループガバナー補佐長谷川宏さん、第10グループガバナー補佐植松俊徳さん主催で、長崎北東ロータリークラブがホストクラブ、長崎出島ロータリークラブがコ・ホストクラブを務めました。10年ぶりの役割分担に当初は戸惑いもありましたが、実行委員会、当クラブの小委員会での皆様のご提案、ご協力を得て開催でき感謝しております。

本年度のインターシティミーティングは、第１部、第２部の構成としました。第１部は、基調講演として岩永信昭パストガバナーに「ロータリーの過去、現在」の演題で講演して頂きました。ポールハリス他３名でシカゴにロータリークラブを創設したのが1905年、今年で110年目を迎えております。日本に第１号の東京ロータリークラブが誕生したのが1920年です。講演の中でロータリークラブの発展の歴史、理念等を体系的に分かりやすく講演頂き、ご参加の会友に好評でした。

続いて特別講演は、ミズノ㈱会長で、第2580地区パストガバナーの水野正人氏による「オリンピックと職業奉仕」のテーマで講演して頂きました。元東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会ＣＥＯ、日本オリンピック委員会名誉委員として活躍され、オリンピックの招致活動におけるご苦労と興味深いエピソードを、軽快なテンポと巧みな話術でお話して頂き、質疑応答も大変活発で、１時間30分では時間不足の感があるほど、内容のあるお話に、参加されたロータリアンは皆さん大変に満足して頂くことが出来た様です。

第２部の懇親会は、各クラブ指定席・卓盛り方式で実施しました。アトラクションとして、ギターとボーカルの生演奏を楽しんで頂きました。

今回、ホストクラブを務めて確信した事は、ロータリークラブ活動の素晴らしさです。10年ぶりのホストクラブでの開催でしたが、両ガバナー補佐のご指導、コ・ホストクラブのご協力を得ることが出来ました。そして我がクラブの特色であるアットホームな雰囲気の中で、今回のＩM開催に向けて会友の全面的な協力と団結力の強さを再認識しました。感謝の気持ちで一杯です。

ロータリーに音楽を！ ア・カペラコンテスト

小城ロータリークラブ会長　七　田　利　秀

小城ロータリークラブは2015年２月22日㈰にロータリーデーイベントとして「第13回おぎア・カペラコンテスト」を開催。当クラブは今年11月に創立50周年を迎えるにあたり、ロータリーデーの開催と10名の会員増強を目標に活動しています。

コンテストには福岡、熊本、佐賀から17組がエントリー。大学のア・カペラサークルや各地のイベントで活躍しているア・カペラグループ等、レベルが高くまさに白熱した競演が繰り広げられました。

ア・カペラは無伴奏で合唱・重唱を行いますが、人の声だけで作り出すリズム、メロディ、ハーモニーの美しさには感動させられます。楽器演奏の心地良い音楽とは少し違う、人の魂に響くものがあります。

コンテストの審査集計タイムには、米山奨学生の佐賀大学留学生：山岡・アリーシャ・清子君が卓話を行いました。出身のハワイについて、佐賀大学での研究テーマ：日比国際結婚について、日本で経験したこと、ロータリーの活動及び将来の夢について等、彼女の世界観や日本・佐賀への熱い思いが伝わり、会場からは盛んな拍手が送られました。

ア・カペラを通じたロータリーデーの取り組みは、会場に来ていただいた方々との好意と友情を深めたことと思います。来年のア・カペラコンテストには各地のＲＣからの出場も期待しています。

なお、会員増強は今年度10名増目標に対し現在７名増、今も全会員で頑張っているところです。

コーディネーターニュース2015年３月号「第３ゾーン・ロータリー戦略計画推進セミナー」報告

第３ゾーンＲＣ補佐　**大之木　精　二**

◎第３ゾーンでは昨年10月に、杉谷ＲＩ理事ご出席のもと下記日程により標題通りのセミナーを開催しましたので、その概要を報告致します。

⑴　日時：2014年10月11日㈯　11：00～16：00

⑵　場所：広島市

⑶　対象：ＤＧ・ＧＥ・ＧＮ・ＡＧ・地区関係委員長

⑷　テーマ：地区・クラブにおける戦略計画の推進及び会員基盤の充実と公共イメージの向上

⑸　出席：60名（ゾーン関係者共）

◎グループ６卓によるテーマ別討議を行い、最後にグループ毎報告が為されましたので、その意見集約を次の通り記述します。

◎【ロータリー戦略計画】

- 地区・クラブにおける当該委員会の設置は精々２割程度で、それも十分機能しているとは言えない。
- クラブの強化に戦略計画は最良の指針となり、増強も公共イメージ向上も強いクラブがあってこそ可能との観点より、先ずは地区戦略計画（委）の指導力を高めクラブの戦略計画推進に尽力する。
- 地区・クラブ共中長期構想の確立が必然であり、その為にも現行の単年度制に拘泥しない自主的な継続的発想が望まれ、年度毎の執行部との調整の巧拙が問われる。
- 関連的にＣＬＰの実施状況が話題となり、組織の簡略化や運営の効率化を重視することに傾斜して、本来の主旨が十分に生かされていないとの危惧がある。地区はこの点についての適切な指導を行うべきである。

【増強・会員維持・公共イメージの向上】

- 昨今人数に執着する余り、増強の真意（クラブ強化）の視点が欠けている傾向がある。
- 全国一律の数値目標を示したり常套的手法を奨励するのは如何なものか。
- クラブの敷居を低くして先ず入会を認め、クラブに馴染ませる環境作りとロータリー教育の着実な実施が肝要である。
- ロータリーに入会して良かったとのロータリーモメントに多く接する機会を、既存会員共々に提供することが会員維持に有効である。
- 既存会員が更なるロータリー学習と実践を深めて高質のロータリアンになって初めて、増強への情熱が湧き腰を据えた活動に繋がる。
- 人口減少の社会構造変化に対応してクラブ単位の増強に拘わらず、クラブ合併による基盤強化も積極的に検討すべきである。
- Ｅクラブ・衛星クラブの設立を強力に推進する。
- 増強も公共イメージの向上も、クラブの強化がその必須条件である。

2015年１月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				７月１日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	76.8	58	0	66	0	0	0	0	8
	小城	3	73.0	19	2	24	2	2	0	2	5
	牛津	4	71.6	28	0	30	0	0	0	0	2
	多久	4	83.3	36	6	39	5	0	2	−2	3
	佐賀大和	3	71.2	24	3	22	3	0	0	0	−2
	小計		75.2	165	11	181	10	2	2	0	16
第2グループ	佐賀西	3	88.7	39	0	41	0	0	0	0	2
	佐賀北	4	70.4	41	3	41	3	0	0	0	0
	佐賀南	4	83.0	36	2	39	2	0	0	0	3
	神埼	4	90.5	36	3	37	3	0	0	0	1
	佐賀空港	4	77.0	15	1	16	1	0	0	0	1
	小計		81.9	167	9	174	9	0	0	0	7
第3グループ	有田	4	78.9	33	0	34	0	0	0	0	1
	武雄	3	91.7	52	4	52	4	0	0	0	0
	鹿島	4	87.7	44	3	40	3	0	0	0	−4
	嬉野	4	85.3	24	1	24	1	0	0	0	0
	大町	4	76.6	15	0	16	0	0	0	0	1
	白石	4	66.7	8	0	6	0	0	0	0	−2
	太良	4	80.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		81.0	186	8	182	8	0	0	0	−4
第4グループ	唐津	4	90.0	55	0	56	0	0	0	0	1
	伊万里	4	97.5	27	0	30	0	0	0	0	3
	唐津東	4	82.3	53	0	55	0	0	0	0	2
	唐津西	4	87.9	30	0	33	0	0	0	0	3
	伊万里西	4	87.6	45	0	46	0	2	0	2	1
	唐津中央	4	83.8	32	4	34	4	0	0	0	2
	小計		88.2	242	4	254	4	2	0	2	12
第5グループ	佐世保	4	100.0	74	0	74	0	0	0	0	0
	平戸	4	73.4	39	4	39	4	0	0	0	0
	佐世保西	3	91.3	22	1	24	2	2	0	2	2
	北松浦	4	92.9	24	0	25	0	0	0	0	1
	松浦	4	86.5	26	1	26	1	0	0	0	0
	小計		88.8	185	6	188	7	2	0	2	3
第6グループ	佐世保南	4	100.0	73	1	76	0	0	1	−1	3
	佐世保東	4	98.8	23	0	22	0	0	0	0	−1
	佐世保北	2	97.7	43	0	45	0	0	0	0	2
	佐世保中央	4	100.0	43	1	45	1	0	0	0	2
	佐世保東南	3	98.6	21	0	23	0	4	0	4	2
	HTB佐世保	4	95.7	20	3	21	3	0	0	0	1
	小計		98.5	223	5	232	4	4	1	3	9
第7グループ	大村	4	89.0	48	3	48	3	0	0	0	0
	島原	4	69.9	27	2	25	2	0	0	0	−2
	雲仙	3	85.2	28	1	26	1	0	1	−1	−2
	大村北	4	100.0	23	0	24	1	0	0	0	1
	島原南	4	70.0	21	1	23	1	0	0	0	2
	大村東	3	83.4	41	4	39	4	0	0	0	−2
	小計		82.9	188	11	185	12	0	1	−1	−3
第8グループ	諫早	4	82.4	63	0	67	0	0	0	0	4
	諫早北	4	76.0	66	3	65	3	1	1	0	−1
	諫早西	4	93.8	38	0	39	0	0	0	0	1
	諫早多良見	4	84.9	40	0	37	0	0	1	−1	−3
	諫早南	3	87.0	24	4	23	4	0	0	0	−1
	小計		84.8	231	7	231	7	1	2	−1	0
第9グループ	長崎	4	82.8	82	0	82	0	0	1	−1	0
	福江	1	89.0	34	0	35	0	0	1	−1	1
	長崎北東	4	75.5	38	5	39	5	0	0	0	1
	福江中央	4	92.4	26	0	28	0	0	0	0	2
	長崎西	4	80.7	56	0	57	0	0	1	−1	1
	長崎琴海	4	73.4	16	1	16	1	0	0	0	0
	小計		82.3	252	6	257	6	0	3	−3	5
第10グループ	長崎北	3	83.5	78	0	80	0	0	0	0	2
	長崎南	3	83.7	76	0	77	0	0	0	0	1
	長崎東	4	82.7	44	1	48	4	0	0	0	4
	長崎みなと	4	80.1	23	1	26	1	1	0	1	3
	長崎中央	3	95.9	61	0	60	0	0	0	0	−1
	長崎出島	4	78.2	55	11	55	11	1	1	0	0
	小計		84.0	337	13	346	16	2	1	1	9
57クラブ合計			84.8	2,176	80	2,230	83	13	10	3	54

＊上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
７月１日から2015年１月末までの増減です。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。　※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

佐賀南ＲＣ
神代　　修 君
㈱佐賀共栄銀行
支店長

伊万里西ＲＣ
井手　利紀 君
㈱伊万里電装
代表取締役

伊万里西ＲＣ
木須友三郎 君
フェルマ木須
代表

佐世保西ＲＣ
酒井　英士 君
㈱ライフプラザパートナーズ
フィナンシャルアドバイザー

佐世保西ＲＣ
西村　道明 君
㈱親和銀行
取締役常務執行役員

諫早北ＲＣ
石原　史博 君
㈱日本旅行
支店長

長崎みなとＲＣ
中島　博明 君
㈱十八銀行
取締役監査委員長

長崎出島ＲＣ
福富　　卓 君
㈱十八銀行
取締役常務執行役

物　故　者

謹んでお悔やみ申し上げます。

長崎ＲＣ
柴田　正範 君
（享年68歳）

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

米山記念奨学会		
種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル	福　元　裕　二	佐賀北
	野　口　晶　教	唐　津
功労者	志田原　　哲	唐　津

文庫通信 (330号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

◎「人生は８合目からがおもしろい」 田部井淳子　2014　5p（D.2600地区大会報告書）
◎「これからのロータリー」 千　玄室　2014　4p（D.2650地区大会記念誌）
◎「ロボットの奉仕」 松野文俊　2014　11p（D.2650地区大会記念誌）
◎「日本の進路と誇りある国づくり」 櫻井よしこ　2014　2p（D.2660地区大会記録書）
◎「これからの日本に対する期待」 竹中平蔵　2014　6p（D.2680地区大会記録誌）
◎「ロータリーの存在意義」 深川純一　2014　9p（D.2760地区大会記録誌）
◎「光圀伝について」 冲方　丁　2014　9p（D.2820地区大会記録）
◎「人生の金メダル」 齋藤　仁 〔2013〕7p　（D.2830地区大会記録誌）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

「河川敷の活用法」

河川は長い年月をかけ、水の力で上流より土砂を運んでくる。それらはやがて流れの遅い下流域で堆積し、洲という陸地を形成する。治水面では問題があるこの堆積物は、土地利用という視点から様々な活用法がありそうだ。先ず水際には自然石が徐に配置されて趣を醸し出し、その傍らには柳の木が植栽されて水面に影を落としている。水鳥たちの休息の場となり、風景としても見る者には心地よい配慮である。

小さな花壇や運動場、もしくは駐車場として、ある時は市民の散策路として整備されている。こうした取り組みは、水辺の風景に惹かれて散歩を楽しむ人々に、水や川への関心や意識を高めてゆくのに役立つと思われる。

編集後記：季節は春、この声を聞くだけで心は浮き立つ。動物たちは全てが強く暖かな太陽の光を浴びて活動をはじめる。植物は慈雨や地中に滲み込んだ雪解け水を吸って、開花と新緑の時に備える。人間社会では入学や就職という新たな出発と希望に充ちた時期でもある。ロータリーではこの月を雑誌月間に指定している。年度中途ではあるけれど、ロータリー関連の雑誌に満載の情報に目を配り、新年度に向けて新たな計画と心の準備をしておきたい。動植物に後れをとらぬように。

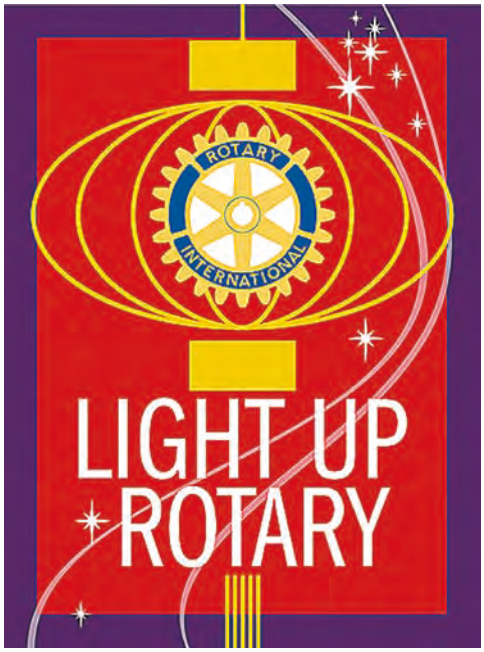
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮崎　清彰

Vol.11
2015.5.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

霊峰多良を仰ぎ見て

佐賀県との県境に横たわる多良嶽は標高1076mの死火山である。諫早市街地から眺める山並みが穏やかで美しく、市内の学校の校歌によく詠われている。市内を流れる本明川の源流はここ多良山系に発し、山麓の各所に湧水をもたらしているのは多良溶岩の恵みであろう。霊峰多良は信仰の山でもある。

今回はカメラアングルを諫早湾潮受堤防の貫通道路に定めて、多良の峰々をねらった。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
2015~2016年度会長エレクト・次期幹事研修セミナー（ＰＥＴＳ）開催報告 ……4
第４グループＩＭ開催報告……6
ロータリー財団奨学生壮行会……7
「米山奨学生終了式・歓送会」開催報告 ……8
2015~16年度米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション報告 …9
第６回オリエンテーション並びに歓迎・観桜会報告……10
国際ロータリー青少年交換学生募集……11
コーディネーターニュース４月号……12
「ロータリーの友」だより ……13
2015年２月会員数・出席報告……14
新入会員紹介……15
お詫びと訂正……15
寄付者紹介……16
ロータリー文庫通信……16
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

「あせらず、無理せず、感謝」

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　﨑　清　彰

ゲイリーC．K．ホァンＲＩ会長のテーマ「ロータリーに輝きを」を受けて第2740地区では「地域に輝くロータリー」として活動を始め残り２カ月となりました。

57クラブ全部を訪問して感じる事は、それぞれのクラブが独自性をもち、地域に見合った奉仕活動を展開されていることでした。そして地域になくてはならない存在になっている感じがしました。それだからこそ国際ロータリーが110年の歴史を刻んでこられたと思います。

特に今年度のＲＩ会長はロータリーをよく知ってもらう為に「ロータリーデー」を設けロータリーデーと銘打って地域の皆様と共に奉仕の輪を広げてほしいと強調されました。その意をくんで多くのクラブの皆様にご協力をいただき有難うございました。今年１年でロータリーデーと呼ぶのはたぶん終わりになると思います。

1905年、ロータリーの考え方と精神はポール・ハリスによって創り出されました。そしてアメリカが大恐慌にある1933年、ポールはロータリアンではない一般人に対してラジオ放送による演説を行いました。その話の最後の部分を紹介します。「つまるところ、ロータリーはWay of Life（生活のあり方）であります。良質で自然で、健全で友好的な生活スタイルであります。この世の中にはロータリアンになる可能性をもった人々が大勢おります。そしてその多くの人々が今私の放送を聴いております。もしあなたが隣人を愛する心の持ち主であるならば、あなたは既に潜在的ロータリアンであります」と言っています。最近は会員数も微増傾向にありますが、一人一人がロータリーの魅力を引き出し多くの方にロータリーの良さを知ってもらう努力が必要と感じる今日この頃です。「ロータリーに輝きを」のテーマは今年度で終わりますがロータリアン各自が地域に輝くロータリアンとして「入り学び入り出て奉仕」の精神で素敵なロータリーライフを楽しみましょう。何事にもあせらず、無理せず、感謝の気持ちを持って明るく前向きに対処すれば何とかなることを実感した１年でした。

又いろいろな出会いもありました。２月14日唐津東ロータリークラブ創立50周年記念式典の時です。ガバナー挨拶で祝辞を述べてると前方５列目ぐらいの所でにこにこして私を見つめる一人の男性がいました。どこかで会ったような気がするけど、その時は思い出すことが出来ませんでした。後で解りましたが唐津東ＲＣがＲＩ第3460地区（台湾）のＲＣと姉妹クラブを結んでおられそのメンバーの一人でした。

実は地区大会の前にＲＩ会長代理が賴正成（Wood）さんに決まった時、森地区幹事と共に表敬訪問のため台湾を訪れました。その時に台湾のＰＧ御夫婦が集まって歓迎会をしていただきました。その一人が先程のロータリーネーム、スターさんでした。その彼とまさか唐津でお会いするとはびっくりしました。Starさんは外科医で奥様も一緒に参加され彼女は産婦人科医ということでした。４カ月ぶりに再会し２次会では杯を重ね友好を深めました。とても楽しい時間を過ごしました。唐津東ＲＣの皆様大変お世話になり有難うございました。

３月20日にはＲＩ2720地区（大分・熊本）大会に参加してきました。ＲＩ会長代理歓迎晩餐会が終わりＲＩ会長代理（台湾の方）や小山ガバナーと同期のガバナー数名とホテルのラウンジで雑談している時ＲＩ会長代理のエイドの台湾の方が実は15年前第2740地区に行った事があるという。よく話を聞いてみると福井ＰＧの時にエイドで長崎に来た事があるという。そういえば我々の地区大会の時に大原玉瑞（長崎北東ＲＣ）さんが福井ＰＧの時通訳をしたという話を伺っていたのでその人に聞くと確かに大原さんをおぼえていらっしゃって色々と話がはずみました。福井ＰＧが亡くなった事を伝えると非常に残念がっておられた。福井ＰＧはとてもやさしく紳士だったとおっしゃっていました。その方はＲＩ3520地区ＰＧ李博信（Marine）さんでした。本当にロータリーは国際的だなあと思いました。ロータリーを通じていろいろなご縁をいただきました。高原ＰＧの時の地区幹事酒井田正宏さんもそうです。ある委員会でご一緒させていただいてからは何かとお世話になっております。その縁で地区大会の時のＲＩ会長代理賴正成（Wood）さんを柿右衛門窯に案内いただきました。15代酒井田柿右衛門さんご自身が作業場に入って親切ていねいに説明をしていただきました。Woodさんはじめ奥様のVickyさんは子どもみたいに大喜びでした。大変お世話になり有難うございました。本当に多くの皆様の親切に感謝致します。

2015～2016年度会長エレクト・次期幹事研修セミナー（PETS）開催報告

PETS実行委員長　**志渡澤　一　則**（唐津中央ＲＣ）

桜の花も今が盛りと咲き誇る、2015年３月28日に、唐津市の「唐津ロイヤルホテル」において会長エレクト・次期幹事研修セミナーが開催されました。

国際ロータリー第2740地区の57クラブの会長エレクト・次期幹事を一堂に集め、太田善久ガバナーエレクトより、2015～2016年度のＲＩ会長Ｋ．Ｒ．ラビンドラン氏のメッセージを報告され、併せてＲＩのテーマ「世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world」を説明され、地区の運営方針「地域へのプレゼントになろう」の表明と当地区の重点目標「会員増強の目標」「ロータリー財団への年次寄付目標」「米山記念奨学会への寄付目標」が発表されました。

研修セミナーについては、会長エレクト・次期幹事合同で行われ、御歳93歳になられる、1993～1994年度ガバナー宮島傳兵衛氏（唐津東ＲＣ）による、「論語と算盤」と題した御講演が行われました。

「商人は、論語を読め」「武士は、算盤を習え」「義理合一」について、日本経済のグランドデザイナーとして結果を残された「渋沢栄一翁」の「日本式経済論（道徳と経済）」を持論も含め分かり易く説明され、相対する「岩崎弥太郎翁」との関わりについても講話を頂きました。

この講話につきましては、今回出席された会長エレクト、次期幹事の方々がクラブ運営、特に「ロータリーの職業奉仕」について共感する所が有ったのではないかと感じております。

後半の会議において、各グループの次年度ガバナー補佐により所信表明を述べられた後、次年度地区幹事による地区運営、次年度地区会計長による地区会計について報告され、次年度米山記念奨学委員長「本多善彦氏」による「米山記念奨学事業」について、パワーポイントを使用し、分かり易く説明がなされました。

研修セミナーの講評として、2002～2003年度ガバナー隅田達男氏（伊万里ＲＣ）よりユーモアを交え、意義深い講評をいただきました。

引き続き行われました懇親会では、太田ガバナーエレクトの挨拶、﨑永ガバナーノミニーの乾杯でスタートし、御来賓・各クラブの出席者により賑やかに親睦を深められ、出席者全員によるロータリーソング「手に手つないで」の斉唱を行い懇親会の幕を閉じました。

今回のPETS運営に際し、御協力頂きました太田ガバナーエレクト始め、ガバナー補佐、地区役員、事務所スタッフの方々及び運営に当たられた唐津中央ＲＣ会員の皆様に感謝すると共に、今回のセミナーが参加されたロータリアン各々の所属されるクラブ運営の一助となる事を願いつつ、ペンを置かせていただきます。

皆様、ご苦労様でした。（感謝）

第４グループＩM開催報告

ガバナー補佐　**曽　我　文　雄**（伊万里西ＲＣ）

2014～2015年度のＩMは２月21日に開催の予定でしたが、会場の都合により22日に変更されました。その為、次年度の地区会議と重なり、宮﨑ガバナーや太田ガバナーエレクトにご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

今回のＩMは「ロータリーをもっと良く知ろう！」をテーマに掲げて、基調講演を伊万里ＲＣの隅田達男ＰＧにお願いしました。「私が学んだロータリー～ロータリーのあれこれ」と題してお話を戴きました。日本にロータリークラブが作られる切っ掛けは有田出身の福島喜三次氏がダラスで米山梅吉氏と出会うことから始まりました。当時の日本の状況や二人の人間性などユーモアを交えて１時間ほどお話をして頂きました。詳しいことは、間違ってはいけないので後ほど作成する報告書をご覧ください。

その後、「新しいロータリーの在り方を求めて！」と題して私が１時間ほど、日頃から疑問に思っていた事柄を皆さんに問いかけました。

１．2003年５月ＲＩ理事会は財政の非常事態を宣言して、2004年度から人頭分担金を３年間で34％値上げすることにしました。
ところがその値上げは10年間毎年続いているのです。2004年の人頭分担金は35ドル（１ドル112円）ＲＩ会員122万人として約47億８千万円です。2014年は54ドル（１ドル118円）で77億７千万円になります。54.3％も値上げしているのです！　どういう理由で、何時まで値上げを続けるのでしょうか？

２．日本人会員（88,500人）だけでも約５億６千万円を支払っています。（ガバナー寄付目標100ドルを入れると約16億円になります。）それなのに、どうして日本語（ロータリーの公用語）の決算報告書を作らないのでしょうか？

３．日本は三つのゾーンに分断されています。その為に、日本ロータリークラブ会長が存在せず、年度初め「ロータリーの友」の挨拶文は事務所代表理事が行っています。又、地区委員長の手引きやガバナー補佐の手引きには、日本独自の事業である米山奨学委員会のことは全く記載されていません！
何とかして、日本のロータリーが一つになることは出来ないのでしょうか？

その他疑問や矛盾を感じる事柄を論議する場が無いので、クラブに持ち帰って議論をして頂きたいとお願いしました。

懇親会はピアノとテナーサックスの柔らかい演奏で始まりました。賑やかな笑い声に包まれて、楽しい時間があっという間に終了しました。

ロータリー財団奨学生壮行会

ロータリー財団奨学・学友担当　**隅　　康　二**（佐賀西ＲＣ）

平成27年３月29日㈰、諫早市Ｌ＆Ｌホテルセンリュウにて、今年度のグローバル補助金奨学生に選ばれました朝重耕一君（医師：肺がんの研究でアメリカ・シンシナティの病院へ留学予定）の最終プレゼンテーションおよび出発前壮行会が開催されました。

宮﨑ガバナーはじめ、森地区幹事、佐伯次期幹事、山田財団委員長、西川補助金委員長、永尾資金推進委員長、溝口ポリオ委員長、有田カウンセラーおよび当委員会のメンバー４名（原田、喜多、岡田、隅）とガバナー事務局から宮田さん、富田さんの合計15名という多数の方々の出席を得ることができました。

奨学生によるプレゼンテーションは、原田担当委員が座長を務め、日本語で20分、英語で20分の構成にて進められました。内容は自己紹介にはじまり、第2740地区の紹介、肺がんという研究テーマに至るまで多岐にわたりますが、語学力はもとより内容もしっかり完成しており、実にたのもしい印象を受けました。第2740地区のロータリアンの皆様から喜捨して頂いた資金は、大いに生かされることと確信しております。

壮行会の途中にて、今年度第2740地区からイギリスへ派遣中の奨学生二人を訪問された西川委員長によるプレゼンテーションも行われました。お二人とも実によく勉強し、アクティブに活動されていますが、その反面、資金繰りなど生活の中では大変苦労されている現実が伝えられました。また有田カウンセラー（元奨学委員会委員長）にもフランスで同じような訪問と体験をされたことが語られました。出席者全員にとりましては留学の実情を深く理解することができ、これから出発する朝重君にはとても参考になる内容であったと思います。

朝重君は今月生まれたばかりの赤ちゃんも一緒に家族５人でまもなく出発されます。海外に留学する人々のパワフルさには改めて感服するところですが、くれぐれも本人ならびに家族の皆さんの健康を第一に、留学生活を楽しんできて頂きたいと全員から激励の声をかけられつつ散会となりました。

「米山奨学生終了式・歓送会」開催報告

地区米山記念奨学委員会委員　**牧　　文　春**（長崎西ＲＣ）

国際ロータリー第2740地区2014－2015年度米山奨学生終了式・歓送会が2015年３月15日㈰諫早Ｌ＆Ｌホテルセンリュウにて37名の出席のもと挙行されましたので、報告させていただきます。

出席者紹介時には今回ベトナムのヴォン・ヒェンミンさんはお母さんと弟さんの出席があり、最後にお母さんより感謝のご挨拶がありました。

本多委員長から奨学生の成長ぶり、カウンセラー、クラブへの労い、出前卓話への感謝を述べられ、奨学生への目的はお金だけではなく、人を育てることの大切さで絆を深めていただきたいとのお話でした。

宮﨑ガバナーは国との懸け橋になって欲しい、また台湾出身のＲＩ会長は米山奨学会について大変共感され、宮﨑ガバナーは台湾にてＲＩ会長より「余裕ができた時はお返しを」と言われ、東北義援金につきましては多大の金額を頂いているとの話をされました。

来賓の栗林米山副理事長は、世界平和への取り組みに米山奨学制度が設立され、世界平和に貢献、民族紛争、宗教紛争そしてまだ発展途上国の方々がまだまだ悲しい出来事が続くなか一日も早く奨学生を通じて世界に広めていただきたい。又ここでカウンセラーへの感謝を申し上げたい、カウンセラーは奨学生にとっては大きな支えであり、日本のお父さんであり、お母さんでもあります。物心両面で支えていただき本当に御礼申し上げます。

奨学生は進む道は異なっても培った友情、経験を宝として進んでいただきたい、最後に今後もカウンセラーと連絡を取り合ってほしい、行方不明の奨学生も居られるのでせっかくの出会いです。奨学生同士の輪も広げていただきたいとの祝辞がありました。

その後、カウンセラーへ感謝状の贈呈、米山奨学生への終了証書授与、ズォン　リンさんから学友会入会案内、写真撮影の後、歓送会が始まりました。

2015～16年度米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション報告

米山記念奨学会委員　**直　江　弘　明**（佐世保南ＲＣ）

４月４日㈯佐賀アバンセにて奨学生・カウンセラー研修を開催しました。

11時より地区委員会を開催し、13時から新規奨学生とカウンセラーのオリエンテーションをそれぞれ別室で行い、14時30分からカウンセラーと奨学生の引き合わせ式、その後合同オリエンテーションを行いました。

13：00	第１部　カウンセラーオリエンテーション	講師　大家和義
	新規奨学生オリエンテーション	講師　直江弘明
		学友会会長　ズォン・トゥイ・リン
14：30	第２部　合同オリエンテーション	総合司会　牧　文春委員
	カウンセラー・奨学生引き合わせ式	花島光喜 委員　八島弘直委員
15：00	開会	岩屋和俊委員
	国歌斉唱・ロータリーソング	
	奨学生へのお祝いの言葉	宮﨑清彰ガバナー
	米山奨学事業の意義	栗林英雄（米山奨学会副理事長）
	ＤＶＤ「広がれ！人づくりの輪」	
	今後の事業説明	本多善彦地区委員長
	奨学金授与	太田善久ガバナーエレクト
	奨学生バッジ授与	担当カウンセラーより
	激励の言葉	高城昭紀（米山奨学会評議員）
16：30	閉会	近藤祐子委員

2015－16年度は前年度から３名増の16名。中国、ベトナム、韓国、タイ出身の素晴らしい学生を採用することができました。皆様のご協力に心から感謝します。

第６回オリエンテーション並びに歓迎・観桜会報告

国際青少年交換委員会委員長　**佐　古　亮　景**（大村北ＲＣ）

３月22日に本経寺に於いて、オリエンテーションを開催致しました。

１月17日にオーストラリア第9685地区より島原南ＲＣに来たClaudia Andrews嬢の歓迎会と観桜会を兼ねて行われました。

先ず枝垂れ桜の下で、桜を観賞し記念撮影等をして楽しんでいました。

その後中島統括委員長の乾杯の音頭で歓迎会が始まり、差し入れして頂いた食べ物や委員会が用意した食事を堪能し、皆腹いっぱいになりました。

続いてオリエンテーションを開催し、先ずClaudiaが日本語のスピーチを大分練習したのでしょう上手にしてくれました。又、各来日学生も日本での生活も半年を越え、日本語も上手になり冗談を交えて日本語でのスピーチをしました。その間派遣学生予定者は、英語を取りまく環境の変化によりGeoff地区委員による英語のテストを今回より導入して貰いました。その後、派遣学生予定者のパワーポイントを使っての英語でのスピーチ練習をし、英語のチェックやパワーポイントの修正を皆で提案をしました。そこでよりよい30分間のスピーチを作る様に支持しました。

又委員長より派遣学生には、申請書の早期作成や、来日予定学生の申請書等の早期作成も依頼し、来日学生に対しては、５月に行われる地区旅行の説明をしました。

来日学生には、日本での生活を楽しんで貰い、派遣予定学生には、英語の上達に更に励んで、派遣まで頑張って貰いたいです。

国際ロータリー青少年交換学生募集

あなたも若き親善大使になりませんか

◆ロータリーは世界各国と年間7,000余名の留学生を交換しています。
◆留学前の１年間来日学生・帰国学生と共に準備をします。(参加必須)
◆１年間ホームステイをし、現地の学校に通います。
◆食費・小遣い・学校関係費用等　滞在費はホストロータリークラブから支給されます。

派 遣 先　アメリカ・カナダ・ブラジル・オーストラリア・フランス等

派遣期間　１年間　派遣国によって出発時期が異なります
〈オーストラリア：2016年１月出発〉〈北アメリカ・ヨーロッパ７・８月出発〉

応募資格　佐賀・長崎県内居住者　2016年出発時15歳以上18歳６カ月未満の学生

費　　用　⑴　往復の旅費・保険料・ＶＩＳＡ取得費用
⑵　諸経費（ＲＯＴＥＸ入会費等）

応募方法　応募はお住まいの近くのロータリークラブを通じて行います。
最寄りのクラブは下記のガバナー事務所にお問い合わせください。
応募書式は第2740地区ホームページでダウンロードできます。

選考試験　〔第１次試験〕面接
※日時は各ロータリークラブにより異なります。
最寄りのロータリークラブの推薦が必要です。
〔第２次試験〕筆記・面接
日時：５月31日㈰　13：00～
場所：本経寺
〒856-0822　大村市古町１丁目64番地

書類提出先　2015－16年度　ガバナー事務所
〒847-0012　佐賀県唐津市大名小路1-54
TEL：0955-72-5375　　FAX：0955-72-5376

2015年５月15日　必着

問い合わせ先：国際ロータリー第2740地区　2015-16年度ガバナー事務所
〈最寄りのロータリークラブにお問い合わせください〉
http://www.d2740.org/yep/

コーディネーターニュース2015年４月号

「ロータリーの戦略計画は、クラブの活性化のため！」～衛星クラブのご紹介～

第２ゾーンロータリーコーディネーター補佐　**都　筑　文　男**

去る２月５日北清治、杉谷卓紀ＲＩ理事主催にて「国際ロータリー・日本ロータリーチーム会議」が開催されました。地域別会員増強計画プロジェクトリーダー辰野克彦様をはじめ各ゾーンのロータリーコーディネーター（ＲＣ）、ロータリー公共イメージコーディネーター（ＲＰＩＣ）、ロータリー財団地域コーディネーター（ＲＲＦＣ）、及びその補佐、恒久基金／大口寄付アドバイザー（ＥＭＧＡ）、研修リーダーが一堂に会し日本ロータリーチームメンバーの地区及びクラブへの支援についてディスカッションをしました。私なりにまとめましたのでご報告致します。

- ロータリー戦略計画は会員増強だけが目標の様に間違って理解されている
- ロータリー戦略計画はクラブの活性化及び強化の指針であり強いクラブ作りに不可欠である
- ＲＣ、ＲＰＩＣ、ＲＲＦＣ、ＥＭＧＡ等の認知度が低く、もっと各地区がコーディネーター、アドバイザーを積極的に活用してほしい（会員増強セミナー、会員研修セミナー、ＰＥＴＳ、地区研修・協議会等へ）
- 各リーダーが任期１年の弊害を排除し、地区もクラブも３～５年の戦略計画（長期の活動計画）を作成してほしい（３～５年後のクラブのビジョンを全員で描く）
- クラブの戦略計画の立案や遂行には、直前会長、会長、会長エレクト、会長ノミニーの連携が重要であり、これによりクラブ・リーダーシップ・プラン（ＣＬＰ）も推進できる
- 地区に「戦略計画委員会」を設置し、また、この委員会がクラブの戦略計画委員会（仮称）または、研修委員会をサポートし、クラブの活性化を援助して欲しい
- Ｅクラブや衛星クラブの設立により会員増強を推進してほしい

これらを参考に地区やクラブに合った戦略計画を立案していただき更に活気のある楽しいロータリークラブにしましょう。

ここで衛星クラブについてご紹介致します。2013年規定審議会制定案13－32にて採択された新しいクラブの形です。2013年手続要覧（４ページ）には以下のように掲載されています。「ロータリー衛星クラブ（Rotary Satellite Clubs）は、いわば「クラブの中にあるクラブ」（潜在的クラブ）である。衛星クラブの会員は、そのスポンサークラブの会員でもある。衛星クラブは、スポンサークラブとは別に例会を開くが、通常のロータリークラブの規則に則って運営されなければならない。」衛星クラブは、新しいロータリークラブを立ち上げたいが、創立会員候補を20名すぐに集めるのは困難なため、少人数（最低８名）でスタートした後、時間をかけて通常のロータリークラブへと育てたいという時に作ります。そのため例会時間や年会費など入会のハードルを低く設定でき若い会員候補の入会が促進できます。衛星クラブ会員は、通常のロータリアンと同等の義務を負いまた、権利も与えられています。会員数が20名を超えても「加盟認証」を必ずしも受けなければならないということでなく、この形態でクラブを運営できる期間にも制限はありません。現在、世界で113クラブ（３月10日現在）が誕生し、日本の第１号は東京多摩ＲＣをホストに2014年６月６日認可された「東京多摩せいせき衛星クラブ」（会員数18名、３月10日現在）です。会員増強に衛星クラブやＥクラブの結成もご検討ください。

「ロータリーの友」だより

「ロータリーの友」地区代表委員　**杉　原　宏　一**（諫早北ＲＣ）

皆さんご承知のように４月は雑誌月間でした。「ロータリーの友を読む」ことは、「会費を納入すること」「例会に出席すること」とならんで、ロータリアンとしてしなければならない３つの義務とされています。

４月号ではＲＩ会長メッセージ（３頁）として、黄会長が「ロータリーの雑誌を分かち合おう」という言葉で呼びかけられました。それがなぜ必要かというと「雑誌がこれまでもそうであったように、今なおロータリーについての言葉を広めるのに最も良い方法の一つであるから」と述べておられます。

ＲＩの公式雑誌は「The Rotalian」(1911年創刊）一つですが、それは英語版なので、現在では31地域、24カ国語の地域雑誌として発刊されています（８、９頁に詳細)。これらを総称して「Rotary World Magazine Press」と呼んで、世界のロータリアンは全てこれらの雑誌によってロータリーを認識しておかなければならないということです。

Rotary World Magazine Pressの雑誌

４月号の第2740地区発信の記事を紹介します。

◎「ROTARY AT WORK」(写真編)

「ランブリング同好会、島原街道に挑戦」諫早ＲＣ（53頁）

ランブリング同好会が第３回島原街道ランブリングを実施。島原鉄道西郷駅から有明海沿いに大三東駅までの11㎞を歩いた。参加者16名。

この同好会の記事は、８月号の「会員増強拡大月間の特集・ロータリーを楽しもう」でも取り上げられ、今年度２回目の掲載で盛り上げてもらいました。

◎「ロータリー俳壇」入選（56頁）

伊万里西ＲＣ　　田　中　南　嶽　氏（７月号、10月号に続いて３回目）

2015年２月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				７月１日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	76.4	58	0	66	0	0	0	0	8
	小城	3	75.6	19	2	25	2	1	0	1	6
	牛津	4	72.5	28	0	30	0	0	0	0	2
	多久	4	87.8	36	6	39	5	0	0	0	3
	佐賀大和	3	61.9	24	3	21	3	0	1	−1	−3
	小計		74.8	165	11	181	10	1	1	0	16
第2グループ	佐賀西	4	87.9	39	0	41	0	0	0	0	2
	佐賀北	3	69.6	41	3	41	3	0	0	0	0
	佐賀南	4	83.0	36	2	39	2	0	0	0	3
	神埼	4	89.2	36	3	37	3	0	0	0	1
	佐賀空港	3	76.0	15	1	15	1	0	1	−1	0
	小計		81.1	167	9	173	9	0	1	−1	6
第3グループ	有田	4	74.1	33	0	34	0	0	0	0	1
	武雄	4	93.3	52	4	51	4	0	1	−1	−1
	鹿島	4	81.3	44	3	40	3	0	0	0	−4
	嬉野	4	82.1	24	1	23	1	0	1	−1	−1
	大町	4	68.8	15	0	16	0	0	0	0	1
	白石	3	72.2	8	0	6	0	0	0	0	−2
	太良	4	90.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		80.2	186	8	180	8	0	2	−2	−6
第4グループ	唐津	4	89.6	55	0	56	0	0	0	0	1
	伊万里	3	100.0	27	0	30	0	0	0	0	3
	唐津東	3	85.6	53	0	55	0	0	0	0	2
	唐津西	3	90.0	30	0	33	0	0	0	0	3
	伊万里西	4	91.8	45	0	47	0	1	0	1	2
	唐津中央	4	88.2	32	4	34	4	0	0	0	2
	小計		90.9	242	4	255	4	1	0	1	13
第5グループ	佐世保	4	100.0	74	0	74	0	0	0	0	0
	平戸	4	82.1	39	4	39	4	0	0	0	0
	佐世保西	4	93.5	22	1	24	2	0	0	0	2
	北松浦	4	93.9	24	0	25	0	0	0	0	1
	松浦	4	88.5	26	1	26	1	0	0	0	0
	小計		91.6	185	6	188	7	0	0	0	3
第6グループ	佐世保南	4	100.0	73	1	76	0	0	0	0	3
	佐世保東	4	96.4	23	0	22	0	0	0	0	−1
	佐世保北	4	97.1	43	0	46	0	1	0	1	3
	佐世保中央	4	100.0	43	1	45	1	0	0	0	2
	佐世保東南	3	87.0	21	0	23	0	0	0	0	2
	HTB佐世保	4	91.6	20	3	21	3	0	0	0	1
	小計		95.4	223	5	233	4	1	0	1	10
第7グループ	大村	4	90.1	48	3	49	3	1	0	1	1
	島原	4	70.5	27	2	26	3	1	0	1	−1
	雲仙	4	88.5	28	1	26	1	0	0	0	−2
	大村北	3	100.0	23	0	23	1	0	1	−1	0
	島原南	3	67.0	21	1	23	1	0	0	0	2
	大村東	4	81.2	41	4	40	4	1	0	1	−1
	小計		82.9	188	11	187	13	3	1	2	−1
第8グループ	諫早	4	85.2	63	0	66	0	0	1	−1	3
	諫早北	4	79.5	66	3	66	3	1	0	1	0
	諫早西	3	97.3	38	0	39	0	0	0	0	1
	諫早多良見	4	92.0	40	0	37	0	0	0	0	−3
	諫早南	4	77.1	24	4	24	5	1	0	1	0
	小計		86.2	231	7	232	8	2	1	1	1
第9グループ	長崎	3	95.8	82	0	83	0	1	0	1	1
	福江	4	95.2	34	0	35	0	0	0	0	1
	長崎北東	4	84.8	38	5	39	5	0	0	0	1
	福江中央	3	97.5	26	0	28	0	0	0	0	2
	長崎西	4	88.8	56	0	57	0	0	0	0	1
	長崎琴海	4	70.3	16	1	16	1	0	0	0	0
	小計		88.7	252	6	258	6	1	0	1	6
第10グループ	長崎北	4	88.1	78	0	80	0	0	0	0	2
	長崎南	3	82.8	76	0	77	0	0	0	0	1
	長崎東	4	85.5	44	1	48	4	0	0	0	4
	長崎みなと	4	82.2	23	1	26	1	0	0	0	3
	長崎中央	3	96.0	61	0	60	0	0	0	0	−1
	長崎出島	4	90.0	55	11	55	11	0	0	0	0
	小計		87.4	337	13	346	16	0	0	0	9
57クラブ合計			86.0	2,176	80	2,233	85	9	6	3	57

＊上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
７月１日から2015年２月末までの増減です。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。　※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

佐賀西ＲＣ
門谷　聡一 君
佐賀ガス㈱
代表取締役社長

佐賀西ＲＣ
細渕　将邦 君
㈱ドコモＣＳ九州佐賀支店
支店長

伊万里西ＲＣ
杉谷　明人 君
九州産業㈱
常務取締役

佐世保北ＲＣ
公門　新治 君
フラワーデザインスタジオ フローレ
デザイナー

大村ＲＣ
野﨑　信爾 君
九州ガス㈱大村支店
支店長

島原ＲＣ
谷口　聖子 君
谷口モータース
副社長

大村東ＲＣ
林　　高明 君
㈲林塗装工業
代表取締役

諫早北ＲＣ
秋島　圭伸 君
㈲アキシマパッケージ
代表取締役

長崎ＲＣ
才木　邦夫 君
㈱長崎新聞社
代表取締役社長

お詫びと訂正

月信４月号に誤記載がありました。
ここに訂正し、お詫び申し上げます。

訂正：８頁　2015年１月会員数・出席報告

（誤）福江ＲＣ　例会数　**１回**

↓

（正）福江ＲＣ　例会数　**４回**

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	前　田　一　彦	佐世保南
マルチプル・ポール･ハリス･フェロー	富　永　正　嗣	武　　雄
	円　田　　昭	佐 世 保
	髙　木　　栄	大 村 東
	宮　﨑　清　彰	諫 早 北
	坂　井　秀　之	長 崎 北
ポール･ハリス･フェロー	池　田　人　昭	有　　田
	才　津　光　寛	福　　江
ベネファクター	直　江　弘　明	佐世保南

米山記念奨学会

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル	木　村　暢　義	諫 早 西
	小　川　春　彌	長 崎 南
功労者	円　田　　昭	佐 世 保

文庫通信 (331号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報抜粋

◎「ロータリー東日本震災復興基金日本委員会活動報告」 黒田正宏編集　2014　47p
◎「街を流された方々を診て…」 畑山　徹 〔2013〕 4p（D.2830地区大会記録誌）
◎「ロータリアンとは　その１～３」 深川純一　伊丹R.C.　2014　3p（純ちゃんのコーナー PartXⅢ）
◎「ロータリーを輝かせる為には」 朱　秋龍　2015　10p（D.2710地区大会特集号）
◎「国際ロータリーにおける中央集権と地方分権」 直木太一郎　1971　3p
◎「『職業奉仕』は菩薩の両願」 塚原房樹　2015　1p（D.2510月信）
◎「そして賽は投げられた」 久野　薫　2015　1p（D.2680月信）
◎「『職業奉仕』の10分スピーチ」 新藤信之　2014　2p
◎「職業奉仕の森」 鈴木一作　13p
◎「ロータリーの倫理的行動指針の変換」 柿沼利明　2012　1p（古河東R.C.週報）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

「本明川と飛び石」

「飛び石」を辞典で引いてみると、「伝い歩けるようにとびとびおいた庭の石」とある。つまり、間隔をおいて並べられた石の状態である。しかし、諫早の人々に質問するならば、おそらく川を渡る便利な近道とでも返事が返ってきそうである。

古い諫早の写真集を開いてみると、嘗て本明川には二カ所にこの飛び石が敷設されており、交通路としても重要な役割を果たしていた。その他、この石の間を勢いよく流れ下る清流で、主婦たちは持ち寄った家族の洗濯物を洗う、洗い場として役立っていたようである。

大人の歩幅では普通に渡れるこの間隔が、子供の足では相当の勇気が要るもので、雨後水量が増してほとばしりながら渦巻く川の中を、この石を飛び越えてゆくのに恐怖を覚えた方も多い事だろう。

今は河川工事が遊歩道の整備などにも力を入れ、市民の憩いの場となり、各所に同じ目的の飛び石が造られて両岸の往き来がとても便利になっている。

母なる川、本明川の清い流れと直に触れ合うことができる唯一の場所とも言える。川への愛着もわいてくる飛び石の効用に期待している。

ふるさと思い出写真集 諫早より

本明川の清流と飛び石

諫早公園への近道？

編集後記：今年３月、ドイツ航空会社の旅客機がフランスの山中に墜落し、多数の人命が失われる大惨事が起きた。様々な人生を背負いながら事故機に乗り合わせた人々は、逃れようのない死という運命を共にすることとなった。避けがたい死が直前に迫った時、人の脳裡には一体何が過るのだろうか。

「特攻」という死を覚悟で愛機に搭乗し、祖国の為に命を捧げた若い魂の手記を展示した鹿屋航空基地資料館がある。宮﨑ガバナーはこの手記に接し、感涙にむせったとのことである。

この二つの航空機による死はその本質は異なるけれど、先の疑問に対する鍵が隠されてはいないか。死の危機迫る極限の中でその最期を悟り、愛する者への感謝と惜別の言葉を探すのではと推測される。明日はなき身と思いながら、常に感謝と労わりの心をもって、周囲の人々と接してゆきたいものである。

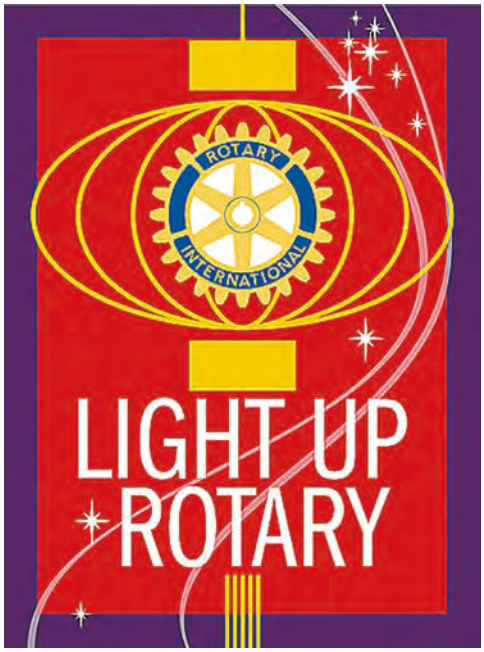
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮﨑　清彰

Vol.12
2015.6.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

コスモス花宇宙館

この建造物を見ると、まずＵＦＯを連想する人もあるだろう。白銀に輝くこの建物は白木峰高原にある施設の一つで、宇宙観測ができる科学博物館と言って良い。屋上には天体望遠鏡が備えつけられており、流星群で天体ショーが始まる時期には、大勢の人たちで賑わうのである。また、この館内には長崎県出身の画家、荒木幸史氏のコスモスの作品が常設してあり、コスモスの咲く時期でなくとも美しいコスモスの花々に会うことができる。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
2015－2016年度地区研修・協議会報告……5
ガバナー補佐 退任挨拶 ……6
地区委員長 退任挨拶 ……11
退任挨拶……18
ロータリーの友だより……19
コーディネーターニュース５月号……20
コーディネーターニュース６月号……21
2015年３月会員数・出席報告……22
新入会員紹介……23
寄付者紹介……24
ロータリー文庫通信……24
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

「感謝に心を込めて」

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　﨑　清　彰

太田ガバナーエレクトは１月にサンディエゴでの国際協議会に出席、元気に帰って来られました。次期ＲＩ会長のテーマの説明を受け、これから地区の皆様への説明をされていかれる訳です。

早速２月には地区チーム研修セミナー、３月にはＰＥＴＳ、４月には地区研修協議会を出身地唐津で開催されました。

いよいよ７月からの太田ガバナー誕生の準備が着々と進められ、大変嬉しく思います。１年前の事を思い出すと本当に昨日の様な感じがします。私自身体調を崩していたので無理せず、あせらず、と常に心に決め皆様のご協力をいただきながら無事引き継ぎが出来る状態になってきたと安堵しております。太田ガバナーは若い頃から呼子で海の男として、大きな声と大きな鍛えられた体格の持ち主なので病気は心配ないと思いますが、くれぐれも体に気を付けて第2740地区をよろしくお願いします。

３月号の月信に『つもりちがい十カ条』を書かせていただき、その時本屋に求める本がなかったのでお持ちの方はご一報をと書きました。早速に数名の方からアマゾンに数冊ありそうなので連絡してみて下さいとメールをいただき誠にありがとうございました。紙面を借りましてお礼を申し上げます。早速手に入れることが出来大変喜んでおります。実はこの『つもりちがい十カ条』を送っていただいた恩師村田昭治名誉教授が４月16日に82歳で永眠され大変残念ですがご冥福をお祈りします。５月９日ゼミの教え子達が大勢集まり三田山上にてお別れの会を開きました。日本のマーケティングの代表的な先生でしたので一つの時代が終わった思いでした。先生から数多くの事を教えていただき感謝に感謝です。

先生は若い頃ハーバード大学ビジネススクールに留学され、その建学の精神をよく話してくれました。

①Open Mind（外に開かれた心）②Tender Mind（優しい心）③Tough Mind（自分にきびしい心）

この三つの心を大切にしていきたいと思います。

先生のモットーは人生に哲学、仕事・研究に科学を、人間に愛をでした。私自身先生に名刺の裏に書いていただいたものを今も大切に持っています。

ある会員より『つもりちがい十カ条』を読みました。とてもよかったので拡大コピーして自分の事務所に掲げています。ということで大変嬉しい報告を受けました。

「思いやりや親切な情報はいくら振りまいても損をするものでも減るものでもない。ますます自分が学びつづけねばという気持ちを高めてくれる」（福沢諭吉）

この心はロータリーにも相通じるものがあります。

戦後70年たって太平洋戦争で亡くなった人たちを追悼するため、天皇・皇后両陛下が４月８～９日、西太平洋の島国パラオを訪問されました。ちょうど私達同期のガバナー達が先日会って今年中にパラオに行こうと話しあった事でした。天皇陛下が2009年に述べられた言葉があります。これから先は長崎新聞の引用です。

「私がむしろ心配なのは、次第に過去の歴史が忘れられていくのではないかということです。過去の歴史的事実を十分に知って未来に備えることが大切だと思います」歴史を直視して初めて確かな未来が築かれる。胸に響くメッセージだ。戦後の歳月は戦争の記憶の風化、忘却の歳月であった。あれほどの悲惨が忘れられようとしている。戦争を知らない世代も増えてきた。悲しい風潮を眺めつつ、天皇は「忘れては

ならない」と訴え続けてきた。硫黄島、長崎、広島、沖縄、サイパン島などへの慰霊の旅からその思いがひしひしと伝わる。戦後70年目の節目に、天皇、皇后両陛下が太平洋戦争の激戦地パラオのペリリュー島を訪問、戦没者慰霊碑の前で深々と頭を下げ、哀悼の意を捧げられた。米軍犠牲者の碑にも足を運んで追悼された。前日には「先の戦争で亡くなった全ての人々を追悼したい」と述べられた。世界恒久平和の訴えだ。パラオの青い海に向かって犠牲者を偲ばれる高齢の両陛下のお姿が「忘れてはならない」、すなわち「決して繰り返してはならない」と強く強く訴えている様に感じられてならなかった。(2015. 4 . 10「水や空」より)

多くの国民がそう思ったに違いない。改めて世界の恒久平和を願わずにいられない。戦後70年目の節目、いろいろな事を考え行動していかなければなりません。国際ロータリーも発足から110年の歴史を刻み、まさにそうだと思います。

最後に第2740地区(佐賀、長崎)の57ロータリークラブを歴訪して感じる事は、この地区が地理的にも歴史的にも海外に開かれた港湾を持ち、門戸を開いて貿易や友好親善を続けてきた経緯が今もその根底にあって、九州の西端にありながら侮りがたい存在だということです。この魅力的なガバナーというまたとない機会に挑戦してみようという人材の出現に期待したいものです。一人一人のロータリアンに心から感謝申し上げます。

ガバナー年度が終わるとガバナーはパストガバナーと呼ばれ、年に4回か5回開かれるこの地区(第2740地区)のガバナー諮問委員会のメンバーとしてガバナーからの報告事項を聞いたり地区のことをいろいろ話しあったりします。国際ロータリーは今年110周年を迎えますが、皆様よくご存知の当地区のパストガバナーの皆様を改めて写真でご紹介いたします。大変お世話になりありがとうございました。

逸見嘉彦ＰＧ
(1983～84年度)　宮﨑清彰Ｇ
(2014～15年度)

宮島傳兵衛ＰＧ
(1993～94年度)

野﨑元治ＰＧ
(1998～99年度)　宮﨑清彰Ｇ
(2014～15年度)

宮﨑清彰Ｇ（2014～15年度）　高城昭紀ＰＧ（2009～10年度）

安部直樹ＰＧ（2003～04年度）　栗林英雄ＰＧ（2004～05年度）　隅田達男ＰＧ（2002～03年度）
武井洋一ＰＧ（2000～01年度）　佐古亮尊ＰＧ（1995～96年度）

栗林英雄ＰＧ（2004～05年度）　隅田達男ＰＧ（2002～03年度）　田口　厚ＰＧ（2006～07年度）　市瀬久米嘉ＰＧ（1994～95年度）
塩澤恒雄ＰＧ（2013～14年度）　宮﨑清彰Ｇ（2014～15年度）　野口　清ＰＧ（2007～08年度）

福元裕二ＰＧ（2012～13年度）　宮﨑清彰Ｇ（2014～15年度）

野口　清ＰＧ（2007～08年度）　高原武彦ＰＧ（2010～11年度）　岩永信昭ＰＧ（2011～12年度）　本城好春ＰＧ（2005～06年度）

2015－2016年地区研修・協議会報告

地区研修・協議会実行委員長　**川　添　　晃**（唐津ＲＣ）

国際ロータリー第2740地区、2015－2016年地区研修・協議会が４月19日日曜日小雨の中、唐津シーサイドホテルで開催されました。佐賀・長崎地区の57ロータリークラブの次年度の役員、地区10グループのガバナー補佐、パストガバナーを始めとして、地区の役員を含め約400名の会員をお迎えして、地区研修・協議会は無事終了しました。昨年４月27日諫早市での研修・協議会を拝見して以来、唐津ロータリークラブは開催に向け準備を進めて参りました。今回、宮﨑ガバナー、太田ガバナーエレクトを迎え、Ｋ．Ｒ．ラビンドランＲＩ会長「世界へのプレゼントになろう」をテーマに無事地区研修・協議会を終了することができ、会員皆様のご協力に感謝いたします。冒頭、太田ガバナーエレクトは「地域へのプレゼントになろう」と唱えられ、また、基調講演は2012～2013年度福元裕二ガバナーにより「ロータリーは地域とともに」のテーマで講演をお願い致しました。全体会議終了後、７部会に分かれそれぞれ会長部会･幹事部会･クラブ奉仕部会・職業奉仕部会・社会奉仕部会・青少年奉仕部会・国際奉仕ロータリー財団部会での研修を行いました後、全体会議に戻り、「次年度地区運営について」佐伯次年度幹事、「次年度地区予算について」小島次年度会計長の報告、講評が宮﨑ガバナーにより行われ、地区研修・協議会は日程を終了致しました。引き続き会場を移動しての懇親会は、唐津出身の西村美和さんの二胡の演奏から始まり最後まで楽しいひと時を過ごす事が出来ました。今回の地区研修・協議会で新しく始まる、各クラブの役員の方の研修と親睦の場の提供ができればと思い、また、皆様にとって実りある会議、研修協議会となりますよう心がけて参りました。今後の各クラブの益々の発展を祈念いたします。　　……船出の時は今……

ガバナー補佐 退任挨拶

第１グループ ガバナー補佐 **西岡　健次**（牛津ＲＣ）

第１グループガバナー補佐の大役を、緊張と不安の中で引き受けさせていただき早１年が過ぎようとしております。思い返せば“あっ”と言う間でございました。そして、この１年は私がロータリー会員として歩んできました30余年の中で一番大切で、貴重な１年であった様に思えます。

第１グループの皆様方の温かいご支援・志を同じくし、奉仕活動を積み重ねてまいりました中で培った真摯なる友情に支えて頂いたことは何よりの私の財産でございます。生涯に於いて決して忘れることの出来ない体験でした。

この期間中グループ内、それぞれのクラブを訪問させて頂きましたが、緊張の中にも和やかな雰囲気で迎えてもらえ、私自身少しずつ落ち着き、安堵することもございました。私自身のロータリー歴は長いのですが「もっと真剣にすべてにおいて対処していれば良かった。もっと学び・奉仕活動を実践していれば良かったのに……」との悔やみと反省の月日でもございました。

しかしながらガバナー補佐として活動する中でロータリアンとしての考え方に変化が生じてまいりました。出会いに感謝し、謙虚に人と接すること！　常にロータリー精神に誠実に忠実であろう。人生は常に学び合いから生じる向上心、等々です。

宮﨑ガバナーと共に行動させて頂きました５クラブへの公式訪問・諫早文化会館に於いて開催されました地区大会･「ロータリーに輝きを」今年度のテーマを大きく掲げ私たちロータリアンが一堂に会し、実り多きプロジェクトに出会いました。参加することにより生じる高い奉仕目標への意欲が湧いてまいりました。

27年度３月開催されました第１、第２グループ合同インターミーティング（ＩＭ）では佐賀南クラブの地区職業奉仕委員長・駒井英基氏による「ロータリーの基本的な考え方」の基調講演を拝聴させていただきました。国際的奉仕団体のロータリーは素晴らしい団体である事。そのロータリーの活動の柱を成す五大奉仕の中でも職業奉仕は特別な特徴のある奉仕部門であること等をわかりやすく真剣にお話しくださいました。魅力あるロータリーへ高め合う努力をしましょうと呼びかけても下さいました。一人一人の会員が常に理念、目的意識を持ち、精進することの大切さを問われている様で心に残り意義ある地区大会となりました。

最後になりますが、宮﨑ガバナーをはじめとする国際ロータリー第2740地区役員団の皆様、そして第１グループの会員の皆様のお支えと信頼を力にこの１年間を完走できました。心より感謝申し上げ、退任の挨拶といたします。

本当にありがとうございました。

第２グループ ガバナー補佐 **北島　恭一**（佐賀南ＲＣ）

宮﨑ガバナーのもとで、テーマ「ロータリーに輝きを」に出会い、私自身が燃え輝くこと「情熱は人を動かす」を誓ってスタートしました。

クラブ協議会、公式訪問でまず初めに感じたことは地域に根ざした社会奉仕活動やクラブ運営・親睦に熱心に取り組まれていることを知りました。ロータリーの原点は個々のクラブにあり、それぞれの歴史・伝統そして独特の雰囲気を学ぶことが出来ました。

然しながら社会奉仕活動や親睦を深めても、各クラブでは会員増強に常にご苦労されています。努力して新しい会員を勧誘してもロータリーとは何をするところか分からないという理由で新会員の１／３は５年以内に退会されるのが現状です。

最近クラブでは新会員を教育する機会が持てない場合があり、又忘れかけたことは時々に復習することも必要だと感じ、主催するＩＭで他の奉仕団体にないロータリー独自の職業奉仕と「未来のプロジェクト」と呼ばれるロータリー財団の新たな仕組みを学ぶことにしました。

テーマは「今後のロータリーについて考えてみよう」と決めました。

幸いに地区内では最高の布陣である駒井英基職業奉仕委員長、山田晃ロータリー財団委員長から講師の快諾を得て、「ロータリーの基本的な考え方」「ロータリーの奉仕の実践」～ロータリー財団を活用しよう～の演題でロータリーの目的や魅力を解りやすくご講演いただきました。

出席した会員の方々はロータリーの原点を見つめる絶好の機会となり、今後の活動の支えにしていただければ幸いです。

最後になりましたが、１年間お世話になりました第２グループの皆様方、ＩＭ開催を始めサポートしていただきました佐賀南クラブ会員の皆様有難うございました。心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐 退任挨拶

第３グループ ガバナー補佐 **富永　正嗣**（武雄ＲＣ）

第３グループガバナー補佐の富永正嗣です。退任するに当たりご挨拶を申し上げます。振り返ってみますと、ガバナー補佐を引き受けたのは2013年９月でした。翌年１月25日にホテルグランドパレス諫早で開催された、次年度ガバナー補佐研修会がガバナー補佐としてのスタートでした。その後の地区研修セミナー、地区研修･協議会、新旧ガバナー補佐会議などに出席いたしました。2014年７月１日がガバナー補佐としての正式なスタートでした。７月から10月までは各クラブへ就任挨拶、クラブ協議会の実施、宮﨑ガバナーの公式訪問への同行、ＩＭの開催と多忙で少々緊張の日々でした。

第３グループのクラブ数は７クラブあり、第2740地区の10グループのうちクラブ数は最多ですが、会員数は10グループのうち９番目となっています。第2740地区57クラブのうち、会員数の順位が55位から57位までの３クラブは第３グループです。第３グループは実質５クラブの規模です。統廃合を検討する時期が訪れたように思います。

宮﨑ガバナーの地区目標である各クラブ会員数純増２名以上について最も苦戦したのが第３グループだったと思います。各クラブともそれぞれ事情をかかえながらも努力をしてくれたと思います。会員数が最多であった1996年11月末と比較して２／３まで会員数が減少しました。前年度より減少から脱出し増加に転じてはいますが、会員の高齢化が進むことにより、病気や体力の減退などの理由で退会する方が増えています。純増２名以上は少々ハードルが高いと思います。しかし、クラブの維持や活性化のためには会員の増強が必要です。これからも会員増強を第一の重点目標として推し進めることが必須だと思います。

ガバナー補佐を引き受け少々は苦労しましたが、今までにない経験ができ人間として少しは成長したようです。もし、あなたにガバナー補佐への推薦があったら引き受けて下さい。経験して良いこともあります。

この１年間ご支援をいただきましたことに感謝いたします。

第４グループ ガバナー補佐 **曽我　文雄**（伊万里西ＲＣ）

ガバナー補佐として何を為すべきか、試行錯誤しているうちに、１年が終わってしまいました。

私は以前から国際ロータリーの資金運用に疑問を抱いていました。その疑問をＩＭのテーマに取り上げました。「国際ロータリーが奉仕の理想を鼓吹していながら、2002～2003年度からＲＩ会長に３年間で22万ドルを支払うことを承認した（世界中のロータリアンが反対して１年で取止めた）。しかし2003年には財政の非常事態を宣言した。今回も投機に失敗して数千万？ドルもの損失を出したためだ」と聞いているからです。

その為に人頭分担金が35ドルから47ドルへ（34%）引き上げられました。会員122万人として4,270万ドル（47億8,200万円）⇒5,734万ドル（64億2,200万円@￥112）になりました。ところが、それで止まらず2008年度から毎年１ドルの値上げが続いており、今年は54ドル・6,588万ドル（77億7,400万円@￥118）になっております（10年間で54%ＵＰ）。その金がどの様に使われており、何故、値上げを続けなければならないのか、全く解りません。なぜなら、決算報告書も無いし、詳しい予算書も無いからです。

これは2009年橋下大阪府知事が国直轄事業負担金を巡り、国土交通省にたいして“ぼったくりバー”みたいだ！と発言した問題とよく似ていると思います。国交省の負担金請求書には明細が書いて無かったのです。それだけで無く、全く関係のない費用まで入れ込んでいたのです。これについて金子国交相も「“ぼったくり”というのも無理はないと思います」と発言しています。

我々は国際ロータリーが何度も資金運用に失敗しては、そのつけを世界の会員に押し付けることは、いい加減に止めてほしいと思っています。その為にも各クラブが理事会に於いて「明確な計画書も提示されない人頭分担金の値上げには反対する決議書」を作り、地区の担当ＰＧから国際ロータリーへ提案して頂きたいと思っています。

１年間ご協力戴いた地区会員の皆様に、心からお礼申しあげます。

有難う御座いました。

ガバナー補佐 退任挨拶

第５グループ ガバナー補佐 中野　浩（平戸ＲＣ）

ガバナー補佐拝命後、一番の収穫は多くの人との出会いでした。おそらく200人近い人と名刺交換をした事です。すべて記録に取り何時・誰と・何処で・会ったかを出来るだけ写真と共にエヴァーノートに残しました。

この出会いは仕事以外の出会いですから、私にとって貴重な財産になりました。

各クラブへの訪問も貴重な体験でした。松浦クラブ・北松浦クラブとは比較的交流が有り、それだけにお互いに信頼感があり、温かく迎えて戴きました。佐世保クラブ・佐世保西クラブにも勿論、大変友好的に迎え入れて戴きロータリアンの素晴らしさを実感する事が出来ました。

大した覚悟も無く就任受諾をしてしまい、内心不安が有りましたが、皆様方の心温まる歓迎を受けたことに、今更ながら感謝感激をしております。

宮﨑ガバナーの公式訪問も、すべて恙なく終了致しました事は、私にとって最も嬉しい事でありました。

宮﨑ガバナーは就任前お身体を壊し、私も心配しておりましたが、朗々としたそのお声を聞き、心配も一気に吹き飛んだ感じでした。宮﨑ガバナー、森地区幹事とは、公式訪問後の交流やＩＭ・ＲＹＬＡなどを通じて、個人的にも平戸ＲＣにも温かい交流が出来たと思っています。このことも私個人にとって貴重な体験でした。

佐世保北クラブの皆さんにもＩＭを担当して戴き有り難う御座いました。良い想い出になりました。

「人には添うてみよ、馬には乗ってみよ」という諺がありますが、私にとって本当に実り多い１年でした。すべてのロータリアンに感謝申し上げます。有り難う御座いました。

第６グループ ガバナー補佐 宮原　明夫（佐世保北ＲＣ）

昨年１月の次期ガバナー補佐研修会を皮切りに、地区チーム研修セミナー、ＰＥＴＳ、地区協議会と続き、あっという間の１年半でした。

７月にはさっそく各クラブへの訪問が始まりましたが、最初から伝統ある佐世保南ＲＣだったこともあり、大変緊張したことを覚えています。その後、他のクラブも訪問させていただきましたが、どのクラブも温かく迎えていただき、会長、幹事さんをはじめ会員の皆様には深く感謝申し上げます。

会員数に違いはあっても、それぞれのクラブがすでに経験を積み重ねられており、特色が出来ていることを改めて実感しました。更に仲間を増やされて、いろんな人と知り合う機会が増えることをお祈り申し上げます。

思い出に残るのは、１月に第５グループと合同で開催したＩＭです。ロータリー活動の中で時代とともに「変えてはならないもの」と「変えてゆくべきもの」がある中、テーマは、『「これからのロータリー！」原点をふまえて』とし、第2700地区廣畑富雄パストガバナーの基調講演の後、これからのロータリーについてパネルディスカッションを行いました。約200名近い会員の皆様にご参加いただき、多くの方と出会える機会にもなりました。やはり、地域での研修と親睦の機会はもっと増やすべきと感じました。

私も、今後は佐世保北ＲＣの一会員としてロータリーを楽しみたいと思いますが、地区の皆様方には今後ともよろしくご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴重な経験の機会を与えていただきました宮﨑ガバナーに心より感謝申し上げますとともに、ＩＭをはじめとしてたくさんのご支援を頂きました佐世保北ＲＣの大鳥居会長他会員の皆様に感謝を申し上げて退任の挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐 退任挨拶

第７グループ ガバナー補佐 **音成　征彦**（大村北ＲＣ）

長い１年が過ぎました。無事走り終えて安堵しています。窓際から日当たりのよい場所へ突然引っ張り出されて、楽しいこと、面白いこともありましたが、苦しいこともたくさんありました。気合を入れて臨んだはずのＩＭで、一番遠来の島原南クラブの紹介をとばしたり、パストガバナーのお名前を読み違えたり、いやはや、今思い出しても冷や汗がでる思いです。他にも自分では気づかないまま、つい口が滑って皆様にご不快を与えてしまった場面があったのではないかと危惧しています。生まれついての粗忽のなせるわざ、平に平にご容赦をお願いいたします。

「ガバナー補佐とは出席することと見つけたり」。ただただ、声をかけていただいた会議会合、ガバナー補佐としての本務にあたる会議会合に出席するだけのことではありましたが、手帳をくってみるとガバナー補佐としての出動日数は年間40日に達し、当初100枚いただいた名刺もほぼなくなりました。それだけの出会いと交流があったということで、充実した１年であったと思います。とかく出不精な私にこのような機会を与えてくださったホームクラブ、大村北クラブの皆様や、お世話になった第７・８グループ各クラブの会長、幹事をはじめ会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、特に宮﨑ガバナー、森地区幹事にはご指導いただきありがとうございました。ガバナー、地区幹事がガバナー補佐にとても気を使って下さっていることを随所で感じました。補佐するどころか逆に足手まといにしかならなかったなあと思っています。

今後はまた、一会員としてこの１年の経験を糧にして、さらに研鑽を積んでいきたいと思います。皆様、本当にありがとうございました。

第８グループ ガバナー補佐 **千葉まさこ**（諫早南ＲＣ）

ガバナー補佐としての一年がまもなく終わります。自分なりに一生懸命の積りでしたが、実は周りに支えられての月日でした。第2740地区の皆様、第８グループの皆様、有難うございました。

ロータリークラブは、不況のシカゴで、ポール・ハリスの発案で生まれました。肩を寄せ合い、心を通わせ、生き抜くための仲良しクラブとして。

その後、仲良しクラブというだけでは存続を許されず、奉仕活動をするようになりました。アメリカは、元々清教徒の国なので、弱者を助けないと非難されます。若草物語で、貧しく病弱な母親がクッキーを焼いて、より貧しい家庭に届ける場面があるように。

その後、国際ロータリーとなった頃、ポールは、奉仕を国際的に行う必要を感じたようです。

私は、諫早ロータリークラブのチャーターメンバーだった父の影響で、ロータリーを身近に感じて育ちました。認証状伝達式、数人の交換留学生との生活、ローターアクトの結成、活動、結婚後の留学生の受け入れ。主人がロータリークラブに入っているのに自らも入ったのは、いつか奉仕をしたいと思っていたからです。

ロータリーをよく知っているはずでしたが、実際にロータリーについて考えたのは諫早南ロータリークラブに入ってからでした。人と人との関わり方を学び、社会性を身に付ける場所がロータリーだと思います。そして、一人では何もできないけれど、みんなが結束すれば、何でもできます。この一年、温かく私を支えて下さった我がクラブのメンバーに心から感謝致します。謙虚に言えるなんて、我ながら成長したなあ!!

ポール・ハリスに思いをはせ、原点に立ち返ることがロータリーの生死を決めると思っています。まずは仲良しクラブであれ！　次に、何でも率直に、しかし、礼儀を守りつつ議論できる仲間であれ！　そのパワーで以て、地域や世界に奉仕することで、会員も増えるでしょう。Light up Rotary!!　ロータリーの未来に祝福あれ！

ガバナー補佐 退任挨拶

第９グループ ガバナー補佐 長谷川　宏（長崎琴海ＲＣ）

一昨年の12月、少人数のクラブで順番かなという軽い気持ちでガバナー補佐を引き受け１年半がたちました。今は、もう終わりかなと思う気持ちとやっと終わるという気持ちが半々です。周りの人達には迷惑をかけたかもしれませんが自分自身にとっては貴重な１年半だったと思います。あまり社交的でない私がこのような大役を果たせるかなど考えて迷っていたら引き受けていないかもしれませんが、年とともにボケと厚かましさで何とかやってこられたのだと思います。ガバナー補佐をやってよかったかと聞かれれば一言、「よかった」という以外には何もありません。あがり症で、いまだに挨拶もろくにできませんが何とか１年を乗り切ることができました。

ガバナー補佐になって一番良かったことはいろんな人と知り合いになれたことです。昨年１月のガバナー補佐研修会に始まり地区チーム研修セミナー、ＰＥＴＳ、各種セミナーなど行事はたくさんありましたがその都度、ロータリーを理解することができたと思います。

ガバナー公式訪問の同行やクラブ協議会出席のための各クラブの訪問ではたくさんのロータリアンとの出会いがあり知り合いになることができました。初めて会ったと思った人が初めてでなかったりしたこともありますがそこはロータリーに免じて許してもらいました。インターシティーミーティングでは一応主催者で緊張はありましたが、全てホストクラブにまかせっきりで申し訳なく思っています。役得ですがミズノの会長と話ができたことは良い思い出です。

最後に会長幹事会や色々な機会に助けていただいた第10グループの植松俊徳ガバナー補佐、色々問題を投げかけて迷惑をおかけしました宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事、ガバナー事務局の宮田さんにお詫びと感謝を申し上げます。

非常に楽しい１年でした。

第10グループ ガバナー補佐 植松　俊徳（長崎中央ＲＣ）

ガバナー補佐の一年間。長いような、それでいて短い、あっという間の一年でした。

私なりに何とかガバナー補佐の大役を終えた今、静かにほっと一息というところです。宮﨑ガバナーはじめ地区役員皆様のご指導、第９・第10グループ会長・幹事をはじめ各クラブ会員の皆様のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

思えば第2740地区ガバナー補佐10名で最高齢。ロータリーの知識や実務にも乏しく、これでガバナー補佐の大役が務まるだろうかと不安な気持ちでのスタートでした。

ところが「案ずるより産むが易し」の如く、実際に各クラブを訪問し、会長・幹事をはじめ会員の皆様の「好意と友情」に触れ、徐々にスタートの不安は消え、楽しい各クラブ４回ずつの訪問となりました。

第９・10グループには年度内にクラブ周年行事が続き、そのクラブの節目のめでたい行事に参加し、共にお祝い出来たのも楽しい思い出となりました。特に長崎南ＲＣの記念事業は、幕末から明治維新にかけて外交交渉の通詞として日本の開国と近代化に多大な貢献をした「森山栄之助」という長崎が誇りとする歴史上偉大な人物の顕彰碑を建立し、世に送り出した素晴らしい社会貢献となりました。

また、グループ内で地区委員会と意見が合わずトラブルとなりました。結果的に年度内に収まりましたが、私は各クラブの会長・幹事が本当に真剣にクラブの運営に当たっておられ、年度内のトラブルは年度内に解決し、次年度に持ち越さないという信念で夫々個性的なクラブを作り上げているのだと実感しました。

一方で各クラブの例会は和やかな雰囲気で、楽しい食事、和気藹々の会話等各クラブ共通で、これがロータリー活動が続く原点かと改めて感じました。

以上、「ガバナー補佐としての任務」を全う出来たかわかりませんが、私自身多くのロータリアンと知り合い、最高の財産を頂いた一年だったと思っています。

最後に、グループ内の会長・幹事の皆様、そして会員の皆様に再度ご支援・ご協力のお礼を申し上げます。

地区委員長 退任挨拶

クラブ奉仕統括委員長 佐藤　豊（長崎琴海ＲＣ）

宮﨑ガバナーは、地区スローガン「地域に輝くロータリー」の実践を提案され、ガバナー公式訪問や地区大会で、ご自身の体験された事柄を含め具体的に示されました。

特に、会員増強の目標は、各クラブ純増２名を提案されました。クラブ奉仕統括委員会は、会員増強委員会と共同でセミナーを開催し、宮﨑ガバナー年度の充実した１年の計画を確認致しました。

日本のロータリアン数の目標は10万人ですが、一進一退の実情があり、私達の第2740地区が会員減少にブレーキをかけ、増加に転じていることは、他地区の身近な成功例となっています。これは、57クラブが退会防止に努められたことと同時に、会員増強に向けて高い目標と強い意志を示されたことの成果だと存じます。ガバナー月信を通じ、新会員の方々が紹介される記事は毎回心弾む思いでした。

申し上げるまでもなく、ロータリーの最大の魅力は「異業種交流」に尽きます。新会員の皆様が少しでも早くロータリーの良さを体感・実感できるよう周囲の人々がお手伝い頂きたいと願っています。多くの経験から述べると、どうか入会後３年までは心配りをお願いします。

宮﨑ガバナーはロータリーデーを設け、各クラブが意識して実施されるよう提案されていました。それに応える形で、それぞれのクラブが特色あるロータリーデーを展開されたことは、ともにその成果を喜び合えることであると感じています。

また、地区内外でクラブ奉仕、会員増強に関連した講話にお招き頂く機会がありました。これは私にとって望外の喜びであり、訪問先での歓迎は温かいものばかりで、心から交流を楽しむことができました。

今期の退任にあたり、地区委員の構成メンバーとしてご指導頂いた皆様にお礼を申し上げます。また仲間として、共に活動して頂いたクラブ奉仕統括委員の岩下眞司さん（唐津西ＲＣ）、永田武義さん（佐世保北ＲＣ）、井上亮さん（佐世保中央ＲＣ）、髙木義和さん（島原ＲＣ）、宇戸一夫さん（諫早南ＲＣ）、本当にありがとうございました。最後に、改めて感謝申し上げます。

会員増強委員長 貞方　正一（平戸ＲＣ）

２年目の地区委員長という大役を務めさせていただきました。

７月13日武雄センチュリーホテルにて、クラブ奉仕・会員増強セミナーを開催し、去年に引き続き特別講師に第2660地区井上暎夫パストガバナーをお招きして、特別講演「会員増強が目指すものは何か」をプロジェクターを通して分かりやすく講演して頂きました。また、2720地区片山勇地区広報・ＩＴ部門長に「会員増強における地区広報・ＩＴ部門の役割」について講演をいただき充実したセミナーとなりました。

2014年10月11日㈯に広島市にて「国際ロータリー第３ゾーン・ロータリー戦略計画推進セミナー」・2015年３月30日にはホテルオークラ東京にて「会員基盤向上セミナー（会員増強維持・戦略計画とクラブ活性化）」に参加し、これから先の会員増強活動への大変貴重な話を聞くことが出来ました。

ガバナー補佐の皆様そして地区会員増強委員の皆様には一年間、会員増強活動に御協力を頂き厚くお礼を申し上げます。57クラブの全会員の皆様が会員増強に真剣に取り組まれ、御尽力して頂いた事に感謝申し上げると共に、引き続き会員増強・会員維持に御協力を宜しくお願い申し上げます。

ロータリーをもっと知って頂く為に『ようこそロータリーへ』のＤＶＤが作成されました。とてもわかりやすい内容となっておりますので、このＤＶＤを会員増強活動へ活用して頂ければと思います

クラブ例会の充実があってこそ、会員増強に繋がっていくものと思います。

その為にも、「楽しいクラブづくり」「魅力あるクラブづくり」にこれからも取り組んで頂き、それをクラブの活性化へ繋げ、会員増強・会員維持活動へと取り組んで頂ければと思います。

最後に会員増強部門において、地区役員として御協力いただいた皆様に御礼を申し上げます。

谷上　守（牛津ＲＣ）　真弓幸慈（佐賀西ＲＣ）　古川尋美（佐賀南ＲＣ）　谷嶋正信（嬉野ＲＣ）
深谷誓志（唐津中央ＲＣ）　福田敏幸（北松浦ＲＣ）　中川英俊（ＨＴＢ佐世保ＲＣ）
上田善行（大村北ＲＣ）　山口大司（諫早西ＲＣ）　丸木覚誠（長崎北東ＲＣ）　小林純一（長崎北ＲＣ）

地区委員長 退任挨拶

職業奉仕委員長 駒井　英基（佐賀南ＲＣ）

2012年度より３年間地区職業奉仕委員長を務めさせて頂きました。福元ＰＤＧ様、塩沢ＰＤＧ様、そして宮崎ガバナー様等歴代のガバナー様方の情熱ある会員研修姿勢によって、委員会活動に多大なるご支持をいただけましたことを心より感謝いたしております。恒例であります地区職業奉仕セミナーでも田中毅ＰＤＧや石井良昌ＰＤＧ様など国内での著名なロータリーの大先輩をお迎えして開催できましたことも皆様方に感謝いたしております。また、この３年間は、一般的には理解しにくい部門でもありますので、地区内各クラブへの出張卓話を企画いたしましたところ、セミナー資料請求とともに、地区内２／３のクラブからお招き頂き、職業奉仕の卓話をさせて頂きました。少しでもロータリー特有の考え方である職業奉仕に対する理解が得られたとすれば、地区内会員の皆様方へ少しでもお役にたったなら幸いです。

この後の吉岡委員長さん以下、経験豊かで熱心な職業奉仕委員さん方がおられますので、更なる発展が望めそうです。

３年間熱心にお付き合い頂きましてありがとうございました。

社会奉仕委員長 坂井　智照（佐世保中央ＲＣ）

2014～2015年度社会奉仕委員長を務めさせていただき、あらためまして皆様のご支援ご協力に感謝いたします。お陰様にて、大変有意義な一年を過ごさせていただきました。

さて、社会奉仕というものを成功させる為に必要なことを考えると、実に様々な事柄があると思います。しかしその中で、極めて重要なものは「社会の中において活動する」ということを真に理解することだと思います。

ところで皆さんは「日本」という国号を何と読むでしょうか？「ニホン」でしょうか、それとも「ニッポン」でしょうか。不思議なことに我々が暮らすこの国は、呼び方が２通り存在する国なのです。母国語を表すときは「ニホン語」と言う方が自然ですし、一方スポーツ観戦においては「ニッポン」という掛け声が似合います。様々な見解があるなかで現状ではどちらも正しいそうです。ここで重要なことは、当たり前にある自分が生きている国の事を、どれ程意識し、また想っているかということです。想いがあればこそ「日本」という国が、アジアの中に存在し、もっと言えば世界に数多くある国の１つであることを理解でき、また誇れるようになるのだと思います。

社会奉仕とはその字のごとく「社会」という中において「奉仕活動」を行うものです。今後も、真摯に社会と向き合いながら、ロータリアンとして誇れる奉仕活動を、共に目指して参りましょう。

地区委員長 退任挨拶

青少年奉仕統括委員長兼青少年危機管理委員長 **中島　洋三**（佐世保南ＲＣ）

今年度、青少年奉仕統括委員長に就任いたしました。昨年度のライラ委員長から引き続く青少年関係の委員長です。青少年危機管理委員長も兼任しています。

統括委員会そのものの主な事業は青少年奉仕セミナーの開催などがありました。また、ローターアクト、インターアクト、国際青少年交換、ライラの各委員会の活動にも参加しました。

さて、今年度の委員会の主な活動方針について振り返ってみます。

1．「新世代のための月間（９月）を推進する」これは地区としては2014年９月28日に青少年奉仕セミナーを開催し、国際ロータリー日本青少年交換委員会（RIJYEC）研修委員（危機管理担当）の末松尚武氏（東京目黒ＲＣ）に「危機管理のケーススタディー」という演題でご講演いただきました。青少年に関する危機管理に少しはご理解いただけたと思います。

2．「青少年奉仕統括委員会（インターアクト、ローターアクト、ライラ、国際青少年交換）とロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会と連携・協力する」これにつきましては、2014年７月19日に青少年危機管理委員会を開き連携・協力を確認しました。また、地区大会「青少年の集い」にて青少年・ロータリアンも含めて交流を深めることができました。

3．「青少年危機管理についての理解を深める」について、具体的には当地区の危機管理規定の整備を進めましたが、昨年12月に日本34地区の危機管理委員会規定が出来、それに移行すべく次年度委員会と調整を行いました。

以上十分とは言えませんが、委員会の活動内容でした。

ライラ委員長３年を含め４年間の青少年奉仕関係の委員長を務めましたが、今後は一ロータリアンとして次世代を担う若者のために青少年奉仕活動への協力に努めたいと思います。

長い間大変お世話になり、ありがとうございました。

インターアクト委員長 **若杉　能將**（諫早多良見ＲＣ）

2014～2015年度インターアクト地区委員長として、宮﨑ガバナー・中島青少年奉仕統括委員長のご指導と地区委員の皆様のご協力のもと、楽しく、充実したロータリー活動を終える事が出来ました。本当に皆様からご支援いただきましてありがとうございました。

年次大会ではテーマが「おもてなし」それに関連した分科会のなかで高校生の皆さんのリーダーシップの素晴らしさや前期・後期指導研修会でインターアクト部員の皆様に奉仕活動の際の感想でボランティアに対しての熱き思いと、他人に対する思いやりに触れる事が出来、このプログラムの素晴らしさを改めて感じる事ができました。インターアクトのプログラムは、青少年が将来の日本を明るい未来に導いてくれると確信しております。今後、インターアクト活動がますます、活発に楽しく、一人でも多くの青少年に広がっていけたらと、願っております。

最後に多くの第2740地区のロータリアンの方々とお知り合いになることができ、皆様のご厚意とご友情に深く感謝しております。本当にありがとうございました。

地区委員長 退任挨拶

ローターアクト委員長 古賀　秀仁（伊万里西ＲＣ）

今年度は「未来を輝かせるためにローターアクトクラブを育てよう!!」をスローガンに地区委員長として地区行事を中心に参加させていただきました。

地区委員を２年、地区委員長を３年の合計５年間ローターアクトクラブ（ＲＡＣ)の活動に携わってきました。

ＲＡＣは18歳から30歳の青少年で構成されますが近年は入会年齢が高くなり十分な活動経験をしないままで卒業するアクター（会員）も多く見受けられました。また連絡体制もメールからＳＮＳのラインやフェイスブック・連絡用のアプリなど日々多様化しておりＲＣの連絡とは温度差があり私のようなアナログのロータリアンは困惑する場面も多々ありました。

アクターは地区内外の種々な行事に参加して交流を深めて知識を積み重ねています。地区内の連携も深く、構成メンバーのほとんどが成人男女のため自主的に計画を立ててスムーズな運営がなされている事にも感心しました。

青少年奉仕の中でＲＡＣは次世代のリーダー・次世代のロータリアンを育てるのに最適のプログラムだと思います。しかしながら第2740地区のアクターはわずか80名程度です。アクター自らの会員増強には限度があります。私たちロータリアンはもっと青少年奉仕の意味を理解して青少年育成につながる奉仕活動を展開する必要があると思います。

ＲＡＣは個人の資質向上と対人関係を確立する場です。各ＲＡＣの活動は提唱ロータリークラブにお任せしていますが、会員が少なく十分な活動が出来ていないという残念な現実がありました。

地区委員長としてこの様な問題点がわかっていながら改善することが出来なかった事がとても残念です。委員長としての資質はなかったかもしれませんが若い世代の人と交流を深めることが出来た上に青少年の「純」な心を垣間見て私自身は成長することができました。

地区委員長を務めさせていただき本当にありがとうございました。

お礼をのべてご挨拶といたします。

ライラ委員長 北郷　雅子（長崎出島ＲＣ）

先ずは、ライラ（ＲＹＬＡ）について地区の役員の皆様・ホストクラブ・参加クラブの皆様のご協力のお陰で、ライラ地区委員長として無事に一年を終了できましたことを、心よりお礼申し上げます。

前任の岡部青少年統括委員長や中島ライラ委員長のご努力で、過去のライラ開催クラブの一覧表がまとめられ、これに従って、地区内の57クラブの中で「一度もライラホストクラブを経験されていないグループの内で古いクラブに２年先のライラホストクラブを担当していただく」ようにお願いする。また、そのクラブから地区委員を出していただいて、事前にライラ開催について体験をしていただくこと。といったライラ開催ローテーションのご理解をしていただけるようになったことは、嬉しい成果だと思います。そして、2016年長崎ＲＣ（第37回)、2017年伊万里ＲＣ（第38回）がお引き受けくださいました。

地区委員活動として目立った動きはありませんが、それぞれのクラブがホストクラブの年には大会委員長になっていただけるようになったことも力強いことです。

第36回平戸でのライラの開催にも、地区内ロータリークラブから沢山の参加者があり、有意義な時間を過ごせた事も、ホストクラブの素晴らしい企画・運営だったと感謝しています。

また、３月東京での全国ライラ研究会に参加して、各地区のライラ活動についての情報交換をしてきました。地区によってライラ大会の運営は「地区委員会・ホストクラブの企画」と様々です。2013年にライラ手続き要覧が改正され、「参加者の年齢に制限はなくなった」ということ。「私たちロータリアンが良き人生の先輩として青少年と過ごすライラ。ライラ参加経験の青少年が一番ロータリアンになる可能性がある」という事を、勉強できました。

ライラを通して私たちロータリアン（地域社会で活躍する先輩リーダー）が青少年リーダーの良きアドバイザーになり、一泊研修という短い時間の中で、「ロータリーとは何か、ロータリーは地域社会のために何を行っているのか」「良きリーダーシップとは」などのテーマを学び、そして、その中から将来ロータリアンが誕生する可能性があるという嬉しい情報でした。

次年度もライラ活動にさらなるご理解いただけるように私たち委員会も努力をいたしますので変わらぬご支援をお願いいたします。

地区委員長 退任挨拶

国際青少年交換委員長 佐古　亮景（大村北ＲＣ）

青少年交換とは

異文化に接する事は、国際理解と平和を推進する最も効果的な方法です。ロータリーの青少年交換プログラムは、海外の人々と交流し、異文化を体験する事によって、生涯に渡る国際理解の種をまく機会を多くの青少年に提供しています。又ロータリー唯一のプログラムです。

此の事を念頭に於いて、委員会を運営して行きました。前年より各委員には委員を引き継いで頂き、前年度同様に取り組んで行きました。

選考会では、５名の候補生を選出し、派遣先を探す事と成りました。

その後派遣先も順調に決定し、オーストラリア１名、アメリカに４名と派遣先を決定致しました。

早速オーストラリア派遣の１名より申請書の作成を始め、此の後は、アメリカへ派遣される学生の申請書作りや、予防接種の確認、派遣学生と来日学生共に、ロータリー章典にあった保険の加入等を行って、Visa取得に掛かりました。

それぞれオリエンテーションに於いては、交換学生を取りまく状況の変化により、英語の上達を図り、パワーポイントを使った約30分間の卓話の作成と英語での説明の練習、生活をする上での注意等を行ってきましたので、派遣学生は、これらを踏まえて有意義な留学の１年を過ごし、沢山の経験を積んで来て貰えれば幸いです。来年の帰国時には、大きく成った姿を見せて貰いたいです。我々が播いた種が大きく育つ事を期待しております。

地区旅行として10月７日には、「長崎くんち」見学、これは福岡の第2700地区、鹿児島・宮崎の第2730地区の合同旅行と成り、又平和学習として、原爆資料館の見学、原爆被爆者の体験を聞かせて頂き、原爆の恐ろしさを身近に感じた様でした。その後「くんち」は、龍踊り等を見学し、「もってこーい」の掛け声を掛け大変盛り上がり、日本の御祭りを来日学生達は堪能した事でしょう。

11月２日～４日には「唐津くんち」見学旅行、雄大な山車を引き回す様子を見、大判振る舞いの食事等、佐賀の雄大な祭りを堪能したようでした。唐津ＲＣの皆様には、大変お世話になりました。

12月12日～13日には第2730地区の招聘により、鹿児島旅行に行ってきました。知覧を見学し、特攻として亡くなった人達に思いを馳せ、戦争の悲惨さを考えさせられました。又桜島の雄大さを見学し珍しい雪を覆った桜島を見たりして温泉を堪能した様です。此の旅行は、オーストラリアからの来日学生の最後の旅行と成りました。

５月11日～17日迄は、Japan Tourとして、第2700地区、第2730地区、第2740地区合同で、大阪・京都・東京・静岡の地区旅行を行いました。企画を全て第2700地区に御願いしての旅行でしたが、大変盛り沢山でした。大阪のＵＳＪ、古都京都、東京ディズニーランド、憧れのスタジオジブリ見学等と楽しんで来ました。又静岡で開催された青少年交換研究会に参加し、他地区の来日学生達と会って盛り上がっていました。

来日学生も大変素晴らしい、いい経験を積んだ事でしょう。日本を堪能したのではないでしょうか。

こうした経験を積んでアメリカ・イタリア・オーストラリアから来た学生は、多くの日本での貴重な経験という御土産を持って、帰国する事でしょう。

年度当初よりオリエンテーションを毎月行い、来日学生には、日本語を、派遣学生には英語での研修を続けてきました。それぞれに上達の一助になったと思っています。

地区委員の皆様には、大変御苦労をお掛けしましたが、派遣学生が、大きなお土産を来年持って帰ってくる事で、成果とさせて頂きます。

ガバナー、ガバナー事務局にも大変御苦労をお掛けしました。

ロータリー財団委員長 山田　　晃（長崎南ＲＣ）

本年度も、地区内会員皆様方、各クラブのご協力をもちましてすべてのクラブからロータリー財団へのご寄付を賜り、３年連続全クラブ寄付を達成することができそうです。（2015年５月末）皆様ご存じのように、ロータリー財団の補助金は皆様のご寄付によって運営されており、そのすべてが各種の奉仕事業に使われております。皆様のご協力なくしてはこの素晴らしいロータリー財団の事業も行うことはできないのです。引き続き、財団への寄付をよろしくお願いいたします。

未来の夢計画も導入から２年を過ぎ、様々な制度の見直しが行われながらも、順調に推移することができました。地区内の皆様のご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。

おかげさまで、2014－15年度は17のクラブと第2740地区より18のプロジェクト（総計約5.2万ドル）（内１名地区補助金奨学生松本幸治君）を地区補助金（ＤＧ）として申請することができ、また、グローバル補助金事業としてグローバル奨学生渡辺あゆみさんを派遣することができました。これらの事業を行うことができましたのも、皆様のご理解と、ご寄付の賜物であります。

また、多くのクラブより卓話の時間を頂戴することができ会員の皆様に直接ロータリー財団について説明させていただく機会をいただきました。短い時間でかつ慣れない私共がお話をさせていただいたので、十分なご理解には繋がらなかったことも多かったと反省しております。

会員の皆様の友情に助けていただき、一年間地区ロータリー財団委員長としての職責を何とか全うすることができました。この一年間の、地区内外の会員の皆様の友情とご支援に感謝いたしますとともに、次年度も変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。心より、御礼申し上げます。

感謝

地区委員長 退任挨拶

補助金委員長 西川 義文（大村ＲＣ）

昨年より補助金委員会は３つの小委員会で構成されており、１つの小委員会でも大変な時間と労力を必要とする内容で、やっぱり多忙な日々を送った１年間でした。

地区補助金小委員会では、今年度地区補助金として17クラブからの地区補助金を使った事業へ支出し、また地区補助金奨学生として松本幸治君を英国エジンバラ大学への留学費用として奨学金と併せて合計で51,834ドルを地区補助金として支出しました。

グローバル補助金小委員会では、グローバル補助金奨学生として渡辺あゆみさんを英国サセックス大学への奨学金として地区より15,000ドル、ＴＲＦ（財団本部）より同額の支援を受け計30,000ドルの奨学金で１年間の大学院コース留学を支援しました。

また、モンゴルでの口唇裂口蓋手術のための医療技術者派遣、ＶＴＴ事業の２年目を迎え、６月１日～11日までの期間ウランバートル国立母子医療センターへ派遣します。

また、今後のグローバル補助金奨学生の安定的な派遣のために長崎大学や佐賀大学と協定を結び、ロータリー財団の使命に沿った候補者の推薦をお願いするようにしました。

財団奨学・学友小委員会は、奨学生希望者選考試験をおこない、次年度に地区補助金奨学生として家田絵麻さんを英国ブライトン大学へ、グローバル補助金奨学生として朝重耕一さんを米国シンシナティ小児病院へ派遣することが決定しました。

尚、ロータリー財団の新システム「未来の夢計画」にて、第2740地区として初めて送り出したＧＧ奨学生（グローバル奨学生）の渡辺あゆみさんとＤＧ奨学生（地区補助金奨学生）の松本幸治君、両名の大学院での研究の進み具合や生活の充実度合いを、またお世話頂いている滞在地のロータリークラブへの感謝の気持ちを表すためにロンドン近郊のブライトンとエジンバラへ今年１月に行ってきました。

渡辺さんは、南部の港町ブライトンにあるサセックス大学院で紛争、安全保障と開発のコースを、松本君は北部のエジンバラ大学院で児童・青年のメンタルヘルスと心理ケア実践コースを専攻し学んでいます。

両名とも、今までの人生内で一番勉強していますよと言う位、学業に頑張っています。授業に関しては、読書して学ぶだけではなく、自分の意見を発表し、納得してもらうまでの時間かけての準備やエッセーという論文（英単語で5,000語、Ａ４用紙20枚程度）提出で苦労してるとのことでした。

時には、体中にストレスから来るジンマシンや帯状発疹等を患いながらも頑張ってますし、補助金が円安の関係で目減りして、公共交通機関や徒歩が主で、部屋は共同生活で、渡辺さんは学生寮に、松本君はポーランド人の社会人とルームシェアして頑張ってました。

さらに、両名のお世話頂くロータリークラブの例会にも出席してきました。ブライトンのSeaford Martello ＲＣは、24名の会員でアットホームな雰囲気での例会でした。

Edinburgh ＲＣは創立1912年の会員数108名と歴史あるクラブです。

約70名参加の例会進行は、歌や綱領唱和等無く会長の点鐘後幹事報告の後食事を取り、プログラムに入るという形式です。どなたもユーモアを必ず交ぜた話をされます。和やかな雰囲気を重視しているようです。

両クラブとも参加会員は、リタイヤした人が大部分でしたし、両君とも、メンター（カウンセラー）に良くして頂いており、たびたび例会にも参加し、多くの会員とも顔見知りで仲良くしてるようでした。メンバーからの言葉がけの中で大切にお世話頂いている状況を十分に理解することが出来ました。

勉強のためには何時間でも欲しいという貴重な時間を割いて、例会に帯同したり大学を案内したり生活拠点を見せてもらったりとか、随分と迷惑もかけたのかなとも思いましたが、現地で会った時の両君の笑顔を見て、遠かったけど行って良かったと思っています。

１年間、委員の皆様のご協力に感謝申しあげます。

資金推進委員長 永尾 竹則（佐賀西ＲＣ）

2014－15年度、当地区の資金推進委員会委員長を仰せつかって早や１年が経過しました。財団委員会の資金推進委員会の委員をやらせていただいて通算すると、記憶に間違いなければ３年が経過したことになります。

財団のことがなかなか分からないまま最初の２年間を過ごしてしまいました。特に、「未来の夢計画」が始まるということもあり新しいシステムと古いシステムとの違いなどなかなか理解できませんでした。それでも３年目に委員長に就任することになり、必要性に迫られて勉強し、財団のことがまだまだですがほんの少しだけ理解できたような気がします。

ですが、それだけでは奉仕活動のための寄付をお願いするという資金推進委員会としての役割を果たしたことにはならず、会員の皆様に寄付の意義をお伝えし、より多くの寄付をしていただけるようにお願いしなくてはいけません。これが大変難しい問題です。

しかし、考えてみると、財団のシステムとして、寄付をすれば、そのすべてを財団が利用して奉仕活動をするわけではなく、寄付をしたクラブ自身が３年後にその寄付の一部を補助金としてそのクラブが実施する奉仕活動のために使えるようになっています。寄付するだけでお金がどのように使われているか報告等でしか分からないようなシステムではなく、寄付をしたそのクラブが実施する奉仕活動に使用できるわけですから、より身近に奉仕活動をすることの意義を実感できるのではないかと思います。また、寄付をすることなく奉仕活動をするとなると資金がある程度必要な活動はなかなか難しいと思いますが、予め寄付した金額がありますので奉仕活動の幅は広がると思います。当地区でも多くの会が寄付をされており、それを奉仕活動に利用されています。

１年を振り返った感想のはずがお願いになってしまい申し訳ありません。

最後に、この１年間ロータリー財団へご協力いただき本当にありがとうございました。今後もご協力いただきますようにお願い申し上げます。

地区委員長 退任挨拶

ポリオ・プラス委員長 溝口　尚則（佐世保ＲＣ）

世界からポリオを撲滅する事を目指す「世界ポリオ撲滅推進計画（ＧＰＥＩ）」は、ロータリーをはじめ世界のパートナー団体が30年前から実施しているもので、2018年までにポリオを世界から撲滅する事を目標としています。2014年度は、パキスタンでの突発的な流行を除けばわずか35件のみとなっています。これにはロータリーも大きく貢献していると思われます。「ポリオ撲滅まであと一歩」というところまできました。

ところで、第2740地区でこのポリオ撲滅運動にどのように貢献して行くかを考えてみますと、まず活溌な寄付活動を行う事と思います。今年度は、宮﨑ガバナーのご指導のもと「ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会」を長崎国際ゴルフ倶楽部で開催させて頂きました。皆様のご協力のおかげで50万円が集まり第2740地区として本部に寄付を行う事ができました。誠に有り難うございました。これは次年度も継続して行きたいと考えています。しかし、残念な事に各クラブのポリオ撲滅に対する寄付をみてみますと、かなりなクラブで寄付金が０円というクラブが存在しています。次年度は全てのクラブで寄付が行われるように地区で頑張って行きたいと思います。

また、ポリオ撲滅には寄付行為ばかりが全てではありません。これだけ、ロータリーがすばらしい活動をしているのに、世間では此の事はあまり知られていません。今年度は残念ですがこれに関しては十分な活動ができませんでした。今後、我々はアドボカシー活動も念頭において広く此の活動を広めて行く事も大切だと思い、さらに努力して行く予定です。

いつも最後はお金の話になって申し訳ありません。今年度は、特にポリオに対してのご寄付も増えてきました。誠に有り難うございます。今後は第2740地区会員に「広く、薄く」寄付して頂けるような事も考えていければと思います。最後になりましたが、今年度の活動に対する会員の方々のご協力に感謝いたします。次年度も引き続きご支援、宜しくお願い致します。

資金管理委員長 岡村　康司（長崎南ＲＣ）

当委員会は財団から各クラブに助成された補助金の管理を各クラブにおいて完結できることを目的として設置されました。

今年度は次の４項目に沿って活動いたしました

①財務管理計画の作成および地区との覚書（ＭＯＵ）の実施
②補助金セミナーを通して各クラブの補助金に対する意識と理解を高め補助金事業を支援する
③補助金に関する利害対立を回避する方法を講じる
④資金の不適切な利用及び管理を未然に防止する

この１年お陰様で大した問題もなく経過しましたが、今後も補助金の適切な運用を通してスムーズな補助金活動ができるように努力を重ねてまいりたいと思います。

当委員会も３回目の年度に入りますが補助金についての理解を年２回ほどのセミナーで深めることは現実的には難しい部分もあるかと思います。時間をかけるべきところは手間を惜しまず、引き続き西川補助金委員長と協働しながら周知に努めていきたいと思いますので、ご協力お願いいたします。

地区委員長 退任挨拶

米山記念奨学委員長 **本多　善彦**（雲仙ＲＣ）

昨年度より米山地区委員長を務めさせていただき、第2740地区のロータリアンに米山奨学事業をより理解して頂くか‼ をより一層理解して頂きたい‼　を目標に地区委員長として、努力してまいりました。

おかげを持ちまして、個人平均寄付額が12,216円（地区目標16,000円）となり九州地区では２年間トップとなっております。

これにより、13～14年・11名、14～15年・13名、15年～16年・16名、の奨学生を受け入れる事ができ、多くのクラブへ世話クラブ・カウンセラーをお願いする事ができ、又出前卓話を実施できました。

又、昨年の平戸中学校に続き、本年は長崎日大中学校との国際交流を行い、学校から大変喜んで頂き、ぜひもう一度実施して頂きたいと要望されています。

こういった事業を通して、米山奨学事業が目指す、母国と日本の懸け橋になる若い人達（理解者）を多く作りあげたいと思います。

各大学の奨学生に接し彼らの母国への思い、日本・ロータリアンに対しての感謝の気持ちが感じられ、米山奨学会の信念に接した１年間でありました。

「日本の生きる道は平和である‼」（米山梅吉翁）の精神を今後も継続していきたいと思います。

第2740地区のロータリアンのご協力に感謝申し上げます。

退　任　挨　拶

ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーター **石坂　和彦**（大村ＲＣ）

できたばかりの役職です。今でもなかなか覚えるのが難しい名前の役職です。ポール・ハリス・ソサエティ（ＰＨＳ）を案内し推進する役目です。光栄なことに私が初代を務めさせていただきました。

改めてもう一度。**“ポール・ハリス・ソサエティとは、年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金プログラムへ、毎年年間1,000米ドル以上をご寄付いただいたロータリアンやロータリー財団支援者を認証するためのプログラムです。”**

一昨年わざわざ拙宅まで塩澤ガバナー、竹田地区幹事（当時）にお越しいただいて、お話を頂きお受けさせていただきました。宮﨑ガバナーからも任命を頂きまして、温かいご指導を頂きました。

当2740地区では、現在６名のＰＨＳ会員がいらっしゃいます。【岩永パストガバナー、栗林パストガバナー、宮﨑ガバナー、駒井職業奉仕委員長、高木パストガバナー補佐、そして石坂】

心より感謝申し上げます。そして当地区には、毎年の如く1,000ドル以上のご寄付を頂戴いたしているロータリアンが多数おられます。ぜひそのような皆様方にご理解を頂き、ご入会を頂き、認証させて頂ければと思っております。合わせて、この制度ができたことを契機に、広くロータリアン皆様にご理解を頂きご入会を頂ければと思います。

後任には、駒井英基さんにご就任頂くことになっております。まだ緒に就いたばかりのこのＰＨＳの制度が、着実に浸透していくことを念じております。

この２年間の皆様方の温かいご支援に感謝しつつ、退任のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

退　任　挨　拶

「ロータリーの友」だより

「ロータリーの友」地区代表委員　**杉　原　宏　一**（諫早北ＲＣ）

ロータリー年度もいよいよ最後の月となり、昨年７月に始まったこのガバナー月信の発行も、あと総括の13号を残すのみとなりました。

「ロータリーの友」地区代表委員としての役目を拝命し、第2740地区の皆さんに少しでも「友」への関心を高めていただき、愛読していただくことが出来ればという願いをもってつとめた１年間でありました。

ガバナー事務所にお願いして、この「ロータリーの友」だよりという頁を作ってもらい、地区内の皆さんに「友」からの情報や、地区内からの投稿情報などをお伝えして来ました。幸いにも第2740地区からの投稿はほぼ１年間絶えることなくさまざまな分野で「友」誌を賑わせていただくことが出来ました。積極的に投稿して下さった皆様には厚くお礼申しあげます。

先月号の雑誌月間でも書きましたが、「友」を読むことはロータリアンとしての基盤となる大切なことではありますが、あまり堅苦しく考えることなく、興味をひかれる頁を探し出して楽しんで読んで下さればと思います。ロータリー活動の楽しみや喜びがそこかしこに見えることと思います。そこからロータリアンとしての歩みが更に楽しく、そして意義あるものと感じられると考えます。

ロータリーの役目はすべて１年限りで終わり、次に引き継がれるものですから、私の役目も今月をもって終了しますが、精神は変わることなく続きます。今後共どうか「ロータリーの友」をご愛読下さるようお願いします。

つとめを果たすためにガバナー事務所には本当にお世話になりました。毎月毎月の原稿の授受だけでも大変なお手数とご面倒をかけました。心より感謝申しあげます。

――――――― ○ ――――――― ○ ――――――― ○ ――――――― ○ ―――――――

５月号に掲載された第2740地区発信の記事を紹介します。

◎「視点・ガバナーのページ」(38頁)

３月号から続いていたこの頁に、わが第2740地区の宮﨑清彰ガバナーの文章が掉尾を飾って掲載されました。

ガバナーという立場に立ってみての高い視点でのロータリーへの考察が述べられています。

ガバナー本当にお疲れ様でございました。

◎「ロータリーデー」(19頁)

「ロータリーに音楽を！　おぎ ア・カペラ コンテスト」小城ＲＣ　七　田　利　秀

２月にロータリーデーとして、第13回の標記のコンテストが開催されました。ア・カペラは楽器を全く使わない人の声のみで作り出すコーラスですが、その純粋な音の魅力はすばらしいものです。近隣の県からも参加者があって、17組ものグループの参加によって、地域の方々との好意と友情の深まりもあり、すばらしい集まりになったとのことでした。

小城ＲＣは今年11月に創立50周年を迎えるにあたり、会員増強も10名を目標に、現在７名増の実績をあげ、張り切って活動しているとの報告もありました。

◎「ロータリー俳壇」入選（56頁）

佐世保南ＲＣ　　松　尾　恒　巳 氏

コーディネーターニュース2015年５月号

「私なりにまとめたＲＩ戦略計画とその実行」

公共イメージコーディネーター補佐（ARPIC） RID2570 **鈴　木　秀　憲**（吹上ＲＣ）

2001－02年度、国際ロータリーは奉仕の第２世紀を迎え、組織を導く長期的な計画の立案を始めました。「The RI Strategic Plan」当初は長期計画と和訳され、昨今は戦略計画と訳されます。以来この戦略計画は定期的に見直され、更新されています。（Strategic Planの直訳は戦略計画です。長期計画の方が理解しやすいと感じますが、戦略計画とした方が、重要性が高いと感じる様な気もします）

2009年、ＲＩ理事会はこの大幅な見直しを行い、ＲＩとロータリー財団が進むべき進路が一致するよう改訂し2010年７月１日から有効としています。

2015年３月30・31日に行われた会員基盤向上セミナーで、ロータリーコーディネーターの金杉誠氏に伺ったお話（ＲＩ戦略項目の３つの項目は夫々関連性を持っている）に自分の考えを加えてまとめました。

ＲＩ戦略計画は、３つの優先項目と５つの中核的価値観で構成されます。

３つの優先項目

- ○クラブのサポートと強化　（ロータリーコーディネーターが支援）
- ○人道的奉仕の重点化と増加　（ロータリー財団地域コーディネーターが支援）
- ○公共イメージと認知度の向上　（公共イメージコーディネーターが支援）

注目すべき点は、３つの項目は夫々関連性を持っているという事です。

即ち、人道的奉仕をすれば（結果として、世間の関心と評価は高まり）自ずと公共イメージが上がります。公共イメージが上がると（賛同者が増え、会員増強に繋がり）クラブのサポートと強化に繋がります。クラブが強化されれば（会員が増強されれば）人道的奉仕が更に進み、その結果公共イメージは上がり、会員が増えクラブは強化されます。つまり、良い循環になるという事です。

この循環は、優先項目の何処から始めても（結果として）良い循環になります。

大切な事は、先ず自ら始めるという事だと思います。

３つの優先項目には、具体的な目標が全部で16項目明示されています。どれも実現可能な事ばかりです。着手し易い身近な事から始めましょう。

先ずは自分自身が公共イメージの向上を

公共イメージは他人に云われて認識されるものではありません。世間の方々が我々の言動を見て、良いと感じて下さる結果です。

我々の言動とは抽象的な表現ですが、具体的には戦略計画を構成している５つの中核的価値観を、ロータリアン個々が大切に磨き実行する事であると思います。

- ○奉　仕　私達ロータリアンの重要な要素です。RIを通じて、或いは地区で、或いはクラブで、若しくは個人で奉仕する喜びを実感しましょう。
- ○親　睦　ここで指す親睦は、単なる飲み食いや遊びによる親睦だけでは無く、奉仕を共に行う事によって心の底から得られる親睦です。場合によっては民族や国家をも超えて得られるものも有ると思います。
- ○多様性　私達の生き方は様々です。職業も色々です。環境も仕組みも色々あります。自分の考えや身近の方々の考えだけでは無く、多種の方々の存在や考えを認め、理解し合う事が大切です。地域や国を超えて理解し合う事で、自分自身の世界も広がると考えます。
- ○高潔性　ロータリアンは、仕事に於いても、人間関係に於いても常に高い倫理観を以って活動しています。これは他人に押し付けるものでは無く、自分で実践するのみです。黙っていても他人は観ています。
- ○指導力　ロータリアンは、夫々が夫々の分野に於いて優れたリーダーです。指導力を更に磨き、ロータリー活動に、或いは職業の場で、或いは地域社会に於いて、この指導力を遺憾無く発揮しましょう。

最後に会員増強について一言

会員増強は、どんな組織にとっても必要な事です。

しかし、大切な事は、会員増強を会員数が少ないからと云う組織の都合で行うのではなく、ロータリーへ入会して頂いて「私達と一緒に良い事をしましょうよ。」と云う気持ちやお誘いの呼びかけが無くてはならないという事です。

○ロータリーに入会すると

- 素晴らしい考えや実績を持つ方々との出会いがあります。
- 自分や職業を高める機会を得られます。
- 自分の住む地域に貢献する行事に、参加する事が出来ます。
- 世界に於いて、困っている事を解決する行事に参加する事が出来ます。

こんな考えで、共に奉仕できるメンバーをお誘い頂きたいと考えます。

コーディネーターニュース2015年６月号

会員の退会防止とゾーンの戦略計画

ＲＩ第３ゾーンロータリーコーディネーター　**安　満　良　明**（加治木ＲＣ）

今年度も後わずかとなりました。今一番大事なのは、会員の退会防止です。例年年度末の６月にたくさんの退会者がおられます。クラブをあげて退会防止に取り組んでください。

さて、去る４月18日に次年度のための第３ゾーンリーダー会議を福岡で開催し、2015年７月11日㈯に福岡にて第３ゾーンロータリー戦略計画推進セミナーを開催することが話し合われました。次年度からは、ロータリーコーディネーターとロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターの共催で開催されます。今回初めて三つのコーディネーターが共催することになり、ロータリー戦略計画の三つのテーマ「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」、「公共イメージと認知度の向上」が揃って学び話し合える機会となりました。クラブがクラブのための戦略計画を立案し推進していき、それを基にガバナーと地区の戦略委員会が地区の戦略計画を立案推進していただくことが大切だと思います。永年の会員減少の中に、やっと歯止めがかかり会員増加の兆しが見えてきた中、クラブがしっかりと、クラブの未来像を見据えて戦略計画をたて推進していくことが、各々のロータリークラブの基盤を確たるものにすることだと思います。

「クラブで取り組む公共イメージ向上」―次年度に向けた目標

ＲＩ第３ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター　**岩　永　信　昭**（長崎北東ＲＣ）

公共イメージ向上はここ数年益々強調されている戦略計画優先項目の一つです。ラビンドランRI会長エレクトは以下に対する取り組みをクラブに強く奨励されています。

1）**地元メディアによる報道の推進**―メディア報道を担当する会員を指名しクラブの活動等を取材してもらうよう働きかける。

2）**「ボイスとビジュアルアイデンティティのガイド」の導入促進**―ＲＩウェブサイト内ブランドリソースセンターからダウンロードできるこのガイド（写真）を利用しクラブのウェブサイトや出版物に導入しロータリークラブ・セントラルへ報告する。

3）**デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進**

これらは次年度ＲＩ会長賞の受賞条件にも含まれており、各クラブで積極的に取り組まれて下さい。地区広報委員会そしてコーディネーターが皆様方のサポートを喜んでさせて頂きます。ご理解の程何卒宜しくお願い申し上げます。

2015年３月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				７月１日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	89.9	58	0	64	0	0	2	−2	6
	小城	4	80.2	19	2	25	2	0	0	0	6
	牛津	2	78.3	28	0	29	0	0	1	−1	1
	多久	4	83.9	36	6	39	5	0	0	0	3
	佐賀大和	5	75.2	24	3	21	3	0	0	0	−3
	小計		81.5	165	11	178	10	0	3	−3	13
第2グループ	佐賀西	4	85.5	39	0	41	0	0	0	0	2
	佐賀北	4	72.1	41	3	40	2	0	1	−1	−1
	佐賀南	4	80.0	36	2	37	2	0	2	−2	1
	神埼	4	90.0	36	3	37	3	0	0	0	1
	佐賀空港	3	74.0	15	1	15	1	0	0	0	0
	小計		80.3	167	9	170	8	0	3	−3	3
第3グループ	有田	5	74.3	33	0	34	0	0	0	0	1
	武雄	5	91.8	52	4	50	4	0	1	−1	−2
	鹿島	4	85.5	44	3	37	3	0	3	−3	−7
	嬉野	4	86.9	24	1	23	1	0	0	0	−1
	大町	4	68.8	15	0	16	0	0	0	0	1
	白石	4	71.1	8	0	6	0	0	0	0	−2
	太良	4	95.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		81.9	186	8	176	8	0	4	−4	−10
第4グループ	唐津	5	86.4	55	0	55	0	0	1	−1	0
	伊万里	4	95.8	27	0	30	0	0	0	0	3
	唐津東	4	88.6	53	0	52	0	0	3	−3	−1
	唐津西	3	89.9	30	0	33	0	1	1	0	3
	伊万里西	4	92.3	45	0	47	0	0	0	0	2
	唐津中央	4	89.5	32	4	33	4	0	1	−1	1
	小計		90.4	242	4	250	4	1	6	−5	8
第5グループ	佐世保	4	100.0	74	0	74	0	1	1	0	0
	平戸	4	71.1	39	4	39	4	0	0	0	0
	佐世保西	4	91.3	22	1	24	2	0	0	0	2
	北松浦	5	93.0	24	0	25	0	0	0	0	1
	松浦	4	90.1	26	1	26	1	0	0	0	0
	小計		89.1	185	6	188	7	1	1	0	3
第6グループ	佐世保南	4	100.0	73	1	75	0	0	1	−1	2
	佐世保東	4	95.2	23	0	22	0	0	0	0	−1
	佐世保北	5	98.1	43	0	45	0	0	1	−1	2
	佐世保中央	4	100.0	43	1	45	1	0	0	0	2
	佐世保東南	3	82.6	21	0	23	0	0	0	0	2
	HTB佐世保	4	94.1	20	3	21	3	0	0	0	1
	小計		95.0	223	5	231	4	0	2	−2	8
第7グループ	大村	5	90.2	48	3	49	3	0	0	0	1
	島原	4	69.3	27	2	25	3	0	1	−1	−2
	雲仙	3	89.7	28	1	26	1	0	0	0	−2
	大村北	4	100.0	23	0	23	1	0	0	0	0
	島原南	4	70.0	21	1	23	1	0	0	0	2
	大村東	5	84.6	41	4	39	4	0	1	−1	−2
	小計		84.0	188	11	185	13	0	2	−2	−3
第8グループ	諫早	4	84.3	63	0	65	0	0	1	−1	2
	諫早北	4	72.3	66	3	65	2	0	1	−1	−1
	諫早西	4	92.6	38	0	38	0	0	1	−1	0
	諫早多良見	4	85.7	40	0	36	0	0	1	−1	−4
	諫早南	4	80.2	24	4	24	5	0	0	0	0
	小計		83.0	231	7	228	7	0	4	−4	−3
第9グループ	長崎	4	81.2	82	0	82	0	1	2	−1	0
	福江	4	86.8	34	0	33	0	0	2	−2	−1
	長崎北東	4	76.3	38	5	38	5	0	1	−1	0
	福江中央	4	94.3	26	0	27	0	0	1	−1	1
	長崎西	4	75.6	56	0	58	0	1	0	1	2
	長崎琴海	4	57.8	16	1	16	1	0	0	0	0
	小計		78.7	252	6	254	6	2	6	−4	2
第10グループ	長崎北	5	78.9	78	0	76	0	0	4	−4	−2
	長崎南	4	77.8	76	0	76	0	0	1	−1	0
	長崎東	4	76.9	44	1	47	4	0	1	−1	3
	長崎みなと	4	81.4	23	1	27	1	1	0	1	4
	長崎中央	4	94.1	61	0	62	0	2	0	2	1
	長崎出島	4	76.6	55	11	54	11	0	1	−1	−1
	小計		81.0	337	13	342	16	3	7	−4	5
57クラブ合計			84.5	2,176	80	2,202	83	7	38	−31	26

＊上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
７月１日から2015年３月末までの増減です。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。　※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

佐賀空港ＲＣ
塚本　喜紀 君
㈱塚本鐵筋
代表取締役

唐津西ＲＣ
櫻井　　勝 君
溝田農材㈱
取締役

佐世保ＲＣ
石田　謙二 君
㈱長崎新聞社佐世保支社
支社長

長崎ＲＣ
安達　浩平 君
安達㈱
取締役副社長

長崎西ＲＣ
若杉　和俊 君
ワカスギ不動産㈲
代表取締役

長崎みなとＲＣ
馬場　隆幸 君
社会福祉法人 萌友会
理事長

長崎中央ＲＣ
加藤　　剛 君
中西・加藤法律事務所
副所長

長崎中央ＲＣ
宮口　智行 君
㈲ケイアンドエービルメンテナンス
取締役専務

物　故　者

謹んでお悔やみ申し上げます。

唐津東ＲＣ
宮島傳二郎 君
（享年85歳）

福江ＲＣ
才津　金人 君
（享年85歳）

長崎東ＲＣ
新部　富夫 君
（享年82歳）

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
ポール･ハリス･フェロー	幸　良　秋　夫	佐 世 保

米山記念奨学会

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	朝　永　春　郎	松　　浦
マルチプル	富　永　正　嗣	武　　雄
	古　賀　良　一	佐世保南
	藤　本　俊　春	諫　　早
	殿　村　周　三	長崎出島
功労者	小　林　尚　人	松　　浦
	村　川　一　人	諫　　早
	村　田　好　隆	諫　　早
	中　尾　通　明	諫　　早

文庫通信 (332号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

必読のロータリー情報

◎「信天翁（AHODORI）よちよち歩く」 斉木亀治郎　姫路R.C.　1970　209p
◎「ロータリーの初心をたずねて」 小堀憲助　東京千種会　1971　54p
◎「ロータリーにおける思考と行動」 菅野多利雄　1972　128p
◎「おゝロータリアン（職業奉仕とは）」 金沢北R.C.　1975　84p
◎「ロータリーの本」 森 光繁　今治R.C.　1971　126p
◎「ようこそロータリーへ・新装」 佐藤千壽　東京江北R.C.　2000　87p
◎「純粋ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学」 小堀憲助　千種会　2009　79p
［上記申込先：ロータリー文庫］
◎「ロータリーの森を歩く」 佐古亮尊　大村北R.C.　2005　345p
［申込先：長崎新聞社出版室　FAX（095）848-4856］
◎「ロータリーの心と原点」 廣畑富雄　2014　171p
［申込先：㈱エムケイスペース　FAX（092）737-9557］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

「鰻料理屋の繁昌」

諫早の有名料理といえば鰻である。市内で数ある料理店で老舗の看板には文久三年と書いてあるので、かなり昔から商売として成り立っていたのであろう。自然も豊かで、本明川でも天然の鰻が良く獲れていたことがわかる。今でも市内には数軒の鰻料理屋が繁昌しているので、土用の丑の日とは言わず鰻の食文化が一般に広まっているといえる。

今では食材として供される殆どが養殖もので、それでも漁獲量の減少と絶滅危惧種に指定された直後でもあり、鰻が好物の人には気になるところである。

自然が豊かな頃の名残とはいえ、鰻屋がいつまでも存続することを願うものである。

編集後記：2014～15年度のロータリー活動も、いよいよ終わりに近付いた。宮﨑ガバナーにとっては心臓手術の直後でもあり、波乱の船出が危惧されたにも拘らず見事に復調されて、無事に大役を果たされた。喜ばしいことである。ガバナーを支えていただいたガバナー補佐の皆さん、地区役員の方々の献身的なご協力に感謝いたします。

月信の編集も総集編を残すのみとなった。この一年間、月信発行に関与して下さった多くの方々にお礼申します。

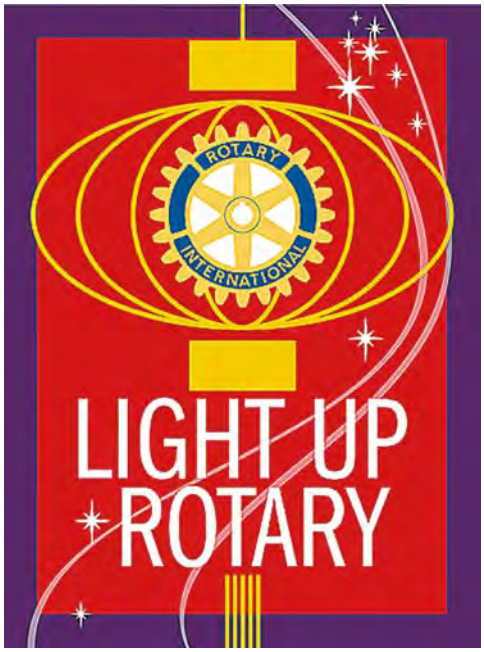
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮崎　清彰

Vol.2
2014.8.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

楠の大樹

諫早市内のほぼ中央に位置する諫早公園の頂上は、山城の跡とされていて、そこに悠然と聳え立つ楠の大樹がある。樹齢は推定600～800年ともいわれる巨木は、眼下に諫早の街を見下ろしている。諫早の幾多の栄枯盛衰を凝視してきた歴史の証人でもある。地表に現われた樹の根は、さながら蛸の足の如くのびて大地を掴み、大木の重みに耐えている。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
会員増強および拡大月間に寄せて……3
地区委員長挨拶……5
ロータリー文庫通信……12
ロータリー財団奨学委員会だより……13
米山学友「お米贈呈式」報告……14
平和祈念交流卓球大会……15
地区大会のお知らせ……16
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

ガバナーエレクトとの別れ —— 出発

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　崎　清　彰

突然４月中旬に一通の訃報が届いた。エレクト仲間である第2750地区 小粥定美さんが突然亡くなったという。何かの間違いではないかと思ったが現実にただただ愕然とした。小粥さんとは最初のガバナーエレクト会の勉強会ではいつも隣の席だった。地区の順番に席が準備してあり、僕の左側は第2730地区（宮崎、鹿児島担当）の田中俊實さん、右側は第2750地区（東京、北アリアナ諸島、グァム、ミクロネシア、パラオ担当）の小粥定美さんだった。

僕の先輩に諫早ＲＣの長島吉實さんがいる。僕のことを「宮みや」とか「宮ちゃん」とか言って温かく見守ってくれている。その彼が「宮ちゃんはすぐに誰とでも話したり、すぐ友達になれるけんいいね」といつも言っている。正にその通りで今回も小粥さん、田中さんとすぐに仲良くなった。その小粥さんの急逝に何ともいえない寂しさをおぼえた。実は私が昨年９月に入院することになった時、同期のエレクトで一番に連絡をさせていただいたのが隣の席だった東京の小粥さんだった。12月のガバナーエレクト会には欠席で、又、楽しみにしていたサンディエゴの国際協議会には参加できない旨を他のエレクトの皆様に連絡をしていただいた。皆、びっくりされ励ましの手紙をいただき有難かった。特に小粥さんからは何回となく毛筆の力強い字で「早く元気になって戻って来てください」とか手術の日取りが決まった時も「成功を祈っています」、無事手術が終わりリハビリに入った時も「よかった　よかった」と自分の事のように喜んでいただき、励ましていただきました。１月には「今から国際協議会に行って来ます」と元気一杯の気持ちが伝わる手紙。帰ってこられてからは協議会の様子など報告もしていただいた。一緒にサンディエゴに行けなかったけれど、一生同期ガバナーとしての付き合いになります。お互いに助け合って地域のためクラブのために頑張りましょう。次回会うのを楽しみにしています。一日も早い回復を心より祈念していますという２月14日付の手紙が届いた。それが最後になってしまった。残念無念で仕方がない。６月11日にハイアット・リージェンシー東京で小粥さんの別れの会が執り行われ、同期のエレクトが多数お見えになっていた。

ロータリアンはもちろんの事、会社関係者を含めると約350人余りの人が別れを惜しんだ。小粥さんの優しさ、温かさが伝わる多くの別れの言葉があった。「小粥さん自身ロータリーそのものでした。」「ロータリーをこよなく愛したロータリアンの一人でした。」地区幹事が「７月１日でガバナーだったのに残念でした。もう少しだったので！」涙ぐんだ言葉に強く心を打たれました。奥様から「小粥も皆々様のご期待ご支援に応えるべく思いを一心に2014－2015年度のＲＩ2750地区ガバナーとして全うする覚悟の中、予測も無く交わせる言葉もなく永遠の別れを迎えてしまいました。沢山の思いを残して旅立ちました。小粥の気持ちを思うとただただ悲しく、悔しく無念でたまりません。」と挨拶があった。その日は雨が降っていた。皆様の心の涙が雨に変わったと思いつつホテルに戻った。

６月30日エレクトとして最後の会が東京で開催され小粥さんの奥様も出席され、７月１日からガバナー年度、心に小粥さんの分まで頑張ろうとお互い誓いあいました。小粥さんの地区は坂本ＰＧがガバナーとして再登場となり大変お疲れ様でございます。又、同期会の名称は「仁禄会」となった。同期のガバナー奈良大宮ＲＣの北河原公敬さんが名付け親となり、皆とてもいい名前と喜んでいる。

７月１日晴れ　いよいよガバナーとしての年度が期待と不安のなか始まった。

会員増強および拡大月間に寄せて
～会員増強・退会防止に結びつく方策について～

会員増強委員会　委員長　**貞　方　正　一**（平戸ＲＣ）

平成26年３月19日、東京で「国際ロータリー第１・第２・第３ゾーン　会員増強セミナー　～地区会員増強維持セミナーのために～」が開催され増強目的の達成に向け「会員維持」と「会員増強」の双方からの切り口の発表があり、ＲＩでは2016年に130万人の仲間とともに奉仕活動を行える体制をつくろうと、大きな会員増強への志を持って、それを訴えています。

現状は厳しい目標ではありますが、それを越えて増強をしていただきたいと杉谷ＲＩ理事より説明がありました。

会員増強はロータリークラブ発展の基礎です。地区やクラブでどう働きかければ会員を退会させずに維持率を高めることが出来るか、また、新会員の勧誘が出来るかが長年の課題となっています。

拡大月間を迎えて今一度、会員増強を考え直していただく為に、各クラブ、各委員会の皆様方の経験体験そして、更に全国各地で取り組んでいる増強事例などの調査を行いました。ここで国内クラブの中での増強手法の一部を紹介したいと思います。

■会員増方法の例

①ＳＡＫＵＪＩ大作戦の活用
②職業分類の未充填の業種をあげてターゲットとし定期的に全会員が活動を行う。
③例会ゲストに招いたり公開例会を増やし、気軽に入会候補者を招く。
④例会や行事の中で会長・幹事が常に会員増強を言葉にして拡大の流れや雰囲気をクラブ全体に作る。
⑤女性会員入会月間を設けたり、クラブで考慮し、なにかの特典なども考慮する。
⑥毎年若い会員に入会候補の情報を提供してもらう。
⑦会員増強のためのパンフレットの作成。
⑧クラブの充実、魅力的なクラブづくりが会員増強に繋がる。
⑨メンバーの知人、友人を例会や親睦会に誘う。
⑩退会した会員の再勧誘。

■維持（退会防止）の例

①新会員へ情報提供、教育　会長経験者が講師となりオリエンテーションを行う。
②新入会員は親睦、会報委員会などに所属。（希望を事前に尋ねる）
③新入会員席は推薦者や同年代の隣席に設ける。
④早い機会に卓話をして、ロータリアンとしての自覚を高める。
⑤事業の関係などで止む無く退会されても、再入会を前提とした前向きな退会として認め、慰労会などを設けたりして復帰しやすいようにする。
⑥入会認定書の授与式などを工夫して高品位なものに変える。
⑦趣味の倶楽部や同好会などの幹事や代表職を各々役目として引き受けてもらう。
⑧家族参加のイベントや事業を増やし家族同士の交流を深める。
⑨新しい会員と古い会員との融合を図る。（世代間交流）
⑩入会勧誘時の説明の際、ロータリーのシステム、クラブの現状など正確に説明して理解を得ておく。（入会後、現実とのギャップにより退会することがないように）

■ロータリーの理念を再認識すること

奉仕の理想とは『**他人のことを思いやり、他人のために役立とうとすることである。**』ということであり、国際ロータリー初代事務総長チェスリーＲ．ペリーの言葉であります。

ロータリーの奉仕は『**思いやりの心をもって他人のためにつくすことである**』とか、『**最もよく奉仕す**

る者、最も多く報いられる』というロータリー哲学の実践にあります。
自分の職業を通じて常に地域のために何か良いこと、新しいことが出来ないかを考え、最善の努力をすることが大切です。

■善意の高揚に努めること

私たちはロータリークラブの例会に出席して、自分に与えられたクラブの委員会活動に従事しながら奉仕というものをおぼえ、その実践の仕方を勉強しているわけです。
更に、会員の資質向上を図るにはどうすればいいかと言いますと、毎例会時の会長の時間を充実させたり、ロータリー情報の徹底を図ること等があげられます。
ロータリー情報はロータリアンにとってなくてはならない栄養源なのです。
こうして会員の資質が向上しますと、更に善意は高められ、有益な奉仕活動を行いやすい状態になります。これがクラブの魅力と求心力を強めることになり、ロータリーのイメージアップにつながります。
その結果、会員自身の充実感・満足感を高め、ひいては社会的信用度を増すことになり、一方、これがロータリーに入会して会員の一員になりたいという動機づけにつながり、ここに会員増強の原点があります。

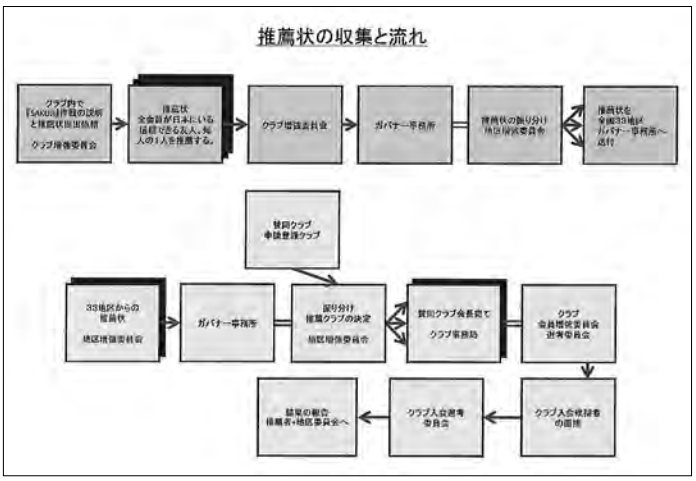
冒頭の全国の会員増強セミナーで、女性会員の増強についても話がありました。
女性会員は2014年５月現在、日本全国で4,516名（５％）、第2740地区では79名（3.6％）となっており、女性会員ゼロのクラブは28クラブあり、全体の半数のクラブに女性会員がいないという現状です。
女性会員の入会によって、クラブ例会が明るくなったという話を良く聞きます。
是非、可能な限り女性会員の増強にもチャレンジしていただければと思います。

今回紹介した調査資料は、会員増強の資料の中のほんの一部です。
インターネットでは、ロータリーのホームページ等より資料や会員の体験談、他クラブでの会員増強、会員維持の方法が、わかりやすく知ることができます。

豊富な資料を参考にして会員がロータリーの知恵を得ることができる事により、クラブで活発な意見交換をしていただき、それがクラブの活性化に繋がり会員増強、会員維持活動へと取り組んでいただけたらと考えます。

各クラブの会員増強資料として、「国際ロータリー第１・第２・第３ゾーン　会員増強セミナー　～地区会員増強維持セミナーのために（ＳＡＫＵＪＩ大作戦）ＤＶＤを第2740地区ホームページに掲載しております。
これは田中直前ＲＩ会長、北ＲＩ理事をはじめ、６人の10分程度の濃縮されたスピーチを収録したものです。各クラブの会員増強、会員維持活動に大いに御活用ください。

８月は会員増強月間ですが、日本のロータリアンの会員数は残念ながら減少が続いています。
第2740地区の会員数においても非常に不安定な状態が続いています。
８月に限らず『毎月、毎週が会員増強』との熱意と意識を保つことが大切です。こうした努力は一年後、日本国内、地区内の新会員増加という大きな成果となって還元され、一年後、私たちは『ロータリーに輝きを』もたらすことができるのです。



地区委員長挨拶

クラブ奉仕統括委員長 佐藤　豊（長崎琴海ＲＣ）

楽しい例会・充実した例会は会員増強への道しるべ

ゲイリーＣ．Ｋ．ホァンＲＩ会長は今年度の年間テーマとして「ロータリーに輝きを Light up Rotary」を世界中のロータリアンに向けて発信されました。灯台の光が航海の安全を求める船舶にとって心強いものであるように、各クラブのロータリアンにも、より一層の明るさと輝きが求められているのです。

ゲイリー会長は、「私たちは皆、ロータリーファミリーの一員であり、ロータリーの奉仕の経験から多くを得ています。ロータリーを通じて私たちは、友情を育み、地元に貢献し、またより良く、より安全で健康な世界を実現するために力を尽くしてきました。そして真に国際的なボランティアのネットワークを形づくっただけでなく、人々が互いの違いを乗り越えて手をつなげば、驚くべきことが達成できることを実証してきました。」と述べています。（ロータリーの友７月号Ｐ17より）

しかしながら、私たちの周辺では、国際的な地域紛争、戦火に泣く幼児や女性の姿、軽く扱われる人命。飲料水や食糧も確保できない人々。国内においても、東日本大震災後の復興、老齢者対策、幼児虐待、限界集落、十代にまで広がる覚醒剤や違法ハーブ、反社会的なモラルやマナーの低下など難問が山積しています。

前述のように、ロータリアンが相互の絆を再確認し、新しい奉仕の仲間をロータリアンとして迎えることは寛容なことです。そのためにも、毎週の例会に積極的に参加して異業種交流を楽しみ、良く準備された卓話や奉仕を楽しみましょう。

①ロータリーの友、ガバナー月信の熟読
②身近なロータリー情報の提供、ロータリー文庫の活用
③新会員を教育する手伝いに参加する
④退会防止の重要性、新会員の意識向上に努める
⑤家庭集会を楽しみ、進んで参加する【ロータリーデー】

実のところ、上記は会員増強を推進するためのエネルギーとも言えます。私たちはこの一年でどれくらい真のロータリアンとして成長できるでしょうか？　多くの種をまいた人が多くの成果を得られる人に違いありません。

共に「ロータリーに輝きを」を実践し、豊かなロータリーライフを体感しましょう。

会員増強委員長 貞方　正一（平戸ＲＣ）

ゲイリーＣ．Ｋ．ホァンＲＩ会長は、今年度の国際ロータリー年間テーマとして「ロータリーに輝きを」と定めています。

本ロータリー年度、新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、ロータリーを輝かせて下さい。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。

『ロータリーデー』を開催してロータリーを知ってもらいましょうと提唱されています。

宮崎ガバナーは地区方針として、「地域に輝くロータリー」を含め会員増強の目標は各クラブ純増２名以上、2,300名を目指す。会員の維持とは断続的なプロセスであり、絶えず注意を払い対策を実施し真剣に取り組む必要があると示されました。

2013年８月号のロータリーの友に記載されている通り、日本全国で「サクセス・ジャパン大作戦」が継続されています。この作戦の達成目標は2016年６月末には、会員数を10万人にすることです。「ＳＡＫＵＪＩ大作戦」で行っていた遠隔地にいる友人を地元のクラブに紹介する方法をはじめ、「地域会員増強計画」で掲げた会員維持、女性や若い経営者にも積極的な勧誘を実施していき、あらゆる有効かつロータリーにふさわしい方法で10万人達成に臨みましょう。

肝要なことは、『一人の会員が一名の会員候補者』を推薦書に記入していただくことから始まるのです。

昨年に引き続き2740地区は地区会員増強委員を第１から第10グループより１名ずつ選出し、10名と致しました。各グループがガバナー補佐と地区委員の連携を密に行っていくことにより、全員で会員増強に取り組んでいこうという目的からです。地区委員が各グループに１名いることで各クラブからの情報や意見を聞くことができ、各クラブから各グループへ、そして地区全体へと連携が出来る組織作り、会員増強に臨みたいと考えます。

会員維持（退会防止）については、会員一人一人が自信をもって新会員候補者を勧誘できる魅力あるクラブづくりが大切です。新入会員のための充実したプログラムを立て、オリエンテーションの充実により会員の知識を深め、３年未満の会員を育てることに全員で気配りを行い、退会者の防止に努めることが重要です。

増強は一人一人がロータリーへの熱意と意識を持たないと達成できません。

自分自身がロータリアンになってよかったという気持ちを他の人に伝えていくことが会員増強、会員維持（退会防止）へと繋がっていくのではないでしょうか。

地区委員長挨拶

職業奉仕委員長　**駒井　英基**（佐賀南ＲＣ）

今年も宮﨑清彰ガバナーの下で地区職業奉仕委員長を務めさせていただくことになりました。活気ある１年になればと念じております。

ロータリーは５大奉仕で成り立っています。その中でもクラブ奉仕と職業奉仕は、ロータリー創設以来の歴史がありロータリー活動の中でも根幹をなし、特に職業奉仕は他の奉仕団体とは一線を隔す、特徴のある奉仕部門です。

ただ、その考え方は日本語としては捉えにくく、会員各自の日常の職業に内在する精神的支柱となるべきものである事から、奉仕としての実績は表面に見えず、外部に対しては評価されにくい部門でもあります。

しかし、近年会員を確保するために折角新入会員を迎えても、以前の如くロータリーの大先輩による炉辺会談などのようなミーティングも世代間の交流が疎かになるにつれ、その実施さえも減少してきています。

当第2740地区では、近年会員増強委員会と職業奉仕部門での努力の甲斐あってか、ようやく会員減少に歯止めがかかってきたようですが、まだ全国的には折角入会いただいても３年以内に退会される会員が比率としては一番多く、日本全体として会員数が伸びない原因ともなっています。まことに残念ながら入会時にロータリーとは何かを理解していただけていないことも理由として考えられるのではないかと思います。確かに手続き要覧は、入会時に全会員に配布されますが、硬い表現に終止しており、ロータリーの目的は定款第４条に明記されていても、地区委員にでもならない限り、よく読む事も無く、読んでも今一内容の把握ができないようで、素晴らしいはずのロータリーの魅力が解らない会員も多いようです。そこで今年も地区職業奉仕委員会では、地区内の皆様方とともにロータリーにおける職業奉仕の意味を、またロータリーとはどんなにすばらしい団体かを改めて考えていただき、他には無いロータリーの魅力を皆様方のクラブの会員の方々に語れるようになっていただけたらと考えております。今年度もよろしくお願いします。

社会奉仕委員長　**坂井　智照**（佐世保中央ＲＣ）

2014～2015年度、社会奉仕委員長を務めさせていただくこととなりました。皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

社会奉仕とは、ロータリアンにとって、必要不可欠な活動と言えましょう。2014－2015年度ゲイリーＣ．Ｋ．ホァンＲＩ会長はＲＩテーマを「ロータリーに輝きを Light Up Rotary」とされました。その中で「ロータリアンは、超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体にたいする手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していくことが必要です。」と述べ、また「地域社会でロータリーの存在価値を高めることで、ロータリーに輝きをもたらしていただきたい。」とその想いを語られています。

指針として忘れてはならない言葉ばかりですが、さらに「輝く」というキーワードに焦点を合わせ考えてみると、その全てが「奉仕」を中心に考えることができます。つまり、超我の精神で奉仕に臨むことで己を磨き、また高い目標の奉仕を達成させる為に己を磨く、その両輪にて磨かれた一人一人の輝きがロータリーをより輝かせるということです。

「One for All, All for One」チームスポーツなどの格言としてよく引用される言葉です。しかし、時にこの言葉の真意を誤解している場合があります。「一人はみんなのために」という前半はそのままで良いとして、後半を「みんなは一人のために」と訳されることもあるようですが、本来は「みんなで一つの勝利（もしくは目標）を目指そう」が本来の意味だそうです。

どんなに優秀な選手でも一人でできることには限界がある。しかし、チームになれば１＋１が３にも５にもなる。これがチームプレイの素晴らしいところです。しかし、それには前提条件があり、それは「一人ひとりが『自立』した大人である」ことが必要なのです。つまりは、一人ひとりがきちんと「勝利」に向かって自分の足で立っていること、チームの一員として他のメンバーに甘えたり、寄りかかったりしない、大人の集団であることが必須なのだと思います。

ロータリーというチームのためにも、ロータリアンの仲間が生み出す相乗効果を、社会奉仕というフィールドで発揮していただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

「社会奉仕セミナー開催のお知らせ」　平成26年12月７日(日)　東彼杵町総合会館文化ホール
１、2013～14年度　社会奉仕委員会奉仕事業実施報告
２、2014～15年度　社会奉仕委員会奉仕事業予定発表
３、東日本大震災に関する支援活動の取り組みについて
４、交通安全・献血協力活動推進への取り組み
５、その他

地区委員長挨拶

青少年奉仕統括委員長　**中島　洋三**（佐世保南ＲＣ）

今年度、青少年奉仕統括委員長に就任いたしました。よろしくお願いします。

この委員会の名称は今年度「新世代奉仕」から以前の「青少年奉仕」に戻りましたが、実際の活動内容の変更はありません。

ローターアクト、インターアクト、国際青少年交換、ライラの各委員会を統括する委員会です。委員会は各委員長から構成されています。役割は統括というより連絡・調整と表現した方が相応しいかもしれません。

さて、今年度の委員会活動方針は地区研修・協議会でも発表しましたように以下のとおりです。

1．新世代のための月間（９月）を推進する。
2．青少年奉仕統括委員会（インターアクト、ローターアクト、ライラ、国際青少年交換）とロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会と連携・協力する。
3．若者が一つのプログラム／活動から次のプログラムへ移行できるよう助け、また、若者がリーダーシップの力を身につけるにつれて新しい責務を任せるよう奨励する。
4．新世代プログラムの元参加者が、継続的にロータリーとの関係を保てるよう支援する。
5．青少年危機管理についての理解を深める。

以上地区内各ロータリークラブの青少年奉仕活動とは直接関係ないことも多々ありますが、次世代を担う若者のために地区青少年奉仕活動へのご協力よろしくお願いします。

また、その他に青少年奉仕統括委員長は青少年危機管理委員長も兼任していますので、上述の６委員会相互の情報交換に努め委員会開催も計画します。

なお、今年度の行事は下記を予定しています。
2014年９月28日㈰　青少年奉仕セミナー
参加対象者：クラブ青少年奉仕担当理事・委員長（１～２名／クラブ）

ローターアクト委員長　**古賀　秀仁**（伊万里西ＲＣ）

未来を輝かせるためにローターアクトクラブを育てよう!!

現在2740地区内に10クラブのローターアクトクラブ（ＲＡＣ）があり、その内９クラブが活動を行っています。ＲＡＣは18歳から30歳までの青少年を対象として将来の指導者を育成するプログラムです。ロータリークラブの五大奉仕のなかに「青少年奉仕」があるように私たちロータリアンは輝きのある次世代を築くために、将来の指導者となる若者を一人でも多く育てる責務があると考えております。

当地区内のＲＡＣは会員減少により十分な活動が出来ていないクラブもあります。

私は地区委員長として単位クラブで十分な活動が出来ない分を2740地区全体の行事に力を入れて活動をカバーしていきたいと思っています。

ＲＡＣは異業種の社会人や学生との交流を通して自分自身をスキルアップさせるところです。現代社会は電子媒体を通して人と接する機会が増え、対人関係をスムーズに図れない青少年が確実に増えている中で、ＲＡＣは直接に人と接し、企画・立案に向かって学び、メンバー同士で協議や論議をし、仲間と歩調を合わせる事によって否応なしに人との接し方が身に着くところです。ＲＡＣ定款の目的の中に「専門能力と指導能力を開発すること」とあります。この目的に向かって活動しているＲＡＣは素晴らしいものだと思います。実際に会員がＲＡＣを卒業する時は将来の指導者になる資質を充分向上させて卒業していきます。

しかしながらこの素晴らしいＲＡＣの活動を多くのロータリアンが見ることがなく、また興味さえ希薄なロータリアンもいる事に大きな問題があるような気がします。

ＲＡＣを輝かせるのも消すのも提唱ロータリークラブの手中にあると言っても過言ではありません。提唱クラブにおかれましては今一度会員増強にご協力をお願いします。

またＲＡＣの提唱がないロータリークラブにつきましては会員事業所などに推薦できる人材があれば近隣のＲＡＣに是非会員を紹介していただきたいと思います。

地区委員長挨拶

インターアクト委員長 若杉　能將（諫早多良見ＲＣ）

2014－2015年インターアクト地区委員長を務めさせていただくことになりました。皆様のご支援のほど、宜しくお願い致します。

インターアクトとは14歳～18歳までの青少年のための奉仕クラブです。

インターアクトクラブは、支援や指導を与えるロータリークラブによって支援されています。インターアクトには、世界中の11,000以上のクラブに所属する250,000人以上の青少年会員がいます。インターアクトは、ローターリーで急速に発展しているプログラムの一つです。インターアクトという名称は、インターナショナル（国際的）とアクション（行動）という二つの語が複合されてできた名称です。インターアクトクラブは、120以上の国や地域に存在し、真の意味で国際的な現象となっています。

インターアクトクラブの目標は、指導力や高潔な心を身につけ、他社への思いやりと尊重の念を育み、個人としての責任、一生懸命仕事することの価値を理解し、国際理解と親善を推進することです。インターアクトクラブは、「奉仕」と「国際奉仕」を２本の柱にして活動しています。様々な奉仕活動をとおして思いやりの心、他人を助ける事の大切さ、そして自律する精神が醸成されるのを期待するものであります。奉仕への気持ちがあっても、実際に実践し行動を起こすには、内から突き上げるものや背中を押してくれるものが必要です。生徒たちの自主性を尊重し円滑に、しかも持続して部活が遂行されるよう顧問の先生方、ロータリーの方々と共に大きな心で見守り支援していくことが、当委員会の仕事と思っています。現在、第2740地区では、20の高校がインターアクトクラブとして活動しております。本年度、新たに１校が参加します。より多くのロータリークラブが参加して頂くようにわれわれ地区委員会が協力、支援させていただく所存です。宜しくお願い致します。

ライラ委員長 北郷　雅子（長崎出島ＲＣ）

今年度よりライラ委員長を務めさせて頂くことになりました。よろしくお願いいたします。以前は米山記念奨学会と新世代統括に係わって参りましたので、少しは青少年の活動を理解しているつもりですが、前委員長のご指導や４名の委員のご協力とで、地区としてのライラ活動を通して青少年のリーダー育成を有意義なものにするお手伝いをしたいと思っています。

地区ライラ委員長の役割は「ライラ開催のホストクラブの支援と２年先のホストクラブの依頼・選定」を新世代（青少年）統括委員長と一緒に行うことです。本年度（36回目）のホストクラブは平戸ＲＣ、次年度は長崎ＲＣがお引き受けくださり、それぞれのクラブから、ＲＹＬＡ地区委員を出していただいています。

ロータリー青少年指導者養成プログラム（ＲＹＬＡ）は、2013年にライラ手続き要覧が改正され、参加者の年齢に制限はなくなりました。ＲＹＬＡの形式はさまざまで、当地区ではほとんどの場合「ホストクラブの企画・運営で、ローターアクトの協力」のもと、高校生・大学生・社会人を問わず、一泊研修の形で実施されている「リーダーシップ集中研修プログラム」です。

ホストクラブの依頼は57クラブの10グループを５つに分けて、お願いしています。と言いましても、「クラブにライラ委員会がない」クラブもあり、「ライラの活動とは何か」と地区協議会・地区セミナーでご説明をしてもなかなかご理解いただけません。一度ホストクラブになってライラを開催され、興味を持ってライラに参加・協力してくださるクラブと、まだホストクラブになっていない為か、なかなか関心を持ってくださらないクラブとに分かれているように感じます。

５月24、25日諫早北ＲＣがホストクラブの第35回ＲＹＬＡに参加して、実際に青少年と寝起きを共にし、自然の中での散策やワークショップなどの有意義な２日間を体験できました。まさに「やってみなけりゃ解らない」経験でした。

歴代のホストクラブのご苦労への感謝を申し上げます。又、地区内クラブのＲＹＬＡへの積極的なご参加・ご協力をお願いいたします。

地区委員長挨拶

国際青少年交換委員長　佐古　亮景（大村北ＲＣ）

青少年交換も50年を過ぎ、更に交換の事業は継続中です。当地区は、日本でも古い交換の歴史を持ち、数年間の休みを経て、その後現在に至るまで毎年青少年交換事業は行われてきました。

その時、九州は１地区でしたが、その後２地区に分割され、更に４地区に分割されて、現在に至っています。多い時は十数名の交換を行っておりましたが、現在は４～５名程度の交換が行われています。

さて私は、昨年十数年ぶりに青少年交換委員会に復帰する事になり、又今年度は委員長を拝命致しました。地区委員もほぼ留任で新たに加わって頂き、９名でこの委員会を運営していきます。

今年度は、委員会での情報の共有、昨年度より行っていた毎月のオリエンテーションも開催する事としました。

今年度は、９名の学生を派遣しオリエンテーション等の成果を生かし、派遣地区で素晴らしい経験を積んできてくれる事と思います。

来日学生は、オーストラリアの学生を含め７名です。（８月に５名来日）日本での生活、日本語の上達、地区行事参加等の事で、オリエンテーションを派遣学生と同時に開催予定です。日本での楽しく、素晴らしい体験をするように手助けしていき、良い思い出を持って帰国して貰えればと思っています。

旅行としては、昨年度より当地区の長崎くんち・唐津くんちに参加し、地区旅行にも九州全体で、京都・東京と行ける様に努めます。鹿島のガタリンピックには、昨年度は残念ながら参加出来ませんでしたが、今年は参加出来る様に努力していきたいです。

９・11、３・11以降青少年交換の書類等の変更があり、提出等が大変になってきていますが、今年も委員会全員で対処していきます。

更にセクシャルハラスメント等の問題もあり、委員会で検討を重ねて参りますし、危機管理委員会の組織変更等を実行していきます。

又、保険も来日学生に対しては、国保と共に加入の義務が生じてきています。

この事業は、各クラブの御協力によって行われるもので、青少年に素晴らしい体験をさせる事が出来ます。今後も継続させていかねばと思っていますので、御協力の程、宜しくお願い致します。

ロータリー財団委員長　山田　　晃（長崎南ＲＣ）

昨年度に引き続き今年度も地区ロータリー財団委員長を、拝命いたしました。昨年は皆様には大変お世話になりましたが、本年度もご指導ご支援いただきますようお願いいたします。

さて、「未来の夢計画」も２年目を迎え様々な問題が顕在化してきましたが、より良いシステムへと進化しつつあります。当地区におきましても新制度を皆様方にご理解いただき、地区補助金による22クラブより24のプロジェクトと、地区奨学生の派遣が決定いたしております。また、グローバル補助金も、プロジェクトの準備が着々と進んでいる現状です。初年度ということもあり、皆様にはご迷惑をかけている点も多々あると思いますが、今年度中には各委員会に皆さんと力を合わせ新制度をより理解しやすく、また使い易くしていく予定ですので、ご理解をお願いいたします。

当委員会は、補助金・資金管理・資金推進・ポリオプラス４つの委員会により構成されています。それぞれすることは違いますが、ロータリー財団の使命「世界でよいことをしよう」に基づき、ロータリアンの奉仕を広げ、力を高め、活動をよりパワフルで効果的なものとするべく、日々活動をされている地区内ロータリアンの皆様のお力となるべく活動をしてまいります。

ここで皆様にうれしいご報告があります。当地区におきましては、ロータリー財団に対する寄付０のクラブをなくすべく皆様にご協力をお願いいたしておりましたが、昨年度に引き続き、各クラブ会長様はじめとする皆様のご尽力により、寄付０クラブはなくなり、地区内57クラブすべてからご寄付をいただくことができました。ありがとうございました。皆様からのご寄付を無駄にすることがないよう、地域のため世界のために役立ててまいります。

今年度は、西川補助金委員長、永尾資金推進委員長、溝口ポリオプラス委員長、岡村資金管理委員長という強力な体制で臨みます。ロータリー財団月間など講師としてお声掛けいただければ幸いです。ロータリー財団一般については山田、補助金一般については西川委員長、寄付増進については永尾委員長、ポリオについては溝口委員長、補助金申請等については岡村委員長がそれぞれ担当していただきますので、例会のテーマにあった講師を差遣させていただきます。皆様に活用していただいてこそロータリー財団はその力を発揮できます。委員会メンバー一同、地区内の会員の皆様が財団資金を活用されるお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願いします。

地区委員長挨拶

補助金委員長　西川　義文（大村ＲＣ）

今年度よりロータリー財団の補助金システムが大きく変貌する最初の年度となりました。この「ロータリー財団の未来の夢計画」は、今までのように財団のプログラムに乗って行動するのではなく、自ら地域のニーズを特定して、地域に相応しいプロジェクトを立案し行動していかなければならなくなります。

補助金委員会委員一同も皆さまと共に学び、研究し、そして伝えられるよう新しいプログラム実施に向けた期間と捉えており、地区「ロータリー財団セミナー」や「補助金管理セミナー」の開催実施を通して、財団補助金の有効利用をメインテーマとして、各クラブが「新地区補助金」・「グローバル補助金」を活用したプロジェクトを立ち上げることが出来るように委員会一同、各クラブと一緒に活動していきたいと思っております。

ロータリー財団の未来の夢計画では、新地区補助金（District Grants）は３年前の年次基金寄付額及び恒久基金より生じた投資収益の合計額を基に算定される地区活動資金（ＤＤＦ）の50％までを充当出来る規定になっておりますので、2740地区では、特段の事情が無い限り規定の上限額を新地区補助金に振り向けることと致します。

各クラブへの新地区補助金の支給決定は、先ずロータリー財団の理念でもある「地域も含む世界で良いことをしよう」に合致するか。２.「補助金管理セミナー」に出席し、地区とＭＯＵ（覚書）を取り交わしているか。が前提ともなります。

今年度は、補助金決定の仕方は下記のようにさせて戴きました。

１．事業費の半分はクラブ負担。
２．補助金額は一クラブあたり20万円以内とする。
３．年一人100ドル以上寄付達成クラブを優先。
４．年一人100ドル以下は一定割合で除した補助額　といたしました。

新地区補助金は、財団の使命を支える活動を皆さまのクラブと地区が柔軟性をもって実施できるよう支援する補助金です。

また、グローバル補助金を使って、重点６分野での大型の海外社会奉仕活動にもチャレンジしてください。委員会一同、相談をお待ちしております。

資金推進委員長　永尾　竹則（佐賀西ＲＣ）

今年度、第2740地区ロータリー財団の資金推進委員長を拝命した佐賀西ロータリークラブの永尾と申します。昨年度まで同じ資金推進委員会委員としてお世話になって参りました。今年度から委員長ではありますが、ロータリーのこと財団のことについてはまだまだ勉強不足ですので、引き続きご指導ご支援をお願い申し上げます。

さて、昨年度より、「未来の夢計画」がスタートし、それまでの財団のプログラムが大幅に変わり、より利用しやすいものになりました。それまでプログラムの数が多く複雑で分かりにくいというご意見が多かったと聞いておりますが、新しい補助金システムにより、プログラムが簡素化されるとともに、地区の裁量権が大きく拡大し、より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを実施できるようになりました。

ロータリー財団の寄付金額の目標は、これまで「１人毎年100ドル」とされてきましたが、今年度から当地区でも正式に「１人毎年150ドル」となりました。額面では大幅なアップですが、為替レートとの関係もあるようです。そうはいっても、毎年目標金額を達成するというのは大変なことだと思います。ですが、地区の裁量権が拡大し地区でも効果的で持続可能性の高いプロジェクトの実施が可能になったということもあり、「未来の夢計画」により、これまで以上に、ロータリアン１人１人が人道的プロジェクトに参加し社会に貢献しているということがより実感できるようになったのではないかと思いますので、皆様のご理解をいただきたいとともにご協力をお願い申し上げます。

「世界で良いことをしよう」というＲＩ元会長アーチ・クランフの言葉もありますが、援助を必要としている人々へ手を差し伸べていくことはロータリーにとって大切なことだと思います。ロータリー歴もまだまだ浅い若輩者ではございますが、１年間どうかよろしくお願い申し上げます。

地区委員長挨拶

ポリオプラス委員長 **溝口　尚則**（佐世保ＲＣ）

昨年度よりポリオプラス地区委員長を拝命している佐世保ロータリーの溝口です。昨年度は初めての年度であり、活動も積極的な事はあまりできませんでしたが、少しずつ勉強できたせいで今年度は一段階ステップアップした活動をしたいと思っています。

皆さんもご存知のように、ポリオ撲滅はロータリーが最も力をいれている事業です。現在野生ポリオウィルスが常在するのは、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの３カ国のみとなっています。ポリオ撲滅は「あと少し」という所まできています。これは、ひとえにロータリー会員と協力団体の努力の賜物ですが、我々以外にも多くの協力を頂き世界レベルで支援が広がっています。ポリオ撲滅を歴史に刻む為に、世界中のサポーターが参加している世界最大のＣＭ、ロータリーのポリオ撲滅への寄付金の２倍をゲイツ財団が追加寄付をするというこれまで以上のパートナーシップの拡大、などの支援が行われています。

2740地区においても多くの会員からご寄付して頂き、その額も徐々に増大してきています。さらに、５月に行われました平戸での地区大会では、ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会を開催させて頂きました。そこでも多大なチャリティーを頂きました。誠に有り難うございました。

そこで、今年度の目標！

１：メッセージを広げよう‼

これは、大変重要な役目です。ロータリーがこれだけポリオ撲滅に努力していることを、さらに一般の方にも理解して頂き、この運動の意義を充分にアピールする事は、今後の支援にも影響を与え、さらには、いずれロータリアンになりこのような事業を支援したいという人も増える事も期待できると思います。

２：各クラブでの寄付金を増やそう‼

この件については、いつも多大なご努力を頂いており有り難うございます。特に、ゲイツ財団のパートナーシップの拡大により、各ロータリアンの寄付額の３倍がポリオ撲滅の支援の為に使われる「今」が絶好のチャンスです。

今年度も宜しくお願い致します。

資金管理委員長 **岡村　康司**（長崎南ＲＣ）

昨年度（2013－2014）よりロータリー財団委員会に新設された資金管理委員会を引き続き担当致します。地区補助金、財団補助金の管理を通して補助金を利用するロータリアンに向けて、財団の事業の周知と利用の推進を図っていきます。

委員会の事業内容は昨年度とほぼ変わらず以下の項目に要約されます。

１．財務管理計画の作成と「地区の覚書（ＭＯＵ）」の締結を支援する
２．補助金セミナーを企画実施して、クラブの参加資格認定事業を支援する
３．クラブと地区が提唱するすべての補助金事業において適切な管理を指導する
４．補助金に関与するすべての人の利害が対立しないような運用を行う
などです

補助金の利用に関しては適正で厳格な運用を求めていますが、それが障害とならないようロータリアンにとって身近なものにするための制度運営に努めてまいりたいと思います。

地区委員長挨拶

米山記念奨学委員長 **本多　善彦**（雲仙ＲＣ）

2013～2014年度に引き続き今年度も地区委員長に就任致しました。

お蔭をもちまして2012～13年度は１人平均11,971円、2013～14年度は１人平均12,168円で平均197円増になり又16,000円以上のクラブが、唐津中央の52,954円を初め57クラブ中10クラブにより目標の16,000円を達成して頂きました。

皆様のご協力によって現在13名の奨学生を受け入れていますが、来年度（2015～16年度）は16名の受け入れとなっております。

これもひとえにロータリアン皆様のご理解、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

皆様から頂いている大切な寄付金は全額が奨学金・地区経費として支出させて頂いております。

・米山記念奨学金事業
　ロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する民間最大の国際奨学事業
・事業の使命
　将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。
・事業の特徴
　世話クラブ・カウンセラー制度（奨学生一人ひとりに世話クラブ・カウンセラーが対応）
・第2740地区目標金額
　個人平均寄付額　16,000円

以上、増額のお願いばかりしておりますが、米山奨学会は寄付増進が目的ではありません。

日本と日本人を理解した優秀な学生を世界に羽ばたかせ、国際親善の輪を大きく拡げていくことが米山奨学会の目的です。

今後ともロータリアン皆様のご理解ご協力を重ねてお願い致します。

文庫通信（322号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

◎「日本のロータリアンに期待する」 ロンD. バートン　2014　5ｐ（第42回ロータリー研究会報告書）
◎「ＲＩ会長を終えて」 田中作次　2014　8ｐ（第42回ロータリー研究会報告書）
◎「北米におけるロータリー研究会」 G.Kenneth Morgan　2014　3ｐ（第42回ロータリー研究会報告書）
◎「世界のロータリー」 田中作次 〔2014〕 4ｐ（D.2770地区大会の記録）
◎「今こそ考えよう、ロータリーの心と基本―ＲＩの最近の動きとクラブの対応」 富田英壽　2014　38p（魅力あるロータリーに）
◎「ＲＬＩとは」 南園義一　2012　6ｐ（ＲＬＩ研修セミナーテキスト）
◎「新戦略計画の理解と実践を」 南園義一　2014　2ｐ（D.2780月信）
◎「2013年版手続要覧『主な改定内容と解説』」 小船井修一　2014　3ｐ（D.2500月信）
◎「『職業奉仕フォーラム』実施の報告」 福田武男　2014　2ｐ（D.2510月信）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

ロータリー財団奨学委員会だより

ロータリー財団奨学・学友小委員会　隅　　康　二（佐賀西ＲＣ）

平成26年６月22日、大村市の長崎インターナショナルホテルにおいて

- 2015年度派遣予定となる財団奨学生の選考会
- 財団奨学委員会
- 2014年度派遣予定の財団奨学生候補者による最終研修会および壮行会

以上３つの会議が行われました。

[選考会]

来年度派遣予定となる財団奨学生の選考会が、塩澤ガバナー、宮﨑ガバナーエレクト、竹田幹事、森次期地区幹事、山田財団委員長、西川補助金委員長および外国語ネイティブ講師ほか多数列席のもとで、厳正に行われました。その結果来年度の留学生として家田麻衣さんという23歳の女性１名が「地区補助金奨学生」として合格となりました。「英語教育」をテーマにイギリスへの留学を予定しております。

英検１級、Toeicスコア940というすばらしい成績の持ち主で、将来のキャリア設計もしっかりしていることから、当地区へ何か大きなものをもたらしてくれることと期待しつつ、これから１年間彼女の留学準備をサポートしていきたいと思います。

[委員会]

今年度フランスへ派遣中の地区補助金奨学生・吉武志穂美さんの経過が報告されました。

わずか１年の留学ですが、彼女から届く細かい報告によって、フランスにおけるロータリー活動を通しての顕著な成長ぶりが感じられました。また私達関係者も皆、このロータリー財団における奨学生システムのすばらしさを改めて実感する経験となりました。

帰国後は地区大会など地区内の行事に活動を促したいと思います。

[研修会]

ガバナー、ガバナーエレクト、幹事、次期幹事、財団委員長他、財団委員会の各委員長、世話クラブ関係者、学友など大勢が見守る中、今年度派遣される財団奨学生候補者２名による最終プレゼンテーションが日本語、続いて英語で行われました。

英語のプレゼンテーションでは雰囲気も最高潮に達し、会場からの質問者もつい英語になってしまうシーンなど、楽しく、あるいは厳しく助言を賜りながら、彼らのたくましく成長した姿を見ることができました。近々出発する奨学生は以下の２名です。

地区補助金奨学生

松本　幸治君　（イギリス）　大村ロータリークラブ

グローバル補助金奨学生

渡辺あゆみさん（イギリス）　長崎南ロータリークラブ

彼らから届く報告が楽しみです。ガバナー月信および2740地区ＨＰに掲載しますので、是非ご覧くださいますようお願い致します。

官家興氏（元米山記念奨学生）苦学生支援の為の「お米贈呈式」

佐世保ロータリークラブ 2013～2014年度会長　**石　井　正　剛**

官家興（かんかこう）さんは台湾出身の45歳です。彼は、佐世保ＲＣ国際奨学生（1992～1993）及び米山奨学生（1993～1995）です。その奨学金を受けて23年前長崎県立国際経済大学を卒業されました。官さんから「私が無事大学を卒業でき今日があるのも、佐世保ＲＣのご支援のお陰です。大学生の頃は、食べるのに精一杯の苦学生で、ロータリーの奨学金を貰える様になってから学業はもちろん、米山奨学会の活動や佐世保ＲＡＣにも入会、交流の輪が拡がり人生が一変しました。佐世保ＲＣ、そしてロータリアンから受けた恩恵を、これからは自分に出来る形で恩返しがしたい」との申し出があり、今回の事業へと繋がっていったのです。彼は、現在日本人の奥様とご結婚、長崎県東彼杵町で農業をされています。

自分の田んぼで栽培したお米500kgを外国人留学生や日本人でも勉学に励んでいる苦学生に差し上げたいので、佐世保ＲＣに人選他、ご協力をお願いしたいとの事でした。

お米を受け取る学生達には、自分が感じた日本人の持つ心の優しさを母国に帰って伝えてほしい、又日本の若者にはもっと世界に出て交流の輪を拡げていく人間に成長してほしいとの願いでした。私達は、各大学（長崎日本語学院・長崎国際大学・長崎短期大学・長崎県立大学）より75名を選出、６月15日㈰、「お米の贈呈式」を実施しました。当日は、官さんの田んぼで「田植え体験」、「カレーの炊き出し」を行い、長崎国際大学ＲＡＣの学生や佐世保ＲＣ会員も参加、大変賑やかで楽しい一日となりました。ベトナム・ネパール・韓国・中国、いろんな国籍の留学生が集まり、官さんへ心よりの感謝と敬意を表しました。ベトナム留学生（現米山奨学生）Bui Thi Bich Chi（ブイ ティー ビック チー）さんが、学生を代表してお米の授与と謝辞を述べられました。その様子はＴＶ・新聞でも報道されました。

今回の官さんの行動は、私達ロータリアンにとりましても、当クラブ奨学生制度、米山記念奨学会と青少年育成プログラムの意義深さを改めて感じさせられました。

被爆地と被災地を結ぶ強い絆
― 平和祈念交流卓球大会 ―

緒　方　　聖（諫早北ＲＣ）

昨年８月、諫早市内ウエスレヤン大学にて、被爆地長崎と被災地福島を結ぶ平和祈念合同フォーラムが開催された。その記事については、既にガバナー月信に報告されていて、ロータリー関係者には記憶に新しい。今回、宮﨑ガバナーを輩出することを記念して、両県の高校生に呼びかけて卓球大会が開催されることになった。

この事業の根底に流れる精神は、長崎に投下された原爆の悲惨さと福島県民が体験された、巨大地震に偶発した原子力発電所の炉心溶融による放射能拡散、放射能汚染という出来事は等価であるとの観点から、両県の若者がお互いの事を決して忘れず、心を通わせようという高い理念と人間愛に他ならない。

この度の卓球大会にて、直接対決する鎮西学院高校と桜の聖母学院高校の両高校は県下でも屈指の強豪チームであり、熱戦が大いに期待された。スポーツを通じて、なお一層の交流と平和を祈念する心を高めることに資すると企画された。「忘れない、風化させない、８．９／３．11を胸に」参加した人たちは競技に臨んだに違いない。

さて、大会は平成26年７月20日㈰、諫早市立中央体育館（内村記念アリーナ）が会場となった。市内の中学校以上の学生さんにも呼びかけて15チームの応募があり、日頃の練習の成果を競うことになった。

開会式に伴う一連のセレモニーが執り行われたが、その式次第の中に福島の被災地への義捐金贈呈があり、また会場内ではインターアクターによる募金活動が行われるなど、単なる交流試合とは異なる意義があったと言えよう。競技に入る前には入念な試合上の注意などの説明がなされた後、いよいよ競技が開始された。広い会場の中に卓球台30台が整然と配置され、心地よいピンポンの音が会場いっぱいに響き渡り、観衆からの声援が大会を大いに盛り上げていた。個人戦、団体戦と試合は順調に進み、高校団体戦では桜の聖母学院高校が優勝、準優勝に地元鎮西学院高校、３位に活水高校という結果であった。

実は、この大会にはゲストが招待されており、プロ卓球選手でもある四元奈生美さんが自らラリーを披露しつつ戦術的な指導をするなど、緊張する大会の中に華やかな一場面もあり、大会に花を添えられた。気さくなお人柄に魅了されて、試合後は皆さんからサインの希望が多く、一時は関係者をはらはらさせるほど長蛇の列ができた。

今回の平和祈念交流卓球大会はロータリーが目指す世界の恒久平和の理念と完全に一致する企画であり、更に長崎と福島が共に苦難を乗り越えて支え続ける縁となることを願うものである。

DISTRICT2740 CONFERENCE

Rotary 第2740地区

2014－2015年度 地区大会

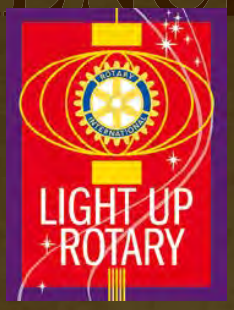
地域に輝くロータリー
平和の灯をともそう

ごあいさつ

国際ロータリー第2740地区

宮﨑清彰ガバナー

緒方聖実行委員長



第2740地区2014－15年度地区大会は諫早にて開催することになり、ホストクラブである諫早北ロータリークラブ会員一同、コ・ホストクラブの皆様のご協力を頂きつつ挙げて準備を進めております。

ゲイリー.C.Kホアン RI会長は、RIテーマを LIGHT UP ROTARY『ロータリーに輝きを』を提唱されました。

『地域に輝くロータリー』をモットーにこの地区大会では、世界の恒久平和を祈念し一人ひとりの心の中に平和を学習する機会になればと企画致しました。そして、何よりも参加していただく会員の皆様方が楽しく年に一度の友好の輪を広げる絶好の機会です。どうか一人でも多くの皆様にご登録・ご参加を頂きますようお願い申し上げます。

ホストクラブ：諫　早　北RC
コ・ホストクラブ：諫　　早RC
諫　早　西RC
諫早多良見RC
諫　早　南RC

2014年 11月 14日(金) 15日(土) 16日(日)

11月14日(金) 第1日目

会 場／L&L ホテルセンリュウ

◎地区指導者育成セミナー
◎RI 会長代理歓迎晩餐会

11月15日(土) 第2日目

会 場／諫早文化会館

10:00～ ◎青少年のつどい
12:30～ ◎本会議
14:30～
◎地区大会記念講演
竹田 恒泰 氏

一般公開 入場無料

作家。昭和50年、旧皇族・竹田家に生まれる。明治天皇の玄孫に当たる。慶應義塾大学法学部卒業。憲法学・史学の研究に従事。平成18年に著書『語られなかった皇族たちの真実』(小学館)で山本七平賞を受賞。その他著書に『エコマインド～環境の教科書』(ベストブック)、『皇族へのソボクなギモン』(扶桑社、共著)、『旧皇族が語る天皇の日本史』(PHP新書)などがある。2010年に入ってから、『たかじんのそこまで言って委員会』を始め、テレビ番組などのメディアにも登場している。ほとんどがコメンテーターとしての出演だが、旧皇族としてテレビに出演したこともある。

会 場／諫早観光ホテル道具屋

◎記念懇親会

11月16日(日) 第3日目

会 場／長崎国際ゴルフ倶楽部

◎地区大会記念
チャリティーゴルフ大会

国際ロータリー第 2740 地区大会事務局
〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10　諫早商工会館 302 号室　TEL.0957-47-5461　FAX.0957-56-9332　http://www.d2740.org/

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

諫早讃歌「有明」

作詞　風木雲太郎
作曲　白石　茂浩

第一章　干潟の海
多良の峯から
本野の谷へ
走り駈け降り
川はながれる

第二章　白木峯高原
つつじの花影
ほたるの光
季節の岸辺を
川はながれる

第三章　本明川
自然と共に
風雅に生きる
青葉の町を
川はながれる

第四章
川の祭りの
万灯流し
想い出深く
川はながれる

ああ本明の
母なる川よ
秋の祭

諫早讃歌「有明」の初演

諫早市制五十周年を記念して創られたもの。諫早の自然とそこに生きる素朴な人々との関わりを歌ったもので、四楽章からなる混声合唱組曲である。この中、第三楽章に母なる川「本明川」が登場する。作詞は先月紹介した碑文の作者、風木雲太郎氏である。團伊玖磨氏の指揮、九州交響楽団の共演によって、平成五年十月十七日が初演であった。諫早市の大いなる財産となった。

團　伊玖磨 氏
IKUMA DAN

風木雲太郎 氏
KUMOTARO KAZAKI

初演のプログラム表紙

編集後記：梅雨明けを待ちわびていたように、蝉の声が喧しい。
見上げる紺碧の空に沸き立つ入道雲が白い。真夏の色だ。
ガバナー公式訪問が始まった。地区内57クラブの訪問と講演はガバナーの仕事とはいえ、かなりの激務である。無事に完遂されんことを祈っている。

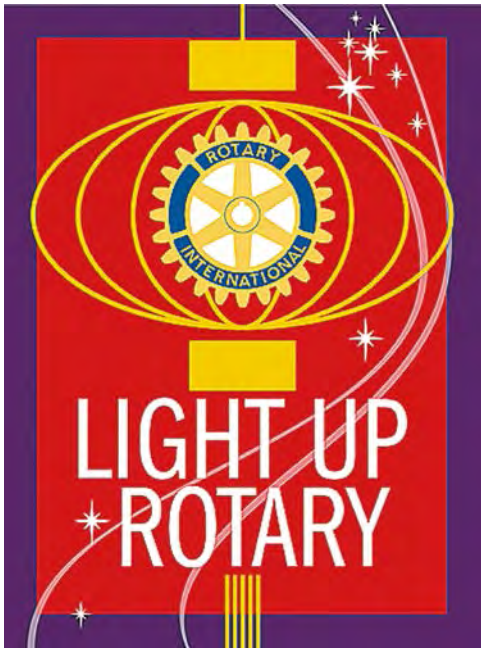
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮崎　清彰

Vol.3
2014.9.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

二つの眼鏡橋

諫早公園には石造りの眼鏡橋が大小二つ並んでいる。昭和32年のあの忘れがたい大水害によって、半壊した橋の復元にあたり、1／5縮尺の模型の石橋が作られた。今回、里帰りしたものがそれであり、近い距離に設置されているため見る距離と角度によって、まるで夫婦か、親子が寄り添っているようにさえ感じられる。単に観光の目的でなく、水害の恐怖を語り継ぐ縁になればと切に思う。

「ここに今耐えて会いける橋二つ
　　水禍の記憶語りつぐべし」

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
「新世代のための月間」に寄せて ……3
第2740地区米山記念奨学会
クラブ米山委員長セミナー報告……4
ロータリー財団、グローバル補助金
ＶＴＴの申請から活動までの報告……5
ガバナー公式訪問クラブ報告……6
「ロータリーの友」だより ……12
ロータリー文庫通信……13
地区大会のお知らせ……14
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

出会いに感謝

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　﨑　清　彰

平成20年６月22日いつもの様にゴルフを終え、軽井沢駅に向かい新幹線の切符を買った。ここ、数十年毎年６月に軽井沢で大学の先輩、ゼミの仲間と名門軽井沢ゴルフ場でプレーするのが恒例となっていた。（もちろん先輩の御厚意で）この日もその帰りだった。

ホームに着くと見覚えのあるお顔を見かけた。１カ月前にテレビでお話をされていた日野原先生のお姿があった。勝手に知り合いの様な親しみを感じて、機会があったら挨拶に行こうと思っていた。先生は軽井沢で講演をされた帰りらしく関係者数名の見送りを受けていらっしゃった。ホームに列車が入ってくると先生は一人で乗り込まれた。順番で乗った私は席を確認し、座るとなんと横には、あの日野原先生が座っていらっしゃった。

それから、東京までの１時間15分私にとって素敵な何ものにも代え難い二人だけの感動の時が流れた。まるで子供が母親を独占する様な満たされた時間だった。人懐っこいまなざしで私の手を取り、穏やかな口調で話された。人生哲学、健康の話、仕事の話、ライフプランニング等、話題が豊富で休みなくずっとずっと続いた。実に楽しいひと時だった。私62歳、先生96歳の出会いだった。東京駅に着くと「今度連絡します。また、どこかで会いましょう」と言い残しプラットホームを去っていかれた。実は先生から２枚の名刺をいただいた。１枚は聖路加国際病院理事長の名刺、１枚は㈶ライフプランニング「新老人の会」会長の名刺。最初の名刺は良く解りますが「新老人の会」とは何ですかということになり、先生は90歳半ばを超えた自分自身も含めて、これまでの老人のイメージではおさまらない元気な老人達が何と大勢いることか。半世紀前に国連で決められた「65歳以上を老人」とする世間の常識を「新老人」と名づけることによって全く新しい老人像を創出したいと考えられました。自立と生きがいを感じながら社会に参加する新しい老人の生き方を追求する新老人の運動を提唱して2000年に「新老人の会」を設立し、全国に拡大していきたいとの事でした。本当の老人は75歳以上からということで75歳以上のシニア会員、60～74歳ジュニア会員、20～59歳サポート会員から構成されている会との説明をうけ、まだ長崎には出来ていないとの話でした。

先生は1970年３月31日（58歳の時）福岡での医学会に向かうために乗った日航機がハイジャックされ、世に言う「よど号ハイジャック事件」に巻き込まれた大変な思いをされました。（詳しい事は先生の本に載っていますのでご一読を！）

東京駅で別れて２週間後に先生から一通の手紙が届きました。私は喜んで待ってましたとばかりに封を開けました。今度、長崎に講演に行くので是非御夫婦で来てくださいとの事でした。ここでも新老人の会が話題になり、これも出会いに感謝、感謝で順調に話が進みました。長崎支部設立が現実化しました。名誉顧問は橋場邦武長崎大名誉教授（長崎ＲＣ）になっていただきました。日野原先生が日航機よど号ハイジャック事件にあい福岡での医学会に出席できず代わりに橋場先生が医学会の議長を務めた古い仲間との事でした。世話人代表に小濱正美先生（長崎南ＲＣ）アメリカ在住の友人（陸士同期生）の紹介で日野原先生とのご縁です。幹事に私（諫早北ＲＣ）と先輩の長島吉實さん（諫早ＲＣ）が主となり長崎支部は全国で28番目に発足しました。準備段階から長崎経済界、医療関係団体、報道関係の皆様に大変お世話になりました。御縁に感謝です。

話は戻りますが、軽井沢のゴルフ場でプレー中にゼミの後輩が実は自分の姉が長崎に嫁いでいますと言う。「どこに」と聞くと「佐世保の西海病院です」という。逸見先生の所と聞くと「はい、そうです」という。これにはびっくり、ロータリーでガバナーをされた大先輩だよと言うと「いつもロータリー、ロータリーと言ってます」という、本当に世の中は狭いものだと思いました。これも又、御縁に感謝です。

一昨年、日野原先生100歳のお祝いの会で伊勢神宮に参拝する機会に恵まれました。小濱代表、長島幹事、私の３人で先生をお手本に「元気で長生き」できるよう願かけをしました。

その甲斐あって私も生き返る事ができました。

先生がおっしゃっている「愛し愛されること」「創めること」「耐えること」この３つのモットーと「子供達に平和と愛の大切さを伝える」という使命を心に刻み、より多くの人達と輪を広げ実践出来る様に頑張っていきたいと思います。

「新世代のための月間」に寄せて

青少年奉仕統括委員会　委員長　**中　島　洋　三**（佐世保南ＲＣ）

「新世代のための月間」に因んで、青少年奉仕について再認識していただくため第2740地区で実施しているプログラムについて改めて説明します。地区内すべてのロータリークラブが４つのプログラムを実施しているとは限りませんが、参考の一助になれば幸いです。

青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである(標準クラブ定款第５条)。若い人々の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすために彼らの生活力を高めることによって、若い人々に将来への準備をさせることは、各ロータリアンの責務である。すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズ（健康、人間の価値、教育、自己開発)を支援するプロジェクトを立ち上げるよう奨励されている（ロータリー章典8.060.)。

【インターアクト】

インターアクトは、当地区では14～18歳の青少年による奉仕クラブです。インターアクトクラブは、当地区では学校を基盤として結成されます。ロータリークラブがインターアクトクラブの設立を支援し、指導やサポートを提供しますが、それぞれのインターアクトクラブは自助自立して運営されます。インターアクトの目標は、指導力や高潔な心を身につけ、他者への思いやりと尊重の念を育み、個人としての責任や一生懸命仕事をすることの価値を理解し、国際理解と親善を推進することです。

【ローターアクト】

ローターアクトは、18～30歳までの青年による奉仕クラブです。地域社会や大学を基盤としたクラブは、社会人や学生など、さまざまな職業の青年によって構成されます。ローターアクトクラブはすべて、地元ロータリークラブの支援の下で設立され、社会奉仕や国際奉仕の活動を実施します。ローターアクトクラブはまた、指導力要請や職業開発の活動にも焦点を当てています。

【RYLA】

ロータリー青少年指導者養成プログラム（Rotary Youth Leadership Awards……RYLA）は、青少年や若者のための研修プログラムです。RYLAの対象年齢層はありません。RYLAは、リーダーおよび善き市民としての資質を伸ばし、人間としての成長を促すことを主眼としています。このプログラムは、リーダーとして嘱望される若者に効果的な研修を提供し、青少年による青少年への指導を奨励し、地域社会に尽くしている若者を公に表彰することにより、若者に対するロータリーの尊重を示すものです。

【国際青少年交換】

国際青少年交換は、青少年のための交換プログラムです。15～19歳の参加する学生は、最高１年間、海外へ留学して新しい文化を学びます。交換の参加者はロータリークラブまたは地区によって推薦、派遣され、母国の親善大使としての役割を果たします。

また、当地区は青少年危機管理委員会を設置し上記４委員会のほかに米山記念奨学、ロータリー財団委員会も加わり以下の趣旨により運営されています。

「新世代育成プログラムに参加する全ての新世代の安全と健康および健全な生活を守り、交通災害、自然災害等の事故・災害からの保護と身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメントを防止するとともに、事態の発生の場合の適切な対応のために必要な事項を定めるものである。」

当地区の青少年奉仕プログラムの課題は、ローターアクトは会員数減少の問題、RYLAは「RYLA委員会がない」クラブも多いためかなかなか関心をもってもらえない、国際青少年交換はクラブ会員数の減少等によるホストクラブの減少またスポンサークラブの減少（優秀な希望学生はいるけれどもスポンサーが見つからない）等々の他にも多くあると思いますが、各委員会はプログラム実施のため努力していることをご理解の上、今後とも青少年奉仕プログラムについてのご支援ご協力をよろしくお願いします。

第2740地区米山記念奨学会
2014～2015年度 クラブ委員長セミナー報告

米山記念奨学会　委員　**牧　　文　春**（長崎西ＲＣ）

６月29日㈰諫早中央公民館にてクラブ委員長セミナーを開催しました。
11時より地区委員全員出席で委員会を開催し、当日の役割分担を行い机等の準備に取り掛かり、14時よりクラブ委員長セミナーを開催しました。

11：00	地区委員打合せ			
13：00	会場準備	全員	委員・奨学生	
	パワーポイント		地区委員	直江　弘明
	記録		地区委員	花島　光喜
13：30	受付		奨学生	
14：00	司会者		地区委員	牧　　文春
	開会		地区委員	大家　和義
	国家斉唱			
	ロータリーソング			
	来賓紹介			
14：15	ガバナー挨拶		ガバナー	宮﨑　清彰
14：25	米山奨学事業について		米山奨学会理事	栗林　英雄
14：35	地区の現状について		地区委員長	本多　善彦
15：05	事例発表		雲仙ＲＣ	福田　宥寛
15：15	休憩			
15：30	米山大使講演	2013～2014年度米山親善大使		楊　　小平
16：00	2014年度米山奨学生発表			楊　　建新
				王　　華梓
16：20	講評		ガバナーエレクト	太田　善久
16：30	閉会		地区委員	古賀　益子

宮﨑清彰ガバナーより開会のご挨拶をいただきその後、栗林英雄米山奨学会常務理事より、米山奨学会の歴史からこの事業を通じて、日本が世界の平和に対して多くの人に理解を得、日本との懸け橋になって頂く等のお話をいただきました。
その後本多委員長より地区の現状及び事業の使命についての説明があり、一人でも多くの方の理解をお願いされ、雲仙ＲＣ福田委員長より事例発表という事で具体的な説明がありました。
休憩の後2013－2014年度米山親善大使 楊　小平さんの講演をいただき、演題は「平和という文化をつなぐ」という非常に難しい広島の原爆体験の継承のあり方を研究し、2013年に広島大学大学院で博士号を取得、現在も引き続き同大特別研究員を続けておられます。
その後、2014年度米山奨学生、楊　建新君と王　華梓さんの発表があり、曽我直前米山委員長より米山奨学生は「認知した子供」という言葉をいただき、最後に太田ガバナーエレクトよりこの事業を熱い思いで継続し、本日の楊　小平親善大使の講演はアメリカ、中国、日本と非常に難しい問題、しっかり勉強してほしいと激励し講評を終わりました。
最後に古賀益子地区委員の閉会挨拶により終了しました。

ロータリー財団、グローバル補助金ＶＴＴの申請から活動までの報告

佐賀医科大学名誉教授、モンゴル国立健康科学大学名誉教授　**香　月　　武**（佐賀ＲＣ）

未来の夢計画とは､2013－14年度から全世界で導入された新しい補助金モデルで、人道的･教育プロジェクトの規模をこれまでよりも広げ、持続可能性を高めることを目的としたものです。

私は、1993年のベトナムを皮切りに、スリランカ、フィリピン、ラオス、ミャンマー、チュニジア、モンゴルという発展途上国で唇裂・口蓋裂の手術支援を行っていました。これらの国で手術を実施するだけでなく、患者の出産から成人に至るまでに必要な医療に関する教育を行い、発展途上国の医療人が自前で完全な治療を行えるようにすることが「夢」でした。ロータリー財団の夢計画が発表されると、すぐにそれを利用することを考えました。最初､2000年から援助をしているチュニジア、チュニスのElMenzahロータリークラブを相手に「夢」計画を進めようとしましたが、相手が新しく始まった夢計画を理解していないのか、私の提案に乗ってこなかったので、これは断念しました。

それに代わって、2005年から手術指導に出かけているモンゴルを相手に選びました。

モンゴルのウランバートルＲＣは、2005年に例会に参加してバナーの交換もしたこともある旧知のクラブです。そこで、そのクラブにメールで連絡をとりながら、実際の活動の場となるMother and Child Health Research Center（通称小児病院）との「夢」計画の実施のための情報交換を行いました。2013年６月にはウランバートルＲＣの例会に出席して、会長のAmgaa Oyungerelさんに私の計画を説明して、了解をえました。また病院とロータリークラブとの風通しを良くするために、小児病院の口腔外科主任であるAyanga氏を私のポケットマネー10万円支払って、ウランバートルＲＣの会員にしてもらいました、モンゴルのロータリークラブの会費は日本の10分の１ぐらいで、10万円あれば１年の会費や雑費に十分でありました。

最大の関門が、オンライン申請で、一切の申請がコンピュータの画面で行わねばならないことでした。そのうえ、申請の初期にはコンピュータプログラムのミスで、画面が全く動かないことがありました。さらに、申請は日本語でもいいことになっているが、英語から翻訳された日本語に難解な部分がありました。また、最後の段階では、英語でのアメリカの財団とのやり取りを行わねばならないことでした。オンライン申請の難問を解決する早道は、専任の事務官を雇用することであります。

グローバルグラントを得るためのもう一つの重要なことは、国境を越えてロータリアンが昵懇の仲になり、共同の事業を行える環境を作ることです。

最後に､「夢」計画のオンライン申請に不慣れな私を励ましていただいたRegional Grants Officer ¦ Rotary GrantsのLaura Bradley、清水優季、山本律子さん、2740地区のロータリー関係者、モンゴルに一緒に行った７人の侍に感謝します。

小児病院での院長、ロータリー会長参加のセレモニー

小児病院長とロータリー会長

手術を受けた患者と家族

手術の指導中

モンゴル母子健康科学センター

ガバナー公式訪問クラブ報告

鹿島ＲＣ　７月15日㈫

会長　峰松　幸弘　　幹事　石橋　義矩

７月15日、宮﨑ガバナー、森地区幹事、富永ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、10時より祐徳稲荷神社で、ガバナーの１年間の任務完遂祈願を行いました。祈願後のすがすがしい気持ちをそのまま懇談会に持ち込んで、和やかな雰囲気で１時間半にわたり御指導を受け、また質疑応答も活発に行うことが出来ました。

鹿島ロータリークラブの特徴はとの質問には、家族一泊旅行と家族新年会を挙げさせていただきました。例会の明るさはもちろん、これらを通じてロータリー仲間としての一体感を感じる旨を、具体例を挙げて説明致しました。

御両名から「質の高いクラブ」という評価を頂き光栄に感じているところです。

またガバナー訪問日、ガバナー補佐訪問日の両日とも出席率100％達成には例会出席者全員びっくりでした。

しっかり説明して頂いたガバナーの地区スローガン及びその元になるキーワード「健康」を念頭に置き、「地域に輝くロータリー」の実践に努めていく決意を新たにした一日でした。

ガバナーのご健康をお祈り申し上げます。

長崎ＲＣ　７月17日㈭

会長　上田　良樹　　幹事　三山　　格

７月17日㈭、宮﨑清彰ガバナー、長谷川宏ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事および緒方聖地区大会実行委員長をお迎えして、公式訪問例会を開催致しました。

例会前に懇談会が行われ、当クラブから会長、会長エレクトおよび幹事が出席致しました。当クラブの概況と共に、特徴とする姉妹都市米国セントポール市のセントポールＲＣとの国際青少年交換事業が来年で40周年を迎えることや、トーマス・Ｂ・グラバー奨学生事業についてご説明致しました。

例会では全員が拍手でお迎えし開会致しました。ガバナーの卓話ではＲＩ会長ゲイリーＣ・Ｋ・ホァン氏の活動方針とガバナーの地区方針・目標についてご自身の経験を含め分かりやすくお話し頂きました。最後に当クラブよりガバナーへ元ＲＩ会長ハーバート・Ｊ・テーラー氏直筆の四つのテストの複写を贈呈致しました。

ガバナーを始めご来訪頂きました地区役員の皆様への感謝と、また１年間のご活躍、ご健勝を祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保南ＲＣ　７月18日㈮

会長　藤永　辰弘　　幹事　植木　義孝

平成26年７月18日㈮、宮﨑清彰ガバナー、宮原明夫ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会が開催されました。例会に先立ち、会長、副会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行われました。当クラブの概況報告、クラブ運営方針・目標などのお尋ねに答えての懇談会は、宮﨑ガバナーのお人柄をよく窺い知る和やかで楽しい時間を設ける事が出来ました。

例会には、ガバナーの赤い公式ネクタイに公式ブレザーという出で立ちでご訪問いただきました。ビデオのビッグ臨時ニュースから始まったガバナー卓話は、ゲイリーＣ.Ｋ.ホァン会長のメッセージ『ロータリーに輝きを』の説明があり、孔子の『興其抱怨、不如改變』の言葉をかみ砕いてご説明頂きました。地区スローガン『地域に輝くロータリー』の実践での説明は、「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちを持って「健康」である事が一番と、聖路加国際病院名誉院長の日野原先生の事を交えてわかりやすくお話しいただきました。例会終了後は、全員で記念撮影をして無事ガバナー公式訪問は終了しました。

15日に鹿島起ちに始まった公式訪問は、長崎と佐世保を連日交互に行き来しておられる毎日と伺っております。まだまだ暑い日が続きます。お身体に十分ご留意され、無事に公式訪問が終了されますことをご祈念申し上げます。

伊万里ＲＣ　７月23日㈬

会長　川原　丈司　　幹事　松本　壽雄

７月23日㈬、宮﨑清彰ガバナー、曽我文雄ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催致しました。例会前の会長・幹事の懇談会では、当クラブの概況や本年度のクラブ方針等を『クラブの現況と活動計画書』冊子を基に説明させて頂きました。

懇談会の中では、当クラブ例会出席率の高さと皆出席会員の多さに対し、お褒めの言葉を頂きました。

当クラブは、青少年育成事業に力を入れており、「伊万里市内青少年剣道大会」や「伊万里観光いろはかるた市内小学校交流大会」を継続事業としての開催を本年度も予定しており、地域と密着した青少年事業の開催の継続をしています。

例会に於いて、宮﨑ガバナーは、「地域に輝くロータリーの実践」にあたり何より大事だと感じることは、『あせらず』『無理せず』『感謝』の気持ちを持つことだと思います。ロータリーデーを設けて事業を継続してくださいと述べられました。

例会終了後は、当クラブ恒例の“楽焼き”を行い、宮﨑ガバナーと曽我ガバナー補佐に伊万里焼き大皿に書いて頂きました。

また、帰路の途中に当クラブ会員の田尻徳麿君（松浦一酒造㈱）の【かっぱのミイラ】に興味を持って見学に行かれました。

宮﨑ガバナーにおかれましては、公式訪問が始まったばかりで猛暑の中大変な毎日が続かれる事と思いますが、健康にはくれぐれも留意されますよう心よりお祈り申しあげます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保東ＲＣ　７月24日㈭

会長　大木　亮諄　　幹事　川中　裕二

７月24日㈭宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事をお迎えし「ガバナー公式訪問」が開催されました。

例会前に行われた懇談会では、現在のクラブの状況と主な活動についてお尋ねいただき、会長より報告させていただいた後、ガバナーより各事業への貴重なアドバイスやお褒めの言葉をいただきました。

クラブの印象を「まだ若手の会長幹事を会員みんなで盛り上げていけるユーモアのある楽しいクラブ」である、とおっしゃっていただいた事に勇気づけられました。

目標に向かって頑張るのは勿論の事ですが「あせらず」「無理せず」という方針で少しリラックスして活動できるのではないかと思いますので「地域に輝くロータリー」に貢献できるよう運営に努めたいと思います。

また「健康」というテーマでは、ガバナーご自身が就任直前に経験された３カ月もの闘病生活で感じた事として、如何に「健康」があっての活動であるかという事を重く受け止めた次第です。

健康である事に感謝し、周囲の方々、支えて下さってるすべての方々に「感謝」することを忘れてはいけないと改めて教えていただきました。

ガバナーの情熱あふれるご指導をいただき感謝申し上げます。

福江ＲＣ　７月25日㈮

会長　張本　民雄　　幹事　才津　光寛

私達のクラブは、離島（福江島）にある為、公式訪問例会の時は何時も天候が気になりますが、今回は宮﨑ガバナーのお人柄でしょうか？　そのような心配を全くすることもなく、予定通りに福江空港に到着されました。

39名乗りの小さなプロペラ機に、搭乗前はとても戸惑われたそうですが、福江まで飛行してみて、「機内から見える外観に感動された」と伺い、嬉しく思いました。

公式訪問例会は、私たちのクラブが６番目との事でしたが、時間通りのスケジュールをこなし、緊張の中にも有意義な公式訪問であったと思います。

只、例年感じる事ですが、公式訪問の例会時間が１時間は短すぎると思います。

ガバナー講話を30分とると、食事懇談の親睦時間が10分弱しか取れません。

今回は特に、米山功労者表彰･ポールハリスフェロー表彰･財団寄附贈呈式等の特別行事が重なり、通常の会長の時間・幹事報告・委員会報告を手短にせざるを得ませんでした。

やはり、慌てない形での時間配分をして、それで１時間をオーバーするようなら、会員に例会時間の延長を通知して望んだ方が、意義のある公式訪問例会が出来るのでは？と感じました。

宮﨑ガバナー・長谷川ガバナー補佐・森地区幹事・大石事務局長には、夜の懇親会までお付き合い戴き、本当にお疲れ様でした、ありがとうございました。

又のご来島を楽しみに、お待ち申しております。

ガバナー公式訪問クラブ報告

福江中央ＲＣ　７月25日㈮

会長　本岡　　晃　　幹事　御手洗富章

７月25日㈮宮﨑清彰ガバナー、長谷川宏ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事、大石竜基地区事務局長をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会開催前に、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会を開催いたし、今年度のクラブ会長活動方針、現況報告、各委員会の活動計画をご説明いたしました。

宮﨑ガバナーより、クラブの活動計画報告書に対しお褒めをいただき、また懇切丁寧にご助言を賜り誠にありがとうございました。

例会ではガバナーにご講話をいただきました。私も『あせらず』『無理せず』『感謝』の気持ちを持ち、出来る事から一歩一歩進めていきます。

今年度は、クラブ創立40周年の節目であります。歴代先輩の皆様方、会員、家族への感謝を込めた魅力あるクラブづくり。「楽しみ」「学び」「奉仕する」 クラブ活動が出来る様に努力したいと思います。宮﨑ガバナーのお人柄がにじみ出るような、大変温かいお話しをいただき、共感できる部分がたくさんありました。

公式訪問ありがとうございました。地区内57クラブの公式訪問、くれぐれもご自愛ください。

宮﨑清彰ガバナーのご活躍と地区大会の成功を心よりご祈念申し上げます。

長崎北ＲＣ　７月28日㈪

会長　石橋　　完　　幹事　堀　　啓二

７月28日㈪宮﨑清彰ガバナー、植松俊徳ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立って、会長、幹事、会長エレクト、副幹事との懇談会では、クラブの現況や会員増強、活動計画について意見交換を行い、当クラブ独自の奨学金制度である「長崎北ロータリークラブ国際交流基金」に大いに関心を持っていただきました。また、長年続いている年長者市民俳句大会や少年剣道選手権大会（４クラブでの合同事業）では、ロータリークラブ主催であることを参加者にもアピールしていることを説明させていただきました。

例会では、当日入会の会員へガバナーから直接名札を付けていただきました。その後、「地域に輝くロータリー」という地区スローガンについて分かりやすく卓話をしていただきました。

最後に、宮﨑ガバナーはじめ地区の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

ガバナー公式訪問クラブ報告

唐津ＲＣ　７月29日㈫

会長　隅田　毓男　　幹事　田中　　博

７月29日㈫宮﨑清彰ガバナー、曽我文雄ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催しました。曽我ガバナー補佐には、３週連続で御来訪いただき感謝しております。

例会前の懇談会には、当クラブより辻幸徳直前会長、藤山英周会長エレクト、田中博幹事と共に出席して、クラブ概況、運営方針、活動方針を説明しました。

ガバナーからは、唐津クラブの特徴を尋ねられました。唐津４ロータリークラブで合同ゴルフコンペを行うこと、麗水（韓国)･大甲（台湾）に姉妹クラブを有し国際交流をしていること、インターアクトクラブの活動が活発なことなどを挙げました。

例会での宮﨑ガバナーの卓話は、ロータリーの基本、2014－2015年度の地区運営方針スローガン「地域に輝くロータリー」に加え、昭和32年の諫早大水害で転居を余儀なくされたこと、今回心臓の手術を受け健康のありがたさを痛感したこと、ロータリーの行事に「ロータリーデー」と冠をつけて一般の人々の参加を促すことなど、パワーポイントを使って解り易く話していただきました。

例会終了後、全員で記念写真の撮影を行い、公式訪問例会を終了しました。

本日の訪問が、57クラブのうちの10クラブ目とのこと、充分体調に留意され全日程を終了されますよう祈念します。

佐賀空港ＲＣ　７月30日㈬

会長　笠井　賢悟　　幹事　小林　孝治

「熱烈歓迎」当クラブチャーターメンバーである権藤君の手書き看板のもと７月30日㈬佐賀空港展望会議室に、宮﨑ガバナー、北島ガバナー補佐、森地区幹事をお迎えしての、公式訪問例会が行われました。

当クラブ笠井会長の、歓迎挨拶にもありましたが、2740地区例会場の中でも一番の景色をバックに、なごやかな雰囲気の内に、会は進行致しました。

特に宮﨑ガバナーには、本年度ＲＩ並びに地区方針について卓話を頂き、中でも各クラブ独自のロータリーの開催、個々人でのロータリーデーの作り方など、何か一つでも取り組んでもらいたい、との言葉が印象に残りました。

当クラブは、有明佐賀空港に花を咲かそう実行委員会の事務局であり、 笠井会長は関係７団体の代表者です。

今年度は佐賀空港公園横に、昨年の倍以上の面積10ヘクタールのコスモスを、関係者並びに地区住民の皆様と共に咲かす予定です。

10月12日㈰のコスモス園開園式予定日には、ロータリーとのコラボが実現出来る様、努力したいと思います。

ガバナー公式訪問クラブ報告

松浦ＲＣ　８月１日㈮

会長　山本　規仁　　幹事　小西　得市

８月１日、宮﨑清彰ガバナー、中野浩ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち会長、会長エレクト、幹事との懇談会では宮﨑ガバナーの穏やかな口調によって緊張することなく、当クラブの現況、運営方針を説明させて戴きました。その中でガバナーから会員増強目標が純増４名となっていることを質問され、一番多い時で50数名の会員が26名と激減したので、あえて４名の純増を目標に掲げ30名にしたい旨を説明致しました。そこで、目標達成した暁にはガバナーご自身ニコニコ袋を持って、もう一度訪問すると云う約束を戴きましたし、当クラブとしても会員一丸となって増強達成に向け頑張れる希望がわいてきたところです。例会でのガバナー卓話では、突然、米国ＡＢＣニュースが流れだしガバナーの略歴及び地区方針・目標を日本語の字幕で紹介されるなどユニークで趣向を凝らした印象に残る卓話を戴き感動致しました。そして、ニコニコＢＯＸは全員が入れ、小銭募金があるなど少人数だが和気藹々と友情・親睦を深めているクラブで頼もしく思っていると印象を述べられ光栄に感じた次第です。

宮﨑ガバナーにおかれましても、どうぞご自愛下さり、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

長崎東ＲＣ　８月８日㈮

会長　中富　武満　　幹事　近藤　正敏

台風の影響が心配される中、８月８日の金曜日に宮﨑清彰ガバナー、植松俊徳ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち、会長・会長エレクト・幹事・副幹事との懇談会が行われ、当クラブの運営方針とクラブ現況及び活動計画について報告させて頂きました。

特に、継続事業である「小学生の英会話の集い」「職業奉仕委員会による県立長崎高等技術専門校への職業講話」並びに姉妹クラブである「台湾高雄西ＲＣ」及び友好クラブである「函館東ＲＣ」との交流については、大変関心を持たれ、「ロータリーデー」との関連性についてのアドバイスを頂きました。

更に、来年の２月に当クラブの45周年事業が開催される運びであり、姉妹クラブ、友好クラブからの出席を含め、田中作次元ＲＩ会長もお呼びしている旨説明させて頂きました。

例会では、ゲイリーC.K.ホァンＲＩ会長のテーマである「ロータリーに輝きを」について説明された上で、地区方針として「地域に輝くロータリー」を実践すべく「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちを持つことを強調されました。

最後に、宮﨑ガバナーを始め皆様方の来訪に感謝を申し上げますとともに、今後ともご教示頂きますようによろしくお願いします。

「ロータリーの友」だより

「ロータリーの友」地区代表委員　**杉　原　宏　一**（諫早北ＲＣ）

今年度「ロータリーの友」地区代表委員を拝命いたしました。

５月のオリエンテーションに始まり、７月の「友」委員会、ガバナーとの合同会議など、全国区での集まりに出席する機会を得て、その任務の重さを実感しています。

要は「ロータリーの友」を会員の皆さんにしっかり読んでいただくために、なるべく親しみの持てるような情報を地区の会員の方々にお伝えすること、そして皆さんの活動状況や、ご意見、ご感想を「友」の方に反映させるようにすることが役目だと心得ております。

そのために「ガバナー月信」の頁をお借りして、色々な情報を発信していきたいと思います。また、皆さんからも色々な状況やご感想をお寄せいただければ幸甚です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

今月は「友」への皆さんの投稿のお薦めです。

「表紙写真再募集」「バナー自慢」の募集内容をお知らせします。その他会員の投稿をお待ちしている欄は色々あります。今年度「ロータリーの友」７月号の56頁にそれらの情報が載っていますのでご参照ください。

１．表紙写真再募集！　写真好きロータリアンに

2014－15年度『友』表紙写真につきまして、ロータリアンの皆さまから多数いただきましたご応募作品は、『友』表紙解説者の岡井燿毅氏（元『アサヒカメラ』編集長）により、６月に審査いたしました。８～２月号につきましては、『友』８月号縦組み「表紙のメッセージ」、ホームページ『ロータリージャパン』（http://www.rotary.or.jp）で結果を掲載しています。

なお、2015年３、４、５、６月号の表紙につきましては、残念ながら該当作品がありませんでしたので、作品を再募集することとなりました。お近くの写真好き、カメラ好きなロータリアンの皆さん、ぜひご応募ください。テーマはありません。

募集要領は次の通り。

①締め切り　2014年11月30日
②点　　数　１人３点まで
③サ イ ズ　紙焼き四つ切り（それに近いサイズも可能）
④添付資料　名前、クラブ、連絡先住所・電話・ファクス、撮影場所、撮影年月、撮影のデータ（カメラ名、使用レンズ〔ミリ〕、露出、シャッター速度）、簡単な写真説明
⑤発　　表　『友』誌、ホームページ『ロータリージャパン』に入選者のみ
⑥審査員（予定）　岡井燿毅氏（元『アサヒカメラ』編集長・現『友』表紙解説者）
⑦そ の 他

表紙のサイズに合わせ、トリミングをする場合があります。

写真の上に、タイトルその他の文字がかかる場合があります。

採用決定作品は掲載時にネガフィルム、ポジフィルム、デジタルカメラの場合はデータが必要になります。

掲載に際し、賞金ならびに掲載料等の支払いはいたしません。

入選作品の著作権は撮影者に帰属します。

ロータリーの友事務所は『ロータリーの友』、『友』英語版、その他、ならびにウェブサイトへの掲載、展示などの使用権を保有します。

応募作品の返却はいたしません。

２．『友』を身近に感じてもらうために「バナー自慢」

『友』誌に参加しませんか？　と、声をかけられても、いざ実際に投稿するとなると「書くのがどうも……」「写真も撮ってないし……」という方々も多いと思います。

そのようなクラブの皆さまには、縦組み「友愛の広場」の中の「バナー自慢」欄へのご投稿から始めて

みられるのもよいと思います。ここは、クラブのバナー紹介欄。バナーの由来、図柄などについて50～100字で書いていただき、バナーの現物を、折り目がつかないように当て紙などを添えて、郵送でお送りくださるだけでＯＫ。毎月１～３クラブの掲載ですが、原則受付順に掲載しています。

なお、2740地区の既掲載（投稿）クラブのリストについては下記をご覧ください。

本地区バナー自慢掲載クラブ

クラブ名	掲　載	クラブ名	掲　載	クラブ名	掲　載	クラブ名	掲　載
島　　原	2010年12月	大　村　北	2012年３月	長崎出島	2012年８月	佐世保北	未　掲　載
大　村　東	2011年１月	諫　早　北	2012年４月	雲　　仙	2012年９月		
松　　浦	2012年２月	有　　田	2012年７月	多　　久	2014年４月		

ご投稿・ご質問は……

これらのご投稿、お問い合わせにつきましては、直接ロータリーの友事務所へお願いします。

下記の友事務所の連絡先は、『友』毎号の横組み、縦組みの目次のページに載っています。

◆投稿・お問い合わせは……

一般社団法人　ロータリーの友事務所

Ｅメール　hensyu@rotary-no-tomo.jp

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル４階

ＴＥＬ　03-3436-6651

ＦＡＸ　03-3436-5956

文庫通信 (323号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

◎「当今世相四つのテスト」 佐藤千壽　徳山西R.C.　1998　43p

◎「『職業奉仕を強調したロータリーの認知度を向上させる広報活動』プロジェクトについてのアンケート結果に対する考察」 大之木精二　2013　6p（D.2710地区活動報告書）

◎「職業奉仕とこれからの国際奉仕のあり方」 横田盛廣　2014　5p（D.2600下伊那グループIM＆会員セミナー報告書）

◎「ロータリーは人づくり、自分づくり」 小林完治　2014　4p（D.2690地区大会記念誌）

◎「人格と生産性」 大迫三郎　2014　1p（D.2730月信）

◎「奉仕は他者のため？　自分のため？」 本田博己　2014　3p（D.2840月信）

◎「公共イメージと認知度の向上」 二神典子　2014　12p（D.2510地区大会記録誌）

◎「なぜ、今、公共イメージの向上が必要なのか（フォーラム）」 酒井正人 他　2014　20p（D.2510地区大会記録誌）

◎「ロータリークラブの会長とは その１・２」 深川純一　伊丹R.C.　2005　2p（純ちゃんのコーナー PartⅣ）

◎「ロータリークラブの幹事とは その１～４」 深川純一　伊丹R.C.　2005　4p（純ちゃんのコーナー PartⅣ）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階

TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

DISTRICT2740 CONFERENCE

Rotary 第2740地区

2014−2015年度 地区大会

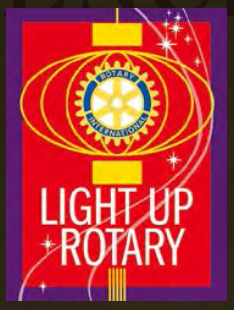
地域に輝くロータリー
平和の灯をともそう

ごあいさつ

国際ロータリー第2740地区

宮﨑清彰ガバナー

緒方聖実行委員長



第2740地区2014−15年度地区大会は諫早にて開催することになり、ホストクラブである諫早北ロータリークラブ会員一同、コ・ホストクラブの皆様のご協力を頂きつつ準備を進めております。

ゲイリー.C.Kホアン RI会長は、RIテーマを LIGHT UP ROTARY『ロータリーに輝きを』を提唱されました。

『地域に輝くロータリー』をモットーにこの地区大会では、世界の恒久平和を祈念し一人ひとりの心の中に平和を学習する機会になればと企画致しました。そして、何よりも参加していただく会員の皆様方が楽しく年に一度の友好の輪を広げる絶好の機会です。どうか一人でも多くの皆様にご登録・ご参加を頂きますようお願い申し上げます。

ホストクラブ：諫　早　北RC
コ・ホストクラブ：諫　　早RC
諫　早　西RC
諫早多良見RC
諫　早　南RC

2014年 11月 14日[金] 15日[土] 16日[日]

11月14日[金] 第1日目

会 場／L&L ホテルセンリュウ

◎地区指導者育成セミナー
◎RI 会長代理歓迎晩餐会

11月15日[土] 第2日目

会 場／諫早文化会館

10:00〜 ◎青少年のつどい
12:00〜 ◎本会議
14:30〜 ◎地区大会記念講演

一般公開 入場無料

竹田 恒泰 氏

作家。昭和50年、旧皇族・竹田家に生まれる。明治天皇の玄孫に当たる。慶應義塾大学法学部卒業。憲法学・史学の研究に従事。平成18年に著書『語られなかった皇族たちの真実』(小学館)で山本七平賞を受賞。その他著書に『エコマインド〜環境の教科書』(ベストブック)、『皇族へのソボクなギモン』(扶桑社、共著)、『旧皇族が語る天皇の日本史』(PHP新書)などがある。2010年に入ってから、『たかじんのそこまで言って委員会』を始め、テレビ番組などのメディアにも登場している。ほとんどがコメンテーターとしての出演だが、旧皇族としてテレビに出演したこともある。

会 場／諫早観光ホテル道具屋

◎記念懇親会

11月16日[日] 第3日目

会 場／長崎国際ゴルフ倶楽部

◎地区大会記念 親睦ゴルフ大会

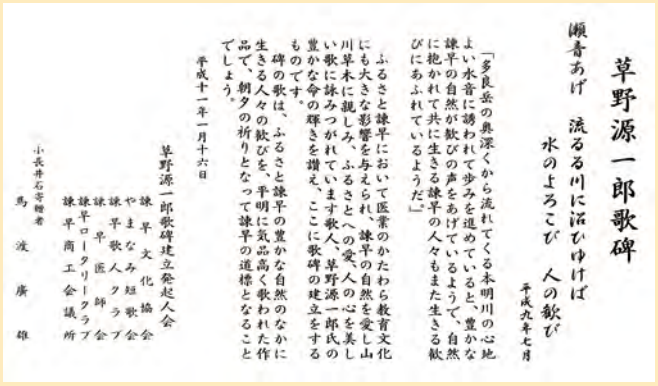
国際ロータリー第 2740 地区大会事務局
〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10 諫早商工会館 302 号室 TEL.0957-47-5461 FAX.0957-56-9332 http://www.d2740.org/

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。



本明川の主治医

ひとりの内科医師として、歌人、文化人、諫早RC会員と多岐にわたって活躍された方に登場願うことにする。

その方は草野源一郎氏、内科臨床医として日夜、地域医療に積極的に取り組む傍ら、やまなみ短歌会を主宰される歌人、選者という別の顔を持っておられ、短歌の普及、後進の指導に当たられた。

同時に諫早文化協会会長としてその力量を発揮され、他方ロータリアンとしても地域の発展に貢献されたことは申すまでもない。幾多の功績は万人の認めるところで、諫早文化会館の前庭に氏の歌碑が建立されたことは、その何よりの証であろう。

「瀬音あげ　流るる川にそいゆけば　水のよろこび　人の歓び」と刻されている。

歌人として永年、詠み続けられた作品は「白金耳」、「本明川」、「余光の橋」の歌集に収載されており、後世に伝えられることとなった。

氏の日常であった本明川河畔の散策は、短歌創作の恰好の現場となり本明川周辺の四季の移ろい、群生する葦のざわめきや風の音、そこに棲息する野鳥の儚い命にも思いを募らせた。感動的な自然詠の必然がそこにつらなっている。

人命をあずかる職業人とすれば日常茶飯事であるが、常に人の死に向き合う中で、その心情は詠む歌の中にも投影される。病は万人に等しく訪れて、ある時思いがけなくそれはわが身に振りかかる。不運にも病に倒れ、闘病生活の果てに歌人としての活動を断念されるのである。

そして終に平成二十四年四月六日、八十七歳の生涯を閉じられた。

編集後記：今年も台風が相次いで通り過ぎて行った。
幸いにも西九州地方はその被害をまぬがれたが、その分どこかで誰かが、その影響を受けていることを思えば手放しで喜べない。
残暑が厳しいが、空にはアキアカネが群れをなして飛んでいる。もう秋が忍び寄っている。

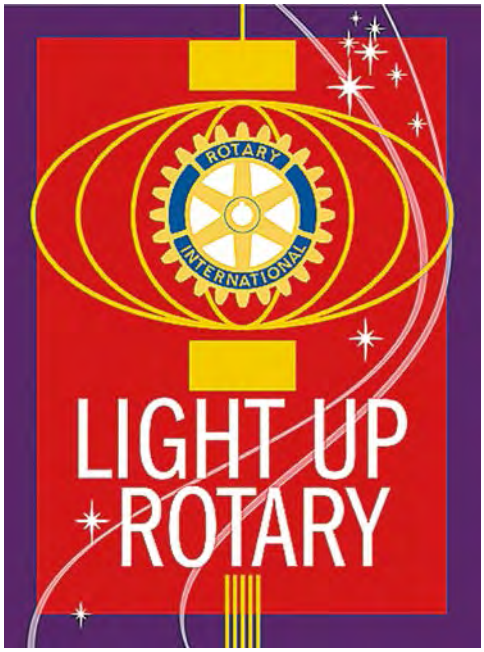
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮崎　清彰

Vol.4
2014.10.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

銀屋根が輝く競技場

40数年ぶりに国体が巡りめぐってやってくる。がんばらんば国体と銘打って、今年10月県下各地で開催される。ここ諫早には主会場となる陸上競技場が完備され、開会の日を待っている。全国から集まる精鋭によって繰り広げられる熱戦を期待したい。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
「職業奉仕月間」に寄せて ……3
ガバナー公式訪問クラブ報告……4
コーディネーターニュース９月号……12
「ロータリーの友」だより ……13
2014年７月会員数・出席報告……14
新入会員紹介……15
寄付者紹介……17
ロータリー文庫通信……17
地区大会のお知らせ……18
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

「平和を願う」

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　﨑　清　彰

夏になるといつもの様に終戦記念日を迎え、二度と戦争が起こらない様に祈り、本当の平和、戦争のない恒久平和を祈りながら、いつもの様に夏が過ぎ去っていく。

そしていつもの様に被爆地、長崎・広島の高校生が国連に行き、平和についてスピーチを行い、素晴らしい感動を与えた演説を褒め讃えられる。しかしながら真の平和は未だに訪れてくれない。世界の人々に核実験反対、反対と訴え続けるが、これも又なかなかやめてくれない。

今年の夏は大雨の災害が各地で起こった。特に広島地方が甚大な被害であった。

私は小学校６年生の時に諫早大水害を経験した。その時の怖さは今も忘れられない。自然の力は恐ろしい。自然の脅威を感じる。所詮、自然にはかなわない。せめて人間同士の争いだけはやめてほしいと思う。

恒久の平和という言葉がいつも心に残っている。思い返せば、中学時代に日本国憲法の前文を習った事があり、その時、全部暗記した。今は殆ど忘れかかっていたので、先日、読み返してみた。素晴らしかったので、もう一度覚えたいと思い記してみました。

――日本国憲法（昭和22年５月３日施行）前文――

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基づくものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するものであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。われらは全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであって政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従うことは自国の主権を維持し、他国と対等関係に立とうとする各国の責務であると信じる。

日本国民は国家の名誉にかけ全力をあげてこの崇高な理想と目的を達することを誓う。

最近新聞紙上よく取り上げられる第９条、第18条も書いてみました。

第９条　日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

２　前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第18条　何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない。又、犯罪に因る処罰の場合を除いては、その意に反する苦役に服させられない。

ロータリーの目的、第４に奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること、とあります。いずれにしても平和を願わない人はいないはずです。

一人一人が平和について学ぶことの大切さを持ち続けてほしいと思います。読書の秋、自分自身改めて日本国憲法の本を読み、秋の夜長を過ごしたいと思います。

「職業奉仕月間」に寄せて

D2740職業奉仕委員会　委員長　**駒　井　英　基**（佐賀南ＲＣ）

10月は、国際ロータリーにおける職業奉仕月間です。職業奉仕という考え方はロータリー特有の考え方で、ロータリー活動の魅力とロータリー活動の源泉であるといって過言ではないと考えます。ただ、職業奉仕という考え方を明確に理解することは簡単ではありません。しかし、職業奉仕を一つの生き方として捉えているロータリアンも少なくありません。職業奉仕に対する理解を深め、クラブの活動と職業を通じて実践へとつなげるために、下記のRI指針が参考になれば幸いです。

「職業奉仕」という考え方

「ロータリーの目的」は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記したロータリー標準定款第４条に明記してあります。職業奉仕は、その第２項に記されていて、ロータリアンは次のことを奨励し、自らが育むことが求められています。

１　職業上の高い倫理基準
２　役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
３　社会に奉仕する機会として各自の職業を高潔なものとすること

次いで職業奉仕はどのようにしたら実践できるでしょうか。以下の如く、いくつかの方法をご紹介しています。

①例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う。
②地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。
③高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。
④若者のキャリア目標を支援する。
⑤専門能力の開発を奨励し、指導する。

ロータリー月間で取り組むべきこと。

１　職業奉仕についてクラブの会員の方々の意識を高めるため、各クラブで職業奉仕委員長さんに卓話をしていただく。
２　上記の職業奉仕に関するＲＩ指針に基づいた取り組みを実践してみる。

職業奉仕に意欲と熱意を感じる人にとって、ロータリーほどその実践にふさわしい場はありません。

職業奉仕はロータリーの真髄であり、ロータリーを他の団体と分かつ要素でもあります。折角の職業奉仕月間ですから、各クラブで一度検討してみてください。

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保ＲＣ　７月16日㈬

会長　円田　　昭　　幹事　納所　佳民

７月16日㈬、宮﨑清彰ガバナー、中野浩第５グループガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち行われた会長、会長エレクト、幹事との懇談会では、当クラブから現況や本年度の運営方針の説明をさせて頂きました。

宮﨑ガバナーはＲＩのテーマ『ロータリーに輝きを』をテーマにされており、地区方針としては『地域に輝くロータリー』の実践を求めておられます。

例会でのスピーチでガバナーが特に強調されたのは「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちを持って活動しましょうということでした。

佐世保ロータリークラブとしてはＲＩと地区方針を尊重しながら、『出席という美しき友愛を』の考えを基に、クラブ行事への多くの会員の出席を促し運営に努めてまいります。

ガバナー公式訪問は和やかな中にも緊張感のある佐世保クラブらしい例会が開催出来ました。宮﨑清彰ガバナー、中野浩第５グループガバナー補佐、森栄一郎地区幹事には、今後ともご指導を頂くと共に、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

国際ロータリー第 2740 地区　宮﨑 清彰ガバナー公式訪問　佐世保ロータリークラブ　平成 26 年 7 月 16 日 於 佐世保玉屋

佐賀南ＲＣ　７月29日㈫

会長　古宇田れい子　　幹事　奥田　律雄

平成26年７月29日、当クラブに宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事をお迎えしました。宮﨑ガバナーは、当クラブのシチメンソウ育成活動を高く評価して下さり、あわせてロータリーデーを設けての広報、ニコニコ箱の運用などいろいろな角度からのご指導を賜りました。

夕方の例会が終了した後、幸運にも佐賀市に宿泊される宮﨑ガバナーと森地区幹事のご都合がつきましたので、カラオケ懇親会の場でもお話しをさせていただく機会に恵まれました。カラオケ懇親会では会員増強の実践策などより踏み込んだご指導をいただくとともに、宮﨑ガバナーの美声の歌唱力、森地区幹事の叙情的な歌い上げに接することもでき、クラブ一同感激しております。

非常にご多忙な中で、宮﨑ガバナーがロータリー活動を楽しんでいらっしゃることに感銘を受けました。この楽しさこそが、五大奉仕、会員増強の源泉であるということを再認識させていただいたガバナー公式訪問でした。

ご訪問くださった宮﨑ガバナー、森地区幹事に厚く御礼申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐賀ＲＣ　７月31日㈭

会長　木下　博行　　幹事　古賀　利明

７月31日㈭、宮﨑清彰ガバナー、西岡健次ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事、緒方聖地区大会実行委員長をお迎えして、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち、会長、副会長、会長エレクト、幹事、委員長が出席し、当クラブの現況や基本方針又、当クラブ独自の公益信託佐賀ロータリークラブ奨学基金等を「クラブの現況と活動計画書」を基に説明させていただきました。

宮﨑ガバナーから、ユニークな事例による会員増強の方法やクラブの運営について他クラブでの工夫や取組について、和やかな中にも熱意のあるお話を頂きました。

又、これは余談ですが、大きなミスプリントのご指摘も受けました。反省をしております。

例会では、宮﨑ガバナーによる卓話を行っていただきました。ゲイリーＣ．Ｋ．ホァン会長のメッセージ、ＲＩの戦略、第2740地区の基本方針等具体的に、また詳細に講演していただき、会員全員理解を深める事が出来ました。特にガバナーの基本方針でもある「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちを持つこと。は感銘深い言葉でした。

例会終了後、全員での記念撮影を行い、宮﨑ガバナー公式訪問例会を恙なく終わる事が出来ました。まだまだ残暑厳しき折、「あせらず」「無理せず」お体に十分ご留意され、無事に公式訪問が終了されることを祈念申し上げ、11月に開催される地区大会を楽しみにしています。

武雄ＲＣ　８月４日㈪

会長　樺島　和行　　幹事　角　　良孝

８月４日㈪、宮﨑清彰ガバナー、富永正嗣ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、職業奉仕委員会による無料法律相談や女性会員の活動状況、また例会出席率の為のメーキャップツアー、或いはロータリーデーの開催などに話がおよび、有意義な会となりました。

例会は、宮﨑ガバナーによるスクリーンを使っての、Ｃ．Ｋ．ホァンＲＩ会長の方針説明と地区方針など卓話をして頂き、大変有意義な時間となりました。

また、例会後の懇親会では、親睦委員会の企画によるタヒチアンダンスのサークルを迎えての楽しいにぎやかな親睦会となり、二次会では、ガバナー・地区幹事さんにはそれぞれ２曲ずつ歌って頂き、大変打ち解けた嬉しい会となりました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

有田ＲＣ　８月５日㈫

会長　川内　　進　　幹事　福田　雅信

８月５日㈫、宮﨑清彰ガバナー、富永正嗣ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち当クラブの会長・幹事との懇談会を行い、クラブの概況、特色、地域性等々についてお伝えいたしました。当クラブで特筆に値する事と謂えば、やはり日本人初のロータリアン福島喜三次氏の出身地に所在するクラブであることです。そのようなことから同氏に関係した話題として、当クラブで行っている福島奨学資金事業から紹介させて頂きました。

また、有田工業高校のインターアクト部を提唱していることから、部の概況についてもご報告いたしました。それから懇談会の話題は多方面に及び、あっという間の45分間でした。

一方、例会におきましては宮﨑ガバナーより、ＲＩ会長方針・地区方針・地区概況についてご説明頂きました。短い時間ながら要点を分かりやすく説明して頂いたものと思います。

また、当日は米山奨学生の来訪もあり、奨学金をガバナーから渡してもらうという場面もあって、終始和やかな雰囲気の中に貴重な一時を過ごすことが出来ました。

宮﨑ガバナー、富永ガバナー補佐、森地区幹事にはこの度の御来訪に対し感謝申し上げますと共に、今後のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

唐津東ＲＣ　８月７日㈭

会長　宮島　省吾　　幹事　村上　　伸

８月７日木曜日、宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事、緒方聖地区大会実行委員長、曽我文雄ガバナー補佐、太田善久ガバナーエレクト、佐伯岳歩地区幹事予定者同席のもと、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち別室でおよそ１時間懇談会が開催されました。私はうかつにも、懇談会は雑談や公式訪問例会でのエピソード、ガバナーとしての苦労話などが話題の中心になるだろうと気楽な気持ちで臨んだのですがあにはからんや、ガバナーは私達のクラブの現況と活動計画書を読み込まれてきておられ、当クラブが直面している問題点を鋭く指摘され、また質問も返答に窮するほど的確で、当初の気楽さから、かなり密度の高い懇談会となり、いささか緊張いたしました。その中でも、慈愛に満ちた笑顔が印象的でした。

例会はスケジュールの通り進行し、和やかなうちに終了いたしました。

宮﨑ガバナーの御活躍を祈念いたします。

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐賀西ＲＣ　８月11日(月)

会長　大坪　　豊　　幹事　大塚　浩司

７月14日のクラブ協議会への北島ガバナー補佐出席に引き続き、８月11日には宮﨑ガバナー、北島ガバナー補佐、森地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立つ三役懇談会では、当クラブの概況の説明後、宮﨑ガバナーより他クラブでのいろいろな会員増強の方法やニコニコ箱のやり方など大変参考になるお話をお聞かせ頂き、特には、当クラブが創立50周年記念事業として佐賀市へ寄贈したバルーンを活用した社会貢献活動にも興味をお持ち頂きました。

宮﨑ガバナーの卓話では、冒頭からＡＢＣニュースを使われたり、裏話的なジャケットのお話などをされユーモアの中にも大変わかり易く、ご自身の経験から健康を大切にし、あせらず、無理せず、感謝の気持ちを持つ、その上でＲＩテーマの「ロータリーに輝きを」、地区スローガンの「地域に輝くロータリー」、孔子の言葉の何もしないより一本のロウソクを灯して明るくする。ロータリアン一人ずつが、一本のロウソクを灯せば世界を明るくできる。

私どもロータリアンの役割を自覚させていただく素晴らしいお話でありました。

当クラブへの訪問がちょうど20番目ということで、ガバナー、地区幹事におかれましては健康にご留意頂き、活躍されますよう祈念致します。

島原ＲＣ　８月12日(火)

会長　森山　一秀　　幹事　松﨑　正行

８月12日(火)宮﨑ガバナー、音成ガバナー補佐、森地区幹事をお迎えしての「ガバナー公式訪問例会」を開催しました。

会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、今期目標の５項目について意見交換が出来ました。特に会員増員では「諫早と関係の深い事業所も多いようですし、是非情報交換をしましょう」女性会員（現在２名）の増員やインターアクトＯＢへの加入要請活動にもアドバイスを頂きました。加入歴の若い会員の育成計画には「今、島原クラブにとって若手育成は大切な時期、いいプログラムと思います。クラブの活力につながることを期待しています」と。

記念写真は、週ごとの台風に悩まされたこの夏一番の晴天、青空のもと庭園で撮影することに（会場が工事中で結果ＯＫ）“有明海がきれいでしたよ”に感謝感謝でした。

例会では、ゲイリーＣ．Ｋ．ホァンＲＩ会長のメッセージなど紹介、地区運営方針・目標についてプロジェクターを使って丁寧に説明をいただきました。特に、昨年の闘病生活からの「あせらず」「無理せず」「感謝」「健康」のモットーは参加者全員の胸に響きました。

当クラブの活動計画については、「懇談会の中で意見交換しましたが、全員の総意で活動の達成をめざして下さい」と激励。

当クラブが21番目の公式訪問とか、まだまだ続きますが、４つのモットーで乗り切り、終了されることをご祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎中央ＲＣ　８月18日(月)

会長　岡田　康信　　幹事　尾上　信哉

８月18日に、宮﨑清彰ガバナー、植松俊徳ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えしガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち、当クラブより岡田康信会長、前田稔会長エレクト、川原哲也副幹事、幹事の私を交え、懇談会が開かれました。

まず、岡田会長より本年度クラブ運営方針の説明がなされ、私がクラブ概況説明を行った後、当クラブの事業に対する意見交換を行いました。

その中で、当クラブにおいて本年度新たにインターアクトクラブの提唱を行い、11月の地区大会での認証を目指し準備しているとの報告を致しました。

また、ガバナーより当クラブの出席率の高さや当クラブ独自の記念事業（100万＄食事）について好評価を頂きました。

例会では、宮﨑ガバナーよりユニークな自己紹介がなされ、ロータリーの生い立ち、同期ガバナーとの友情、そしてゲイリーＣ．Ｋ．ホァンＲＩ会長とＲＩテーマ「ロータリーに輝きを」Light Up Rotaryについて話され、地区運営方針を詳しくご説明頂き「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちを持ち、「地域に輝くロータリー」を実践してほしいと締めくくられました。

ご来訪頂きました宮﨑ガバナー、植松ガバナー補佐、森地区幹事に感謝申し上げ、今後ともご指導ご支援をお願い致しますとともに、益々のご活躍とご健勝を祈念致します。

佐世保西ＲＣ　８月19日(火)

会長　﨑田　誠伸　　幹事　西浦　隆洋

８月19日火曜日、宮﨑清彰ガバナー、中野浩ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。

当日は、11時30分より懇談会の予定でしたが宮﨑ガバナー、森地区幹事とも11時前よりご来訪いただきました。懇談会では、佐世保西クラブの現状や今期の計画、会員増強、ロータリー財団への寄付、米山奨学資金への寄付等についても細かく意見交換をしていただきました。その中で少ない会員数でも活発に活動している当クラブを高く評価していただきました。また、当クラブの会長エレクトから出された米山奨学生の問題についても選考にあたって色々な観点から選考基準を決めており以前の成績優先とは違った選考を行っている旨の回答をされました。

その後、例会ではユーモアを交えたガバナーの今年度の活動方針をプロジェクターを使ってご説明いただくとともに、昨年のご自分の闘病の経験からの「あせらず」「無理せず」「感謝」についてお話をいただきました。

昨年大病を患われたとは思えない、意欲的なガバナーの公式訪問でした。まだまだ、公式訪問も半分ぐらいということ、地区大会が11月開催されるということで、これからもお忙しい日々の連続とは思いますが、健康に十分留意されご活躍ください。

ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎北東ＲＣ　８月20日㈬

会長　山口　　裕　　幹事　久保田和典

平成26年８月20日（水曜日）、宮﨑清彰ガバナー、長谷川宏ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催しました。

例会場であります「長崎新聞社内“アストピア”」より、12時30分よりの開催前に、ロータリアンでもあられます本村忠廣長崎新聞社代表取締役社長を11時より表敬訪問しガバナーも“取材”を受けられました。11時30分より当クラブ会長、会長エレクト、幹事、次期幹事も出席させて頂き「クラブの現状」「活動内容」等、活動計画書を基にご質問があり、回答をさせていただきました。ご無礼な言い方かもしれませんが“ガバナーはとてもユーモアがあられ、気さくにお話をされ、たいへん親しみやすい方だと感じました。”

例会では、『ＲＩ会長の“世界に輝くロータリーのテーマ”と“2740地区で行われています催し”等、パワーポイントとビデオ等を交えて、お話を頂きました。

ご来訪いただきました宮﨑ガバナー、長谷川ガバナー補佐、森地区幹事に感謝を申し上げますと共に今後のご活躍を確信し、ご健康も留意されますよう心よりお祈り申し上げます。

長崎出島ＲＣ　８月22日㈮

会長　加藤　公子　　幹事　塚本　　敏

８月22日㈮ホテルニュー長崎において、宮﨑清彰ガバナー、植松俊徳第10グループガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、会長、会長エレクト、幹事との懇談会では当クラブの概況、運営方針を説明させていただきました。

その中でも今年度は社会奉仕事業として「長崎県下児童養護施設と交流を図り、日本古来の玩具や戸外で遊ぶ玩具を寄贈するプロジェクト」の名称のもと、日本の文化を通したスポーツレクリエーションを開催し子供たちとの交流を図る事業の説明や、青少年奉仕事業では、活水中学・高等学校インターアクトクラブの設立の経緯や、活動内容についての説明。又、今年度は国際青少年交換留学事業としてオーストラリアからの受け入れと留学の交換事業についてご報告をいたしました。

宮﨑ガバナーよりいくつかの質問やクラブ運営に対するアドバイス等をいただき、若干の緊張した趣の中、無事、懇談会が終了いたしました。

例会では、宮﨑ガバナーの温厚なお人柄が手にとってわかるような流暢なご説明で、今年度のガバナーの方針を含め貴重なお話を頂戴いたし、和やかな雰囲気のもと、ガバナー公式訪問例会が終了いたしました。

最後になりましたが、長崎出島ロータリークラブ会員一同心よりガバナーのご訪問を感謝申し上げますとともに、今後のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

大村ＲＣ　８月26日㈫

会長　俣野　正仁　　幹事　竹房　政美

８月26日㈫、宮﨑清彰ガバナー、音成征彦ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、懇談会を当クラブより俣野会長、渡海会長エレクト、竹房幹事の３名が出席のうえ開催し、クラブ概況と運営方針、今年度活動計画について報告をさせて頂きました。また、当クラブは本年度に創立55周年を迎えます。周年事業の一環である仙台宮城野ＲＣとの共同事業「柔の絆」について概要を報告致しました。さらに４月には、55周年記念式典・記念講演を予定していることをご案内させて頂きました。

例会におきましては、宮﨑ガバナーよりパワーポイントを用いて大変わかりやすく解説をして頂きました。「大病を克服しての第８グループからの二人目のガバナー」というＡＢＣニュースの映像は、大変印象に残っており感動致しました。また今後は地区目標である『地域に輝くロータリー』を当クラブにおいても実践し、「あせらず」「無理せず」「感謝」「健康」をモットーに当クラブの運営に邁進したいと考えております。

当日は長崎での昼の例会に続いての大村での夜の例会ということで、大変お疲れのところ宮﨑ガバナー、音成ガバナー補佐、森地区幹事には例会後の二次会にまでお付き合い頂きまして大変有り難うございました。一年間、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

長崎南ＲＣ　８月27日㈬

会長　横田　貞三　　幹事　今田　英東

８月27日㈬宮﨑清彰ガバナー、植松俊徳ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

例会に先立ちまして、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行われ、当クラブから下記クラブ現況報告（概要）を行いました。

【報告事項】

１）クラブ概要（含む50周年記念事業）　２）現況実数　３）会長方針　４）ロータリー財団実績

５）米山功労実績　６）本年度活動の特徴　①ロータリーデーの実践計画　②原点回帰

７）直近７年間の主な活動内容

ガバナーからは、活動実績と今期計画に対して高い評価と、１）出席率　２）ＩＡＣ提唱校との親交等貴重なご助言を頂戴いたしました。

例会では、ガバナーからＲＩテーマ・地区運営方針とご自身の体験からの講話を頂きました。また、11月地区大会で当クラブが米山累計寄付額40百万円達成の表彰の栄に浴す旨をガバナーから発表頂き、会員一同感謝いたしております。

地区内57クラブの29番目折り返し点での公式訪問ありがとうございました。宮﨑ガバナーはじめ地区の皆様のご活躍と地区大会の成功を心より祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

伊万里西ＲＣ　８月28日(木)

会長　田中　貞義　　幹事　福母　秀一

佐賀県の西の玄関口である我が伊万里市に、宮﨑ガバナー・森地区幹事・緒方地区大会実行委員長をお迎えして８月28日に、伊万里迎賓館にてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

ガバナー一行が着席されると、会員の太田君・多久島君・時里君により、歓迎と今後のガバナーの活躍に対するお祝いの、祝謡三番により例会がスタートしました。

御謡により爽やかな会となり　　南嶽

例会のイベントとし、皆出席者25名の表彰を、代表して45年の太田君・40年の中島君に、ガバナーより記念品を贈呈して頂きました。

会員の藤谷君による、四つのテスト。「真実とは」について構成する漢字の意味による詳しい説明がありました。

ガバナーによる卓話は、先ずはジャケットとバッグがガバナースタイルであるの説明から、そのジャケットの遅配つまり世界大会には間に合わなかった件等を面白く説明され、次にプロジェクターを駆使し、楽しく解り易く世界大会の説明を頂きました。最後に、地区大会の実行委員長の緒方君より地区大会案内。最後になりましたが、宮﨑ガバナーのご活躍と地区大会の成功を祈念申し上げ報告と致します。

国際ロータリー第2740地区 宮崎清彰ガバナー公式訪問　2014年8月28日

佐世保北ＲＣ　９月１日(月)

会長　大鳥居　宏　　幹事　中井　康晴

９月１日宮﨑清彰ガバナーが宮原明夫ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事を伴い佐世保北ロータリークラブに公式訪問されました。ガバナー卓話の中で2740地区の現状についてスライドを使いお話をされました。その中で今後地区がやっていかなければならない事はこれまでの取り組みを通して「活動内容が地区内で知れ渡っていない」と実感されていました。そこでロータリーは地域住民を招く催し「ロータリーデー」の開催を重ねることで「ロータリーの公共的なイメージ」を高めていく考えが重要であるとおっしゃっていました。私達北ロータリークラブにおいても昨今、佐世保市において１クラブだけの広報活動ではなく、せめて第６グループ６クラブで共同して何かを佐世保市民に伝え提供していこうという話が出てきています。単独クラブでやるのではなく６クラブ共同してやるという事は金銭的にも、意見的にもより多くの事が得られます。クラブ同士が協力することで活動内容が地域に広がっていくのではないでしょうか。

地域スローガン「地域に輝くロータリー」の実践に向け残り10カ月頑張っていこうと思います。

コーディネーターニュース９月号

国際ロータリー第３ゾーン　ロータリーコーディネーター　**安　満　良　明**

国際ロータリー第３ゾーンのロータリーコーディネーターの安満良明（あま　よしあき）と申します。国際ロータリー第2730地区加治木ロータリークラブ所属です。私どもは、杉谷国際ロータリー理事（第2720地区玉名ロータリークラブ）のご指導の下、横山守雄（第2660地区大阪中央ロータリークラブ）と大之木精二（第2710地区呉ロータリークラブ）のお二人のロータリーコーディネーターアシスタントと共に、第３ゾーン11地区のロータリークラブの活性化のお手伝いをさせていただきたいと、願っております。具体的には、皆様の地区で開催されます、ＰＥＴＳ、地区研修協議会、地区指導者育成セミナー、地区会員増強セミナー、新会員セミナー、地区大会などにお呼びいただき、ロータリー戦略計画の推進と会員増強維持を目的とした、講演などいたします。また、もう一つ重要なのは、会員増強や社会奉仕活動に当たって、公共の認知度を高める必要があります。そのために第３ゾーンロータリー公共イメージ岩永信昭（第2740地区長崎北東ロータリークラブ）コーディネーターがおられます。さらにロータリー公共イメージコーディネーターアシスタントとして、伊藤文利（第2690地区倉吉ロータリークラブ)、高島凱夫(第2660地区大阪中之島)両アシスタントがおられます。そして、杉谷理事の元、ロータリーコーディネーターとロータリー公共イメージと、そのアシスタントの方４名と協力して、10月11日「ロータリー戦略計画推進セミナー」を計画し、すでに第３ゾーン内11地区にご案内してあります。このセミナーは一方的に指導者の講演や意見を聞くのではなく、それぞれの地区、地区委員会の戦略計画と具体的な実践を出し合っていただき、互いが学び合うことを目的としています。地区によってそれぞれの善し悪しがあり特性もあり、それらを学び取り自分の地区やクラブの活性化に役立てていただければと思います。対象者は、地区ガバナー、ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・ガバナー補佐・地区会員増強委員長・地区公共イメージ並びに広報委員長･社会奉仕委員長･地区戦略計画委員会委員長･他ガバナーの推薦する方々です。ロータリー戦略計画と聞けば、ほとんどの会員がいかめしく違和感を感じる言葉だといわれます。しかし作戦計画と考えれば、それもなくなるような気がします。長期的計画とそれを達成するための短期的計画があり、この短期的計画を確実に実践していくことが大切と思います。

ロータリーの戦略計画とは、

１つは例会や奉仕プロジェクトを通して友情をはぐくみ、国や文化宗教を超えて理解する。

２つは高潔性を持って約束を守り、倫理を守ること。

３つに多様性をもって多角的考え方、行動で問題に取り組んでいくこと。

４つにリーダーシップをもって職業のスキルをいかし、地域社会の問題に取り組むこと。

とあります。この４つのことを各ロータリークラブの具体的行動課題とし実践されれば、クラブは活性化されて行くことと思います。抽象的で分かりにくいかもしれませんが、ロータリーの原点は例会ということです。例会や奉仕プロジェクトに入りて学び、出て奉仕、実践することです。その楽しく学べる例会を提供するのがロータリークラブです。楽しく学んだ会員は、友人を推薦しようと思います。それが増強と会員維持の原点です。

「ロータリーの友」だより

「ロータリーの友」地区代表委員　**杉　原　宏　一**（諫早北ＲＣ）

「ロータリーの友」に親しみを持つことが出来るのは、やはり身近な友やクラブの記事が目にとまることですね。この頁では「友」に掲載されたわが2740地区からの投稿や話題、情報をお知らせしていこうと思います。

編集、発行の都合で後追いの情報になってしまうこともありますが、つい見逃してしまっていることもあるかと思い、ここでお知らせしていこうと思います。

今月は「ロータリーの友」７・８・９月号に載った記事をご紹介します。

７月号

“友愛の広場”

「姉妹クラブの歓待に感激」　平戸ＲＣ　渡辺　栄二 氏

姉妹クラブの台湾・台南ＲＣ60周年の記念式典に出席、３日間に亘る歓待に感激の記事。

“ロータリー・アット・ワーク　文章編”

「2000回例会を記念して」　松浦ＲＣ　犬養　義一 氏

今年３月７日に2000回の例会を記念して、家族ともども記念例会を開催。

“俳壇”入選

長崎北ＲＣ　三原　茂 氏

伊万里ＲＣ　田中　南嶽 氏

“柳壇”入選

鹿島ＲＣ　今村　博 氏

８月号

“シリーズわがまち……そしてロータリー　長崎県佐世保市”

2013年10月号から連載されているシリーズ記事ですが、この８月号で我が地区の佐世保市が取り上げられて４頁に亘る大きな記事となりました。ほとんどの方がご覧と思いますが、見逃した方は是非もう一度８月号を開いてみてください。

“ロータリー・アット・ワーク　写真編”

「厦門園・白鷺像案内板除幕式」佐世保北ＲＣ

クラブ創立30周年の記念事業として、佐世保駅みなと口の広場に標記の案内板を設置し、除幕式が行われた。

“会員増強・拡大月間の特集・ロータリーを楽しもう”

「例会では味わえない親近感―ランブリング同好会」諫早ＲＣ　酒井　明仁　氏

諫早ＲＣが2011年から続けているランブリング同好会が「長崎街道ば歩こう！」を行い、2014年５月に228kmを完歩したという記事が掲載されました。写真や地図に工夫をこらしてあり、大変興味をひかれる記事でした。

９月号

“俳壇”入選

長崎北ＲＣ　三原　茂 氏（本年度２回目）

2014年７月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				７月１日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	86.0	58	0	61	0	3	0	3	3
	小城	5	83.4	19	2	19	2	0	0	0	0
	牛津	4	78.2	28	0	29	0	1	0	1	1
	多久	4	85.0	36	6	41	6	5	0	5	5
	佐賀大和	4	77.9	24	3	24	3	0	0	0	0
	小計		82.1	165	11	174	11	9	0	9	9
第2グループ	佐賀西	3	83.9	39	0	39	0	0	0	0	0
	佐賀北	4	77.5	41	3	40	3	0	1	−1	−1
	佐賀南	4	84.4	36	2	36	2	0	0	0	0
	神埼	4	87.8	36	3	37	3	1	0	1	1
	佐賀空港	4	80.2	15	1	15	1	0	0	0	0
	小計		82.7	167	9	167	9	1	1	0	0
第3グループ	有田	4	82.5	33	0	34	0	1	0	1	1
	武雄	3	90.6	52	4	53	4	1	0	1	1
	鹿島	5	97.6	44	3	43	3	0	1	−1	−1
	嬉野	4	83.3	24	1	24	1	0	0	0	0
	大町	4	68.3	15	0	15	0	0	0	0	0
	白石	5	71.9	8	0	7	0	0	1	−1	−1
	太良	4	90.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		83.5	186	8	186	8	2	2	0	0
第4グループ	唐津	5	91.1	55	0	55	0	0	0	0	0
	伊万里	5	99.3	27	0	29	0	2	0	2	2
	唐津東	5	88.1	53	0	54	0	1	0	1	1
	唐津西	5	93.1	30	0	32	0	2	0	2	2
	伊万里西	4	91.7	45	0	45	0	0	0	0	0
	唐津中央	4	83.6	32	4	32	4	0	0	0	0
	小計		91.2	242	4	247	4	5	0	5	5
第5グループ	佐世保	5	100.0	74	0	75	0	2	1	1	1
	平戸	4	77.6	39	4	38	4	0	1	−1	−1
	佐世保西	5	90.1	22	1	23	2	1	0	1	1
	北松浦	4	96.9	24	0	24	0	0	0	0	0
	松浦	4	97.0	26	1	26	1	0	0	0	0
	小計		92.3	185	6	186	7	3	2	1	1
第6グループ	佐世保南	4	99.7	73	1	76	1	3	0	3	3
	佐世保東	5	90.9	23	0	23	0	0	0	0	0
	佐世保北	3	99.2	43	0	43	0	0	0	0	0
	佐世保中央	5	100.0	43	1	45	1	2	0	2	2
	佐世保東南	5	83.6	21	0	19	0	1	3	−2	−2
	HTB佐世保	5	98.8	20	3	20	3	0	0	0	0
	小計		95.4	223	5	226	5	6	3	3	3
第7グループ	大村	5	90.4	48	3	49	3	1	0	1	1
	島原	5	70.9	27	2	26	2	0	1	−1	−1
	雲仙	4	91.1	28	1	28	1	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	23	0	23	0	0	0	0	0
	島原南	4	70.0	21	1	22	1	1	0	1	1
	大村東	3	89.7	41	4	41	4	0	0	0	0
	小計		85.3	188	11	189	11	2	1	1	1
第8グループ	諫早	4	80.2	63	0	65	0	2	0	2	2
	諫早北	4	84.8	66	3	66	3	0	0	0	0
	諫早西	4	89.7	38	0	39	0	1	0	1	1
	諫早多良見	5	81.1	40	0	38	0	0	2	−2	−2
	諫早南	3	84.7	24	4	24	4	0	0	0	0
	小計		84.1	231	7	232	7	3	2	1	1
第9グループ	長崎	4	88.7	82	0	85	0	3	0	3	3
	福江	4	93.8	34	0	35	0	1	0	1	1
	長崎北東	4	82.2	38	5	39	5	1	0	1	1
	福江中央	5	95.2	26	0	26	0	0	0	0	0
	長崎西	5	83.0	56	0	59	0	3	0	3	3
	長崎琴海	4	65.6	16	1	16	1	0	0	0	0
	小計		84.7	252	6	260	6	8	0	8	8
第10グループ	長崎北	3	75.4	78	0	79	0	1	0	1	1
	長崎南	4	81.4	76	0	77	0	1	0	1	1
	長崎東	4	83.2	44	1	47	3	3	0	3	3
	長崎みなと	5	82.4	23	1	23	1	0	0	0	0
	長崎中央	3	90.8	61	0	61	0	0	0	0	0
	長崎出島	4	82.7	55	11	55	11	0	0	0	0
	小計		82.6	337	13	342	15	5	0	5	5
57クラブ合計			86.4	2,176	80	2,209	83	44	11	33	33

＊上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
７月１日から2014年７月末までの増減です。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。　※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

佐賀ＲＣ
古賀　浩之 君
㈲ケンショーハウス工業
代表取締役

佐賀ＲＣ
浜崎　浩丈 君
ＮＨＫ佐賀放送局
局長

佐賀ＲＣ
藤原　正義 君
ＮＢＣラジオ佐賀
局長

牛津ＲＣ
副島　　渉 君
そえじま歯科医院
院長

多久ＲＣ
円城寺吉一 君
農業

多久ＲＣ
梅津健太郎 君
うめず歯科口腔外科医院
院長

多久ＲＣ
北島　正明 君
㈲多久環境整備センター
専務取締役

多久ＲＣ
駄原　靖博 君
駄原米穀店
代表

多久ＲＣ
米倉　　学 君
米倉設備工業
代表

神埼ＲＣ
大川　哲矢 君
大川印刷所
代表

武雄ＲＣ
桑原　　司 君
九州ひぜん信用金庫
営業本部長

伊万里ＲＣ
川原　　定 君
伊万里信用金庫
専務理事

唐津東ＲＣ
吉田　祐希 君
㈲コーワ企画
代表取締役

唐津西ＲＣ
松本　清則 君
唐津瓦斯㈱
取締役

唐津西ＲＣ
田﨑　耕一 君
西日本プラント工業玄海原子力総合事業所
取締役

佐世保ＲＣ
松原　　健 君
㈱テレビ長崎
佐世保支社長

佐世保ＲＣ
松本　淳也 君
ＪＲ九州ハウステンボスホテル㈱
代表取締役社長

佐世保西ＲＣ
樋口　聡子 君
樋口法律事務所
弁護士

佐世保南ＲＣ
一田　晶壽 君
宗教法人 九品寺
副住職

佐世保南ＲＣ
上村　　昇 君
上村昇税理士事務所
税理士

佐世保南ＲＣ
山口　富嘉 君
佐世保港湾運輸㈱
代表取締役

佐世保中央ＲＣ
戸浦　善彦 君
戸浦水産
代表

佐世保中央ＲＣ
宮﨑　祐輔 君
㈱親和銀行
常勤監査役

大村ＲＣ
内川　浩毅 君
オリエンタルエアブリッジ㈱
常勤監査役

島原南ＲＣ
永野　一智 君
㈲有馬運送
常務取締役

諫早ＲＣ
後藤　　勲 君
ＮＴＴビジネスソリューションズ㈱
長崎ビジネス営業部諫早営業支店 支店長

諫早ＲＣ
松本　　博 君
たちばな信用金庫
常務理事

長崎ＲＣ
山口　健二 君
㈱親和銀行
取締役常務執行役員

長崎ＲＣ
位寄　雅雄 君
㈱長崎国際テレビ
代表取締役社長

長崎ＲＣ
古谷　太郎 君
日本放送協会
局長

福江ＲＣ
市来　　敦 君
五島自動車㈱
代表取締役社長

長崎北東ＲＣ
松本　耕市 君
㈱松本美建
代表取締役

長崎西ＲＣ
石井　政伸 君
東武トラベル㈱長崎支店
支店長

長崎西ＲＣ
西　　義光 君
長崎文化放送㈱
取締役営業局長

長崎西ＲＣ
林田　憲尚 君
西日本電信電話㈱
営業部長

長崎北ＲＣ
脇　正太郎 君
長崎文化放送㈱
取締役

長崎南ＲＣ
濱﨑　大輔 君
朝日石油㈱
代表取締役

長崎東ＲＣ
水町　　覚 君
長崎文化放送㈱
常勤監査役

長崎東ＲＣ
山本きよみ 君
㈱料亭 一力
代表取締役社長

長崎東ＲＣ
寺澤　律子 君
㈱西海建設
代表取締役社長

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	南　野　　健	大 村 北
マルチプル・ポール・ハリスフェロー	合　瀬　一　男	神　　埼
	江　口　圭　介	佐世保西
	福　田　輝　機	佐世保西
	藤　永　辰　弘	佐世保南
	張　本　民　雄	福　　江
	内　田　信　康	長 崎 東
ポール・ハリスフェロー	﨑　田　誠　伸	佐世保西
	森　山　一　秀	島　　原
	中　村　栄　治	福　　江
ベネファクター	上　田　良　樹	長　　崎
	本　岡　　晃	福江中央
	神之浦　　潔	福江中央
ポリオプラス	岩　永　信　昭	長崎北東

米山記念奨学会

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	白　川　十　郎	伊 万 里
	前　田　一　彦	佐世保南
	嵩　　則　雄	福　　江
マルチプル	中　村　文　昭	佐世保南
	藤　永　辰　弘	佐世保南
	山　口　嘉　浩	佐世保南
	小　川　　信	佐世保南
	森　　長　之	諫　　早
	北　島　博　志	福　　江
	大　田　義　弘	長 崎 東
米山功労者	古宇田　れい子	佐 賀 南
	七　田　利　秀	小　　城
	作　元　誠　司	佐世保南
	上　田　良　樹	長　　崎
米山功労法人	富士貨物自動車㈱	神　　埼
米山功労クラブ	第38回米山功労クラブ	佐世保南ＲＣ

文庫通信 (324号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演 他

◎「80歳エベレスト登頂～希望の奇跡」 三浦雄一郎　2014　8p（第42回ロータリー研究会報告書）
◎「世界遺産としての富士山」 井上輝夫　2014　3p（米山梅吉記念館館報）
◎「違うことはいいことだ」 大宅映子　2014　4p（D.2580地区大会の記録）
◎「ピンチをチャンスに！」 東国原英夫　[2014]　11p（D.2790地区大会記録誌）
◎「グローバル時代の企業経営」 張 富士夫　2014　4p（D.2760地区大会記録誌）
◎「『お金の世界』から『いのちの世界へ』」 菅野典雄　2014　16p（D.2510地区大会記録誌）
◎「『顔が赤くなる人は酒を飲むな』って…!?」 岡村 健　2014　5p（福岡南ＲＣ月報）
◎「人間はいつ歳をとるのか」 牧田静二　1998　2p（月曜短信）
◎「天皇･皇后両陛下にお仕えして」羽毛田信吾　2014　4p（D.2600下伊那グループIM＆会員セミナー報告書）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

DISTRICT2740 CONFERENCE

Rotary 第2740地区

2014−2015年度 地区大会

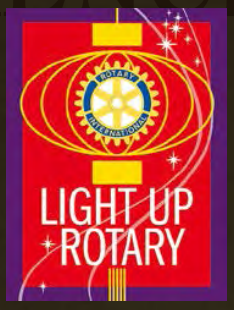
地域に輝くロータリー
平和の灯をともそう

ごあいさつ

国際ロータリー第2740地区

宮﨑清彰ガバナー

緒方聖実行委員長



第2740地区2014−15年度地区大会は諫早にて開催することになり、ホストクラブである諫早北ロータリークラブ会員一同、コ・ホストクラブの皆様のご協力を頂きつつ準備を進めております。

ゲイリー.C.Kホアン RI会長は、RIテーマを LIGHT UP ROTARY『ロータリーに輝きを』を提唱されました。

『地域に輝くロータリー』をモットーにこの地区大会では、世界の恒久平和を祈念し一人ひとりの心の中に平和を学習する機会になればと企画致しました。そして、何よりも参加していただく会員の皆様方が楽しく年に一度の友好の輪を広げる絶好の機会です。どうか一人でも多くの皆様にご登録・ご参加を頂きますようお願い申し上げます。

ホストクラブ：諫　早　北RC
コ・ホストクラブ：諫　　早RC
諫　早　西RC
諫早多良見RC
諫　早　南RC

2014年 11月 14日[金] 15日[土] 16日[日]

11月14日[金] 第1日目

会 場／L&L ホテルセンリュウ

◎地区指導者育成セミナー
◎RI 会長代理歓迎晩餐会

11月15日[土] 第2日目

会 場／諫早文化会館

10:00〜 ◎青少年のつどい
12:00〜 ◎本会議
14:30〜 ◎地区大会記念講演

一般公開 入場無料

竹田 恒泰 氏

作家。昭和50年、旧皇族・竹田家に生まれる。明治天皇の玄孫に当たる。慶應義塾大学法学部卒業。憲法学・史学の研究に従事。平成18年に著書『語られなかった皇族たちの真実』(小学館)で山本七平賞を受賞。その他著書に『エコマインド〜環境の教科書』(ベストブック)、『皇族へのソボクなギモン』(扶桑社、共著)、『旧皇族が語る天皇の日本史』(PHP新書)などがある。2010年に入ってから、『たかじんのそこまで言って委員会』を始め、テレビ番組などのメディアにも登場している。ほとんどがコメンテーターとしての出演だが、旧皇族としてテレビに出演したこともある。

会 場／諫早観光ホテル道具屋

◎記念懇親会

11月16日[日] 第3日目

会 場／長崎国際ゴルフ倶楽部

◎地区大会記念 親睦ゴルフ大会

国際ロータリー第 2740 地区大会事務局
〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10 諫早商工会館 302 号室 TEL.0957-47-5461 FAX.0957-56-9332 http://www.d2740.org/

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

「鳥たちの河口」

野呂　邦暢

海には朝の兆しがあった。
すでに空と水平線が接するところは
鮮やかな一線が認められ、ほのかに白く
なって雲のうしろに隠れた太陽を暗示している。

―　中略　―

海は干潟に侵入してそのゆるやかな起伏を
いっそうなめらかにした。まだ水に侵されない
干潟は朝の光がおりてくると象の皮膚に似た
単調な色彩が濃淡さまざまの茶褐色で映えた。
太陽は水平線をはなれたらしい。柔らかい泥
のひろがりは空の明りを反映して海獣の肌の
ようなつややかな光沢をおびた。

芥川賞作家、野呂は郷土に根を下ろして、端正な文章によって多くの作品を残した。彼は本明川河口と干潟をこよなく愛していた。美術にも造詣が深かった彼は画家の視覚をもって事物を表現していた。ここに取り上げた文章は、編者の描いた水彩画と同じ情景を、彼も目撃していたと思われて身震いしたのである。

干潟、淡き光　　緒方　聖

野呂邦暢文学碑

編集後記：秋の空は透明度がたかく澄み渡っている。大気も次第に涼しさを帯びてきた。諫早の玄関口、諫早駅の掲示灯に国体開催のカウントダウンが始まり、開会間近なことを知らせている。やがてこの駅に各県の大勢の選手たちが降りたち、各地の競技施設へと向かってゆくことだろう。熱戦を期待して、大きな声援を送りたい。

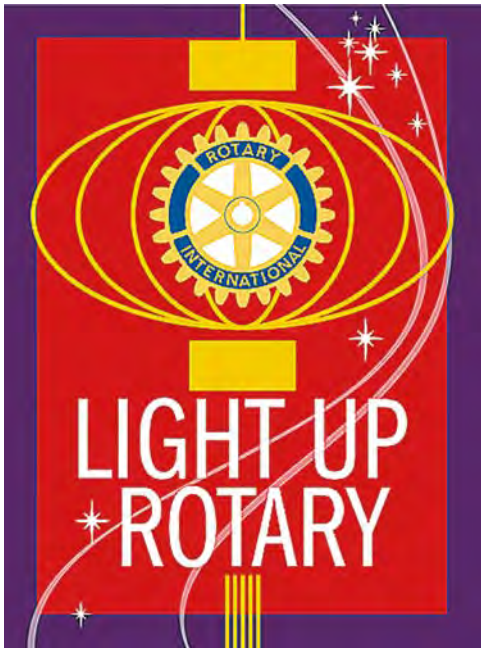
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮﨑　清彰

Vol.5
2014.11.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

白木峰高原の秋

諫早市内中心部より車で10分足らず、霊峰多良の裾野に広がる丘陵地帯にこの場所はある。眼下に諫早湾、遥か東方に雲仙岳を望む景勝地である。天体観測が楽しめる宇宙館、遊具が完備された「こどもの城」、各種の研修が可能な国立青少年自然の家など備わっている。秋になると一面コスモスの可憐な花々が出迎えてくれる。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
職業奉仕部門セミナー報告書……4
「青少年奉仕セミナー」報告 ……5
「米山の集い」開催報告 ……6
ガバナー公式訪問クラブ報告……7
コーディネーターニュース10月号……16
「ロータリーの友」だより ……17
2014年８月会員数・出席報告……18
新入会員紹介……19
物故者……19
寄付者紹介……20
ロータリー文庫通信……20
地区大会の『国際ロータリー会長代理』が決定しました…21
地区大会のお知らせ……22
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

「公式訪問を終えて」

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　崎　清　彰

今年は国体が長崎県で開催され開会式、閉会式が諫早で行われる事となり、10月12日の開会式までには公式訪問を終えるという計画で日程を考えました。７月15日から始めて10月９日に終わるということを計画し、ほぼ毎日のようにクラブ訪問をしました。従来通り、鹿島立ちということにし、鹿島の祐徳稲荷神社で公式訪問の無事を祈願し出発しました。神社では10代目の宮司鍋島様より祐徳稲荷神社の歴史等、詳しく説明を受け115段の階段を昇って絢爛豪華な本殿で厳かに神楽舞の奉奏を受けました。鹿島ＲＣの会長、幹事さん、富永ガバナー補佐にもお迎えしていただき、一緒にお参りしました。

私がガバナー補佐（田口厚ガバナー）の時に同期のガバナー補佐 蒲原孝之さんに久しぶりにお会いし、お元気でいらっしゃったので嬉しく思いました。７月15日当日は雨が激しく降っておりましたが前日に鹿島ＲＣの事務局松本さんが「てるてる坊主をしてます」との一報が入り、お陰様で昼からの鹿島ＲＣの公式訪問の時は雨が止んでいました。心遣いに感謝感激です。皆様のお陰で無事スタートをきることが出来、少し安堵しました。57ＲＣ全ての訪問の際には10人のガバナー補佐の皆様、各クラブの会長・幹事・会員の皆様に大歓迎を受けまして大変感激しました。パストガバナーの皆様にもいろいろお世話になりました。野口ＰＧ、佐古ＰＧにおかれましては会長・幹事・エレクトとの懇話会にもご出席いただき貴重なお話をしていただきました。ガバナーに接する会員の皆様の温かい気持ちが伝わり、本当に幸せな時間が過ぎていきました。改めてロータリーの素晴らしさを実感しました。

同窓の先輩、後輩達も声をかけてくださり、又委員会やロータリーで知り合った皆様も私の病気の事を気遣って「あせらず」「無理せず」と言葉をかけていただき感謝、感謝です。各ＲＣのメンバーは多い、少ないはありますが全てのクラブがそれぞれに良さがあり、特徴があり、地域社会にあった奉仕活動をされているなと思いました。ロータリーに思いを寄せる気持ちは皆同じだと感じました。それぞれに頑張っておられる姿が見られ、多くの皆様との出会いが公式訪問の財産だと思っています。

全部は紹介出来ませんがその一部をご紹介します。佐世保東ＲＣでは長野公道さん（慶応志木高の１年先輩）に会うことが出来、50年振りに先輩の実家 梅が枝酒造を訪ね、若い時の思い出話に花が咲きました。長崎ＲＣでは元ＲＩ会長ハーバート．Ｊ．ティラー氏直筆の四つのテストの複写を贈呈していただきました。我が諫早北ＲＣでは毎例会「四つのテスト」を唱和していますので英語版をいただき感激しました。佐賀南ＲＣの訪問後の雑談の席でその事を話しましたら駒井英基さんは自分は毎日診察の前に「四つのテスト」を唱和してから仕事（歯科医）に入るという話を聞き、さすが地区職業奉仕委員長だと改めて頭が下がる思いでした。ロータリーに対する思いが伝わる話でした。また、親子三代に渡ってロータリアンだということで、これ又びっくりしました。これだからこそロータリーも110年の歴史を刻んでこられたのだと思いました。７月25日は諫早大水害57年を迎え、例年通り慰霊祭がありますが今回は福江ＲＣ、福江中央ＲＣの公式訪問のため出席できませんでした。ホテルにて諫早方面を向いてお祈りをしました。両ＲＣの会長・幹事さんに空港まで送迎していただき大変お世話になり有難うございました。松浦ＲＣでは同期のガバナー補佐だった太田晴康さんに会えましたし、８月１日の公式訪問日は太田さんの80歳の誕生日で私からクラブの誕生祝いを渡すことが出来、大変良い思い出になりました。これからも元気でロータリーを楽しんでもらいたいと思います。又、同期のガバナー補佐、佐賀西ＲＣの土居さん、大村東ＲＣ太田さんにもお会い出来、元気に活躍されていました。残りの方は残念ながら退会されたり病気されたりして会えなかったことは残念でした。長崎出島ＲＣでは会長・幹事、植松ガバナー補佐が私共到着前から玄関にてお迎え頂き恐縮しました。また、会長の和服姿でのお迎えはとても素敵でした。週報には会長の

18歳の時の美しい写真が登場し映画のワンシーンのようでした。女性会員が多いクラブらしい雰囲気で注目を浴びています。佐賀大和ＲＣでは初代会長堤和之さんにお会いし、とてもよかったです。実は20年前会長になられてから他のクラブに自分の思いや社会情勢の事を常に一枚のハガキで発信されてましたので理由をお聞きしたら佐賀大和ＲＣが出来たばかりだったので皆様に忘れられないように広報のつもりで書き続けていましたとの事でした。今なお元気でご活躍、嬉しく思いました。神埼ＲＣではＳＡＡの点鐘の後全員で握手をしてから例会が始まり気合が入る楽しい瞬間でした。公式訪問中に長崎南創立50周年、長崎西30周年記念式典・祝賀会が開催され、地区幹事共々参加させていただきました。やはり歴史と伝統を重んじロータリー精神が脈々と引き継がれている素晴らしいクラブでした。公式訪問が終わりに近づいた時、佐世保８ＲＣで会長･幹事が主となり公式訪問お疲れさん会を開催していただき有難うございました。公式訪問を終わるにあたり、重ね重ね10名のガバナー補佐の皆様に本当に感謝申し上げます。

約6,500㎞の長崎・佐賀の旅を一人で運転し、例会でのスライドパソコン操作を担当していただいた森栄一郎地区幹事、本当にお疲れ様でした。お陰で１回の変更もなく無事予定通り終了することができました。

緒方地区大会実行委員長始めスタッフの皆様には大変お世話になり、有難うございました。

いよいよ11月は地区大会です。諫早でお会い出来る事を楽しみにしています。多数のご参加をお待ち申し上げます。

広島豪雨災害義捐金への御礼

第2740地区義捐金　　2,180,650円

たくさんの義捐金を送ることができました。皆様の御厚意に感謝申し上げます。

2014年10月１日

国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮　﨑　清　彰 様

国際ロータリー第2710地区
ガバナー　金　子　克　也

2014年８月広島豪雨災害義援金　御礼

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は広島豪雨災害に対しまして、義援金をご送金いただき誠にありがとうございました。貴地区の皆様のご厚情に対し、心から感謝し、御礼を申し上げます。

ご送金いただきました義援金は、被災者の皆様への援護の一助として役立てていただくことといたします。

最後になりましたが、貴地区の皆様のますますのご発展とご健勝を祈念して御礼の言葉と致します。　　敬 具

職業奉仕部門セミナー報告書

地区職業奉仕委員　井　手　誠　一（大村ＲＣ）

８月30日14時より武雄センチュリーホテルにて2014－2015年度職業奉仕部門セミナーが行われました。今年度は2740地区内56クラブ174名の参加。

まず駒井地区職業奉仕委員長より「定款第４条（ロータリーの目的）の説明と職業奉仕の考え方」についての説明があり、特別講演として第2680地区石井良昌パストガバナーより①「ロータリーの樹」②「人道的な奉仕活動」という２つの講演がありました。

当セミナーの対象者は各クラブの職業奉仕担当理事及び入会３年未満の会員等多数のロータリアンが参加していただき、今回のセミナーを通じて「定款第４条（ロータリーの目的)」と「職業奉仕」の考え方について理解が深まったものと思います。

ロータリーの目的は親睦と各々の事業の発展にあり、職業奉仕は事業の発展に必要なものです。職業を通して社会に役立つ価値を提供し、世のため人のために尽くすことが、結果として個々の事業の発展と継続につながっていくのです。

この職業奉仕を活動の中心と捉えている点が他のボランティア団体と大きな違いであるのです。

またセミナーにおいて四つのテストについて原文を忠実に訳した場合の説明がありました。

１、真実かどうか

２、みんなに公平か⇒「すべての取引先に対して公正かどうか」

３、好意と友情を深めるか⇒「信用を高め取引先をふやすかどうか」

４、みんなのためになるかどうか⇒「すべての取引先に利益をもたらすかどうか」。

この説明を聞けばロータリークラブとはそれぞれの会員の事業の発展を通して、世のためになる活動をしていくのだという事が解ります。

職業を通じて人に対する思いやり、顧客に対して満足してもらうと自ずと利益はついてくる。職業奉仕は個人の問題である。職業奉仕は個人奉仕だからお客様に満足してもらうことが職業奉仕です。また人に対する思いやり、人の役にたとうという気持ちが大事なのだということが、出席いただいた多くの会員によく理解できたのではないでしょうか。

最後に宮﨑ガバナーの講評では「今までの職業奉仕のセミナーの中で一番分かりやすい素晴らしいものでした」とされたことが、今回のセミナーの成功を物語っていました。

「青少年奉仕セミナー」報告

青少年奉仕統括委員会
青少年危機管理委員会　委員長　**中　島　洋　三**（佐世保南ＲＣ）

2014年９月28日㈰、秋の気配を感じるものの昼間はまだまだ暑い日、約80名のロータリアンが参加し、東彼杵町総合会館で2014－2015年度の「青少年奉仕セミナー」が開催されました。

今年度はセミナーのテーマは特に掲げませんでしたが、国際ロータリー日本青少年交換委員会研修委員の末松尚武君をお招きし、演題「危機管理のケーススタディー」を講演していただきました。今回はこの基調講演を中心に報告いたします。

「青少年と接する際の行動規範に関する声明」（2002年11月、ＲＩ理事会により承認）

“国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある。”

しかし、この声明の以前にロータリーの青少年交換学生に派遣国のホストファミリーから性的虐待を受け、その事実が報道されたことによりＲＩは提訴されました。

このことなどにより、2005－2006年度ＲＩから「青少年交換虐待とハラスメント予防指針」が各地区に提示されました。このＲＩ指針は日本の国内事情に適合できないため別に「日本版青少年交換虐待とハラスメント予防指針」が策定されました。この日本版指針に対応し全国34地区に危機管理委員会が設置されることになりました。現在この委員会は青少年交換プログラムのみの対応でありますが、ＲＩは指針をローターアクト、インターアクト、ＲＹＬＡなどへ適応させる考えで、準備しています。また、日本では米山記念奨学会もあり、日本版指針は、いずれはすべての青少年奉仕活動に適応されるでしょう。

以上が講演の要旨です。当地区も危機管理委員会が設置されていますが、今回の講演を聴き改めてその重要性を認識しました。その他、青少年奉仕統括委員長から各ロータリークラブへ青少年奉仕活動の事例質問、インターアクト・ローターアクト・ＲＹＬＡ・国際青少年交換の４委員長からそれぞれのプログラムの説明と現況報告がありました。この４つのプログラムを実施されていないロータリークラブは、是非この機会に１つでも取り入れるようご検討いただければ幸いです。また、このセミナー終了後の10月12日に開催された「ロータリー財団セミナー」において、４つのプログラムの活動に対して地区補助金が利用できるようになったと発表されました。

最後に会場設営・撤去にご協力いただいた各ロータリークラブの皆さん、また資料作成にご尽力いただいたガバナー事務所の皆さんに感謝しつつ報告とします。

「米山の集い」開催報告

地区米山記念奨学会　委員　**近　藤　祐　子**（諫早北ＲＣ）

2014年10月５日、長崎県諫早市「食楽亭」にて「国際ロータリー第2740地区2014－2015年度米山の集い」が行われました。

奨学生13名、大学関係者５名、宮﨑ガバナーはじめＲＣ関係者17名、計35名の参加。

宮﨑ガバナーより「各自の勉学はもちろんロータリーの事も良く学び、終了しても忘れず日本と世界の架け橋となっていただきたい」とのお言葉をいただきました。

ＤＶＤ「すばらしい贈り物」の鑑賞後、本多委員長より１年間のスケジュールと米山の事業についての報告。

その後の懇親会では奨学生・カウンセラー・学校関係者の現状報告。

学校関係者からは「今回出席して奨学生が物心両面で支えられている事を知り素晴らしい事業だと思った。奨学生は日本の学生にも良い刺激を与えてくれている。」との声をいただきました。

中には感極まって涙する学生もおり、奨学金のみでなく心の学びもしてくれている、と我々の事業の使命について改めて考えさせられました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

小城ＲＣ　８月６日㈬

会長　七田　利秀　　幹事　佐保　幹夫

８月６日㈬に、宮﨑清彰ガバナー、西岡健次ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催しました。

例会に先立ち会長・会長エレクト・幹事との懇談会では、いろいろな質問に対しても適切な御指導を頂き感謝しております。

感謝の心と健康の大切さを説く宮﨑清彰ガバナーは、60年余病気ひとつもしなかったのに大病を患い、３カ月の闘病生活を乗り越えて元気になられたとの事。奥様には頭が上がらない心優しいガバナーの卓話に、毎日を悔いのないように楽しんで生きる事の大切さを改めて考えさせられました。

当クラブの今年の大きな目標は、会員10名増とロータリーデーの開催です。会員増強は、七田会長が宮﨑ガバナーの前で宣言されました。そこでなんとしてでも小城クラブの存続をかけ会員19名全員が一丸となって会員増強に努める覚悟です。そのためにも、ロータリー活動の広報を積極的に行い地域への周知を図ります。

また、例会と開催要領等の見直し等、新しいアプローチとアイディアをもって時代に合ったクラブ活動を目指します。

現在崖淵に立つ小城クラブ会員のモチベーションを高め、来年50周年を迎える態勢づくり「イノベーション」を計る事こそ、故鮎川好彦会長エレクトの遺志に報いる事になると確信しています。

改めて本日のガバナー公式訪問誠にありがとうございました。

長崎みなとＲＣ　８月26日㈫

会長　松山　敏雄　　幹事　八木　浩二

８月26日㈫宮﨑清彰ガバナー、植松俊徳ガバナー補佐そして森栄一郎地区幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催致しました。

当クラブの松山現会長がクラブ名称等変更後の３代目会長に就任し、運営は会員一丸となり特色あるクラブを全面的に打ち出す努力をしていく旨説明致しました。

先ず、本クラブは東長崎地区を拠点として発足した経緯を踏まえ、事務局は発足当時の市内田中町卸センター会館内に置き、事務活動を続けています。例会場は従来の地区に固執せず、広域に会員を募る為にも 市内中心部に移転する事で新たな船出を決意した当時の経緯をお話ししました。

また、今年度は、クラブ創立35周年目にあたり、着実な発展を目指す、その礎を築ける一年となるよう松山会長に託されたもので、以下の項目を念頭にクラブの運営を進めていく旨お話ししました。

- 新たな会員増強方法を採用し、クラブの拡充を図ります。
- 35周年事業計画を遂行することで、より会員団結力の強化を目指します。
- 地域貢献行事の掘り起こしを継続して行います。

例会では、ガバナーのお人柄に触れあいながらの卓話に、時間の経過を忘れてしまう程でした。「地域に輝くロータリー」運営の心がけと、「ロータリーデー」の行事遂行に取り組んで頂きたいとのお話が印象的でした。

宮﨑ガバナー、植松ガバナー補佐そして森地区幹事、皆様の御来訪に深謝し、くれぐれもお体ご自愛のうえ益々のご活躍をお祈り申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

北松浦ＲＣ　９月２日㈫

会長　有馬　明彦　　幹事　永田　　章

９月２日㈫、宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事および中野浩ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

例会前の懇談会においては、会員増強目標３名に対して応援を戴くとともに、夜の例会、地区委員長を招いての研修会、ロータリーデーの開催についてもアドバイスを戴きました。

宮﨑ガバナーの卓話では、ＡＢＣＮＥＷＳ風の自己紹介ビデオの上映や、スパゲティを食べるときはロータリーデーにされているなど、自らロータリーを楽しんでいくことをお示しになりました。また、食事をお褒め頂くと共にデザートへの心配りに感謝を述べられ、おもてなし、役に立ちたいという事がロータリーの基本、そういう気持ちを持たれるのが大切と述べられました。

黄其光ＲＩ会長のビデオ上映後、地区の色々な活動についてスライドで説明なされ、特に地区目標では、何事も「あせらず」「無理せず」である、「感謝」の気持ちは言葉で表すことが大事である、「健康」（日野原重明先生を例に）でなければロータリーも何もあったものじゃないと話して頂きました。

宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事および中野浩ガバナー補佐のご訪問に感謝を申し上げ、お体をご自愛いただくと共に、今後のご活躍をご祈念申し上げます。ありがとうございました。

2014～2015 第1740地区　宮崎清彰ガバナー公式訪問　北松浦ロータリークラブ　於　サンパーク吉井　平成26年9月2日

佐賀北ＲＣ　９月３日㈬

会長　中尾　嘉宏　　幹事　古川　清文

９月３日、宮﨑ガバナー、北島ガバナー補佐、森地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催しました。

懇談会では、会長、幹事、副幹事が同席してクラブの現況報告と活動方針を説明しました。ロータリーの公共イメージと認知度の向上を常に頭の隅に置き、各委員会の活動、インターアクト、地区補助金プロジェクトを推進し、これらに加え、今年佐賀北クラブ創立45周年を迎えるにあたりこれまで行った周年事業を「ロータリーデー」に活用したらとアドバイスを頂きました。

クラブ会員の平均年齢は57歳と若い会員さんが多いので、クラブの歴史を記録にとどめ、チャーターメンバーの方々の話を聞き、皆でクラブの歴史を共有するのは大事だと指摘されました。又若い会員さんと一緒に他クラブへのメーキャップデーを実施したらと話を伺いました。

スクリーンを用いての、ガバナーの卓話はロータリーの、世界での又地域での多岐にわたる多様な活動が紹介され、あらためて、ロータリーの活動を再認識したところでした。

当日は、初めて例会に出席された新入会員の方があり、ガバナーより新会員の方に徽章を着けて頂きました。
ありがとうございました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

平戸ＲＣ　９月４日㈭

会長　森　　幸雄　　幹事　吉田　春美

記録的な長雨の今年、宮﨑ガバナーには遠く平戸までお出で頂きありがとうございました。

前年度のガバナークラブとして今年度のガバナー・地区幹事・会員の皆様のご苦労お察ししながらお迎え致しました。

ガバナーとの懇談で公式訪問書について詳細な評価、示唆を頂きました。

特に会長として３年未満の会員のロータリーへの関心度を高めるにはどうしたら良いかと考えていたのですが、ベテラン会員との交流の場を作ってみたらどうかとのご提案があり、早速実施したいと思っております。

是非、今回の公式訪問で示唆頂いた事項を会員に周知をしクラブの運営に取り入れていきたいと思います。

ガバナーとは、監督者・管理者との意味があるそうですが、「おやじ」という意味もあるそうです。

宮﨑ガバナーには、まさにお父さんのような包容力を感じました。

また、公式訪問当日は平戸でお泊り頂き、行き届かぬ宴でしたが、楽しんでいただけたでしょうか。

特に、ガバナー・地区幹事の美声には、感心致しました。

11月の地区大会大変楽しみにしております。全員登録はもちろん出来るだけ多くの会員の参加を呼びかけたいと思います。

最後に､ガバナーにおかれては公式訪問､後23クラブだそうです、お身体を大切にして頂き､『あせらず』『無理せず』 公式訪問･地区大会頑張って頂きたいと思います。

本日は、本当に有難うございました。

宮崎清彰ガバナー公式訪問　　平成26年9月4日　　於　平戸旗松亭

嬉野ＲＣ　９月５日㈮

会長　原田　恒俊　　幹事　森　　四朗

９月５日金曜日に宮﨑ガバナー、富永ガバナー補佐、森地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。例会に先立ち会長、会長エレクト、幹事との懇談会においては、宮﨑ガバナーの穏やかで気さくな口調により、それほど固くなる事もなく当クラブの現況報告及び運営方針、活動計画等説明させていただきました。

その中でガバナーより特に会員増強への取り組み、広報を主としたロータリーデーの実施等大変貴重なご指導をいただき、改めて気持ちを強くし取り組んでいく勇気をいただきました。

例会での卓話ではＲＩ会長のテーマである「ロータリーに輝きを」について説明され、地区スローガン「地域に輝くロータリー」を実施するにあたり「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちを持ち活動する事、その為には「健康」が一番と、分かりやすくお話いただきました。宮﨑ガバナーの穏やかな言葉の中に熱意を感じ感動致しました。

ガバナー公式訪問は当クラブで35番目とお伺い致しましたが、残り３分の１、どうぞご自愛くださり、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐賀大和ＲＣ　９月９日㈫

会長　福島　隆暢　　幹事　藤崎　利成

９月９日に、宮崎ガバナー、西岡ガバナー補佐、森地区幹事をお迎えし、公式訪問を開催致しました。懇談会ではクラブ現況報告及び活動計画について説明を行いました。ガバナーより、佐賀大和ロータリークラブの特色ある活動は？との質問に、戦前は新婚旅行のコースでもあった「巨石パーク」がふるさと創生事業で復興した事もあり、園内にクラブ創立記念事業として植樹を行い、その後も「ロータリーの森」構想を継続事業として行っている事や、植樹は地元の高志館高校の生徒さんにお手伝い頂き、長年にわたり交流を図っている事を紹介しました。来春には見事な桜と川上峡名物白玉饅頭をぜひ堪能して頂ければと思います。ガバナーからは、楽しいニコニコＢＯＸの集め方。活動方針ではご自身の体験や他クラブの運営方法等をご紹介頂きました。この貴重な話を参考に、会員増強と出席率の向上に努めていきたいと思います。

例会では「ロータリーに輝きを」「地域に輝くロータリー」をユーモアや体験談を交え卓話頂きました。ロータリーデー、会員増強、ロータリー財団、米山記念奨学会寄付目標等々、会員一同「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちを実践しロータリー活動に励みたいと再認識致しました。

宮崎ガバナーやスタッフの皆様におかれましても、残りの公式訪問と地区大会等、無理なさらず安全に無事終了される事をお祈り申し上げます。

諫早西ＲＣ　９月10日㈬

会長　辻本　善樹　　幹事　木村　暢義

９月10日㈬、宮崎清彰ガバナー、千葉まさこガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会前の懇親会で当クラブの現況を説明致しました。まずは、本年度、わがクラブが創立30周年を迎えることで、記念事業としてモニュメント時計台を諫早中央体育館に設置することと、来年の２月７日㈯に開催する記念式典への出席をお願い致しました。活動計画では、ロータリーデーとして障害者施設「つくしの里」での夏祭りへの参加、第10回ミニバスケット大会開催、そして、市内小学校と佐世保ダービースクールの交流会を報告し、お褒めの言葉をいただきました。

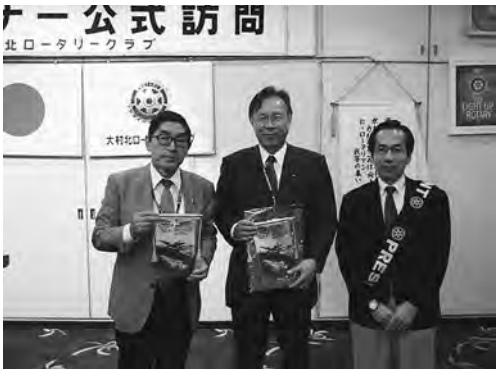
例会での宮崎ガバナーの卓話は、地区テーマ「地域に輝くロータリー」を実践するには「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちをもち、そして、自分の体験談を交えて「健康」の大切さをお話しいただきました。例会終了後に、バナーの贈呈、会員全員との記念写真撮影を行い、終始和やかな公式訪問でした。

宮崎ガバナー、千葉ガバナー補佐、森地区幹事の今後のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

大村北ＲＣ　９月10日㈬

会長　田崎　賢一　　幹事　麻生　康友



９月10日（水曜日）、大村北ロータリークラブの夜例会へ宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事がご来訪されました。

例会前の懇談会では、当クラブが原則として例会出席100％を維持していることを良き伝統と高い評価を頂き、毎例会の５分間情報（佐古パストガバナーによるロータリー情報の講話）が出席率向上に寄与しているのではというご感想もいただきました。また、昨年度より始めている会員増強プロジェクトについても強い関心をもたれ、評価いただきました。

例会では映像を交え地区運営方針並びにテーマをわかり易く、ユーモアも交えて説明していただき、全会員が聴き入って理解を深めることができました。我がクラブは本年度のテーマを「あせらず、無理せず、大村北クラブらしさの追及を！」と掲げていますが、このたびガバナーの方針と相反するものではないことを確認するとともに、数少ない会員が一丸となって守るべき伝統は守りつつ更なる進化を遂げるクラブ運営を行っていくという想いを新たにしました。この想いを具体的活動につなげていく事が一つの輝く光になると考えております。

例会終了後は宮﨑ガバナー、森地区幹事御両名ともスナックでの打ち上げにまでご参加いただき、一緒にカラオケで盛り上がるなど非常に打ち解けた楽しい一夜を過ごさせていただきました。宮﨑ガバナー、森地区幹事におかれましては、「あせらず無理せず」を文字通り実践して充分にご自愛いただき、今後ますますご健勝ご多幸であられますことを、会員一同心よりご祈念申し上げます。

大町ＲＣ　９月11日㈭

会長　土井　　了　　幹事　前山　正博

９月11日㈭、宮﨑清彰ガバナー、富永正嗣ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行われ、クラブ概況報告、運営方針、活動方針を説明いたしました。

ガバナーより、運営方針、各事業の活動方針へのお尋ね、貴重なアドバイスをいただき和気あいあいと和やかなうちに懇談会を終了することができました。

例会では、ＲＩ会長ゲイリーＣ・Ｋ・ホァン氏の活動方針、ガバナーの地区方針･目標についての卓話をいただきました。

卓話も終わりに近づいた頃、ガバナーが例会の前日亡くなられた東京オリンピック聖火リレーの最終ランナー坂井義則氏の事にふれられ、ガバナーと同年代である事、広島県で原爆投下の日に生まれられた事を紹介されました。そして、坂井氏が満員のオリンピック会場に、まさに聖火ランナーとして登場し、会場の一番高いところにある聖火台へ駆け上がり点火をしたクライマックスの状況を、ＮＨＫのアナウンサーの実況中継の語り口で再現された事に、会員一同感激し拍手喝采をしたことは言うに及びません。

ガバナーの人柄と特技？をかいまみた次第でした。ガバナーありがとうございました。

大町ＲＣ会員一同、この一年間のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

唐津中央ＲＣ　９月12日㈮

会長　志渡澤一則　　幹事　佐々木義文

９月12日㈮、宮﨑清彰ガバナー・曽我文雄ガバナー補佐・森栄一郎地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、当クラブからは会長・会長エレクト・幹事が出席し懇談会が行われ、当クラブ概要・運営方針・活動報告についての現況説明を行い、また、今年は、韓国閑麗ロータリークラブとの姉妹締結15周年目を迎え、今後も国際交流を深めていくことを説明させていただきました。

宮﨑ガバナーより、当クラブは女性会員も多く、会員みんなが明るく楽しいクラブである。米山奨学会・会員増強他各事業への貴重なアドバイスやお褒めの言葉をいただきました。

例会での宮﨑ガバナーの卓話では、パワーポイントを使用され、ＲＩ会長ゲイリーC･K･ホァン氏のメッセージ「ロータリーに輝きを」について、ご自身の経験を交えてわかりやすく「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちを持って「健康」でロータリー活動をお願いしたいと述べられました。

宮﨑ガバナー公式訪問が、当クラブで40クラブ目の記念すべき日だということで、東京オリンピックの開会式での最終聖火ランナーが陸上競技場に入場し、聖火台に点火するまでを、当日のアナウンサーに扮した実況中継をご披露されました。宮﨑ガバナーの楽しいお人柄を見たようでした。

最後に、宮﨑ガバナーを始め地区の皆様のご来訪に感謝申し上げます。今後のご活躍と御健勝をお祈り申し上げます。

白石ＲＣ　９月17日㈬

会長　大田尾一美　　幹事　山口　繁喜

９月17日㈬　宮﨑ガバナー・森地区幹事・富永ガバナー補佐を迎えてのガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会前の懇談会では、クラブ概況や現在会員数７名と地区内最小クラブであるため予算が少なく細かな活動ができない事、セミナーに複数の参加者が当てられない事、会長、幹事、四大奉仕委員長を毎年兼任しなければならない事など、抱えている問題点や厳しい運営事情を報告させていただきました。

また、当地区は人口が２万７千人程度の農業・漁業が主な産業であるため会員を増やす事が難しい状況の中ではありますが、今年度も「会員増強」を第一に掲げ、全力で取り組んでいきたいと決意しています。

ガバナーの卓話の中では、健康である事が第一、健康があってロータリー活動ができる事を重要視しましょうと話されました。

また、活動･行動を行う時には何か１つでも「ロータリーデー」と称して一般の人々にロータリーの宣伝を行って欲しいと願われました。

10月４日は、当クラブがホストとして取り組むＩ・Ｍを開催します。今、開催に向けて精一杯準備を進めている所です。

ガバナー公式訪問クラブ報告

多久ＲＣ　９月18日㈭

会長　藤川　範史　　幹事　前田　博彦

９月18日㈭、宮﨑清彰ガバナー、西岡健次ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会開催前、会長・幹事・会長エレクト・次期幹事との懇談会に於いて、今年度のクラブ会長活動方針・現況報告・各委員会の活動計画を御説明いたしました。宮﨑ガバナーからは、多久ロータリークラブの特徴を御尋ねいただき、新年度の７月に、５名の新入会員を迎えることが出来たことをお褒め頂きました。懇切丁寧に助言を賜り、誠に有難うございました。

例会では、宮﨑ガバナーに御講話をいただきました。私は、ロータリーの奉仕を人々と分かち合い、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることを実践していきます。

今年度は、多久クラブ創立30周年の節目であります。歴代先輩の皆様方、会員、家族への感謝を込め、「地域に輝くロータリー」の実践に、あせらず、無理せず、努力したいと思います。

宮﨑ガバナーのご活躍と、地区大会のご成功を心よりご祈念申し上げます。

牛津ＲＣ　９月19日㈮

会長　今泉　昭博　　幹事　鶴丸　達男

９月19日に牛津ロータリークラブでガバナー公式訪問が開催されました。その日はあいにく朝から雨が降っていたのですが、来場される時だけ、歓迎の意味でしょうか、雨が止んでいました。宮﨑ガバナーにおかれましては、大変お忙しいところを遠路お出かけ頂きましてありがとうございました。牛津ロータリークラブの全員が、心から歓迎申し上げました。

先ず、会長、幹事、会長エレクトとの協議会は、ガバナー補佐と森地区幹事を含めて、なごやかなムードの中、親切丁寧なご指導を頂きました。クラブの概況、又会員増強運動やロータリーデーの意味など約90分程度色々な協議をされました。実は前日は佐賀に宿泊されて、食事をご一緒させていただき、実に気さくに接して頂き、楽しい時間を過ごさせて頂きました。これまでもガバナーのお話はＰＥＴＳや地区協議会、そして各種セミナーにおいて、何回も拝聴させて頂いたわけですが、そのたびに受けるガバナーの印象は大変に誠実で心優しいお人柄であるということです。そして昨年から今年にかけて大病をされたとはとても思えないほどパワフルな方で、今年度のテーマであります『ロータリーに輝きを』『地域に輝くロータリー』にぴったりな方だと思います。

例会も、まず写真撮影から始まり、歓迎の挨拶、一般報告、食事と交換のあと素晴らしいガバナーの卓話を賜りました。牛津ロータリークラブの年次目標に『楽しいを輝かそう』とありますが、これは何事においても真剣に取り組もうという意味で、社会奉仕や職業奉仕の行事やゴルフコンペや打ち上げなども、全てを楽しもうということで、参加することが楽しければ会員増強にもつながると思われるからです。現在会員増は２名ですが、今年度中にあと３名ほど増員を考えております。

11月の地区大会でお会いできることを楽しみに、日々ロータリアンを輝かせましょう。

ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早南ＲＣ　９月22日(月)

会長　野中　澄子　　幹事　助村　房子

９月22日(月)、宮﨑清彰ガバナー、千葉まさこガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち、懇親会がございましたが、我がクラブから、会長･幹事･会長エレクト、そして、ガバナー補佐も当クラブから出ており、女性４人が顔を揃えました。

宮﨑ガバナー・森地区幹事から「実に宜しいですね」と、笑顔で言って戴きました。

クラブの概要を説明し、会長の方針を話しましたが、その中でも取分け、我がクラブで力を入れている「剣道大会」「書道例会」の話には、深く関心を持ちながら聴いて下さり、最後にお誉めの言葉を戴きました。

我がクラブも、前期15周年という節目を迎え、今16年目に入っております。ガバナーの卓話から、人生の指針となるお言葉を沢山戴き、改めて、15年の南の歴史を20年に繋げていかねば……と、心に誓いました。

終始、ガバナーの「人となり」を感じながらの和やかな例会に、会員皆、それぞれの思いで、ロータリーに対して、よりインスパイア出来、貴重で、有意義なお時間でありました事、心より感謝申し上げます。

島原南ＲＣ　９月24日(水)

会長　隈部　慎吾　　幹事　日向　　啓

９月24日、宮﨑清彰ガバナー、音成征彦ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問は、台風がこちらに向かいつつある中、無事に公式訪問が終了しました。

例会に先立ち会長、会長エレクト、幹事との懇談会では宮﨑ガバナーのおだやかな口調によって緊張することなく、森地区幹事が南島原市出身というので話が弾み、すぐに打ち解けました。

ガバナーには、当クラブの現況、運営方針を年間計画要旨に説明しつつ、記載の内容等に御指導いただきましたので来年度の年間計画要旨に反映したいと思います。

今年度、既に２名の会員増強を報告出来、宮﨑ガバナーからは是非チャーターメンバーの32名に近づけ、とにかく辞めないように例会等を工夫して指導するようにと激励されました。(現在23人です。)

例会でのガバナー卓話は、「米国ＡＢＣニュース」が流れだし、美人のアナウンサーから宮﨑ガバナーのことを英語で説明するので、宮﨑ガバナーはすごさーとびっくりしました！（種明かしがなかったらうっかり信じる所でした。)

ガバナーの略歴及び地区方針・目標を日本語の字幕で紹介されるなど趣向を凝らした卓話を戴き時間の過ぎるのを早く感じ、新入会員のメンバーにはどうか辞めないで続けて欲しいとガバナー直々に語りかけて頂いたので大丈夫だと思います。

今年のテーマに合わせてロータリーの広報を狙い、揃いのジャンバーを作りましたが、会員の１人がこのジャンバーを持って来てくれてたのでお見せする事が出来ました。清掃活動や色んな場面でジャンバーを活用しロータリーの名前を知らしめたいと思います。

会員一同緊張しながらも、宮﨑ガバナーの人柄によりだんだん緊張も解けて島原南クラブのガバナー訪問例会も無事終了しました。

『あせらず』『無理せず』『感謝』の気持ちを持ち、出来る事から一歩一歩進めていきたいと思います。

「楽しみ」「学び」「奉仕する」ロータリークラブの活動が出来る様に努力したいと思います。宮﨑ガバナーにおかれましても、どうぞご自愛下さり、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早ＲＣ　９月26日㈮

会長　村川　一人　　幹事　井手　雅康

９月26日㈮、宮﨑ガバナー、千葉ガバナー補佐、森地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催しました。前週の19日㈮にはクラブ協議会を無事に済ませ、千葉ガバナー補佐には２週続けてご来訪頂き感謝しております。

例会に先立って会長・会長エレクト・幹事・副幹事との懇談会が行われ、当クラブの運営方針、現況等を説明しました。会員増強については現在会員65名ですが、今後増強に努め70名の大台を目指していきたいと思います。また当クラブの継続事業であります世界社会奉仕事業についても関心を寄せて頂きました。特に当ロータリークラブで近年問題となっているローターアクトの存続問題については、他ロータリーの取組みや現状等意見交換させていただき、今後の運営について適切なアドバイスを頂戴しました。

ガバナー卓話では宮﨑ガバナーの登場されるＡＢＣニュースから始まり、今年度ＲＩテーマである「LIGHT UP ROTARY」について「暗闇を呪っているだけでは何も変わらない。そんな暗闇に明かりを灯そうではないか」とのガバナー方針をパワーポイントで解説され、ご本人のロータリーへの思い、健康の大切さ、ロータリーの生い立ち等お話いただきました。

ご多用の中、ご指導いただきました宮﨑ガバナー、千葉ガバナー補佐、森地区幹事に深く感謝申し上げます。

唐津西ＲＣ　10月８日㈬

会長　岩本　剛人　　幹事　河野　智幸

10月８日、宮﨑清彰ガバナー、曽我文雄ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立つ懇談会では、事前準備があったにもかかわらず、ガバナーから問われる活動計画書に関する質問には回答に窮してしまう程でした。また、活動計画書の補充記載すべき点について貴重なご指摘を頂きました。当クラブの特色をご説明すべく、ボルトンキャッスル号（パナマ運河が開通して100周年となりますが、同運河を利用して日本に寄港した第一号の船舶です）の唐津港寄港100周年記念式典に当クラブが関与できたことを紹介させていただきましたが、ガバナーから激励のお言葉を頂戴することができました。

例会では、ユーモアに富みながらも、分かりやすい説得的なガバナーの卓話を拝聴することができました。「あせらず」「無理せず」「感謝」「健康」を再認識させていただきました。例会は和やかに進行し、ガバナー訪問を祝って、“ニコニコ箱のインフレ”状態となりました。

公式訪問は残すところ僅かとなり、11月の地区大会を控えた時期となりましたが、宮﨑ガバナーの益々のご活躍と地区大会の大成功を唐津西クラブ一同、心より祈念申し上げます。

コーディネーターニュース10月号『ロータリー公共イメージの推進』

国際ロータリー第１ゾーン　ロータリー公共イメージコーディネーター　**渡　辺　敏　彦**

2014年９月２日・３日の２日間に渡り、ＧＥＴＳ（ガバナーエレクト研修セミナー）が東京で開催されました。１月の国際協議会に備えての事前研修第１弾ということで、ガバナーエレクトの方々は34名、大変有意義で楽しい(？)丸２日間を過ごされた訳であります。その中の２つのセッションで、「公共イメージの向上、推進」が取り上げられています。その内容をかいつまんでご紹介したいと思います。

「ロータリーは意義ある活動を行っているにも関わらず、それが社会に認識されていない!!」という事実から、ロータリーの公共イメージを改善する為に「ロータリー活性化」の取組が始まっています。それは、「リーダーのネットワークへ。アイデアを広げよう。行動しよう。」というロータリーの特徴を簡潔に表現したロータリーのエッセンス。これを土台に、ロータリーを分かりやすく、しかも魅力的にアピールしようとする取り組みであります。

１つ目の大きな柱は、ブランド戦略であります。まずロータリーのロゴが変更されています。2014年１月の国際協議会後に新しく登場したブランドリソースセンターには、ロゴに加えビジュアルアイデンティティのガイドライン、写真・動画等様々な資料や素材が用意されていますので、それを活用し、ブランド戦略を推進頂きたいということです。

２つ目は、「ボイス」の活用であります。それは、ロータリーのボイスの特性である４つの事柄（賢明さ、思いやり、粘り強さ、行動を促す力）を意識して、対外的にはロータリー用語を避けて、出来るだけ簡潔な分かり易い言葉で、語りかけるように、相手に魅力的に聞こえる表現にすることであります。

上記の「ロータリー活性化の取り組み」を推進するため、ロータリー「戦略的優先項目と目標」があり、その実行部隊としてゾーン毎に地域コーディネーターチームが任命されています。

- クラブのサポートを強化⇒ロータリーコーディネーター（ＲＣ）
- 人道的奉仕の重点化を増加⇒ロータリー財団地域コーディネーター（ＲＲＦＣ）
- 公共イメージと認知度の向上⇒ロータリー公共イメージコーディネーター（ＲＰＩＣ）

「ロータリーの公共イメージ」を向上させるため、ＲＰＩＣの役割は大きく２つに分けられます。一つは、各ゾーン毎に地区、クラブ、ロータリアンに対して適宜・適切な情報を伝達することです。「ＰＥＴＳ」「地区研修協議会」等がありますので、要請があればそれぞれの場に赴き、「公共イメージの向上」に向けた情報提供を積極的に行わせて頂きます。

もう一つは、地区又はクラブの外部（地域社会）に向けた広報活動を効率的、効果的に行う為に必要な情報、方法論を提供することだと認識しております。

地域コーディネーターチームのうち、ＲＰＩＣを下記にご紹介させて頂きます。

第１ゾーン　2007－08　ＲＩＤ2560　ＰＤＧ　渡辺　敏彦（新潟南）
第２ゾーン　2012－13　ＲＩＤ2620　ＰＤＧ　高野孫左ヱ門（甲府）
第３ゾーン　2011－12　ＲＩＤ2740　ＰＤＧ　岩永　信昭（長崎北東）

「ロータリーの友」だより

「ロータリーの友」地区代表委員　**杉　原　宏　一**（諫早北ＲＣ）

2740地区のガバナー公式訪問も無事完了し、11月14日からは地区最大のイベント地区大会が始まります。緊張して迎えた新しい年度でしたが、着々と順調な歩みが進められていることは御同慶の至りです。

「ロータリーの友」10月号に掲載された本地区からの記事をご紹介します。

“ロータリー・アット・ワーク　(写真編)”

「中国の留学生に茶道体験」佐世保北ＲＣ

中国の厦門からの留学生を招き、伝統文化の茶道を体験してもらった。

厦門市は佐世保市と姉妹都市関係にあり、厦門理工学院と国立佐世保工専校は姉妹校として10年前から交流を続けており、この茶道体験も毎年行っている。

“ロータリー・アット・ワーク　(文章編)”

「元奨学生の恩返し」佐世保ＲＣ　石井　正剛 氏

官家興(グゥアン・ジャシン)さんは台湾出身の45歳。彼は佐世保ＲＣの国際奨学生（'92～ '93)、また米山奨学生（'93～ '95／佐世保西ＲＣ）として支援を受け、長崎県立国際経済大学を卒業した。その後日本人と結婚し、長崎県内で農業をしている。

「多くの人から受けた恩恵を自分で出来る形で返したい」との思いから、「自分で栽培したお米500kgを留学生や日本人の苦学生に贈りたい」という希望で出されたので、地元の大学など４校から75人を選び贈呈式を行った。

彼が奨学生時代に感じた日本人の優しさを大切な宝物として思っていることは、ＲＣ会員にとっても青少年育成の意義をあらためて考えさせられるものであった。

“俳壇”入選

伊万里西ＲＣ　　田中　南嶽　氏

“柳壇”入選

鹿島ＲＣ　　今村　　博　氏

毎号当地区からの投稿が切れ目なくあることは、素晴らしいことだと思います。

どうか今後も皆さんが積極的に投稿してくださることを期待します。

月間のテーマに基づいた特別記事への投稿も呼びかけられています。２月号では世界理解月間に合わせた特集の記事も募集されています。どうか奮ってご応募ください。

異文化体験　エピソード大募集！

ロータリアンの中には、国際会議に出席される方、仕事で海外へ出張したり、転勤したり、工場などを海外に移転するなど、海外へ行き、現地の人と仕事をする方、海外での生活経験をお持ちの方、また、国内にいても、来日したお客さんを案内したり、さまざまな国籍の従業員を雇用している方など、仕事で外国の人と接する機会がある人も少なくないでしょう。

外国の人とのコミュニケーションや商習慣、生活習慣に関して、戸惑った、苦労した、驚いたなどという経験はありませんか。

「ロータリーの友」２月号では２月の世界理解月間に合わせて異文化間のコミュニケーションにまつわるエピソードを特集する予定です。エピソードをお持ちの方、ご投稿をお持ちしています。

送り先　一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル４階
Ｅメール　henshu@rotary-no-tomo.jp

募集要項

文字数　500～800字程度
締め切り　2014年11月20日
送付方法　メールまたは郵送で送付。原稿とは別に、①タイトル ②経験した国 ③名前 ④所属クラブ ⑤電話番号 ⑥業種を明記ください。
写真　渡航先で撮影した本人が写っている写真、あるいは関連写真。あれば２～３枚

2014年８月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				７月１日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	3	89.3	58	0	61	0	0	0	0	3
	小城	3	85.3	19	2	19	2	0	0	0	0
	牛津	3	79.7	28	0	30	0	1	0	1	2
	多久	3	81.2	36	6	41	6	0	0	0	5
	佐賀大和	3	81.5	24	3	23	3	0	1	−1	−1
	小計		83.4	165	11	174	11	1	1	0	9
第2グループ	佐賀西	3	82.9	39	0	39	0	0	0	0	0
	佐賀北	3	77.8	41	3	40	3	0	0	0	−1
	佐賀南	4	79.0	36	2	36	2	0	0	0	0
	神埼	4	90.4	36	3	37	3	0	0	0	1
	佐賀空港	4	76.9	15	1	15	1	0	0	0	0
	小計		81.4	167	9	167	9	0	0	0	0
第3グループ	有田	3	74.7	33	0	34	0	0	0	0	1
	武雄	3	93.0	52	4	52	4	0	1	−1	0
	鹿島	3	95.1	44	3	43	3	0	0	0	−1
	嬉野	4	87.4	24	1	24	1	0	0	0	0
	大町	3	75.6	15	0	15	0	0	0	0	0
	白石	3	66.7	8	0	7	0	0	0	0	−1
	太良	3	90.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		83.2	186	8	185	8	0	1	−1	−1
第4グループ	唐津	3	89.3	55	0	56	0	1	0	1	1
	伊万里	3	94.4	27	0	30	0	1	0	1	3
	唐津東	3	85.9	53	0	55	0	1	0	1	2
	唐津西	3	90.9	30	0	32	0	0	0	0	2
	伊万里西	3	88.9	45	0	45	0	0	0	0	0
	唐津中央	4	82.8	32	4	32	4	0	0	0	0
	小計		88.7	242	4	250	4	3	0	3	8
第5グループ	佐世保	3	100.0	74	0	76	0	1	0	1	2
	平戸	3	76.1	39	4	39	4	1	0	1	0
	佐世保西	4	86.4	22	1	23	2	0	0	0	1
	北松浦	3	95.6	24	0	24	0	0	0	0	0
	松浦	4	94.0	26	1	26	1	0	0	0	0
	小計		90.4	185	6	188	7	2	0	2	3
第6グループ	佐世保南	4	100.0	73	1	76	1	0	0	0	3
	佐世保東	3	95.5	23	0	23	0	0	0	0	0
	佐世保北	4	98.1	43	0	43	0	0	0	0	0
	佐世保中央	3	100.0	43	1	45	1	0	0	0	2
	佐世保東南	3	84.1	21	0	19	0	0	0	0	−2
	HTB佐世保	3	96.4	20	3	21	3	1	0	1	1
	小計		95.7	223	5	227	5	1	0	1	4
第7グループ	大村	4	85.7	48	3	49	3	0	0	0	1
	島原	4	72.0	27	2	26	2	0	0	0	−1
	雲仙	5	95.0	28	1	28	1	0	0	0	0
	大村北	3	100.0	23	0	23	0	0	0	0	0
	島原南	3	69.0	21	1	22	1	0	0	0	1
	大村東	4	87.6	41	4	40	4	0	1	−1	−1
	小計		84.9	188	11	188	11	0	1	−1	0
第8グループ	諫早	4	87.3	63	0	65	0	0	0	0	2
	諫早北	3	78.8	66	3	65	3	0	1	−1	−1
	諫早西	3	89.7	38	0	39	0	0	0	0	1
	諫早多良見	3	86.8	40	0	38	0	0	0	0	−2
	諫早南	3	80.6	24	4	24	4	0	0	0	0
	小計		84.6	231	7	231	7	0	1	−1	0
第9グループ	長崎	3	86.6	82	0	88	0	3	0	3	6
	福江	4	90.5	34	0	36	0	1	0	1	2
	長崎北東	4	82.4	38	5	39	5	0	0	0	1
	福江中央	3	92.6	26	0	28	0	2	0	2	2
	長崎西	3	73.3	56	0	59	0	0	0	0	3
	長崎琴海	3	56.3	16	1	16	1	0	0	0	0
	小計		80.3	252	6	266	6	6	0	6	14
第10グループ	長崎北	3	73.7	78	0	80	0	1	0	1	2
	長崎南	3	80.4	76	0	78	0	1	0	1	2
	長崎東	4	75.1	44	1	47	3	0	0	0	3
	長崎みなと	3	85.4	23	1	23	1	0	0	0	0
	長崎中央	4	93.4	61	0	61	0	0	0	0	0
	長崎出島	4	80.5	55	11	55	11	0	0	0	0
	小計		81.4	337	13	344	15	2	0	2	7
57クラブ合計			85.4	2,176	80	2,220	83	15	4	11	44

＊上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
７月１日から2014年８月末までの増減です。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。　※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

有田ＲＣ
石井　善智 君
医療法人文庫堂石井内科
理事長

唐津ＲＣ
大淵　英策 君
いちよし証券㈱唐津支店
支店長

唐津東ＲＣ
坂口　　充 君
唐津シーサイドホテル㈱
代表取締役社長

佐世保東南ＲＣ
三宅　　治 君
㈱北辰カーズ
代表取締役

ＨＴＢ佐世保ＲＣ
橋口　　久 君
㈲プライアント保険
代表取締役専務

長崎ＲＣ
長友　浩一 君
㈱ドコモＣＳ九州長崎支店
支店長

長崎ＲＣ
渡辺　基樹 君
農林中央金庫長崎支店
支店長

長崎ＲＣ
谷口　　悟 君
九州電力㈱長崎支社
支社長

福江ＲＣ
山田　英寿 君
㈱十八銀行福江支店
支店長

長崎南ＲＣ
松野　真也 君
明治安田生命保険相互会社
長崎支社支社長

物　故　者

謹んでお悔やみ申し上げます。

武雄ＲＣ
横田　勝次 君
（享年89歳）

鹿島ＲＣ
米倉　保治 君
（享年88歳）

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル・ポール・ハリスフェロー	駒　井　英　基	佐賀南
	岡　田　康　信	長崎中央
	尾　上　信　哉	長崎中央
	井　筒　亮　平	長崎中央
ベネファクター	岡　田　康　信	長崎中央

米山記念奨学会

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	武　井　洋　一	佐世保
	塚　﨑　　寛	長崎中央
マルチプル	花　島　光　喜	鹿　島
	迎　　雅当嗣	鹿　島
	千　葉　憲　哉	諫早北
	岡　田　康　信	長崎中央
	尾　上　信　哉	長崎中央

文庫通信 (325号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

古典文献より（２）

◎「ロータリー・クラブに就て」米山梅吉　1929　12p（ロータリー・クラブ民衆文庫）
◎「汎太平洋ロータリー大會に臨みて」　トム･サットン　芝染太郎（解説）　1929　3p
（ロータリー・クラブ民衆文庫）
◎「ロータリークラブの目的と信條」　村田省蔵　D.70　1934　9p（ロータリーを語る）
◎「ロータリークラブに就て」　坂田幹太　1928　12p
◎「國際ロータリーの組織に就いて」　米山梅吉　1931　8p
◎「常識の重要性」　米山梅吉　1937　6p　（東京ロータリークラブニュース）
◎「新ラシキ會員ノ為メニ」　大阪R.C.　1928　43p
◎「第七十區ガバナー告辞」　村田省蔵　今治R.C.　1935　13p（今治ロータリー倶楽部発会式記録）
◎「サーヴイス座談會」　京都R.C.　1937　8p（京都ロータリー倶楽部週報附録）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

地区大会の『国際ロータリー会長代理』が決定しました

パストガバナー(P.D.G WOOD)

賴　正　成
(Cheng-Chen Lai)

出生年月日：1943年12月24日
籍　貫：台湾・台中市
現住所：台湾・台中市西屯区中清路三段227号
学　歴：国立中興大学法律系卒業
現　職：忠森企業股份有限公司董事長
正豪企業股份有限公司董事長
漢森國際股份有限公司董事長
経　歴：中華民国・国防部軍法局軍法官
台中市木材商業同業公会理事長
台湾区木材輸出業同業公会理事長

ロータリー経歴：

1977年４月20日	台中西南ロータリークラブ入会（創立会員）
1982年８月	台中北区ロータリークラブ輔導創立
1984～1985	台中北区ロータリークラブ第二届会長
1987～1988	台中北屯ロータリークラブ副輔導特別代表
1991～1992	国際ロータリー第3460地区台中市第三分区ガバナー代表
1996～1997	国際ロータリー第3460地区ガバナー
	国際ロータリー第3460地区台湾奨学金委員暨地区協議会主委
1998～2000	中華扶輪教育基金会第七届監察人
2000～2002	中華扶輪教育基金会第八届監察人
2004～2005	国際ロータリー第3460地区慶祝ロータリー百週年紀念事業主委
2004～2006	中華扶輪教育基金会第十届秘書長
2004～2008	国際扶輪中華民國総会第八届常務理事
2006～2010	中華扶輪教育基金会第十一、十二届董事長
2008～2012	国際扶輪台湾総会副理事長
2010～2014	台日国際扶輪親善会常務理事
2012～2014	国際扶輪台湾総会理事長（現任）

DISTRICT2740 CONFERENCE

Rotary 第2740地区

2014−2015年度 地区大会

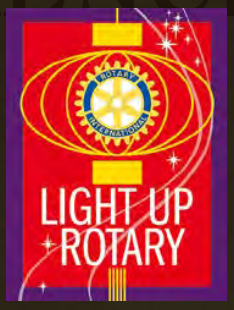
地域に輝くロータリー
平和の灯をともそう

ごあいさつ

国際ロータリー第2740地区

宮﨑清彰ガバナー

緒方聖実行委員長



第2740地区2014−15年度地区大会は諫早にて開催することになり、ホストクラブである諫早北ロータリークラブ会員一同、コ・ホストクラブの皆様のご協力を頂きつつ準備を進めております。

ゲイリー.C.Kホアン RI会長は、RIテーマを LIGHT UP ROTARY『ロータリーに輝きを』を提唱されました。

『地域に輝くロータリー』をモットーにこの地区大会では、世界の恒久平和を祈念し一人ひとりの心の中に平和を学習する機会になればと企画致しました。そして、何よりも参加していただく会員の皆様方が楽しく年に一度の友好の輪を広げる絶好の機会です。どうか一人でも多くの皆様にご登録・ご参加を頂きますようお願い申し上げます。

ホストクラブ：諫　早　北RC
コ・ホストクラブ：諫　　早RC
諫　早　西RC
諫早多良見RC
諫　早　南RC

2014年 11月 14日(金) 15日(土) 16日(日)

11月14日(金) 第1日目

会 場／L&L ホテルセンリュウ

◎地区指導者育成セミナー
◎RI 会長代理歓迎晩餐会

11月15日(土) 第2日目

会 場／諫早文化会館

10:00〜 ◎青少年のつどい
12:00〜 ◎本会議
14:30〜
◎地区大会記念講演

一般公開 入場無料

竹田 恒泰 氏

作家。昭和50年、旧皇族・竹田家に生まれる。明治天皇の玄孫に当たる。慶應義塾大学法学部卒業。憲法学・史学の研究に従事。平成18年に著書『語られなかった皇族たちの真実』(小学館)で山本七平賞を受賞。その他著書に『エコマインド〜環境の教科書』(ベストブック)、『皇族へのソボクなギモン』(扶桑社、共著)、『旧皇族が語る天皇の日本史』(PHP新書)などがある。2010年に入ってから、『たかじんのそこまで言って委員会』を始め、テレビ番組などのメディアにも登場している。ほとんどがコメンテーターとしての出演だが、旧皇族としてテレビに出演したこともある。

会 場／諫早観光ホテル道具屋

◎記念懇親会

11月16日(日) 第3日目

会 場／長崎国際ゴルフ倶楽部

◎地区大会記念
親睦ゴルフ大会

国際ロータリー第 2740 地区大会事務局
〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10 諫早商工会館 302 号室 TEL.0957-47-5461 FAX.0957-56-9332 http://www.d2740.org/

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

水の約束 ―諫早讃歌―

作詩　田中　俊廣
作曲　加藤　豊

流れる雲
流れる川
流れる時間（とき）
渡る鳥たち
火の山は深く地底に眠り
不知火の海に干潟を開いた

有明の風
丘の上
大楠は八〇〇年をそよいでいる
戦いに城は落ちたが
生命は今日も輝き
木洩日の中
光の滴のようにきらめいている

奥山に源を辿ると
休むことなく沸き溢れる水
大地との永遠の約束
火の山と水との出逢い
群青色の深い淵　太古の昔から
青い龍は棲む
山河を安らかに治めている
それでも世に怒り　人に怒り
鱗を真っ赤に染め
龍は嵐を呼び　川を氾濫させた

流れる雲
流れる川
流れる時間
渡る鳥たち
樹の根元は大地をつかみ
水の精霊を天空に上げる
有明の風　丘の上
大楠は今日も青空にそびえている
広がる街を
静かに見守りながら

「水の約束」

諫早を讃美する歌がまた一つ創られた。平成二十年五月二十五日が初演であり、編者も演奏者の一人として舞台に立ったので、特別の思いを抱いている。

この混声合唱曲も過去の水禍と無縁ではなく、住民と川との共生を願う心の発露ともいえる。約束とは、人は水と川に感謝し、川は平穏な流れを誓うのであろう。

諫早市民大合唱団による初演

編集後記：大自然では何が起こるか分からない。９月27日、長野県と岐阜県の県境にある御嶽山が噴火した。殆ど予兆なしの大噴火であったために、多くの登山客が噴火に伴う噴石、有毒ガス、火砕流の熱風に襲われた。1991年の雲仙普賢岳の噴火とその犠牲者の事を思い出した。神聖な山肌を踏みにじることへの神の怒りか。それにしても火山灰と有毒ガス、噴石が容赦なく落下してくる中で、肉親への安否のメールを送信したり、現場の騒然たる状況をカメラに収めたりする行動力に驚かされた。遺族より貴重な映像として公表され、これらの事実が明らかになった。ご冥福を祈るばかり。

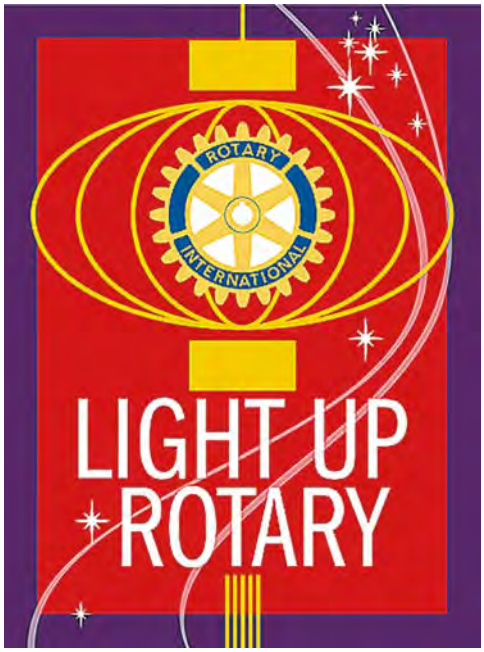
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮崎　清彰

Vol.6
2014.12.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

三つの海に囲まれた地峡の街

諫早は交通の要衝の地と言われる。地図を広げてみると一目瞭然である。西彼杵半島、長崎半島、島原半島の丁度中心点にこの街はあり、作家の野呂は三つの海に囲まれた地峡の街と呼ぶ。この地形が成程と合点がゆく絵画がある。石山義秀画伯がヘリコプターの機上から素描して、油彩を施した30号の絵画には三つの海が諫早の街を取り囲んだ様子が良くわかる。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
地区大会開催の御礼……4
国際ロータリー第2710地区広島豪雨災害支援中間報告……5
ロータリー財団セミナー報告……7
ガバナー公式訪問クラブ報告……8
ＲＩ認証 第13回ロータリー全国囲碁大会 ……13
コーディネーターニュース11月号……14
「ロータリーの友」だより ……15
China Daily（中国日報）を飾ったHuang RI会長の新聞記事 …16
2014年９月会員数・出席報告……17
新入会員紹介……18
物故者……18
寄付者紹介……19
ロータリー文庫通信……19
2015年ブラジル・サンパウロ国際大会参加旅行のご案内……20
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

「ＲＩ会長代理賴正成先生（Wood）を訪ねて」

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　﨑　清　彰

９月４日34番目の平戸ＲＣ公式訪問も終わりちょうど半分を超えたので一息しようという事になり平戸に泊まって次の日は嬉野ＲＣに向かうことになった。塩澤ＰＧはあいにく東京出張でお目にかかれず残念だった。夕方平戸ＲＣの中野ガバナー補佐、森幸雄会長、吉田春美幹事と食事をする事になった。近くの居酒屋で５人でロータリー雑議をしながら飲んでたら、東京にいる塩澤ＰＧから電話が入った。「ＲＩ会長代理は９月の中旬には決まるらしいという話を教えてくれ一安心をした。」しかし中旬になっても日本ロータリーから連絡が来ない、まだかまだかと待っていると10月初旬に連絡がきた。

ＲＩ会長代理は台湾から国際ロータリー第3460地区パストガバナー賴正成先生に決定したとの事、塩澤直前ガバナーからは表敬訪問した方がいいとアドバイスをいただいていましたし先生自身もＲＩ会長代理が決まってから韓国を訪れていらっしゃいました。又10月17日第2730地区鹿屋での地区大会に出席した時もＲＩ会長代理は韓国の方でした。同期の田中俊實ガバナーも表敬訪問いって来たよという話でしたので私も森地区幹事と相談し、早速先方にその旨の連絡をとり10月27日～29日の予定で行く事にした。27日福岡空港から12時15分出発し、台北桃園空港に着いたのは３時30分でした。飛行機はエバ航空を利用しましたが機体はキティちゃん勢揃いの絵。航空券もキティちゃんの絵柄付で子供や女性にはとても人気だそうでなんとなく楽しい気分になりました。

台中駅には米山奨学生として10年日本に暮らしていて今は台中のロータリアンで現在ガバナー補佐をしている郭錦堂さんと他２名のロータリアンが迎えに来てくれた。台湾では一業種１人の名残からと思いますが必ずニックネームが付いており職業によるものになっている。郭錦堂さんは中国医学大学の保険学の博士なのでニックネームhealthである。だからヘルスと呼んで下さいという話になる、車中では日本語と英語でどうにか通じ合った。他２名のロータリアンも日本に行った事があるという。大阪・名古屋・東京の話が出て来た。１人はTradingさん。もう１人はEngineerさんのニックネームだった。

レンタカーのワゴン車で本日の宿、台中全典酒店（The Splendor Hotel）に向かった。

時計は５時を少し回っていた。ＰＭ６時半から近くのホテルで歓迎会をするので６時にロビーで待合わせることになった。我々の宿から５分ぐらい車で走った所が会場だった。

通訳のヘルスさんによるとメンバーズクラブの貴賓室みたいな所という説明で、とにかく部屋に入ると広くて応接セットも立派なものでした。ただ、このホテルはロータリーの例会場であるということでしたが、もちろんこの部屋ではなく普通の部屋だという。今日は特別だとさかんに強調していた。そうこうしているうちに、振り返ると迎えに来た２人はいなくなり通訳のヘルスさんだけが残った。しばらくしてから最初に来られたのがＲＩ会長代理賴正成先生御夫妻だった。物静かな穏やかな感じのする人で彼と名刺交換をしている間にぞくぞくと他のご夫妻がおみえになった。一応名刺交換が終わると隣の部屋に案内され着席となる。会長代理の隣に私が座る様に指示され、頂いた名刺をもう一回見直していくと今日の歓迎会の様子が解った。通訳はこの事に関して何も言わなかったので解らなかったが、この地区のパストガバナー８名ご夫妻が我々２人を歓迎してくれる事が初めてわかった。

お忙しい中大変申し訳ない気持ちと大変有難い気持ちが交錯した。ＲＩ会長代理は木材関係のWoodという呼び方になる。まず、ウッドさんより挨拶がありヘルスさんが日本語に訳す。

Woodさんの話の中で日本のロータリーの友７月号を読んでいてガバナー紹介の欄で緒方聖先生が私の事を書いてくださっている部分を持っておられ話された。事前に私の病気の事もご存知で大変有難いやら嬉しい気持ちで一杯になりました。次に私の挨拶になり今回のＲＩ会長代理の就任のお礼と我が地区ロー

タリアンが楽しみに訪問をお待ちしている旨を伝えた。

２年前の福元ガバナーのＲＩ会長代理MUSICさんも参加されていて久し振りにお会いしましたが元気で頑張っておられる様子だった。又、林さんという長老の方がいらっしゃって武井ＰＧの時のＲＩ会長代理で当地区に来られた事があり日本語がとても達者で非常に助かった。若い時日本の大学で勉強していて日本の事情をよくご存知だった。又、奥様も日本人と変わらないぐらいの日本語をお話になり会話が楽しいものになった。林さんのニックネームはマイクロと呼ばれている。ロータリーのドン的存在の様でした。日本の米山奨学生制度のすばらしさ、特にカウンセラー制度の良さと国にとって教育の重要性を強調されていた。米山梅吉の精神を受け継ぎ「余裕が出来たら恩を返す。倍返しをする。」をモットーにこの制度をまねて財団法人中華ロータリー教育基金会を創設したというお話で理事長もされた人でした。まだまだ日本の様にうまく機能していないとおっしゃった。日本の学生が台湾で中国語を学び台湾文化を学習する制度でもあるので「ぜひ第2740地区でもそういう学生がいたら１人は引き受けますのでご紹介下さいという話でしたのでよろしくお願いしときます」日本と台湾との友好関係や有名なダムの話などいろいろな視点でお話をして下さり楽しいひとときが過ぎすでに時計は午後10時になろうとしていた。食べきれない程一杯出てきた料理全員殆ど食べてしまっていた。とてもおいしい料理だった。デザートも終わりに近づく頃にはすでに３時間を超える夕食となった。いよいよお開きになり皆別れを惜しみながら全員と握手をして帰路についた。我々２人もホテルまで送ってもらい明日10時ロビーに迎えに来ますと告げられ別れた。日本で用意していた質問もほぼ聞けたし今日の訪問の主たるものは達したので、眠りについた。無事台湾での１日が終わった。ホッとした気分になった。

28日の朝ヘルスが迎えに来た。初日の空港での迎えと同じ様にあの２名もいた。TradingとEngineerさんだった。とても人なつっこい２人で場が明るくなった。この日は財団法人文化教育基金会の事務所を訪ねることになっていた。事務所に案内されると現在の理事長 道明さんもお見えになっていた。昨日のウッドさん、林さん、Trading、Engineerさんも一緒になって通訳のヘルスさんとテーブルに着いた。現在の理事長から文化教育基金のことについて日本語で詳しい説明を受けた。又、隣の部屋にはロータリー文庫がありぎっしりとロータリーに関する本が並んでいた。もちろん、ポールハリスの大きな写真とＲＩ会長ゲーリーホァン会長の写真が並んで飾ってあった。文庫に関するお話もいろいろしてもらった。３部屋を財団が所有していて職員４人を雇って運営しているらしい。歴代寄付された方々の写真が所狭しとばかり一杯並んでいた。そうこうしている間にお昼になり台中で有名な料理店で２時間もかけての食事をごちそうになり、さらに懇親を深める事が出来た。その後、台中から台北まで新幹線で移動した。ウッドさんが我々２人の為にグリーン車の切符を用意してくれていた。台湾の新幹線は日本の技術で造られているので、まるで日本の新幹線に乗っている様でした。ただ、外の風景が違うくらいでとても快適でした。グリーン車では昔の日本と同じ様にコーヒーとお菓子のサービスがありましたが数年後には日本と同じ様になくなるのではないかと思いながら乗っていた。

夕食はホテルの夜景の見える場所で森地区幹事とこの度の表敬訪問について話をしながら夕食をとった。29日の３時半に起き４時40分にはホテルを出発し桃園国際空港へと向かった。又、キティちゃんの絵柄の機体エバ航空機へと乗り込み福岡への出発を待った。

ウッドさんは陰ながら我々をサポートしてくれていた。通訳の吉田君の携帯によく電話が入ってきていた。「今ガバナーは台中駅に着いた。安心してくれ。」とか新幹線で台北に着いた時も「無事着いたか？」といった風にポイントポイントで吉田君に電話を入れてくれていた。本当に最初会った印象通りで物静かなやさしい思いやりのある方でした。日本に来られたら皆でおもてなしの気持ちで温かく接していきたいとの思いで地区大会に臨んだ。

ちなみに奥様はVickyさんです。よろしくお願いします。

地区大会開催の御礼

地区大会実行委員長　緒　方　　聖（諫早北ＲＣ）

平成26年10月に開催された長崎国体の主会場がある諫早市、総合優勝の興奮冷めやらぬこの県央の地にて、11月14日～16日に亘り地区大会が盛大に開催された。ＲＩ会長代理として台湾のＰＤＧ　頼　正成氏夫妻が来日され、諫早市文化会館を主会場に1300人余りの参加者の下、執り行われた。

11月14日にはＲＩ会長代理ご夫妻の歓迎晩餐会が華やかに開かれ、本会議が開かれる直前の夜、束の間のひと時を和やかな雰囲気の中で共有できて、思い出に残る一夜となったことと思われる。歴代のＰＤＧ及び令夫人、地区の委員長、ガバナー補佐、各クラブの会長並びに幹事の皆様のご臨席は、晩餐会に花を添えていただいた。

尚、晩餐会の直前に開催された指導者育成セミナーはＰＤＧ三木　明氏によるロータリーに関するその誕生から拡大に到る、初期ロータリーの精神構造など、奉仕活動に駆り立てる心の根ざすところを、懇切に解説して頂いた。

ホストクラブの会員は、前日に下準備とリハーサルを行い、全てに遺漏なきよう綿密な点検を終わり当日の朝を迎えた。数日前から急に寒波が南下して、凛と冷え切った大気の中で参加者の到着を待った。ロビーには受付用に長机が並び、各グループ別に仕分けられた資料が入った袋が整然と並べられた。

ユニークな試みとして、各クラブで行われた活動状況が一目でわかるように、写真パネルで紹介をしたり、ガバナー公式訪問時に提出する活動報告書がずらりと陳列されて、誰でも閲覧できるようになっていた。各クラブごとにそれぞれ個性がある報告書は、ロビーで待機するロータリアンの目を引いたに違いない。その一隅に中国日報（China Daily）が掲示されていたが、そこには驚くべき記事が掲載されていたのである。中国にロータリークラブを設立したGary C.K.Hoan氏の功績とＲＩに関する紹介文であった。

地区大会の初日は型の如き本会議に入り、ＲＩ会長代理の賴　正成ＰＤＧより、ＲＩの現況報告、ロータリーの重点奉仕計画など、たどたどしい日本語であったけれど通訳なしに講演される熱意に打たれた。印象に残った講演に、嘗て米山奨学生として日本に学び、現在山形大学の教授である尤　銘煌氏の「国際交流と多文化の理解」があった。米山奨学生の模範的な実例として、大いに賞賛すべき人格者と思った。

今回の記念講演の演者として壇上に立たれたのは、ＴＶでも大活躍中の作家、憲法学者でもある竹田恒泰氏であった。「近代日本の歴史と天皇」というテーマで、その道の論客にたがわぬ熱弁に講演時間が大幅に超過し、舞台裏では主催者側をはらはらさせる場面もあった。

本会議２部は各種報告と表彰、ガバナーエレクトの紹介、来年度地区大会のホストクラブになる唐津東ＲＣのキャラバン隊による大会参加への宣伝、ガバナーノミニーの紹介と続けられた。最後に、ＲＩ会長代理からの講評も概ね良好であり、一先ず安堵した次第であった。

すっかり日が暮れた主会場より、シャトルバスにて懇親会場である道具屋に移動したが、宴会場は参加者で溢れんばかりであった。長時間の地区大会の疲れを癒し、久々の再会を喜び合う場面が随所にみられ、歓迎のアトラクションの太鼓の演奏、ビッグジャズオーケストラの生演奏、タヒチアンダンスなどなど、諫早の夜は静かに更けていった。最後は大会実行副委員長の締めの挨拶で幕を閉じた。

大会３日目は記念ゴルフ大会が長崎国際ゴルフ場で行われ、120名余りの参加であったが、プレイに大きな遅滞もなく、晩秋のグリーンではロータリアン同士の楽しい交歓が広がっていた。

幸運にも大会期間中、好天にも恵まれて大過なく終わりを迎えることができ、関係各位に感謝するとともに、参加して下さった第2740地区の多くの会員の皆様にお礼申します。

Rotary
District 2710

国際ロータリー第2710地区
広島豪雨災害支援中間報告

はじめに

2014年8月19日(火)からの豪雨に伴い、20日(水)未明に発生した広島市豪雨災害について、発生直後より、地区内外の多くのロータリアンの皆様からご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

国際ロータリー第2710地区では、被災された皆様の一日も早い生活再建と安全・安心な暮らしの構築の一助となるよう取り組んでおります。

このたびの豪雨災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被害を受けられた多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。

RI第2710地区　ガバナー　　金子　克也
広島豪雨災害支援委員会委員長　朝日奈正信

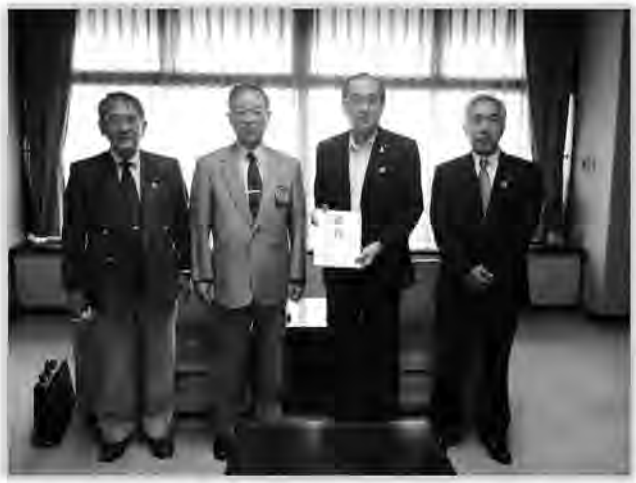
現況報告

1)地区内外からの義捐金額

総額82,699,545円

2014年10月24日現在

国際ロータリー第2710地区での義捐金の受付は、2014年11月末日をもって終了させていただきます。
皆様からのお志を大切に使用させていただきます。



高原G6ガバナー補佐　金子ガバナー　松井広島市長　朝日奈委員長

2)広島市へ寄贈

9月26日(金)　市役所訪問
広島市長へ義捐金500万円を贈呈
金子ガバナー、高原G6ガバナー補佐、
朝日奈委員長、広島北RC山本会員 訪問

3)現在実施中のプロジェクト

クラブ等	内容	助成
広島城南 広島東南 他	豪雨災害によって建物・設備が流された知的障害者の通所就労支援施設「八木園」を経営する社会福祉法人やぎに対し、授産事業に必要な**工業用ミシン4台**、仮工場に設置する**エアコン5台**、**大型テレビ**及び**冷蔵庫**各1台を寄贈するとともに、会員の専門的知識を提供する等して、今後の八木園復旧に向けて協力をする	1,452,680円
委員会 市社協	社会福祉法人　広島市社会福祉協議会へ福祉サービス利用援助事業(訪問支援や出張サービスを提供する)のための**車輌3台**を寄贈する	3,100,000円
委員会 市社協	災害ボランティアセンターでの活動のための**ボランティア保険加入費用**(8月9月分　21,906名)を寄贈する	6,500,000円

※市社協：広島市社会福祉協議会

4)ロータリー財団地区補助金

ロータリー財団地区補助金の予備費を広島豪雨災害の支援に使用
広島北 RC が実施した緊急支援について、地区補助金を支給
広島市安佐南区災害ボランティアセンターおよび緑井避難所へ
ボランティア用飲料水 3000 本、氷、業務用製氷機貸与、大型冷蔵庫貸与、などを実施

左：松井広島市長と

第３回・第４回
広島豪雨災害支
委員会の様子

5)広島市豪雨災害支援委員会の設置

本委員会は、義捐金、R 財団補助金プロジェクト、現地ニーズ調査、その他災害援助に必要な役割を担う。
委員会メンバー間のメーリングリストで、情報の共有・意見交換を常に実施し、２週間に１度の頻度で委員会を開催中。現在、第４回まで委員会を実施。
委員会メンバーは以下のとおり

■広島豪雨災害支援委員会メンバー

ガバナー	福山南 RC	金子　克也
委員長　地区事務局長	福山南 RC	朝日奈　正信
地区社会奉仕委員会委員長	福山南 RC	廣安　尚典
地区 R 財団委員会委員長	徳山東 RC	伊賀　訓之
地区 R 財団委員会委員	広島 RC	松井　敏
地区 R 財団委員会監査委員	広島城南 RC	久笠　信雄
G6 ガバナー補佐	広島北 RC	高原　宏之
G6 ガバナー補佐幹事	広島北 RC	粟屋　充博
クラブ幹事	広島東 RC	山田　正三
クラブ奉仕プロジェクト常任委員長	広島北 RC	上河内　裕司
G7 ガバナー補佐	広島東南 RC	神辺　眞之
G7 ガバナー補佐幹事	広島東南 RC	田上　克彦
クラブ幹事	広島南 RC	中村　靖富満

6)他団体との連携

下記の皆様にも広島豪雨災害支援委員会へ参加頂き、情報交換・ニーズ調査等の協力、プロジェクトの実施など連携を図っている

広島市社会福祉協議会　森田　清総務課長
安佐北区災害ボランティアセンター　三村誠司センター長
安佐南区災害ボランティアセンター　沖野　朗センター長
特定非営利法人　ひろしま NPO センター専務理事　中村隆行センター長

ロータリー財団セミナー報告

補助金委員長　**西　川　義　文**（大村ＲＣ）

2014年10月12日㈰　東彼杵町総合会館にて、2014－15年度地区ロータリー財団セミナーを開催しました。当日は台風接近による天候が下りかけた中、また長崎国体開会式日という参加者にとって、あまり条件の良くない日にもかかわらず、各クラブよりたくさんご出席頂きありがとうございました。

10時に宮﨑ガバナー、太田ガバナーエレクトはじめ各グループのガバナー補佐の皆様の出席の下、開会されました。

山田ロータリー財団委員長より今年度目標として、会員一人当たり年／150ドルの年次基金寄付を行う、ロータリーカードの推進、寄付ゼロクラブをなくす等の地区委員会目標が示されました。

岡村資金管理委員長と西川補助金委員長より、昨年度地区補助金は49,970＄を22クラブの事業と地区補助金奨学金へ、今年度は、17クラブと英国の大学院への留学資金の計51,834＄を支出しますとの報告がなされ、地区補助金に関する指針を立石地区補助金小委員長より資料に沿った説明もあり、各クラブの申請に理解が深まったものと思います。

財団奨学生に関しては、長崎南ＲＣ提唱の渡辺さんがグローバル補助金奨学生として、大村ＲＣの松本君が地区補助金奨学生として、ともに英国へ発たれたとの報告が隅財団奨学・学友小委員長より報告がありました。

また、本年６月末より７月10日まで、当地区初となるＶＴＴ事業としてモンゴルのこども達の口蓋・口唇裂手術へ佐賀ＲＣの香月Dr.をチームリーダーとして、佐賀西ＲＣの隅Dr.、武雄ＲＣの中尾Dr.と看護師や言語療法士のチームで手術と治療を終えての報告がありました。

午後からは、元ロータリー平和フェローの岸谷美穂さんを講師に、多様な係わりでイラクでの紛争解決への働きや避難民への救援事業に関わった興味深い話を聞くことが出来ました。平和フェローの皆さんは、紛争の絶えないこの世界をより平和に戻したいと活動していて、ロータリーならではの平和ネットワークを構築し、世界各地で持続可能な平和実現目指してがんばっておられます。

この後、１年間フランスへ留学していた吉武志穂美さんより奨学生活や現地での活動をヴィオラの演奏を行いながらのユニークな帰国報告会もありました。

風雨が強くなり始めた夕刻４時過ぎまで、ロータリー財団に関する多様な研修を行い、各クラブの財団寄付や地区補助金に対する支援を行うことを確認した財団セミナーでした。

１月末には、さらに地区補助金に的を絞った補助金管理セミナーを開催します。地区補助金申請を検討や担当する各クラブよりの参加をお待ちしています。

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保中央ＲＣ　８月21日㈭

会長　大久保厚司　　幹事　本田　　実

８月21日㈭、宮﨑清彰ガバナー、宮原明夫ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事、緒方聖地区大会実行委員長をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

例会前の懇談会では、会長、会長エレクト、副会長、幹事にてお迎えを行い当クラブの現況と活動計画を報告いたしました。

当クラブテーマ【貴方の輝くロータリーライフを／Your Rotary life to glisten】について会長より説明をさせていただきました、宮﨑ガバナーからは当クラブが平均年齢が若い事、新入会員を多く入れた事、現況報告書に地区組織図を記載していることなど、お褒めのお言葉をいただきました。

例会でのガバナー卓話ではＲＩ会長ゲイリーC. Kホァン氏のメッセージをパワーポイントを使いながら説明して頂きました、また地区スローガン『地域に輝くロータリー』の実践、この実践にあたり何より大事だと感じることは『あせらず』『無理せず』『感謝』の気持ちを持って『健康』をモットーにこの１年を務めたいと話されました。

最後に来年６月に開催されるブラジルのリオデジャネイロ国際大会へのお誘いがありました。

長崎西ＲＣ　９月16日㈫

会長　吉田　良尚　　幹事　増崎　進一

本年９月16日火曜日、長崎西ＲＣ例会場のホテルニュー長崎に於きまして、宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事、長谷川宏第９グループガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立って、吉田会長、幹事、会長エレクト、幹事エレクトとの懇談の場におきまして、当クラブより現況報告ならびに本年度の運営方針、また特色等をご説明させていただきました。特に長崎ＲＣとの共催事業である「トーマス･B･グラバー奨学生事業」「青少年交換留学事業」海星高校での「インターアクト活動」「養護施設での毛布クリーニング事業」等、青少年に関わる事業を中心に活動している旨をご報告いたしました。

クラブ内の課題である出席率の向上につきましては、ここ数年で徐々に改善が見られ80％台に回復しましたが、宮﨑ガバナーより、多くの会員が例会に参加し更なる向上へ努めていただきたいとの激励を受けました。

その後、例会ではユーモアを交えながら「あせらず」「無理せず」「感謝」の基本方針を丁寧にご説明くださいました。

本年度も半分を過ぎますが、宮﨑ガバナー、森地区幹事、長谷川ガバナー補佐のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎琴海ＲＣ　９月25日㈭

会長　前田ヒロ子　　幹事　大石　　優

９月25日㈭、当クラブの例会場であるパサージュ琴海に、宮﨑清彰ガバナー、長谷川宏ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事、緒方聖地区大会実行委員長をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、当クラブの概況と運営方針、今年度の活動計画について報告させて頂きました。宮﨑ガバナーからは、「少人数クラブなので、クラブ運営のためにも会員増強が重要。退会防止にも努めてほしい」「出席率の向上」「例会は楽しく」「メーキャップの推進」等、具体的なご指導を頂きました。また「少人数クラブゆえ団結力があり、カンボジア支援等すばらしい活動をしている」「活動計画書が手作りで立派である」とのお褒めの言葉を頂けたことは、今後の自信へと繋がりました。

例会では、プロジェクタを使って、楽しくわかりやすくＲＩテーマや地区運営方針の説明がありました。ガバナーのお話では、ちょうど昨年の今日、検査に入られ、３カ月間入院されたそうで、現在、ガバナーのお仕事が出来るようになられて本当によかったと思います。

最後になりますが、ご来訪頂きました宮﨑ガバナーに感謝申し上げますとともに、地区大会の成功を心よりお祈り申し上げます。

大村東ＲＣ　９月29日㈪

会長　川原　博司　　幹事　小村　慎吾

去る９月29日、宮﨑清彰ガバナー、音成征彦ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会に先駆け会長･幹事･副会長との懇談会では、終始和やかな雰囲気の中で、温かいご指導をいただきました。音成ガバナー補佐には９月22日のクラブ協議会に引き続いてのご指導をいただき、２週続けてのご来訪でした。

話題は、本年度当クラブ最大のイベントでもありましたインターアクト年次大会へのねぎらいのお言葉をはじめとして評価のご報告もいただき恐縮いたしました。また、当クラブが「親睦」を大切にした運営に注力したい旨をお伝えしたところ、宮﨑ガバナーより、親睦活動のほかの実例やスポーツイベントのアドバイスをいただき、今後の運営に大変参考になりました。そのほか地区内とのコミュニケーションを深める「ロータリーデー」のご提言もいただきました。

例会ではガバナーの自己紹介も兼ねて、ＲＩ基本方針や地区方針などスクリーンと合わせて拝聴しました。冒頭、アメリカ版のＣＮＮニュースのオープニングで始まる映像にガバナーのセンスとユーモアに富んだお人柄が感じられ、感銘いたしました。

宮﨑ガバナー、音成ガバナー補佐、森地区幹事に感謝の意を表しますとともに、心よりご健勝をお祈り申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早多良見ＲＣ　９月30日㈫　会長　城谷　伸一　幹事　南　健二郎

９月30日火曜日、宮﨑清彰ガバナー、千葉まさこガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、当クラブの城谷伸一会長、菖蒲公治会長エレクト、私幹事の南との懇談会が開かれました。

まず、城谷会長が当クラブの現状や、今期の活動方針を説明し、私がクラブ概要説明を行った後、当クラブの事業に対する意見交換が行われました。

当クラブのクラブ活動要旨についてガバナーより記載方法など貴重なアドバイスをいただき、今後は、より鮮明で洗練された要旨になることと思われました。また、当クラブの印象は会員平均年齢が57.18歳と若いと感じられており、その若いパワーでいろんな催しの企画や地域貢献活動を行い、開催日をロータリーDayと冠をつけ命名することを提案されました。

例会においては、当クラブがガバナーの40番目の訪問、マラソンでは「ゴールが見えてきた」ということで和やかな雰囲気で行われました。ガバナーのスローガンである「地域に輝くロータリー」を実践するための「あせらず」「無理せず」「感謝」の気持ちの大切さを、家族に対する感謝の気持ちにたとえ、お話をいただきました。当クラブの新年および最終例会は家族同伴例会になっており、これからも家族に対する感謝の気持ちを忘れず、人と人との絆を大切に地域貢献、地域に輝くロータリアンであることを再認識いたしました。諫早多良見ロータリークラブは、宮﨑ガバナーの熱意に満ちたご指導に対し深く感謝申し上げます。

佐世保東南ＲＣ　10月１日㈬　会長　田中　國博　幹事　法本憲一郎

10月１日（水曜日）宮﨑清彰ガバナー、宮原明夫ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、会長･幹事･会長エレクトとの懇談会では当クラブの指針等を説明させていただきました。７月１日時点では21名の会員在籍でしたが７月31日で19名になり３名の退会者を出しました事に残念に思い会員全員が危機を感じて行動していることをお話しました。当クラブは気さくな気質がクラブの特徴だと思います。ガバナーからもこれを良い事としてこのまま進めて下さいと、お話を頂きましたので会員一同協力し合って邁進します。

ご来訪頂きました宮﨑清彰ガバナー、宮原明夫ガバナー補佐、森栄一郎地区幹事に感謝申し上げますと共に今後ますますのご活躍と、ご健康にご留意されますように会員一同ご祈念申し上げます。ご来訪誠にありがとうございました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

太良ＲＣ　10月２日㈭

会長　川島　力男　　幹事　秀島　　寛

平成26年10月２日㈭に、宮﨑清彰ガバナー、富永正嗣第３グループガバナー補佐、森地区幹事、また、緒方地区大会実行委員長も同行され、太良ロータリークラブ公式訪問例会を開催いたしました。

公式訪問例会の前の懇談会では、現在10名にて活動している当クラブの会員増強について、職業分類表を元に、アドバイスをいただきました。

「会員増強を！」だけではなく、こうしたらどうかなど宮﨑ガバナーが親身になってアドバイスをしていただいたことに、なかなか一歩を踏み出せないでいる現状に反省しつつも、深く感激いたしました。

また、プロジェクターを用いたガバナーの卓話は、今年度のＲＩテーマ「ロータリーに輝きを」また地区テーマ「地域に輝くロータリー」がわかりやすく、時にユーモラスにお話しいただき、当クラブ会員全員が理解を深められたと感じました。

まずは、当クラブ会員一同、ロータリアンとして磨きをかけ、地域において輝く事が出来、また地域社会へ輝きをもたらす事ができるよう貢献していきたいと思います。

雲仙ＲＣ　10月４日㈯

会長　林田　政晋　　幹事　堀川　二雄

平成26年10月４日（土曜日）、快晴の心地よい秋風の中、国立公園指定80周年の観光名所雲仙に、地区内53番目のクラブ公式訪問として宮﨑ガバナー、森地区幹事、音成ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。

例会前の会長、会長エレクト、幹事との懇談会では、お三方の気さくなお人柄により和気あいあいの中、クラブ概況報告、運営方針、クラブの取組み等を報告させて頂きました。中でも本年度の８月に実施致しました、姉妹クラブ韓国釜山冬柏（トンベク）ＲＣとの児童生徒相互派遣交流事業については、興味深く熱心に様々な質問をされ、加えて高い評価を頂きました。米山記念奨学生の毎年受入、青少年交換留学生派遣等、当クラブの新世代への積極的な取り組みについても労いの言葉を頂きました。

また、例会に於いては冒頭、米山記念奨学会より1000万円達成クラブの表彰を宮﨑ガバナーより直々に頂きました。昨年度は、RI会長賞を頂き当クラブにとっては名誉な事が続いております。今年度のＲＩテーマ『ロータリーに輝きを』、地区スローガン『地域に輝くロータリー』を実践し、今後とも地域に必要とされるクラブ運営に邁進する所存です。

宮﨑ガバナーはじめ、地区役員の皆さまには健康に留意され、益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

ＨＴＢ佐世保ＲＣ　10月７日㈫　会長　加城　一成　　幹事　小島　隆志

去る10月７日、宮﨑ガバナー、宮原第６グループガバナー補佐、森地区幹事をお迎えして、当クラブのガバナー公式訪問例会を開催いたしました。当RCの今年度の方針である「KEEP UP ROTARY」（ＲＣを身近な存在にするには、如何すれば良いかを、みんなで考えよう）の内容を説明させていただきました。20名の現会員の中で、行動を統一するには如何にするかが、私の課題だと思っています。その為実施することは⑴例会の出席を多くの会員に、如何にしてもらうか。月１回の夜例会の開催と、最低限の協議会開催で余った時間を社外卓話に時間を取り、新たな出会いと考え方を学ぶ機会を創る　⑵如何にＲＣの存在を家族・社員に知らしめるか、その為にはいろいろな例会を考えています（会員所在の場所で例会を都度開催し地場の味を賞味する）⑶会員増強を図る。特に友人的な会社業務行動から会員への誘致を実施していく　⑷カンボジアに小学校を立てている会員を中心に、海外事業活動（特に子供達に）を小さなことから実施していく、等々を説明させて頂きます。私ども会長と幹事自体、４年前までは不良会員でしたので、何をすれば良いのかが、多少は理解出来る不思議な立場に居ることも正直にお話ししました。また難しいことは短期間には出来ません。20周年という大きな行事の土台作りと、その為の行動の火付け役として活動したい19代目会長の気持ちを、述べさせてもらいました。

最後に、ガバナーの英語版のニュースを拝見しながら、ユーモアに富まれた人間味を、感じさせていただく事が出来ました。また機会が有ればいろいろなお話をしたいと思います。会長しか体験出来ない時間を作ってもらい、会長になった事を光栄に思います。今回の訪問とご指導、本当にありがとうございました。

神埼ＲＣ　10月７日㈫　会長　合瀬　一男　　幹事　空閑　彰彦

10月７日火曜日10月第一例会に、宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事、ならびに北島恭一第２グループガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち懇談会を行い、当クラブから合瀬一男会長、陣ノ内久昭会長エレクト、空閑彰彦幹事、西村明美幹事エレクトが出席させていただきました。

懇談会では、当クラブの概況報告の後、神埼ロータリークラブの活動実績の記録写真をもとに当クラブの新年度活動の方針と実施状況をご報告しました。特に、社会奉仕活動における献血活動・地域の青少年主張大会の共催・今年度事業の広島大水害義援金バザー（2014年10月５日開催）等の活動を説明させていただきました。

また、ロータリー活動における重要案件である会員増強についての当クラブの取組を説明させていただき、今後の会員増強における悩みなどを相談させていただくと共に有意義なアドバイスを頂きました。

また、当クラブの活動報告書の内容も精査していただき、よりよい活動報告書の作成についてのアドバイスも頂戴しました。

そののち例会の開催に当たっては、国歌斉唱ののちロータリーソングの斉唱と進み、当クラブ恒例の参加者全員との握手にも参加していただき会員とのコミュニケーションを図って頂きありがとうございました。

宮﨑清彰ガバナーによる卓話を頂きました。

ロータリーの生い立ち、ゲイリーＣ．Ｋ．ホァンＲＩ会長の思い、地区運営方針、第2740地区におけるさまざまな取組内容を、短い時間ではありましたがユーモアを交え的確にお話し頂きました。

第2740地区における「青少年教育プログラム」として、今年度の米山記念奨学生（13名）の活動、国際青少年交換プログラムに今年９名の予定がある事、ローターアクト、インターアクト、ＲＹＬＡを通じた社会奉仕を目指す青少年の育成について語って頂きました。

ロータリー財団の「未来の夢計画」の実現に当たり、夢計画実施の事例紹介をもとに財団寄付の重要性と目標の達成への努力を促していただきました。

これらの卓話により、ロータリーの価値観ならびに活動の成果を当クラブ会員に広く浸透していただきました。

当クラブへのご訪問が、最後から３番目のご訪問とのことでしたが、お疲れのところありがとうございました。

また、地区大会の成功と、今年度の会員増強を願い、当クラブにおいて「一燈照隅」の心で「地域に輝くロータリー」となるべく努力してまいる所存です。ありがとうございました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早北ＲＣ　10月９日㈭

会長　千葉　憲哉　　幹事　石本仁太郎

10月９日㈭宮﨑清彰ガバナー、千葉まさこガバナー補佐、森栄一郎地区幹事をお迎えし、公式訪問を開催いたしました。

例会に先立ち会長・会長エレクト、幹事との歓談会が開かれました。今回は宮﨑清彰ガバナーが当クラブから輩出されたということで、宮﨑清彰ガバナー、森栄一郎地区幹事、ガバナー事務所スタッフすべてが諫早北ロータリークラブメンバー、千葉まさこガバナー補佐が千葉憲哉会長の妻という、いうなれば身内によるクラブ訪問となった。また宮﨑ガバナーが全56クラブ訪問後の最後の訪問クラブということと重なり、家庭的雰囲気の中で開催された。また、宮﨑ガバナーがクラブ訪問が進むにつれ元気になられ、９日の公式訪問での元気そのもののお顔は北ロータリークラブの皆さんの心配を吹き飛ばしてくれました。

ガバナーとの懇談で特に興味を引いたのは56クラブ訪問で得られた多くの特徴あるクラブ運営であった。70名を超えるクラブから30名以下の会員数のクラブまで種々あり、各会員委員会や例会など運営の工夫が紹介された。石井会長エレクトにとって次年度会運営の良いアドバイスになりました。また、56クラブの「クラブ活動報告書」を見せていただきました。他クラブの事業計画は各クラブにとって大いに参考になるものであり、ガバナーは地区大会で会場にて全クラブの活動報告書を披露したいとのことでした。

ところで例会が始まるとき、ガバナー・ガバナー補佐を例会場へ御案内するのを忘れ、会場扉からしかお迎えしなかったという大変な失礼なことをいたしました。気の緩みが起こした出来事でした。ガバナーはそんなことには見ない振りして例会を始められました。

例会ではＲＩのテーマの説明「Light up ROTARY」と地区運営方針「あせらず、無理せず、感謝」が説明されました。「ロータリー世界大会ブラジルへ行こう」と提案がありました。特に今年は第2740地区大会を当クラブがホストクラブとなり開催されます。第2740地区大会での会員の協力の要請がありました。宮﨑清彰ガバナー、千葉まさこガバナー補佐、森栄一郎地区幹事ありがとうございました。

ＲＩ認証 第13回ロータリー全国囲碁大会 優勝おめでとうございます。

2014年10月11日㈯東京・市ヶ谷の日本棋院会館にて「第13回ロータリー囲碁大会」が開催されました。

唐津ＲＣ 坂本直樹君が上級者クラス（５段以上）の部で見事に優勝されましたのでここにご報告いたします。

唐津ロータリークラブ　坂　本　直　樹

ロータリー囲碁同好会には加盟させて頂いてましたが、全国囲碁大会には初めて参加しました。

運よく優勝できましたが、日本中の囲碁好きのロータリアンが集まり、勝ち負けよりも、本当に親睦を深める事ができました。

古来中国では囲碁の事を「手談」と呼んでいたくらい、囲碁は盤上で初対面の方ともすぐにコミュニケーションが取れる素晴らしいゲームです。

もっとロータリーの中でも普及される事を願っています。

来年５月の世界大会では、日本の囲碁名人として恥ずかしくない対局をしたいと思っています。

コーディネーターニュース11月号『「My Rotary」を活用しよう』

RＰＩＣ（Zone２）　**高野孫左ヱ門**

2013年６月、ロータリーの新しいロゴが登場、同時に、これまでロータリアンの情報源として活用されてきたウェブサイトもリニューアルされました。

新しいウェブサイトは『リーダーのネットワークへ（さまざまな国・文化・職業のリーダーとつながろう）、アイディアを広げよう（交流のネットワークに参加し、視野を広げよう）、行動しよう（豊かな町づくりをめざし、持続的な、発展を支援しよう)』をキーワードに、戦略計画に基づいた「地区やクラブの活性化」推進のためのリーソースが整備されています。

一般的には、ロータリーは世界で多くの「よいこと」を行っているにもかかわらず、それがほとんど知られていないという事実が国際ロータリーの調査により明らかになりました。
ロータリーを分かりやすく、しかも魅力的にアピールしていこうというのが、この取り組みの目的です。その対応として「ビジュアルアイデンティティ」と「ボイス」が提示されました。
「ロータリー活性化」の新しい「ビジュアルアイデンティティ」では、ロゴが新しくなっただけでなく、色、フォント、写真のスタイル、アイコンなど、ロータリーとしての一貫性を保ちながらも柔軟にデザインするためのガイドラインが定められています。
このガイドラインを参照し、クラブが作る資料やホームページなど、ありとあらゆるコミュニケーションにロータリーのブランドを反映させてみてください。
（ガイドラインは国際ロータリーのウェブサイト内「ブランドリソースセンター」（www.rotary.org/ja/brandcenter）からダウンロードできます。

ガイドラインに加え、クラブが作成する資料にロータリーのブランドを取り入れるのには、ロータリーの新しい「ブランドリソースセンター」が役立ちます。「ブランドリソースセンター」から資料のテンプレートやロゴなどを簡単にダウンロードできます。

既に、国際ロータリーのウェブにある「**My Rotary**」への登録は済まされていると思います。同サイト内の「運営する」から「ブランドリソースセンター」にアクセスされると、様々な資料やテンプレートを活用する環境を得られます。使える資源は存分に活用し、公共イメージ向上に取り組んでいただくことを願います。
また、日本国内34地区、全ガバナーによるウェブサイトが開設されており、それぞれ特徴のある活動を掲載されておられますので、準備段階でのアイディアを膨らませるツールとして活用いただけるものと思います。ぜひともご覧いただきご参考にしてください。

更に、クラブのウェブサイトやフェイスブックを新しくすることに挑戦してください。
これはロゴを入れ替えるだけではありません。肝心なのは、ロータリー内部と外部の人びとを結びつけ、誰にとっても魅力的で、ロータリーとして一貫したイメージを与えることです。
「ロータリー活性化」で私たちがお願いしているのは、ロータリーの良さや魅力をできるだけ多くの方に理解してもらえるよう、それぞれのクラブで取り組んでいただくことです。明確なメッセージ、そして、これまでよりも一貫性のある「ビジュアルアイデンティティ」によって、外に向けたロータリーのイメージをさらに強く打ち出すことができると私たちは期待しています。これは、私たちロータリーが必要としていることなのです。

今後のロータリーの発展を願い、皆さまのご協力をどうかお願いいたします。

「ロータリーの友」だより

「ロータリーの友」地区代表委員　**杉　原　宏　一**（諫早北ＲＣ）

暦の上でははや年末を迎えましたが、第2740地区のロータリー年度は先日の地区大会を終えて、いよいよ折返しの年度に入ろうとしています。各クラブにおかれてもこれからの諸活動が益々活発に行われることであろうと拝察します。そのパワーの「源」になるものとして「ロータリーの友」が活用されることを期待いたします。

11月号にはいつになくこの地区からの投稿が少なかったことを残念に思っていますが、目についたいくつかの記事や言葉をご紹介します。

◎ＲＩ会長メッセージ「ロータリーの友情と奉仕に輝きを」（３頁）

横組みの最初にあるこの頁はともすれば斜め読みに読むか、あるいはスルーしてしまう傾向があるような気がしますが（きまりきった内容？）、あらためてきちんと読んでみると色々と滋味ある言葉に出会います。黄会長の東洋人の感性が、我々にフィットする所もあるような気がします。

「ロータリーは世界で最も大きな家族です」

「友のない生活は太陽のない生活のようなものである」

このような平易ですっと心に響く言葉は、読書の感銘を深くすることと思います。

◎ロータリー財団月間特集「世界でよいことをする」（７頁）

“グローバル補助金によるインド少数民族の自立支援”

第2680地区の芦屋ＲＣが提唱して同地区内の各クラブと協力して、第3060地区（インド）のバローダメトロＲＣとの提携により行った。劣悪な気候条件のもとにある少数民族のための「農地と用水管理の改善」を目的とした活動の詳しい報告記事があります。

“国連難民高等弁務官事務所で今も活躍する元ロータリー財団奨学生”

日本で２人目のロータリー財団奨学生としてアメリカに留学された緒方貞子さんが1991年から2000年の10年間に亘って、この事務所の高等弁務官を務めて活躍されたことは、皆さんよくご存知の通りですが、同じ財団奨学生として留学の機会を得た方が、同じ志を持って人道支援の最前線に立って活躍しているという記事でした。ここでは５人の方々の活躍が紹介されています。

今月はロータリー財団月間ということで、このような記事が掲載されました。ロータリーの中でよく耳にする言葉で「ロータリーは寄附、寄附と言うが、それが何に使われているのかよくわからない」というような意味のことばをききます。この特集記事を読んでいただくと、そのようなことに対する理解が進むのではないかと思います。

◎世界インターアクト週間特集「明日へ未来へ　インターアクター」（18頁）

“ハンド・イン・ハンド街灯募金活動”鎮西学院高等学校インターアクトクラブ（諫早北ＲＣ）

若いインターアクターたちの元気な活動は、その純粋さも含めて我々ロータリアンに元気と勇気を与えてくれます。たくさんの報告記事の中に、わが第2740地区の鎮西学院高校ＩＡＣ（諫早北ＲＣ）の募金活動が取り上げられました。これは同校ＩＡＣが日本ユニセフ協会のハンド・イン・ハンド募金活動に参加して年末に行うもので、約20年近くも続けられている活動です。それぞれの生徒達の高校生活は僅か３年間ですが、先輩から後輩へと引き継がれてずっと続けられている活動は素晴らしいものだと思います。

China Daily（中国日報）を飾ったHuang RI会長の新聞記事

諫早北ＲＣ 広報委員会

長い人生の中では、偶然の出会いというものが姿を隠して待ち伏せている。それは忘れがたい人物であったり、素晴らしい光景であることもあるし、人間の五感で感得するいろいろな出来事でもある。

この話は諫早北ＲＣの千葉憲哉会長が最近、体験した出来事で、去る10月23日の例会の席上、披露されたものである。

氏は10月17日、所用で中国の大連に渡り、その時搭乗した機内で偶然にも一枚の新聞を手にした。開いてみると、何とそこにＲＩ会長のGary C. K. Huang氏とロータリーを紹介する文面が掲載されていたのである。新聞の一面に満面に笑みを浮かべたHuang氏の顔写真と、その余白を埋めるようにロータリーの広報文と共にHuang会長のロータリーにおける活動の様子が詳細に記されていた。

ある年、台湾を襲った台風によって大破した孤児院の復興に奔走したこと、中国本土のロータリークラブを創設するロータリーの拡大にも尽力したこと、慈善プログラムは疾病予防や婦女子の教育、先天性心臓疾患の子どもの治療など……。中国という特殊な政治環境のなかで、ロータリーという奉仕団体を創設することの難しさを如何にして克服したのか。

千葉氏の考察は更に深層部分まで掘り進められた。ビジネスの世界において、中国人の活躍は目覚ましく、その利益追求に奔走するあまり、悪徳商法まがいの行為は心ある人たちの顰蹙を買っている。ロータリーの最高指導者であるHuang氏はロータリーの金看板である職業奉仕を、ロータリークラブの新設ということによって国内に浸透させ、そこに入会するロータリアンを通じて純度の高いビジネス社会の実現を目指しているのではないか。それなくして、国際社会の一員として伍してゆくことは許されず、ＲＩ会長に就任した今期こそそのチャンス到来と見ているのかも知れない。

千葉会長がこの記事を紹介した日こそ、ロータリーにとって記念すべき23日、何かしら深い因縁を感ぜずにはおられない。

China Daily

China may lower economic growth target next year

GRAFT PENALTY
Ex-top railway official gets suspended death sentence
> NATION, PAGE 4

ALL A FLUTTER
Plumed discovery poses threat in tropical paradise
> WORLD, PAGE 10

weekend CHINA DAILY 中国日報

October 18-19, 2014 chinadaily.com.cn RMB ¥1.5

16

PEOPLE

CHINESE DREAM | GARY C.K. HUANG

HELPING PEOPLE IN NEED

President of Rotary International says giving back makes you 'a better and happier person'.

By LIU YANGRUI

When Gary C.K. Huang joined the Rotary Club 32 years ago, he never imagined that he would become the president of the international organization. Nor did he think much about the charitable services to which it's committed.

"I thought this club has an important and successful people. I wanted to be part of it because it would be good for my business," says Huang, 65, current president of Rotary International and a member of the Rotary Club in Taipei.

He outweighs about that. But it was committing himself to the charitable endeavors later that has given him the greatest sense of achievement and satisfaction, says Huang, the first Chinese to be elected to the head of this century-old organization, which was founded in Chicago in 1905. On a recent visit to the mainland, he shared his advice and visions for the club as a Beijing Rotary Club event.

Rotary International is a service organization that brings together business and professional leaders in order to provide humanitarian services, encourage high ethical standards in all vocations, and help build goodwill and peace in the world.

There are more than 34,000 clubs and over 1.2 million members worldwide. Club members, known as Rotarians, usually meet weekly for breakfast, lunch or dinner. There are social events as well as opportunities to organize work on service goals.

Huang still vividly recalls how he started thinking about Rotary service in the wake of a terrible typhoon.

When one of his fellow Rotarians told him about an orphanage building outside of Taipei that was devastated by the storm, Huang drove with another Rotarian there to give aid.

He was shocked by the poor conditions of the buildings, home to about 80 kids. The orphanage didn't even have enough money to buy diapers for babies, he says.

"I told the a few reasons to imagine our children living in this place. But I didn't imagine it for two long. I didn't want to even think about it. Instead, I said, 'OK, we have to do something here.'"

The Rotarians not only fixed everything damaged by the typhoon, including the roof, the kitchen and the walls, but also bought a refrigerator and an air conditioner. They also erected a fund to buy diapers for the babies, Huang recalls.

Gary C.K. Huang is the first Chinese president of Rotary International that has more than 1.2 million members worldwide.

"This was more than 20 years ago. But for me, it was the beginning of Rotary," he says.

"I learned what Confucius was trying to teach me. Helping others is also helping yourself. It changes who you are. One thing you learn in Rotary is that if you find you have a little extra — more than you need for yourself — you enjoy it more when you share it. It makes you a better and happier person."

A graduate of Eastern Michigan University and holder of an MBA from the College of Insurance in New York, Huang has worked in the security business all his life.

Huang resigned his other positions to fully engage himself in the Rotary Club after he was elected as its president.

Huang was born in southern China's Fujian province and grew up in Taiwan. Huang has traveled on the mainland many times for his business.

His relationship with Rotary clubs on the mainland began a long time ago, when he delivered the provisional club charter for the Beijing club when it was established 18 years ago. "It was a big honor for me," he says.

Huang is eager to establish more clubs and attract more members in China. He is also working hard to make Chinese one of the official languages for Rotary, which he believes will both attract more Chinese to the club and make the club more open to Chinese communities.

The first thing he did as president was approve 19 more provisional clubs in China. The organization is now applying to establish Rotary clubs in several Chinese cities, including Changdu and Tianjin.

"To increase our membership, we must go beyond borders to wherever we see growth potential, such as the countries of China, Mongolia and Vietnam. I will put an emphasis on increasing female and younger members," Huang says.

Rotary clubs in Beijing and Shanghai have been involved in charitable programs including disease prevention, education and aid for women and children, according to Piper Tseng, president of the Rotary Club of Beijing, which has about 90 members.

For example, their Gift of Life project has helped fund the treatment of more than 140 children in China with congenital heart disease, Tseng says.

Huang hopes the current club members in China will build a positive public image for Rotary so that China will become fully open to it.

"Rotary is only going to be a good influence for China," says Huang, who is impressed by the fast growth in the past few decades and believes Chinese people are ready for Rotary.

"China already has so much business and so many entrepreneurs. Rotary is a way for successful people to make a difference.

"It is also a way to help people who need it. We have millions of intelligent, creative people. Why would China not want to have them working for it, for free?"

Huang's efforts in humanitarian service have had profound influence on his family. His wife and three grown children are also Rotary members. They often share their experiences and discuss the community service they can provide, Huang says.

"We do Rotary work together. Then doing good becomes a family event," he says.

Mike Peters contributed to this story.

China already has so much business and so many entrepreneurs. Rotary is a way for successful people to make a difference. It is also a way to help people who need it. We have millions of intelligent, creative people. Why would China not want to have them working for it, for free?

GARY C.K. HUANG
PRESIDENT OF THE ROTARY CLUB

2014年9月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	78.5	58	0	62	0	1	0	1	4
	小城	4	82.0	19	2	19	2	0	0	0	0
	牛津	3	83.3	28	0	30	0	0	0	0	2
	多久	4	84.3	36	6	41	6	0	0	0	5
	佐賀大和	4	79.5	24	3	23	3	0	0	0	−1
	小計		81.5	165	11	175	11	1	0	1	10
第2グループ	佐賀西	3	87.0	39	0	40	0	2	1	1	1
	佐賀北	4	77.3	41	3	41	3	1	0	1	0
	佐賀南	4	82.0	36	2	36	2	1	1	0	0
	神埼	4	69.9	36	3	37	3	0	0	0	1
	佐賀空港	4	72.0	15	1	15	1	0	0	0	0
	小計		77.6	167	9	169	9	4	2	2	2
第3グループ	有田	4	77.9	33	0	34	0	0	0	0	1
	武雄	4	96.6	52	4	52	4	0	0	0	0
	鹿島	4	96.3	44	3	42	3	0	1	−1	−2
	嬉野	4	81.2	24	1	24	1	0	0	0	0
	大町	4	75.0	15	0	17	0	2	0	2	2
	白石	4	71.4	8	0	7	0	0	0	0	−1
	太良	4	97.5	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		85.1	186	8	186	8	2	1	1	0
第4グループ	唐津	4	91.7	55	0	56	0	0	0	0	1
	伊万里	4	97.5	27	0	29	0	0	1	−1	2
	唐津東	4	87.1	53	0	55	0	0	0	0	2
	唐津西	4	96.6	30	0	32	0	0	0	0	2
	伊万里西	4	86.5	45	0	45	0	0	0	0	0
	唐津中央	4	86.7	32	4	32	4	0	0	0	0
	小計		91.0	242	4	249	4	0	1	−1	7
第5グループ	佐世保	4	100.0	74	0	77	0	1	0	1	3
	平戸	4	83.5	39	4	39	4	0	0	0	0
	佐世保西	3	88.3	22	1	24	2	1	0	1	2
	北松浦	4	95.7	24	0	24	0	0	0	0	0
	松浦	4	90.4	26	1	26	1	0	0	0	0
	小計		91.6	185	6	190	7	2	0	2	5
第6グループ	佐世保南	4	100.0	73	1	76	1	0	0	0	3
	佐世保東	4	97.7	23	0	23	0	0	0	0	0
	佐世保北	4	98.1	43	0	44	0	1	0	1	1
	佐世保中央	4	100.0	43	1	45	1	0	0	0	2
	佐世保東南	4	86.8	21	0	19	0	0	0	0	−2
	HTB佐世保	4	95.8	20	3	21	3	0	0	0	1
	小計		96.4	223	5	228	5	1	0	1	5
第7グループ	大村	4	86.5	48	3	49	3	0	0	0	1
	島原	4	78.0	27	2	26	2	0	0	0	−1
	雲仙	4	91.1	28	1	28	1	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	23	0	23	0	0	0	0	0
	島原南	4	70.0	21	1	23	1	1	0	1	2
	大村東	4	86.1	41	4	39	4	0	1	−1	−2
	小計		85.3	188	11	188	11	1	1	0	0
第8グループ	諫早	4	84.6	63	0	65	0	0	0	0	2
	諫早北	4	87.4	66	3	65	3	0	0	0	−1
	諫早西	4	92.2	38	0	39	0	0	0	0	1
	諫早多良見	4	86.2	40	0	38	0	0	0	0	−2
	諫早南	4	84.4	24	4	24	4	0	0	0	0
	小計		86.9	231	7	231	7	0	0	0	0
第9グループ	長崎	4	84.5	82	0	88	0	0	0	0	6
	福江	4	88.2	34	0	36	0	0	0	0	2
	長崎北東	4	75.6	38	5	39	5	0	0	0	1
	福江中央	4	93.1	26	0	28	0	0	0	0	2
	長崎西	4	82.6	56	0	59	0	0	0	0	3
	長崎琴海	4	67.2	16	1	16	1	0	0	0	0
	小計		81.9	252	6	266	6	0	0	0	14
第10グループ	長崎北	4	80.0	78	0	80	0	0	0	0	2
	長崎南	4	88.5	76	0	78	0	0	0	0	2
	長崎東	4	76.5	44	1	48	4	1	0	1	4
	長崎みなと	4	82.1	23	1	23	1	0	0	0	0
	長崎中央	4	94.4	61	0	60	0	0	1	−1	−1
	長崎出島	3	81.8	55	11	55	11	0	0	0	0
	小計		83.9	337	13	344	16	1	1	0	7
57クラブ合計			86.2	2,176	80	2,226	84	12	6	6	50

＊上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から2014年9月末までの増減です。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。　※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

牛津ＲＣ
平河　浩二 君
佐賀銀行牛津支店
支店長

佐賀北ＲＣ
松尾　政信 君
㈱ＳＴＳエンタープライズ
代表取締役社長

佐賀南ＲＣ
川﨑　慎也 君
西日本電信電話㈱
ビジネス営業部長

佐世保ＲＣ
田口　恵介 君
㈱商工組合中央金庫佐世保支店
支店長

佐世保北ＲＣ
松尾　重巳 君
㈱ジャパンアクアテック
代表取締役

島原南ＲＣ
下田　　康 君
普壮㈱
代表取締役

福江中央ＲＣ
庄野　幸雄 君
㈱庄野建設
代表取締役

福江中央ＲＣ
富川　吉夫 君
㈱五島テレビ
代表取締役

長崎東ＲＣ
向井　光子 君
総合商社㈱協和工商
代表取締役社長

物　故　者

謹んでお悔やみ申し上げます。

鹿島ＲＣ
今村　　博 君
（享年91歳）

長崎中央ＲＣ
北川　俊明 君
（享年80歳）

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル・ポール·ハリス·フェロー	中　野　　浩	平　　戸
ポール·ハリス·フェロー	高　谷　　忠	長崎出島
	塚　本　　敏	長崎出島
	空　閑　彰　彦	神　　埼
	堀　　啓　二	長 崎 北
ベネファクター	加　藤　公　子	長崎出島
年次寄付	伊万里ロータリークラブ	
	長崎東ロータリークラブ	
ポリオプラス	長崎中央ロータリークラブ	

米山記念奨学会

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル	雪　竹　弘　男	佐世保南
	黒　田　隆　雄	諫 早 北
	松　角　雅　夫	諫 早 北
準米山功労法人	芦　塚　文　美	諫 早 北

文庫通信 (326号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

◎「人生は感動を求める旅―より多くの友を持とう」市川伊三夫〔2014〕9p（D.2530地区大会記念誌）
◎「政局を語る」飯島勲　2014　11p（D.2520地区大会レポート）
◎「やっと見え始めた国家の再生」中西輝政　2014　16p（D.2670地区大会記録）
◎「世界の出来事、日本の出来事～当事者意識で見方が変わる」黒井文太郎〔2014〕11p（D.2530地区大会記念誌）
◎「ミッション・パッション・ビジョン」大迫三郎　2014　2p（D.2730地区大会記録誌）
◎「未来に輝くサイエンス」藤嶋　昭　2014　11p（D.2590地区大会の記録）
◎「奉仕は我が人生」渡邉美樹　2014　8p（D.2550地区大会記念誌）
◎「日本とミクロネシア連邦の関係」ジョン・フリッツ　2014　4p（D.2780地区大会報告書）
◎「ロータリー、この素晴らしき世界」関場慶博　2014　10p（D.2550地区大会記念誌）
◎「ロータリーを実践しよう」杉谷卓紀　2014　6p（D.2780地区大会報告書）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区　宮﨑清彰ガバナーと行く

2015年ブラジル・サンパウロ国際大会参加旅行のご案内

“サンパウロ・サントス・世界遺産イグアスの滝９日間”

日次	月日	地　名	交通機関	行　程	朝	昼	夕
1	6月3日（水）	福岡空港 仁川空港 （ロサンゼルス）	KE790 KE061	・福岡空港（16:25発）大韓航空で仁川空港乗り換えサンパウロへ ＜日付変更線通過＞ （*16:45～19:00　ロサンゼルス空港に駐機）　機中(泊)	×	×	機内
2	6月4日（木）	サンパウロ	専用車	・サンパウロ　ガァルーリョス空港到着（10:40着） サンパウロ(泊)	機内	○	○
3	6月5日（金）	サンパウロ サントス サンパウロ	専用車	**◎ブラジル最大の貿易港・サントス日帰り観光** サンパウロ(泊)	○	○	○
4	6月6日（土）	サンパウロ イグアス	専用車 国内線	**●サンパウロ国際大会参加** **◎サンパウロ市内観光**　・国内線でイグアスへ イグアス(泊)	○	○	○
5	6月7日（日）	イグアス	専用車	**◎世界遺産「イグアスの滝」観光** *アルゼンチン側から見学。トロッコ列車に乗り、展望台『悪魔ののど笛へ』 イグアス(泊)	○	○	○
6	6月8日（月）	イグアス サンパウロ	専用車 国内線	**◎世界遺産「イグアスの滝」観光** *ブラジル側から見学。迫力満点の『ボートツアー』にご案内 ・国内線でサンパウロへ　サンパウロ(泊)	○	○	○
7	6月9日（火）	サンパウロ （ロサンゼルス）	KE062	・大韓航空で帰国の途へ（13:25発） （*21:55～23:55　ロサンゼルス空港に駐機） ＜日付変更線通過＞ 機中(泊)	○	○	機内
8	6月10日（水）	（航空機移動） 機中(泊)			機内	機内	機内
9	6月11日（木）	仁川空港 福岡空港	KE787	・仁川空港到着（05:05着）、乗換えて福岡空港へ（09:20着）	機内	×	×

口基本ご旅行代金（エコノミークラス利用、2名1室利用）　630，000円～690，000円（予定）

・最少催行人員15名（添乗員同行）
・利用予定ホテル　＜サンパウロ＞　ニッケイパレス又は同等クラス、
　＜イグアス＞　コンチネンタルイン又は同等クラス
・費用に含まれるもの
　行程中に記載した交通費、宿泊費、観光施設の入場料、食事代
・費用に含まれないもの
　空港税・燃油サーチャージ・ビザ代金（約85，000円）、大会登録料、その他個人的性質の諸費用
　個室利用追加料金　　約70，000円
　大会登録料　第1期（12月上旬締切）325USD　　第2期（3月末締切）375USD
　◎国際線区間ビジネスクラスのご利用は約630，000円の追加料金が予想されます。（現在交渉中）
※旅行申込様式及び国際大会登録申込様式・国際大会の行事は別途各クラブ宛てにご案内いたします。
・国際大会の登録は入場時間を同じくするためにガバナー事務所で一括で行います。
　別のコースでお申し込みの方も参加登録の受付を行いますのでガバナー事務所までご連絡ください。
・為替レートや燃油サーチャージの変更、現地滞在費の変更により旅行代金が変更になる場合があります。

★参加申込みは第2740地区ガバナー事務所までお願いします。第1期申込期限　12月5日（金）

・旅行申込み・国際大会登録に関してのお問い合わせは第2740地区ガバナー事務所までお願いします。

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

「岩肌に刻まれた五百羅漢像」

本明川の源流を目指してこの川を遡ると、富川渓谷に辿りつく。ここでは大きな岩石が川床に散在し、この間をくぐり抜けるように上流からの清水が水音を響かせている。その先には溶岩が冷え固まった一枚岩の斜面を、滑るように源流からの水が流れ下る。

この周辺には樫や椎の自然林が生い茂り、昼なお暗き岩肌には、一六九九年の大洪水の犠牲者を悼み、諫早第七代茂晴公が寄進された五百羅漢像が、三一五年の歳月を経てその姿を留めている。今も昔も水禍の記憶は生々しい。

編集後記：2014年度の上半期も終わりに近付いた。ガバナー年度に入るや公式訪問の開始、57ロータリークラブへ直接出向いた重大な任務も問題なく完遂することができた。息つく間もなく、今度は地区大会が待っていたが、皆様のご支援で成功裏に終わり感謝申し上げます。

ノーベル平和賞二人の受賞、マララさんとサティヤルティさん、何かと暗い事件が多くて、気が滅入りそうな世界中の人々に、明るい希望を与える快挙だった。「ロータリーに輝きを」、輝かしい歴史を刻んだ国際ロータリーを、世界は何と見ているだろうか。

ノーベル平和賞の評価は夢のまた夢に終わるのだろうか。

来たる2015年が平安に満ちた年でありますよう祈りつつ。

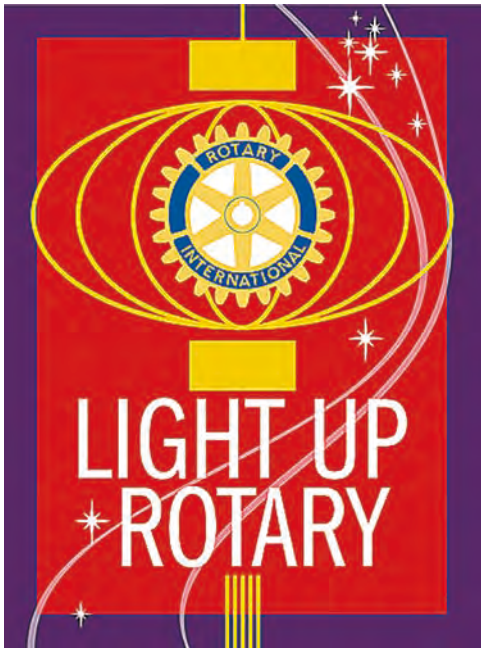
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮崎　清彰

Vol.7
2015.1.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

ようやく会えた二人

月信の７月号には、ガバナーの病気療養のためＲＩ会長との握手の写真を掲載できなかった。半年遅れではあるが、昨年11月26日、東京で開催されたロータリー研究会におけるＲＩ会長の歓迎晩餐会の席上、二人は念願かなって会うことができた。新年号に相応しい華やかな映像に、ガバナーも大いに満足している。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
ガバナー補佐年頭のご挨拶……3
2014ー2015年度 社会奉仕セミナー報告 ……8
2017～2018 ガバナーノミニー・デジグネート推薦の件 ……9
第2740地区米山記念奨学委員会　活動報告……10
第２回「市民と留学生のつどい」……11
コーディネーターニュース12月号……12
「ロータリーの友」だより ……14
2014年10月会員数・出席報告……15
新入会員紹介……16
物故者……16
寄付者紹介……17
ロータリー文庫通信……17
2015年ブラジル・サンパウロ国際大会参加旅行のご案内……18
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

「新年明けましておめでとうございます」

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　崎　清　彰

昨年は公式訪問に引き続き地区大会も無事に皆様のご協力のもと、天候にも恵まれ大盛会のうちに終わることが出来ました。大変お世話になり有難うございました。ＲＩ会長代理賴正成（WOOD）さんご夫妻もこの地区大会の成功を大変喜ばれ第2740地区の皆様にくれぐれもよろしくとの事でした。

表敬訪問で台湾を訪れた時に台中ロータリーのドン的存在の林ＰＤＧから２点程注文がありました。一つは自分がＲＩ会長代理で日本を訪れた時に歓迎晩餐会で「雨夜花」の曲が流れ、とても落ち着いたので是非賴君の時もそれをしてほしい。これは内緒にし、驚かせようという事で賴先生は当日まで全く知りませんでした。

もう一つは通訳を台湾出身者か、台湾からの米山奨学生にお願いしたいとの事でした。やはりロータリーを少しでも理解してる方がいいとの事でしたので、できるだけ希望に沿うようにしますという返事をして帰ってきました。日本に帰ってから早速考えました所、公式訪問の時、長崎北東ＲＣの大原玉瑞さんにお目にかかった事を思い出しました。

14歳の時に台湾から日本に来られ、今では長崎市で大きな中華料理店を経営されています。15年前に福井ＰＧの時、やはり通訳をされたという事で気持ちよくお引き受けしていただき感謝、感謝で一安心しました。また、恵まれた事に大原さんが台湾出身で米山奨学生ＯＢを良く知っていると陳さんをご紹介いただき本当によかったです。これで通訳の体制は万全となりました。ただ音楽の「雨夜花」は異論もありましたが、林ＰＤＧとの約束でもあるので実行しました。ＲＩ会長代理（WOOD）さんは自分の任務を果たすにあたってこんなにもスムーズに終えられたのは野口ＰＤＧ、大原様ご夫妻、陳様のお陰ですと改めて感謝の念を述べられていました。今回は大原様ご夫妻、陳様の通訳のおかげで本当に私たちも助かりました。エイド役を務めていただいた野口ＰＤＧ、大原様ご夫妻においては私や森地区幹事と共に福岡までお迎え、見送りまでお付き合いいただき本当に有難うございました。又、WOODご夫妻滞在中、運転と通訳と観光案内を担当していただいた陳様に心から感謝申し上げます。WOODご夫妻滞在中は何かとロータリアンの皆様に関わっていただき紙面を借りましてお礼を申し上げます。

今年は干支は未年です。未年生まれは中国は「十羊九弱」（羊が10匹いれば９匹は弱い）という運気が悪いという話もありますが又、一方では「羊政清和（羊は天下泰平をもたらす）」という話もあります。また羊が角をもちながら、これを用いないのは「仁」を好む者、命を落とす時も泣かないのは「義」に死する者、子羊が乳を吸うとき必ず母の前にひざまずくのは「礼」を知る者のようだという理由から「羊は君子の風格がある」と尊ばれてきました。いずれにしても情愛にあふれる社会であり、また、天下泰平で平和な社会になってもらいたいと思います。

「ロータリーデー in愛知」が名古屋市久屋通りの広場で開催され名古屋市長杉戸さんが書いた碑文がありました。

希望の詩

・希望とは平和のことである
・希望とは明るいことである
・希望とは健康のことである

今年も希望の持てる１年であってほしいと思います。

昨年は病み上がりで少しは心配しましたが元気に過ごす事が出来、個人的にはいい年だったと思います。又、11月26日東京でのロータリー研究会ではＲＩ会長歓迎会の席でゲイリー C. K. ホァン会長と握手をし、一緒に写真を撮ることができました。サンディエゴには心臓手術で出席できなかったので初めてお会いし、話ができたのは非常に感激でした。改めてガバナーになったんだなという実感が湧いた瞬間でした。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ガバナー補佐年頭のご挨拶

第１グループ ガバナー補佐 **西岡　健次**（牛津ＲＣ）

新年あけましておめでとうございます。輝かしい2015年が始まりました。昨年度は第2740地区宮﨑清彰ガバナーが目指されている「地域に輝くロータリー」のスローガンを熟知し、その実現に近づけるよう邁進してまいりました。そして、本年はその成果を得る年と年頭にあたり改めて意気に感じている次第でございます。

私が昨年クラブの推薦を頂き、ガバナー補佐の大役をお引き受けし早半年が過ぎました。第１グループ（佐賀ＲＣ、小城ＲＣ、多久ＲＣ、佐賀大和ＲＣ、牛津ＲＣ）ロータリアン各位のご指導、ご支援をいただきながら、クラブ協議会やガバナー公式訪問、地区セミナーへの参加等々初めての経験で緊張一杯でございました。それでもこの役職を拝命し、このような数々の貴重な体験をさせて頂いたことは大きな喜びであり感謝申し上げる次第でございます。その様ななか、公務等で他クラブを訪問させて頂く機会を得、それぞれのクラブが英知を結集し、且つ楽しく取り組まれている活動を目のあたりに拝見し、改めてその鋭意工夫に感じ入り、敬服する次第であり、ロータリアン歴38年の私ではございますが、自分のこれまでの自覚の不足を改めて気づかされ反省するばかりでございます。

さて、今期は、グループ、クラブ内の喜ばしき周年記念に度々出席させて頂き、ロータリアンの掲げる地域社会への奉仕等を含め、ロータリアンである誇りに輝かれている皆様に接し深い感銘を受けました。長年培われて参りましたロータリーの奉仕の精神はこれからも継承されることでしょう。第１グループの小城ＲＣが近々50周年を迎えられます。七田会長を始め会員の皆様が会員増強に向け、鋭意ご尽力頂いている様でございます。私も全力で応援させて頂き目的達成に少しでも近づけますよう頑張る所存でございます。

結びになりましたが、ロータリークラブの皆様方のご協力とご指導を更にお願い申し上げ、新しい年が会員とそのご家族にとりまして素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。

第２グループ ガバナー補佐 **北島　恭一**（佐賀南ＲＣ）

あけましておめでとうございます。

国際ロータリー会長が提唱されるテーマ「ロータリーに輝きを」を知って、１年間先ずは私自身が燃え輝くことを誓って活動してきました。ガバナー公式訪問、クラブ協議会、地区大会、地区セミナー等に出席しました。

ガバナー補佐としての役割を果たせているかは甚だ疑問ですが、多くの皆様からご支援をいただき、ロータリーの最新情報を学び、更に友情を深めたことに感謝申し上げます。

いきなり出席者全員の握手から例会が始まるなど、第２グループ佐賀西、佐賀北、神埼、佐賀空港、佐賀南の５クラブ内では運営の内容も様々ですが会長を中心に活発な活動が展開されています。例えば社会奉仕活動では熱気球製作による奉仕活動、福祉施設に年越しソバを届ける、年数回の献血活動、有明佐賀空港に花を咲かそう活動、シチメンソウ保護清掃活動など、地域に根ざして市民の皆様と交流を深められています。

さて、私の残された任務は第１、第２グループのインターシティ・ミーティング（ＩＭ）日時は３月７日㈯、テーマは「今後のロータリーを考えてみよう」です。

日本のロータリーの会員数は17年連続、第2740地区は12年間連続減少しています。会員増強の努力にも拘わらず新入会員が入られても退会者も増えています。

「新入会員は例会で孤独である」「新入会員に対する教育プログラムが充実してない」等３年以内にロータリーに入って意味を見出せなくて退会する方が多いと指摘されています。

ロータリーは多彩な職業人に出会い人の道を学ぶ場、もう一度原点を見つめます。加えてロータリー財団を活用した今後の奉仕活動を考えていきます。

最後になりましたがロータリアン各位のご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐年頭のご挨拶

第３グループ ガバナー補佐 **富永　正嗣**（武雄ＲＣ）

宮﨑清彰ガバナーのもと、第３グループのガバナー補佐を引き受けて、早いもので半年が過ぎました。その間、昨年の７月初めから10月初めにかけて各クラブを３回ずつ訪問し、クラブ協議会とガバナー公式訪問を大過なく済ませることができました。会員数53名の武雄クラブから会員数７名の白石クラブまで７クラブがあります。それぞれのクラブが、自分のクラブの特性を生かしたクラブ運営をしているというのが、ガバナー補佐としての率直な印象です。

10月４日には第2740地区で最少会員数の白石クラブがホストで、第３グループのＩＭを開催いたしました。ＩＭ実行委員長の山口繁喜君が講演会の講師を打って出て「人口減少、さあどうするあなたの商売は？ロータリーは？」の演題で講演をいたしました。第３グループ内の各市町ごとの年代別人口推移についての資料をもとに、将来この地域が、またロータリーがどのような影響を受けるのか、具体的な解説があり、有益で意義ある講演であったと評価しています。

地区大会も11月に済み、ガバナー補佐としての業務の大半を消化したように思います。これまでのところ、消費増税や円安の影響もあって経済が停滞しているため、会員増強、ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付については成果が上がっていないのが現実です。１月下旬から２月上旬にかけて４回目の各クラブ訪問を予定しています。その時に宮﨑清彰ガバナーの地区目標のこれまでの達成度と、これからの目標達成のための方策と達成度の見込みについて確認を行い、宮﨑清彰ガバナーの地区目標に一歩でも近づくよう、各クラブと共に努力を重ねていく所存であります。

もし、あなたにガバナー補佐にと指名があったら、是非Yesと答え、引き受けて下さい。今までに未経験のことをするわけで苦労もしますが、その苦労の何倍も得るものがあります。楽をしたり、努力をしない人には人間としての成長はないように思えます。

第４グループ ガバナー補佐 **曽我　文雄**（伊万里西ＲＣ）

明けましておめでとうございます。あっと言う間に半年が過ぎてしまいました。今年度は宮﨑ガバナーの方針で、10月初旬に公式訪問が終了しました。地区大会迄の１カ月を利用して、脊柱管狭窄症の手術を受けた後、体力回復のためリハビリを続けて来ました。

これから半年間、又クラブ訪問をして勉強していきたいと考えています。クラブ訪問をして感心したのは、皆さん方がスポンサークラブの伝統を受け継ぎながら、新しい企画を生み出して、実行して居られるということです。

唐津クラブでは中国・韓国と姉妹クラブの提携をして居られますが、新たにヨーロッパのクラブとの提携を図られています。

唐津東クラブは台湾との姉妹クラブ提携の他、福岡のクラブと交流提携をされています。今年50周年を迎える上に、次年度ガバナーを誕生させる等たいへん意欲的です。

年度初めに書いたように、ロータリーには不思議だなーと思うことが沢山あります。

ロータリークラブは古い組織で、独裁的な考え方も多々有ります。定款変更は認めないとか、ガバナーが居るのにその上にロータリーコーディネーター（ＲＣ）を任命して、本部の考えどおりに運営させようとしています。何故そこまで徹底するのでしょうか？

230ページもある手続要覧がどうして必要なのでしょうか？　ロータリー活動をするのに規約が無いと何も出来ないと考えたことはありません。一般的な常識が有れば、困ることは殆どありません。誰の為にこんなに沢山の規約が必要なのでしょうか？　……これから皆さん方と話し合って勉強していきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ガバナー補佐年頭のご挨拶

第５グループ ガバナー補佐 **中野　　浩**（平戸ＲＣ）

新年明けましておめでとう御座います。宮﨑ガバナーのクラブ公式訪問も全クラブ地区大会前に恙なく終わり、昨年11月にＲＩ会長代理をお迎えして盛大に終了することが出来ましたことは皆様と共にご同慶に存じます。

宮﨑ガバナー、森地区幹事、緒方大会委員長、そしてそれを支えてこられた諫早北ロータリの皆さん、更には事務局で実務面を執り行った皆様に心から敬意を表します。本当にご苦労様でした。

年明け早々ですが第５グループ、第６グループ合同のＩＭを１月31日に予定しており、更に５月にはライラを平戸クラブが開催する予定を致しております。

ＩＭのホストクラブは佐世保北ＲＣで、コ・ホストクラブが平戸ＲＣです。既に数度の打ち合わせも終わり、後は皆様の出来るだけ多くのご参加をお願い申し上げるばかりになっています。

ライラは平戸海上ホテルを主会場として５月23、24日開催予定で準備を致しております。

皆様方には何かとご多忙とは存じますが、次代を担う若者を育てる意味合いが強いプログラムですので、該当する青少年がおりましたらご紹介戴きますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ロータリアン皆様のご健勝、ご多幸と、本年が尚一層良い年でありますように祈念致します。

第６グループ ガバナー補佐 **宮原　明夫**（佐世保北ＲＣ）

ＲＩ2740地区のロータリアンの皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。

特に第６グループの各クラブの皆様には、１回目の訪問（クラブ協議会）、ガバナーの公式訪問と各クラブとも２回ずつ訪問させていただきましたが、心のこもったおもてなしをしていただき、深く感謝申し上げます。

各クラブその歴史や会員数には多少の差はあるものの、それぞれのクラブが伝統と個性と誇りを持ってクラブの運営をなさっていることに心より敬意を表します。

今年度のＲＩテーマ『ロータリーに輝きを』や、宮﨑清彰ガバナーの地区テーマ『地域に輝くロータリー』の２つのテーマを各クラブともよく理解していただき、今年度の地区目標も達成するべく、日々のロータリー活動を実践していただいていることに感謝申し上げます。

皆様のご協力のおかげで、ガバナー公式訪問、地区の各委員会の研修セミナー、そして11月の地区大会など、大変有意義な中に上半期を終えることが出来ました。

しかし、まだ下半期の半年は残されています。

特に、各グループでのＩＭはこれから各地で開催され、われわれ第５、第６グループも合同でのＩＭを１月31日に佐世保市にて開催致します。有意義な研修及び親睦の機会になるよう実行委員会を中心に準備を進めております。つきましては、出来るだけ多くの会員の皆様にご出席していただきますようお願い申し上げます。

最後に、下半期も昨年と同様に皆様方のご理解とご協力を賜りますことをお願いして、新年にあたってのガバナー補佐としてのご挨拶とさせていただきます。

下半期もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ガバナー補佐年頭のご挨拶

第７グループ ガバナー補佐　音成　征彦（大村北ＲＣ）

皆様、あけましておめでとうございます。

それぞれにすがすがしく新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

私もお陰様で元気に71回目の正月を迎えることができました。旧年中はガバナー補佐として大変お世話になりました。声をかけていただいた会議、会合にできる限り出席し、ただ座っているだけのことでしたが、見るもの聞くものみな新鮮で、忙しくはありましたが、とても楽しい半年でした。

一般には、正月は年のはじめですが、ロータリーではまだ折り返し点。もう半年過ぎたのかという気持ちと、まだ半年あるという気持ちが交錯しています。ゴールを意識すると、気が重くなりますのであまり先のことは考えず、ただただ一日一日を淡々と積み上げていきたいと思っています。

さて、私にとって最大の仕事はＩＭの開催です。第７、第８グループ合同のＩＭは今年第７グループの担当で、大村北クラブをホストとし、大村、大村東 両クラブのご協力のもと、現在鋭意準備を進めていただいています。

テーマを「魅力ＵＰロータリー」とし、会員減少というか、増強難というかたちでローカルロータリーの灯に陰りがみえる昨今、現状を分析し、原因を探り、会員増強の前提としてロータリーの魅力の増強、その魅力の発信の方策を真剣に議論し、あとはすべてを忘れて懇親を深めるというＩＭにしたいと思っています。

第７、第８グループの皆様には、２月28日、大村シーハットさくらホールにこぞってお出かけくださいますことをお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

第８グループ ガバナー補佐　千葉まさこ（諫早南ＲＣ）

謹賀新年。今年もよろしくお願いします。ＲＩ創設から１世紀超えても、ポール・ハリスの言葉は常に新鮮です。年頭に当たり、その語録から引用したいと思います。

……

「奉仕は最高の道楽なり」Public service is the best kind of hobby.（This Rotarian Age）
「人間は、通常進歩するという点で、他の動物とは異なります。人間の進歩を長く抑えることのできる唯一のものは、先例です」(1930年、シカゴでのＲＩ国際大会で)
「世界は絶えず変化しています。ですから私たちは世界とともに変わっていく心構えがなければなりません。ロータリー物語は何度も書き替えられなければならないでしょう」(1935年)

……

エボラ出血熱で、日本も大騒ぎです。学生時代、熱帯地方やアフリカ大陸の感染症は、知識として知っていればよく、他山の石、日本にはない疾患と教えられました。日本各地にも、風土病と言われるものがありました。長崎県には、フィラリア病があり、長崎大学医学部には、風土病研究所というものがありました。熱帯医学研究所の前身です。医学的にもアフリカは遠かった時代でした。世界観、国際的交流の視点を平素から持つのは困難なことですが、ロータリー活動を実践していく中で幾らかでもそれを学べます。過去の歴史、現在の課題、未来への展望を担えるロータリー活動となることを、人類の平和と幸福に貢献することを、シカゴに眠るポール・ハリスも、願っていることと思います。

ガバナー補佐年頭のご挨拶

第９グループ ガバナー補佐 **長谷川　宏**（長崎琴海ＲＣ）

新年あけましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって素晴らしい１年になるよう願います。

ガバナー補佐を引き受けて半年が過ぎ、この間、宮﨑清彰ガバナーに同伴した第９グループ、６クラブのガバナー公式訪問、ＲＩ会長代理晩餐会から始まった３日間の地区大会が終わりほっとしているところです。また、５月下旬から始まった各種セミナーでは自分の無知と闘いながら、新たなロータリーの勉強ができた半年でもありました。後半はインターシティーミーティングが控えていますが、担当の長崎北東クラブの皆さんがしっかり計画を立てられているので安心しています。

各クラブを訪問しますとこれからの少子高齢社会におけるロータリー活動の難しさを実感させられることも多くありました。しかし、ポリオの撲滅は目の前です。若くて有望な青少年交換留学生も全世界に出ていき日本をアピールしています。また、アジアの国々からは有能な学生を米山奨学生として日本に招いて日本の理解に貢献しています。ほかにもクラブ独自で海外や国内で活動されているクラブも多くあります。各地区では今年度のスローガン「地域に輝くロータリー」を実践するため、それぞれの催しに多くのロータリアンが中心となり参加、協力して盛り上げています。今までのロータリーの活動は間違っていないと思います。今年１年も元気を持ってロータリー活動に精を出しましょう。そしてこれからもロータリーの考えに沿った活動をしていきましょう。

一人では何もできないけど、一人がしっかりしないと何人集まっても何もできない。このジレンマと闘いながら新しい年の挨拶にします。

第10グループ ガバナー補佐 **植松　俊徳**（長崎中央ＲＣ）

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平成27年の輝かしい新春をお健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は私のロータリー歴から考えても、年齢から考えても、地区内の皆様から「よく引き受けたね」とご心配をおかけした「ガバナー補佐」就任でした。

１月の第１回ガバナー補佐研修会から始まり、地区チームリーダー研修セミナー、ＰＥＴＳ、地区協議会と各研修を受け、緊張感のある数か月でしたが、お蔭様で「ガバナー補佐としての任務」もいくらか理解できた準備期間となり、助かりました。

そしてロータリー年度がスタートした７月以降はクラブ協議会及びガバナー公式訪問と続き、同時に長崎南ＲＣ50周年、長崎西ＲＣ30周年の創立記念行事、更に今期最大の11月の地区大会と、あっという間のロータリー年度の半年間でした。その間、各クラブの会長、幹事の皆様には多大のご協力を頂き、無事終了しました事に心から厚く感謝申し上げます。

新年がロータリー年度の折り返し点となりますが、すぐ２月11日には第９・第10グループのＩＭが、長崎北東ＲＣがホストとなり、長崎出島ＲＣのコ・ホストで開催されます。できるだけ多くの会員の参加をお願いします。更に、地区内では２月に長崎東ＲＣ45周年、５月に福江ＲＣ50周年、最後に６月長崎中央ＲＣ25周年が予定され、今年度を終了します。

最後に、今年一年がロータリアンの皆様にとりまして、良き年でありますよう心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

2014－2015年度 社会奉仕セミナー報告

地区社会奉仕委員会 委員　帯　屋　　徹（大村ＲＣ）

さる12月７日㈰社会奉仕セミナーを東彼杵町総合会館文化ホールに於いて、太田善久ガバナーエレクト並びに９名のガバナー補佐の参加を賜り、各クラブより会長、幹事、社会奉仕理事等130名の参加のもと、開催いたしました。

太田ガバナーエレクトの挨拶に続き坂井智照地区社会奉仕委員長より本年度のＲＩ会長ゲイリーＣ．Ｋ．ホァン氏のテーマ「ロータリーに輝きを　Light Up Rotary」「輝けるロータリーであれば、そのロータリーによる奉仕で世界に輝きをもたらすことができる」について触れられ、社会奉仕を観点に話をされました、その中で亡くなられた俳優の高倉健さんの文化勲章を受けられた時のインタビューに触れ、「私みたいにヤクザ映画ばかり出ていた俳優がいただけるとは夢にも思いませんでした」「長くやっていれば見ていてくれる人がいるものだと思った」、映画俳優として58年、205本の映画に出演した名優の輝きは今、世界中から称賛を受けています。

正にこの姿こそが、我々が見習うべき姿だと、輝きとは伝わっていくものです、しかしそのスピードをコントロールするのは、受け取る側であって、無理に届けるものではありません。例え歩みは遅くとも、きちんと手元に届く「奉仕による輝きを」我々ロータリアンは、目指すべきであるとまとめられました。

その後今年度も昨年度に引き続き、地区補助金を活用した社会奉仕事業について集中的に学ぼうということで、地区補助金を活用した社会奉仕事業を22クラブ（実施済み10クラブ、本年度予定12クラブ）の皆さまに５分程度の意見発表をお願いいたしました。

発表クラブ並びに事業内容は以下の通りです。

前年度実施クラブ

諫早ＲＣ	留学生との国際交流事業
佐賀北ＲＣ	耕作放棄地を畑に帰そう
長崎東ＲＣ	小学生英会話の集い
伊万里ＲＣ	「伊万里観光いろはかるた」市内小学校交流大会
諫早多良見ＲＣ	社福『諫早市手をつなぐ育成会』への遊具の贈呈
佐世保東ＲＣ	佐世保東ＲＣ奨学金の実施（留学大学生に対する）
佐世保ＲＣ	佐世保学園（甦生施設）園生に、ＲＣ会員による卓話
諫早北ＲＣ	幼稚園、保育園、絵本、紙芝居等の贈呈、読み聞かせ
長崎西ＲＣ	児童福祉施設の子供と「自然の中で楽しく遊ぼう」
松浦ＲＣ	松浦市内特別支援学級合同体験学習「海キララ」

本年度計画クラブ

長崎出島ＲＣ	児童養護施設の子供たちに伝統玩具の贈呈と交流
佐世保北ＲＣ	児童養護施設へパソコンの贈呈と教室の開催
福江中央ＲＣ	障害者を手助けするプロジェクト
佐世保中央ＲＣ	広島水害に対する支援バザーと太鼓の演奏
長崎北ＲＣ	児童デイサービス「ゆうゆう」へリハビリ遊具の贈呈
平戸ＲＣ	ハッピースマイル子育て応援事業

長崎ＲＣ　　県子供・女性・障害者支援センターへ教育用グッズ贈呈
大村ＲＣ　　柔道を通じた東日本大震災被害児童（石巻）との交流
島原ＲＣ　　島原特別支援学校の生徒と鍛練歩行「がまだすウォーク」
佐世保南ＲＣ　更生保護施設「白雲」へ洗濯機・掃除機を寄贈
長崎琴海ＲＣ　カンボジア王国ロカブッス村へ灌漑設備設置
長崎中央ＲＣ　ハンドベルクリスマスコンサート・サンタの集い

以上のクラブの意見が発表されました。どのクラブも前向きに社会奉仕に取り組んでおられる姿を感じることができ、とても素晴らしい発表だと思いました。

皆さんも其々の立場において、ロータリアンで良かったという誇りのもと、きっと素晴らしい奉仕活動を行っていただけるものと信じ、またさらなる向上にご期待申し上げます。

国際ロータリー第2740地区クラブ会長　各位

2017～2018 ガバナーノミニー・デジグネート推薦の件

国際ロータリー細則第13.020.4項により、2017～2018年度ガバナーに就任するガバナーノミニー・デジグネート候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2015年３月15日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以てご推薦下さい。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事がその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。

ガバナーノミニー・デジグネートの資格条件は、国際ロータリー細則第15.070項を参照下さい。

ご推薦のない場合は､指名委員会で決定された方がガバナーノミニー･デジグネートになります。

ガバナー　宮　崎　清　彰

第2740地区米山記念奨学委員会　活動報告

米山記念奨学委員会 委員　**大　家　和　義**（小城ＲＣ）

早いもので、今年度の米山記念奨学生も８カ月目を迎えました。今年度は特に、前年度の「地区大会」が４月に平戸市文化会館で開催されており、今年度の「地区大会」は11月に開催されたので、米山奨学生は２回の「地区大会」に参加しました。

大好評であった、前回実施した平戸中学校３年生との「国際交流会」と同様に今年度も「地区大会」初日の11月14日㈮に諫早市内の長崎日大中学校３年生と交流会を開催しました。中学３年生の１組・２組と、ＡＬＴの英語講師を交えての「国際交流会」でした。

今回も11人の米山奨学生の数にあわせて、３～４人の11のグループに分けました。最初の会話のスタートに留学生である米山奨学生の好きな物のクイズを用意し、次に自己紹介を兼ねて自国の案内や、日本に留学をした目的などを話し、交流を深めていきました。

僅かな時間でしたが、長崎日本大学中学・高等学校の野上理事長、力野校長の支援のもと、充実した「交流会」であったことに感謝申し上げます。

米山奨学生は国際交流会を終え、「ＲＩ会長代理歓迎晩餐会」会場にて母国の飲み物で「湯茶接待」を行いました。奨学生は母国の衣装で、晩餐会前のウェイティングルームにおいて各国のお茶でロータリアン、令夫人をもてなしました。

11月15日㈯「地区大会」の本会議場である、諫早文化会館の中ホールにてＡＭ10：00よりの、「青少年のつどい」に全員参加しました。その後半で講師として米山奨学生の大先輩である米山親善大使の尤銘煌（ユー ミンファン）山形大学教授の講話がありました。

米山奨学生は学業・就職活動、さらには社会人として頑張っていくと思いますが、できれば今後、日本と母国を繋ぐ企業に就職してくれることを願っています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

第２回　「市民と留学生のつどい」

諫早西ＲＣ 国際奉仕委員会　**平　　武**

会長：辻本　善樹　　委員長：吉田健一郎

11月１日㈯、２日㈰の２日間、１泊２日で、長崎ウエスレヤン大学、長崎総合科学大学合同で「市民と留学生のつどい」を開催しました。フィリピン、タイ、中国、台湾、ベトナム、韓国、スリランカ、バングラデシュ等８カ国の留学生24名、諫早西ＲＣ会員18名、会員夫人５名、その他栗林ＰＧ、総科大留学生担当者、茶道関係者３名、合計52名が参加しました。第１日目は、「茶道の歴史と茶道の心」を学び、そして実際に「茶道」の体験をしてもらい、別室に戻り各自自己紹介の後、日本語によるスピーチコンテスト（７名）を行いました。スピーチのタイトルは、１．日本を留学先に選んだ理由、２．日本の感想、３．将来の夢の中から選んでスピーチしてもらいました。夜はバーベキューに舌鼓しながらのカラオケ大会で交流を深めました。その後、両校の留学生同士の交流と夜遅くまで話はつきませんでした。２日目は、「島原半島歴史探索」と題し、島原、雲仙巡りをしました。雲仙岳災害記念館では、雲仙普賢岳噴火災害を見て触れて体感し、当時の状況を知ってもらい、島原城では、キリシタン史料や郷土史を見てもらい又「鎧」を着て、思い思いの姿で記念写真を撮り、肌で「侍」を感じ「武士道」にも触れた気分の様でした。昼は、我が西クラブの会員が営んでいるレストラン「まんぷくまん」でお腹いっぱいバイキング料理を食べ、雲仙地獄、キリシタン殉教碑等を巡り、ここでも又日本の歴史を学ぶ事ができました。この２日間、大いに友好を深めた事はもちろん、日本の伝統、文化、歴史を留学生だけでなく、我々ロータリアンも学ぶ事が出来た有意義な２日間でした。次年度は出来れば地区補助金を活用して、もっと発展した事業に出来ればと思います。

コーディネーターニュース12月号『公共イメージ向上のため先進地区に学ぼう』

第3ゾーンＲＰＩＣ　**岩永信昭**　ＡＲＰＩＣ　**伊藤文利**　ＡＲＰＩＣ　**高島凱夫**

コーディネーターニュースとは

今年度８月号のガバナー月信から毎月コーディネーターニュースというコーナーが掲載されている事にお気付きの方も多くおられるかと思います。

これは戦略計画に則ってＲＩ会長から任命されたロータリーコーディネーター（ＲＣ）及び補佐（ＡＲＣ)、ロータリー公共イメージコーディネーター（ＲＰＩＣ）と同補佐（ＡＲＰＩＣ）が持ち回りで最新の情報や担当分野の解説をお示しし、全国のロータリアンの皆様に戦略計画推進の理解の一助となるよう企画されました。これに北清治、杉谷卓紀両ＲＩ理事のご支援により各地区ガバナーにご協力を頂き掲載されているものです。

先進地区に学ぼう

公共イメージ向上と言われても一体何を行なえば良いのか頭を悩ませる事ばかりかと思います。さる11月１～３日第2760地区は昨年度に引き続き、「ワールドフード＋ふれ愛フェスタ」を開催されました。テレビ塔がある名古屋の大通公園一帯に各国の多様な料理で一杯のワゴン車が並び、地元アイドルグループのミニコンサートなどもあり、とにかく楽しいイベントでした。入場者数は約７万人、最終日は「ジャパン・ロータリーデー in愛知」と銘打って行われ、全国から多くのロータリアンが参集しました。このように他地区には模範となる素晴らしい活動があります。今回はほかに第３ゾーン内で顕著な活動を続けている２地区について報告して頂きます。

第2650地区の活動実績　報告者：ＡＲＰＩＣ 伊藤文利

国際ロータリー第2650地区広報・雑誌委員会の役割は……

第１にガバナーの方針を広報すること。第２に地区内ロータリークラブ（97クラブ）の広報活動のお手伝いをすること。第３に地区委員会の広報支援と情報共有の強化であります。広報＝ＰＲとは組織体とその存続を左右するパブリックとの間に、相互に利益をもたらす関係性を構築し、維持するマネジメント機能であることを念頭に、ロータリークラブにおける広報・ＰＲの対象はクラブ会員、ガバナー事務所、地区内クラブ、日本のロータリークラブ、世界のロータリークラブ、政府や地方自治体、環境団体や消費者団体です。単に「広く報じる」だけではなく、ロータリーの奉仕活動の意義、役割をグローバルな視野で発信し、その輪と人を媒体として伝えることを目的にしています。

■ガバナー記者会見実施

奈良・京都・福井・滋賀４府県でのガバナー記者会見を実施し、多くのメディアを通してガバナーの方針やＲＩゲイリーＣ．Ｋ．ホァン会長の方針が報道されました。また地区内ロータリークラブから提出されていました今年度の活動計画シートの一覧を取材に来られた各社に配布し、地元ロータリークラブの活動への理解と広報のご支援をお願いしました。

■地区広報賞受賞の全18クラブの活動ポスター展示

京都駅「烏丸公共地下道」での活動ポスター展を開催。

■WWW（world wide web）の積極的利用

インターネット網を利用した様々なコミュニケーションツール（ホームページ、フェイスブック、ライン、ツイッター等々）は、ロータリークラブと外部との接点として、重要なものとして捉え、積極的な導入を行っています。

■新ヴィジュアルアイデンティティ（ＶＩ）の積極導入と導入支援

■「RID2650 Rotary Dining2014－2015」

地区内ロータリアンが経営・運営に携わる「食」に関する店舗、会社を紹介する本（ホームページも制作）です。この情報本を介して地域社会を初め、国内外の一般の方々に「ロータリーの活動」を広報する事を目的に企画しました。発刊は2015年２月を予定。　**文責：第2650地区広報・雑誌委員長　中谷裕二良**

ＲＩＤ2660における「公共イメージ向上」活動について　報告者：ＡＲＰＩＣ 高島凱夫

ＲＩ第2660地区では、ここ約６年間ＲＩ公共イメージ補助金を受領することが出来ていることに加え、地区予算の中に「ＲＩ会長・地区ガバナー協調事業費」を設け、地区内での「公共イメージの向上」を図るべく活動費用を予算化することで、スムースな広報活動を行っている。

2011～2012年度には、前年度から引き継いだ「感染症ポリオ　残りの１％の闘い」のＤＶＤを作成、テレビ大阪（放送対象地域・大阪府）を通じ放映を行った。

2012～2013年度には、８月にＪＲ大阪駅（東口・西口）の電子公告媒体を用い「End Polio Now」の画像を含め地区内各クラブの奉仕活動の画像を掲示した。翌１月にも同様の掲示を行った（８月の反省から各場面の掲示時間延長を図った）。

2013～2014年度は、10月の世界ポリオデーに合わせ、前出のテレビ大阪を通じ「ポリオ撲滅運動」へのロータリーの取り組みの広報活動を行った。

2008～2009年度から、ラジオ大阪（放送対象地域・近畿広域圏）において「あなたのそばにロータリー」（年間10回、10分程度）を放送。ＤＧＥ、ＡＧ、地区代表幹事、地区委員長などが出演することが習わしになっている。特に８地域のＡＧは、輩出地域に密着したロータリーの話題を提供している。昨年度は、初めて放送を聴いたリスナーから地区宛に「ポリオ撲滅のために」と寄付金が届いたという嬉しい出来事もあった。

ＪＲ大阪駅電光掲示板

「ロータリーの友」だより

「ロータリーの友」地区代表委員　**杉　原　宏　一**（諫早北ＲＣ）

この記事が皆さんの目に入るのは、年明けになると思いますが、12月号の記事の中から第2740地区に関わる記事をご紹介します。

◎特集　家族月間「共にロータリーで」
「二人で歩むロータリーの道」（12頁）

当2740地区第８グループの千葉まさこガバナー補佐（諫早南ＲＣ）・千葉憲哉諫早北ＲＣ会長ご夫妻の紹介記事が掲載されました。グループ内では大きな話題となっていますが、地区内の皆さんもご夫婦の貴重な感想などをあらためてご覧下されば幸いです。

この特集では日本国内15組の夫婦会員の紹介が載りました。今後のロータリーの新しい姿が見えるような気がします。

二人で歩むロータリーの道

―― 夫婦で共にロータリアン ――

12月は家族月間。黄其光国際ロータリー会長は、配偶者をロータリークラブ（ＲＣ）に入会させることの意義を繰り返し訴えています。すでに夫婦で会員となっている方々は、どのように考えているのでしょうか？　良かったこと、困ったこと……、伺いました。

千葉　憲哉　諫早北ＲＣ（救急病院）

妻とともに会員になって良かったのは、何よりも会話が増えたこと。お互い、ロータリーのことなどを話題にしています。夫婦二人暮らしで、妻が夜間例会の時などは一人になりますから、妻の所属クラブの例会に出席することがたびたびあります。また、妻のクラブの奉仕活動に、送迎のついでに参加したこともあります。そこではとても歓迎され、準会員？　として扱ってくれ、多くの行事に案内をくれます。私たちを通じてクラブ同士の交流が深まり、仲間が増え、ロータリーがさらに楽しくなる。夫婦会員の良さはここにあり！　と言えます。

今年度は、私の所属クラブからガバナーが出ましたが、妻がガバナー補佐となりました。私たちは二人とも医師。これまでは家庭と医療の話が主でしたが、今年度は話題ががらりと変わりました。妻はガバナー補佐としてロータリーについてよく勉強しており、ロータリーについての話をしてくれます。

また、クラブ協議会や公式訪問では指導いただく立場となり、クラブの面々は興味津々。その日が来るのが恐ろしくてたまりませんでした。一方で、他クラブを訪問した際など、妻の話題にもなりますので、友達が急に増え、地区全体が自分のクラブになったような感じです。

しかし、経験から言えば、ロータリーにおける夫婦の立場の逆転は、1年で十分です。　（第2740地区　長崎県）

千葉まさこ　諫早南ＲＣ（介護老人保健施設）

14年前、知人の勧めで諫早南ＲＣに入会。当時、夫は諫早北ＲＣに入会して10年目だった。今年度、なぜか私がガバナー補佐、夫は諫早北ＲＣの会長に就任した。

諫早北ＲＣのクラブ協議会にガバナー補佐として出席。始まる前から、皆さんにこにこ。始まると、ビジター紹介から笑いが絶えない。会長の時間。一言話すたびにどっと笑い声。その笑い声に温かみがある。全員に笑顔が増えたのは間違いなく、ロータリーの"友情"に貢献したことになる。素晴らしいクラブだが緊張して、ガバナー補佐の所感で、意を尽くせなかった。家に帰って、夫から「もう少し褒めてほしかったのに。みんな、報告書の作り直しに頑張ったんだから」と言われた。謝ったが後の祭り。「公式訪問の折に褒めましょう」と、後で宮﨑清彰ガバナー（諫早北ＲＣ）が助け舟を出してくれた。

会員増強のために女性の入会が推奨されるようになり、ロータリアンの夫人も入会を！　と勧められている。しかし、妻が入れば年会費は２倍になるし、経済的負担が大きい。これはデメリット。一方、今回の経験では、女性のガバナー補佐ではあったが、公式訪問などでは非常に温かく迎えていただき、女性への先入観も偏見も感じなかった。グループ内に知人が多く、緊張感はあったが、リラックスできた。陰でバックアップしてくれたであろう夫の存在にも今になって気付き、感謝している。

（第2740地区　長崎県）

千葉憲哉（後方中央）・まさこ（同右）夫妻

◎バナー自慢（68頁）
「佐世保北ＲＣ」

佐世保北ＲＣのバナーが紹介されています。

九十九島のみどり、空の青、海の碧という佐世保の海と空が、世界の海と空へつながっていくという理想が記されているバナーです。

◎ＲＯＴＡＲＹ掲示板（45頁）
「新インターアクトクラブ・純心女子高等学校」

先般の地区大会で認証された、地区内21番目のインターアクトクラブとして誕生した純心女子高等学校ＩＡＣの内容が紹介されています。

尚、１月号には「心は共に・東日本大震災」の欄に、諫早北ＲＣと鎮西学院高校ＩＡＣが行った「絆を強める平和祈念のスポーツ交流」の記事が掲載される予定です。

2014年10月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	86.2	58	0	63	0	1	0	1	5
	小城	5	76.0	19	2	21	2	2	0	2	2
	牛津	4	81.6	28	0	30	0	0	0	0	2
	多久	5	84.3	36	6	41	6	0	0	0	5
	佐賀大和	4	66.3	24	3	23	3	0	0	0	−1
	小計		78.9	165	11	178	11	3	0	3	13
第2グループ	佐賀西	3	91.0	39	0	40	0	0	0	0	1
	佐賀北	4	72.2	41	3	41	3	1	1	0	0
	佐賀南	4	87.4	36	2	38	2	2	0	2	2
	神埼	4	91.9	36	3	37	3	0	0	0	1
	佐賀空港	4	76.0	15	1	16	1	1	0	1	1
	小計		83.7	167	9	172	9	4	1	3	5
第3グループ	有田	4	71.0	33	0	34	0	0	0	0	1
	武雄	3	94.2	52	4	52	4	0	0	0	0
	鹿島	4	91.4	44	3	42	3	0	0	0	−2
	嬉野	4	88.5	24	1	24	1	0	0	0	0
	大町	5	75.0	15	0	16	0	0	1	−1	1
	白石	5	74.3	8	0	7	0	0	0	0	−1
	太良	5	94.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		84.1	186	8	185	8	0	1	−1	−1
第4グループ	唐津	4	88.4	55	0	56	0	0	0	0	1
	伊万里	4	94.9	27	0	29	0	0	0	0	2
	唐津東	4	80.4	53	0	55	0	0	0	0	2
	唐津西	5	90.8	30	0	32	0	0	0	0	2
	伊万里西	5	89.7	45	0	44	0	0	1	−1	−1
	唐津中央	4	81.6	32	4	34	4	2	0	2	2
	小計		87.6	242	4	250	4	2	1	1	8
第5グループ	佐世保	5	100.0	74	0	76	0	0	1	−1	2
	平戸	4	82.2	39	4	39	4	1	1	0	0
	佐世保西	4	90.2	22	1	24	2	0	0	0	2
	北松浦	4	97.9	24	0	24	0	0	0	0	0
	松浦	5	90.8	26	1	26	1	0	0	0	0
	小計		92.2	185	6	189	7	1	2	−1	4
第6グループ	佐世保南	5	99.7	73	1	77	1	1	0	1	4
	佐世保東	4	96.6	23	0	23	0	0	0	0	0
	佐世保北	3	98.4	43	0	44	0	0	0	0	1
	佐世保中央	5	100.0	43	1	45	1	0	0	0	2
	佐世保東南	5	82.1	21	0	19	0	0	0	0	−2
	HTB佐世保	4	86.2	20	3	21	3	0	0	0	1
	小計		93.8	223	5	229	5	1	0	1	6
第7グループ	大村	4	87.3	48	3	49	3	0	0	0	1
	島原	4	70.3	27	2	26	2	0	0	0	−1
	雲仙	4	92.0	28	1	28	1	0	0	0	0
	大村北	5	100.0	23	0	24	1	1	0	1	1
	島原南	4	67.5	21	1	23	1	0	0	0	2
	大村東	3	86.5	41	4	39	4	0	0	0	−2
	小計		83.9	188	11	189	12	1	0	1	1
第8グループ	諫早	5	80.1	63	0	65	0	0	0	0	2
	諫早北	4	79.2	66	3	65	3	0	0	0	−1
	諫早西	4	90.1	38	0	39	0	0	0	0	1
	諫早多良見	4	85.5	40	0	38	0	0	0	0	−2
	諫早南	3	90.3	24	4	24	4	0	0	0	0
	小計		85.0	231	7	231	7	0	0	0	0
第9グループ	長崎	4	83.7	82	0	87	0	0	1	−1	5
	福江	5	91.4	34	0	36	0	0	0	0	2
	長崎北東	4	84.4	38	5	39	5	0	0	0	1
	福江中央	4	94.2	26	0	28	0	0	0	0	2
	長崎西	4	78.7	56	0	58	0	0	1	−1	2
	長崎琴海	5	62.5	16	1	16	1	0	0	0	0
	小計		82.5	252	6	264	6	0	2	−2	12
第10グループ	長崎北	3	74.4	78	0	80	0	0	0	0	2
	長崎南	4	77.8	76	0	78	0	0	0	0	2
	長崎東	4	83.1	44	1	48	4	0	0	0	4
	長崎みなと	3	84.9	23	1	26	1	3	0	3	3
	長崎中央	3	93.7	61	0	60	0	0	0	0	−1
	長崎出島	4	84.0	55	11	55	12	1	1	0	0
	小計		83.0	337	13	347	17	4	1	3	10
57クラブ合計			85.5	2,176	80	2,234	86	16	8	8	58

＊上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から2014年10月末までの増減です。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。　※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

佐賀ＲＣ
並川　　徹 君
野村證券㈱佐賀支店
支店長

佐賀ＲＣ
南部　松平 君
佐賀スズライト販売㈱
代表取締役

佐賀北ＲＣ
森　　正宏 君
㈲宮地建設
代表取締役社長

佐賀南ＲＣ
櫻田　康則 君
焼山法律事務所
弁護士

佐賀南ＲＣ
本多　知行 君
耀光リハビリテーション病院
リハビリテーション科 診療部長

唐津中央ＲＣ
大西　康之 君
㈱キャス企画設計佐賀支店
取締役支店長

唐津中央ＲＣ
中山　　亘 君
㈱グロー
代表取締役

佐世保西ＲＣ
門田　治男 君
門田建設㈱
代表取締役

大村北ＲＣ
上戸ロサリンダ 君
トータルヘルス＆ビューティセンター
ベリッシマ　マネージャー

長崎みなとＲＣ
大坪　　進 君
㈱長崎新生活センター
取締役 管理本部長

長崎みなとＲＣ
樋上　修久 君
㈲ワコー紙業
代表取締役

長崎みなとＲＣ
加悦　明良 君
㈱小島工作所
代表取締役

長崎出島ＲＣ
平坂　治子 君
平坂製薬㈱
代表取締役

物　故　者

謹んでお悔やみ申し上げます。

長崎ＲＣ
竹内　　榮 君
（享年86歳）

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル・ポール･ハリス･フェロー	岩　崎　修　一	諫 早 北
ポール･ハリス･フェロー	村　上　　伸	唐 津 東
	松　本　芳　喜	平　　戸
	宮　地　　学	佐世保南
	原　田　典　範	諫 早 西

米山記念奨学会

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	西　沢　　茂	佐世保北
	福　田　俊　郎	佐世保北
	永　田　武　義	佐世保北
マルチプル	山　下　尚　登	佐 世 保

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル	幸　良　秋　夫	佐 世 保
	相　良　紘一郎	佐世保南
	林　田　市　也	佐世保東
	湯　口　純　二	佐世保北
	富　田　耕　司	佐世保北
	神之浦　　潔	福江中央
	中　嶋　久　光	長 崎 北
功労者	井　上　猛　雄	唐 津 東
	佐　伯　岳　歩	唐 津 東
	佐々木　義　文	唐津中央
	金　澤　　一	佐世保東
	中　村　静　生	佐世保北
	池　松　和　彦	諫 早 西
	平　　武	諫 早 西

文庫通信 (327号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

古典文献より（３）

◎「ロータリー感想」 佐藤昌介　1933　2p（札幌ロータリアン第１号）
◎「ガバナース、マンスリ、レター」 井坂 孝　D.70　1933　9p（第８号）
◎「何故にロータリーを疑ふ」 村田省蔵　D.70　1933　3p（ガバナー月報第６信）
◎「伊達にはつけぬ襟のバッヂ」 村田省蔵　D.70　1934　1p（ガバナー月報第７信）
◎「米山長老の大演説」 米山梅吉　D.70　1937　3p（ロータリー月報第４報）
◎「戦争と宣伝」 米山梅吉　D.70　1937　5p（国際ロータリー月報11月号）
◎「僕はロータリーをヤメぬ」 D.70　1937　1p（国際ロータリー月報11月号）
◎「村田元ガバナーに『非常時ロータリアンの覚悟』を聞く」 一記者　D.70　1937　4p（国際ロータリー月報12月号）
◎「ロータリー倶楽部を善用せよ」 廣田弘毅　D.70　1938　2p（国際ロータリー月報４月号）
◎「ロータリーとは何ぞや―某大官に対してロータリーを説明す」 D.70　1938　2p（国際ロータリー月報４月号）
◎「ロータリー精神の積極的発揚」 里見純吉　D.70　1938　2p（国際ロータリー月報５月号）
◎「日満ロータリー解散文書」米山梅吉　1940　3p（郡山R.C.35年史）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区　宮﨑清彰ガバナーと行く

2015年ブラジル・サンパウロ国際大会参加旅行のご案内

“サンパウロ・サントス・世界遺産イグアスの滝９日間”

日次	月日	地　名	交通機関	行　程	朝	昼	夕
1	6月3日（水）	福岡空港 仁川空港 （ロサンゼルス）	KE790 KE061	・福岡空港（16:25発）大韓航空で仁川空港乗り換えサンパウロへ ＜日付変更線通過＞ （*16:45～19:00　ロサンゼルス空港に駐機）　機中(泊)	×	×	機内
2	6月4日（木）	サンパウロ	専用車	・サンパウロ　ガァルーリョス空港到着（10:40着） サンパウロ(泊)	機内	○	○
3	6月5日（金）	サンパウロ サントス サンパウロ	専用車	**◎ブラジル最大の貿易港・サントス日帰り観光** サンパウロ(泊)	○	○	○
4	6月6日（土）	サンパウロ イグアス	専用車 国内線	**●サンパウロ国際大会参加** **◎サンパウロ市内観光**　・国内線でイグアスへ イグアス(泊)	○	○	○
5	6月7日（日）	イグアス	専用車	**◎世界遺産「イグアスの滝」観光** *アルゼンチン側から見学。トロッコ列車に乗り、展望台『悪魔ののど笛へ』 イグアス(泊)	○	○	○
6	6月8日（月）	イグアス サンパウロ	専用車 国内線	**◎世界遺産「イグアスの滝」観光** *ブラジル側から見学。迫力満点の『ボートツアー』にご案内 ・国内線でサンパウロへ　サンパウロ(泊)	○	○	○
7	6月9日（火）	サンパウロ （ロサンゼルス）	KE062	・大韓航空で帰国の途へ（13:25発） （*21:55～23:55　ロサンゼルス空港に駐機） ＜日付変更線通過＞ 機中(泊)	○	○	機内
8	6月10日（水）	（航空機移動） 機中(泊)			機内	機内	機内
9	6月11日（木）	仁川空港 福岡空港	KE787	・仁川空港到着（05:05着）、乗換えて福岡空港へ（09:20着）	機内	×	×

□基本ご旅行代金（エコノミークラス利用、2名1室利用）　630，000円～690，000円（予定）

・最少催行人員15名（添乗員同行）
・利用予定ホテル　＜サンパウロ＞　ニッケイパレス又は同等クラス、
　＜イグアス＞　コンチネンタルイン又は同等クラス
・費用に含まれるもの
　行程中に記載した交通費、宿泊費、観光施設の入場料、食事代
・費用に含まれないもの
　空港税・燃油サーチャージ・ビザ代金（約85，000円）、大会登録料、その他個人的性質の諸費用
　個室利用追加料金　　約70，000円
　大会登録料　~~第1期（12月上旬締切）325USD~~　　第2期（3月末締切）375USD
　◎国際線区間ビジネスクラスのご利用は約630，000円の追加料金が予想されます。（現在交渉中）
※旅行申込様式及び国際大会登録申込様式・国際大会の行事は別途各クラブ宛てにご案内いたします。
・国際大会の登録は入場時間を同じくするためにガバナー事務所で一括で行います。
　別のコースでお申し込みの方も参加登録の受付を行いますのでガバナー事務所までご連絡ください。
・為替レートや燃油サーチャージの変更、現地滞在費の変更により旅行代金が変更になる場合があります。

★参加申込みは第2740地区ガバナー事務所までお願いします。第2期申込期限　3月20日（金）

・旅行申込み・国際大会登録に関してのお問い合わせは第2740地区ガバナー事務所までお願いします。

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

「倉屋敷川、水清し」

稲作に欠かせぬものは先ず水であろう。田園地帯であった諫早の街では、本明川本流から農耕用の水を確保するのに、種々利水事業がなされていた。

倉屋敷川という、如何にも古風な呼び名のこの川は、山下淵の堰から取水用の水門を通り、市内を縦横に走り貫ける。その先で穀倉地帯である諫早平野をくまなく灌流し、秋には豊かな実りをもたらすのである。

疎水なるがゆえに、人間が考える水路設計によりその流れは自在に作り替えられ、水の浸食作用によって極自然につくられた川とは、その趣を異にする。例えば、水路の途中に備えられた水門によって、水の運命は直角に曲げられることも、また永遠に合流することもなく左右に引き離されることもある。

平成十八年三月十六日、朝のＮＨＫの番組を聞いていた時、倉屋敷川が日本疎水百選に選ばれたことを報じていた。

自分自身が受賞したかのごとく歓びにみたされたことを思い出す。

通称、馬川の水門

春風も心地よく

山下淵の取水口に導かれ

編集後記：新年あけましておめでとうございます。

いよいよロータリーも下半期に入りましたが、ガバナー補佐、各委員長さんには折に触れて、記事や報告など執筆のお願いばかりで申し訳なく存じます。お陰様で月信の発刊は遅滞なく経過しており、ご協力に感謝いたします。

季節は厳寒期に入り、日暮れも早く夜は長いし、心なしか気持ちも晴れません。会員の皆様をぱっと明るくするような記事や話題がありましたら、どしどし投稿をお願い致します。

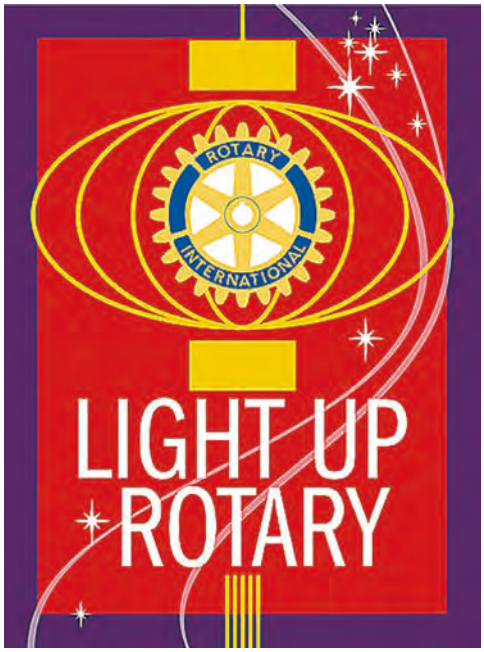
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮崎　清彰

Vol.8
2015.2.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

雪の朝、眼鏡橋

南国九州では滅多に雪は降らない。それ故、雪の朝は童心に還り気持ちが高揚している。それは雪景色を誰より早く写真に撮りたいからで、長靴に防寒服と準備を整え現地に向かう。カメラを手にした先客と出会うこともある。静寂と純白無垢の世界、見慣れた景色もこの日ばかりは新鮮そのものである。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
ロータリー財団地域セミナー報告……3
青少年交換来日学生地区旅行記……4
コーディネーターニュース１月号……6
「ロータリーの友」だより ……7
ロータリー誕生、２月23日に寄せて……9
2014年11月会員数・出席報告……10
新入会員紹介……11
寄付者紹介……12
ロータリー文庫通信……13
2015年ブラジル・サンパウロ国際大会参加旅行のご案内……14
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

「地区大会を終えて」

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　﨑　清　彰

多くのロータリアンの皆様から「無事地区大会が大盛会に終わって良かったね」とねぎらいの言葉をいただき「もう役目は終わった様なもの」とよく言われる。

本人は残り半年を無事、元気に無理せず、あせらず、ゆっくりロータリーを楽しみながらガバナーとしての役目を務めていきたいと思う、今日この頃です。

地区大会記念講演の話の中で教育勅語の話があった。私も戦後生まれで直接教育を受けたわけでもなく子供の頃、多くの大人が話をしているのは聞いた事があった。

ＲＩ会長代理賴正成（Wood）さんご夫妻を空港に送る途中、Vikyさん（奥様）が太宰府の紅葉を見たいという事で太宰府天満宮に向かった。多くの観光客がいた。紅葉には少し早かったが、本人はとても喜んで大満足の様子だった。参拝を終え、たまたま平成27年天満宮歴があったのでもらって帰った。ページをめくると教育勅語の口語文訳があったので引用しました。（Ｐ33－34）

「私は私達の祖先が、遠大な理想のもとに道義国家の実現をめざして、日本の国をおはじめになったものと信じます。そして国民は忠孝両全の道を完うして、全国民が心を合わせて努力した結果、今日に至るまで、美事な成果をあげて参りましたことは、もとより日本のすぐれた国柄の賜物といわなければなりませんが、私の教育の根本もまた、道義立国の達成にあると信じます。

国民の皆さんは、子は親に孝養をつくし、兄弟、姉妹はたがいに力を合わせて助け合い、夫婦は仲むつまじく解け合い、友人は胸襟を開いて信じあい、そして自分の言動をつつしみ、全ての人々に愛の手をさしのべ、学問を怠らず、職業に専念し、知識を養い、人格をみがき、さらに進んで社会公共のために貢献し、また法律や秩序を守ることは勿論のこと、非常事態の発生の場合は、真心をささげて、国の平和と安全に奉仕しなければなりません。そしてこれらのことは、善良な国民としての当然のつとめであるばかりでなく、また私達の祖先が今日まで身をもって示し残された伝統的美風を、更にいっそう明らかにすることでもあります。このような国民の歩むべき道は、祖先の教訓として私達祖先の守らなければならないところであると共に、この教えは昔も今も変わらぬ正しい道であり、また日本ばかりでなく、外国に行っても、まちがいのない道でありますから、私もまた国民の皆さんとともに父祖の教えを胸に抱いて、立派な日本人となるように、心から念願するものであります。

―国民道徳協会訳文による―

教育勅語の12徳目

1．孝行	2．友愛	3．夫婦ノ和	4．盟友ノ信	5．謙遜	6．博愛
7．修学習業	8．智能啓発	9．徳器成就	10．公益世務	11．遵法	12．義勇

明治42年文部省は英語訳、漢語訳（中国語）、フランス語訳、ドイツ語訳を完成し現在でも諸外国の学校教育の指導方針の中には、この勅語の内容が多分に取り入れられておりますと記してありました。

戦後70年たった今、学習する気持ちを常に持ち明るい希望の持てる社会になってほしいと思います。

2015年２月23日はシカゴでロータリーが発足して110年の歴史を刻む日となります。最も多く奉仕するものは最も多く報われるというロータリーの精神に基づき、もう一度改めて原点を見直す機会だと思います。国際理解、親善、平和を推進し世界中の人々が相互に助け合い戦争のない世界に到達出来るように念ずる日でもあります。

ロータリー財団地域セミナー報告

地区ロータリー財団委員長　**山　田　　晃**（長崎南ＲＣ）

11月25日㈫にＲＲＦＣ主催でロータリー財団地域セミナーが東京お台場で開催され、各地区から約280名が参加し、ロータリー財団の最新情報や学友の活動の報告などが行われました。ＲＩ会長ゲイリー･Ｃ･Ｋ・ホァン氏、ロータリー財団管理委員長ジョン・ケニー氏、元ＲＩ会長田中作次氏らも出席し、日本のロータリー活動に対する世界の期待がうかがわれました。

また、ＵＮＩＣＥＦ東京事務所代表の平林国彦様にもご出席いただき、ポリオ根絶の実現に向けて最後まで手を緩めずに活動を継続することの重要性などが強調されました。

当地区からは、宮﨑ガバナー、岩永パストガバナー、太田ガバナーエレクト、西川補助金委員長、私山田が参加させていただき、終日研修を受けてきました。

朝10時に始まったセミナーは、昼食をはさみ17時まで行われ、ロータリー財団の現況、今後の展開、最新情報、第2770地区ＶＴＴ事業、第2750地区奨学事業、財団学友の報告、オープンフォーラム（質疑応答）とつづき、ロータリアンの熱気のこもったセミナー会場は、寝息を立てるものもなく、セミナーは進んでいきました。

毎年、２～３回東京での財団関連セミナーに出席させていただいていますが、その都度、新しい発見、新しい知識、気づきを与えていただいています。今年は特に、未来の夢計画初年度を終え見直しがなされ、大きな変更（青少年事業・建築・増築→地区補助金）があり、ますます地元に密着した事業、グローバルな事業ともに取り組みやすくなったと感じました。

本セミナーで学んだことを、地区にフィードバックすべく、西川補助金委員長ともども頑張ってまいりますので、よろしくお願いします。

次回は、６月に山形において国内34地区のロータリー財団委員長会議が開催される予定です。財団スペシャリストの会合で、どのようなことを学べるのか、今から楽しみです。

青少年交換来日学生地区旅行記

国際青少年交換委員会委員長　**佐　古　亮　景**（大村北ＲＣ）

今年度は、アメリカより、Elizabeth（イリノイ州 6490地区―諫早北ＲＣ）、Sarah（ノースカロライナ州 7670地区―諫早多良見ＲＣ）、Parker（アーカンサス州 6110地区―神埼ＲＣ）、の３名が来日し、イタリアよりSilvia（ローマ 2080地区―武雄ＲＣ）の１名が来日。

１月に来日したオーストラリアのNick（シドニー 9685地区―長崎出島ＲＣ）、Jack（ヴィクトリア州 9790地区―佐世保南ＲＣ）の２名を加え６名の来日学生が、来日しております。

この６名と10月７日～８日に長崎の伝統のお祭り「長崎くんち」に行って参りました。福岡第2700地区より７名の来日学生、Rotex１名、川口委員長。第2730地区より来日学生３名、米丸副委員長が参加され、我々も６名に加え、梶原委員と佐古の８名が加わり21名で観覧致しました。

昼に集合し昼食を取り、その後原爆資料館に行き、原爆資料等を見、又原爆の悲惨さを被爆体験者から英語で話して下さり、それを拝聴、平和公園像の前で記念撮影、福岡の学生が折り鶴を持って来ていたので、鶴を奉納して、「くんち」見学へと向かいました。

興善町の本踊り。八幡町の山伏道中、剣舞、祝い船の中から鳩が飛び出したり、引き回しをし、迫力がありました。万才町の本踊りは、シンセサイザー等を使った伝統と現在の融和を行った踊りでした。

次に銀屋町の鯱太鼓、山車　鯱を龍にさせる様に山車を放り上げ、迫力満点でした。

次に五島町の龍踊り、青龍、白龍の迫力ある龍踊りを見、学生達も迫力に押されて「もってこい」の掛け声を掛けていました。

麹町の川船、漁師の投網の中に鯉が沢山入り大漁で拍手喝采でした。それに川船を勇壮に回し迫力がありました。

最後に西浜町の龍船が出ました。大きさに圧倒され、それを引き回し、龍の口より白煙を出していました。迫力満点でした。

今年もどの踊り町も素晴らしく、留学生たちは、長崎の伝統の「くんち」を堪能しておりました。８日は自由行動で、御旅所を参拝してから、長崎の見学、買い物を自由に楽しんでおりました。

11月２日～４日まで、５名（Jack―佐世保南ＲＣ 不参加）の学生と地区委員のEarly君と佐古の７名で佐賀の伝統ある祭りの「唐津くんち」を見学して来ました。

藤山委員のお世話で、２日の宵山を見学、唐津のインターアクトの生徒と交流をしました。曳山は、赤獅子、青獅子、亀と浦島太郎、源義経の兜、鯛、鳳凰丸、飛龍、金獅子、武田信玄の兜、上杉謙信の兜、酒天童子と源頼光の兜、珠取獅子、鯱、七宝丸の順での巡行でした。それぞれ小さな子供から大人まで100人以上の人で曳いて巡行し、時には駆け足で素早く曳山を引いていました。少し寒くて大変でしたが、曳山の迫力を堪能しました。

３日は快晴の中、巡行を見学しました。どの曳山も太陽の光を受けキラキラ輝き、夜とちがった迫力でした、唐津神社参拝後、西の浜御旅所に移動、砂地の御旅所に１トン以上ある曳山を一致協力して順番に引き入れ、それぞれの曳山の力と腕の見せ所で、迫力満点でした。

この時アメリカ大使のケネディ夫妻が御旅所にいらっしゃいました。

この後唐津城を見学し、唐津市内を一望しました。

食事も堪能させて頂きました。大魚のアラの煮つけ等素晴らしい食事を振る舞って頂き、留学生は、今まで食べた事の無い物を食べたりして、大変良い経験をさせて頂きました。
唐津ＲＣのみなさんに大変お世話になり、感謝いたします。

第2740地区の長崎・佐賀の伝統ある「祭り」を留学生は、堪能し、第2740地区の素晴らしさ、日本の伝統の素晴らしさを感じた両「くんち」体験でした。

又12月12日～13日に掛けて、鹿児島に第2730地区の招待で行ってきました。
長崎くんち以来九州の来日学生が集合し、話が弾んでいました。先ず鹿児島藩士がイギリス等に留学し、活躍した幕末の歴史を学び、知覧に行きました。武家屋敷で昼食を堪能して、知覧特攻平和会館で、第二次大戦における知覧特攻の歴史を英語で話を聞き、資料を見学しました。戦争の悲惨さを知らない学生にとっても、長崎では原爆の悲惨さを学び、特攻という戦争の悲惨な出来事を学ぶ事が出来、貴重な体験をしたと思います。

その後宿がある桜島に移動し、第2730地区のガバナーの歓迎を受けました。鹿児島黒豚しゃぶを堪能し、カラオケで遅くまで歌っていました。
13日は、桜島の山頂が雪で覆われ、めずらしい景色を楽しみ、展望所に向かい、桜島の雪景色と虹に覆われた鹿児島市の素晴らしい眺望を堪能し、島津家19代久光が別邸として造った仙巌園に行きました。尚古集成館を見学、又桜島を借景とした風景を楽しみ、別邸の中を見学し、お茶の持て成しを受け、昼食を頂き、鹿児島中央駅にて解散しました。九州の素晴らしい所を学生達は、体験出来ました。

次は、５月にJapan Tour としての、大阪・京都・東京の旅行が待っています。

コーディネーターニュース2015年１月号『「ＲＩ戦略計画」から「クラブの戦略計画」へ』

第２ゾーンＲＣ　**金　杉　　誠**

2014年３月に国際ロータリーはロータリアン67,000人に対してＲＩ戦略計画に関するアンケート調査を実施いたしました。その結果ＲＩ戦略計画への支持は極めて高く、又地区やクラブで戦略計画を立てる必要性に対しても97％のロータリアンが賛成をしております。一方クラブで戦略計画があるという回答は45％となっておりますが、さて皆様方のクラブは如何でしょうか？　私が実際に各地区の研修に呼ばれた時の感触では、クラブで戦略計画を立てて実行しているクラブは未だほんの一握りではないでしょうか？「又ＲＩが難しいことを言ってきたな、ここは少し様子を見て」と言ったところではないでしょうか？

戦略計画は皆様方の為のものです。ロータリーという組織は本質的に分権的なもの、即ち各クラブが自由に運営できる部分が非常に多い。それはそれでよいことだと思いますが、一方クラブにすべてを任せると単年度主義の弊害というものも目立ってきたように思われます。自分が会長の１年間頑張ればよい、前例踏襲を由とする文化です。これがもし営利企業であったら如何でしょうか？　売り上げが３分の２に減ったら何かしかるべき対策を立てるのではないでしょうか？　それも長期的な方向性を。皆様方が本当にロータリーを好きならば（そう信じていますが）是非立ち上がって頂きたいのです。現実に先ほどのアンケート調査でも戦略計画を持っているクラブのほうが、そうでないクラブよりも会員満足度が16％も良いという結果が出ております。もちろんロータリーの性質から言って決して強制しているわけではありません。問題が多いと感じたらこうしたら如何ですかとのご提案です。

ＲＩ戦略計画は120万人のロータリアンの為のものです。皆様方のクラブに同じようなものを求めているのではありません。10人のクラブや100人を超えるクラブ、地方のクラブや都会のクラブ、全部同じようなものを作る必要は全くないのです。時々「戦略計画立案ガイド」が使い難いという声も聞きますが、それは参考にする程度で十分です。大切なことはクラブのメンバー全員が参加して、皆平等な立場で前向きな声を収集するということです。又良く時間がないと言う声も聞きます。例会の時間を使えば良いのではないでしょうか？何も例会の時間は卓話を聞かなければいけないという決まりなんかありません。自分たちのクラブを少しでも良くするために、皆で話し合いをしたほうが時にはよほど盛り上がるのではないでしょうか？

戦略計画策定にあたってのポイントを私なりに考えますと会員増強計画は外せないと思います。組織改革や無理のない広報計画、クラブによっては合併あるいは新クラブの設立も必要かもしれません。奉仕活動の現状と将来、例会の柔軟性の確保や経費の見直し、リーダーシップ研修等々。もちろん全部網羅する必要などないのです。肝心なことは形式ではなく、自分たちのクラブがより良くなるための方策を皆で良く膝を交えて話し合って頂きたい、そしてどんなに簡単でもよいからそれをまとめれば立派な戦略計画だと思います。

「ロータリーの友」だより

「ロータリーの友」地区代表委員　**杉　原　宏　一**（諫早北ＲＣ）

世の中の暦は新年を迎え、新しい年を歩き始めましたが、ロータリー歴ではいよいよ2014－2015年度の後半折り返しの時となりました。

「ロータリーの友」も皆様の活動の源泉となることが出来ればと願います。１月号から、いくつかの地区発信の記事をご紹介します。既に先月のことになっていると思いますが、興味を向けてもらってもう一度開いてみていただければ幸いです。又、このところ当2740地区からの投稿が少し少なくなっているような気がしますので、皆さん奮って色々な分野にチャレンジ、投稿していただきたいと思います。

◎特集「ロータリー理解推進月間」

“ロータリーを知って情報発信”（８頁～12頁）

佐世保北ＲＣの中井康晴幹事の「Facebook管理でよりロータリーが身近に」（10頁）が掲載されています。佐世保北ＲＣではインターネットでの情報発信として、従来のホームページに加えてFacebookを開設して３年目に入っているということです。担当者はほぼ毎日の記事集めに苦労されているようですが、全国のFacebookを利用するロータリアンとの交流を通して各地区、各クラブの情報を入手することが出来て、新しいロータリーの情報伝達に大いに生かされており、今後の活動に大きな力となっていくであろうと期待されています。

◎「心は共に―東日本大震災」（27頁～29頁）

東日本大震災から既に４年の月日が経とうとしていますが、ロータリーの友は「あの時」を「あの心」を忘れないためにこの欄をずっと連載し続けています。

“絆を強める平和祈念のスポーツ交流”（28頁）

諫早北ＲＣの鎮西学院高校ＩＡＣ及び福島の桜の聖母学院高校ＩＡＣが提携して、昨年７月20日に開催したこのスポーツ交流大会の記事がとり上げられました。両校ともに卓球が盛んな学校で、どちらも全国レベルの腕を持つ強豪校であるという所から、地元の中高生も加わった卓球大会となりました。

また、諫早北ＲＣが今年度宮﨑ガバナーを輩出した記念の意味も加えられ、地元市民との交流の場として黄ＲＩ会長の提唱される「ロータリーデー」のような一日となりました。開会式では福島の被災地への義援金贈呈があり、会場ロビーではインターアクターによる募金活動が行われるなど意義のある催しとなりました。

◎「地区大会略報Ⅱ」（30頁）

去る11月15日に諫早文化会館で行われた第2740地区地区大会の報告が記事となりました。盛会で有意義な大会であったとの報告がなされています。

◎「ROTARY AT WORK・写真編」（53頁）

“国体会場をきれいに”（福江中央ＲＣ）

福江中央ＲＣは10月に開催された「長崎がんばらんば国体」の剣道と野球の会場となった五島市中央公園、市民体育場、野球場周辺の清掃活動を実施。「おもてなし」の心をこめて会場周辺の美化に汗を流した。

◎ROTARY掲示板（36頁）

2015－2016年度の「友」誌の表紙写真をロータリアンから募集しています。写真が趣味の会員はたくさん居られると思いますので、奮ってご応募ください。

2015―16年度『友』誌表紙写真ロータリアンから募集 テーマは設けません

4月30日締め切り

次年度の表紙写真を募集いたします。テーマは設けません。募集要領は下記の通りです。

① 締め切り 2015年4月30日
② 点数 1人3点まで
③ サイズ 紙焼き四つ切り（それに近いサイズも可）
④ 添付資料 名前、クラブ、連絡先住所・電話・ファクス、写真タイトル、撮影場所、撮影年月、撮影のデータ（カメラ名、使用レンズ〔ミリ〕、露出、シャッター速度）、簡単な写真説明。
⑤ 発表 『友』誌2015年8月号、ホームページ『ロータリージャパン』（6月下旬予定）に入選者のみ。
⑥ 審査員 ロータリーの友編集担当理事ほか。
⑦ その他 表紙のサイズに合わせトリミングをする場合があります。／写真の上にタイトルその他の文字がかかる場合があります。／採用決定作品は、掲載時にネガフィルム、ポジフィルム、デジタルカメラの場合はデータが必要になります。／掲載に際して、賞金ならびに掲載料等の支払いはいたしません。／入選作品の著作権は撮影者に帰属します。『ロータリーの友』は、印刷物（『ロータリーの友』、『友』英語版、その他）ならびにウェブサイトへの掲載、展示などの使用権を保有します。／応募作品の返却はいたしません。

ご投稿・お問い合わせは――
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル4階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ロータリー誕生、２月23日に寄せて

月信編集長　**緒　方　　聖**（諫早北ＲＣ）

ロータリーが設立されたのは1905年２月23日とされている。従って、今年は丁度110年の記念すべき節目の年にあたる。

わが諫早北ＲＣにとって、100年目に栗林ガバナー、110年目には宮﨑ガバナーを輩出したことは、何か特別の因縁を覚えるのである。そしてやがて訪れる110年目の記念日を目前にして、ロータリー発祥の起源について改めて思いを馳せてみようと考えた。

ロータリーの友には毎号のように、「ロータリーの誕生とその成長」という題目で、ロータリー誕生の経緯と今日までの発展の推移を解説してある。単純明快に記されてあってこれで十分であるけれど、この日だけは一世紀前にタイムスリップして、ロータリー誕生の真髄に触れてみるのも意義あることかも知れない。

今を去る110年前、２月23日の木曜日の夜、シカゴの街は厳寒の最中、地上は凍てつき川や湖も結氷していたとの記載がある。その当時の商業都市シカゴでは、私利私欲のため冷酷な悪徳商法がまかり通っており、その日はその世情を象徴するかのごとき寒波が襲っていた。この日、シカゴ市のディアボーン街にあるユニティービルの711号室に４人の男たちが集まっていた。その４人の男たちとは、弁護士のポール・ハリス、石炭商のシルベスター・シール、洋服屋のハイラム・ショーレー、鉱山技師のガスターバス・ローアであり、この部屋をローアは事務所にしていた。この会合の趣旨に賛同した彼が会議のために事務所の提供に応じたのである。

ここでポール・ハリスは彼の心中深く醸成していたある構想について話すことになった。彼自身シカゴという新天地で開業して順調に業績を伸ばしていたものの、大都市において仕事の上で知人は出来ても、真の意味の友人を得るのは難しく、孤独感にさいなまれていた。そして彼の故郷であったニュー・イングランド・バレーの山野やそこに住む心許しあえる人たちの事を思うにつけても、何とかして友人が欲しいと思うようになった。ある時、弁護士仲間のボブ・フランクがポール・ハリスを夕飯に招待した折、食後に散策したその街の人々の笑顔や色々な商店の親しげな応対が、ポールがシカゴの中心地区で普段目にする冷ややかな態度と全く異なっていることに気付くのである。お互いに信頼し合った人間関係の上に、商取引がなされている実例をこの地で発見し、譬え大都会の見知らぬ者同士であっても真の友情が通うことによって、事業が上手くゆくことに期待を持ち始めていた。

この構想は即座に現実のものになったわけではなく、５年余りポール・ハリスの頭の中で温められ熟成されて、ようやくこの夜彼の口から語られたのである。この集まった４人には幸いにして良く似た経歴や過去があり、それぞれに地方から大都会に出て来ていたので、シカゴの街での生活の辛さや友人のいない孤独感など共通する点があったためにポールの良き理解者となった。その言葉とは「私たちが自分の故郷の田舎町で体験してきたお互いの協力や親睦を旨とするクラブをつくろう」という単純な構想であった。これこそが一業種一人制というロータリーへ発芽する直前の一粒の種といえる。

2014年11月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	81.1	58	0	65	0	2	0	2	7
	小城	4	78.4	19	2	22	2	1	0	1	3
	牛津	2	80.0	28	0	30	0	0	0	0	2
	多久	4	80.4	36	6	41	6	0	0	0	5
	佐賀大和	4	70.5	24	3	23	3	0	0	0	−1
	小計		78.1	165	11	181	11	3	0	3	16
第2グループ	佐賀西	3	86.5	39	0	41	0	1	0	1	2
	佐賀北	4	77.6	41	3	41	3	0	0	0	0
	佐賀南	4	74.3	36	2	38	2	0	0	0	2
	神埼	4	91.2	36	3	37	3	0	0	0	1
	佐賀空港	4	75.0	15	1	16	1	0	0	0	1
	小計		80.9	167	9	173	9	1	0	1	6
第3グループ	有田	4	76.5	33	0	34	0	0	0	0	1
	武雄	2	96.2	52	4	52	4	0	0	0	0
	鹿島	4	93.1	44	3	41	3	0	1	−1	−3
	嬉野	4	92.4	24	1	24	1	0	0	0	0
	大町	4	71.9	15	0	16	0	0	0	0	1
	白石	4	67.9	8	0	7	0	0	0	0	−1
	太良	4	90.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		84.0	186	8	184	8	0	1	−1	−2
第4グループ	唐津	3	84.5	55	0	56	0	0	0	0	1
	伊万里	4	95.7	27	0	30	0	1	0	1	3
	唐津東	4	86.2	53	0	55	0	0	0	0	2
	唐津西	3	90.2	30	0	32	0	0	0	0	2
	伊万里西	4	83.7	45	0	44	0	0	0	0	−1
	唐津中央	4	86.0	32	4	34	4	0	0	0	2
	小計		87.7	242	4	251	4	1	0	1	9
第5グループ	佐世保	4	100.0	74	0	76	0	0	0	0	2
	平戸	4	63.5	39	4	39	4	1	1	0	0
	佐世保西	4	88.0	22	1	24	2	0	0	0	2
	北松浦	4	93.7	24	0	24	0	0	0	0	0
	松浦	4	89.4	26	1	26	1	0	0	0	0
	小計		86.9	185	6	189	7	1	1	0	4
第6グループ	佐世保南	4	100.0	73	1	77	1	0	0	0	4
	佐世保東	4	90.9	23	0	23	0	0	0	0	0
	佐世保北	2	100.0	43	0	44	0	0	0	0	1
	佐世保中央	4	100.0	43	1	45	1	0	0	0	2
	佐世保東南	4	92.1	21	0	19	0	0	0	0	−2
	HTB佐世保	4	89.5	20	3	21	3	0	0	0	1
	小計		95.4	223	5	229	5	0	0	0	6
第7グループ	大村	4	89.9	48	3	49	3	0	0	0	1
	島原	4	68.5	27	2	25	2	0	1	−1	−2
	雲仙	4	89.8	28	1	27	1	0	1	−1	−1
	大村北	4	100.0	23	0	24	1	0	0	0	1
	島原南	4	65.0	21	1	23	1	0	0	0	2
	大村東	2	89.1	41	4	39	4	0	0	0	−2
	小計		83.7	188	11	187	12	0	2	−2	−1
第8グループ	諫早	4	87.2	63	0	66	0	1	0	1	3
	諫早北	4	83.1	66	3	65	3	0	0	0	−1
	諫早西	4	93.4	38	0	39	0	0	0	0	1
	諫早多良見	4	86.2	40	0	38	0	0	0	0	−2
	諫早南	2	77.1	24	4	23	4	0	1	−1	−1
	小計		85.4	231	7	231	7	1	1	0	0
第9グループ	長崎	3	86.1	82	0	86	0	0	1	−1	4
	福江	3	89.2	34	0	37	0	1	0	1	3
	長崎北東	4	79.0	38	5	39	5	0	0	0	1
	福江中央	4	95.2	26	0	28	0	0	0	0	2
	長崎西	4	89.3	56	0	58	0	0	0	0	2
	長崎琴海	3	68.8	16	1	16	1	0	0	0	0
	小計		84.6	252	6	264	6	1	1	0	12
第10グループ	長崎北	2	86.7	78	0	80	0	0	0	0	2
	長崎南	4	80.1	76	0	78	0	0	0	0	2
	長崎東	4	79.0	44	1	48	4	0	0	0	4
	長崎みなと	4	82.5	23	1	26	1	0	0	0	3
	長崎中央	2	96.5	61	0	60	0	0	0	0	−1
	長崎出島	4	84.1	55	11	55	12	0	0	0	0
	小計		84.8	337	13	347	17	0	0	0	10
57クラブ合計			85.3	2,176	80	2,236	86	8	6	2	60

＊上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から2014年11月末までの増減です。

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。　※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

佐賀ＲＣ
益田　裕司 君
㈱昭和メンテナンス
専務取締役

佐賀ＲＣ
渡辺　　徹 君
ホテルニューオータニ佐賀
総支配人

小城ＲＣ
江里口義章 君
㈱江里口造園
代表取締役

小城ＲＣ
藤瀬　正幸 君
㈱鮎川電工
総務部次長

小城ＲＣ
南里　芳雄 君
須賀神社
神主

伊万里ＲＣ
直江　清嗣 君
㈱グッドパートナーズ
代表取締役

伊万里ＲＣ
吉永　安孝 君
㈱吉光建設
専務取締役

佐世保ＲＣ
古賀　久貴 君
㈻古賀学園
理事長

平戸ＲＣ
西原　克美 君
㈱親和銀行平戸支店
支店長

平戸ＲＣ
松尾　　忍 君
㈱十八銀行平戸支店
支店長

平戸ＲＣ
松田　広基 君
㈱あじか磯釣センター
総務部長

佐世保南ＲＣ
曽和　英徳 君
双峰設備㈱
代表取締役

諫早ＲＣ
貞松　勇治 君
㈱メガネのポイントセンター
代表取締役

福江ＲＣ
山下　克己 君
五島水産㈱
会長

長崎北ＲＣ
若水　　薫 君
西日本電信電話㈱長崎支店
ビジネス営業部長

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	福　田　俊　郎	佐世保北
	緒　方　信　行	佐世保北
マルチプル・ ポール･ハリス･フェロー	小　田　　浩	松　　浦
	中　山　吉　則	松　　浦
	豊　島　揆　一	佐世保北
	宮　原　明　夫	佐世保北
	中　井　康　晴	佐世保北
	蒲　池　芳　明	佐世保北
	中　村　静　生	佐世保北
	三　谷　秀　和	佐世保北
	富　田　耕　司	佐世保北
	藤　井　良　介	佐世保北
	湯　口　純　二	佐世保北
	平　石　晃　一	佐世保北
	溝　越　　孝	諫 早 北
	辻　本　善　樹	諫 早 西
	助　村　房　子	諫 早 南
	千　葉　まさこ	諫 早 南
	田　中　紀　男	長崎北東
	中　嶋　久　光	長 崎 北
ポール･ハリス･フェロー	谷　口　　優	武　　雄
	竹　本　光一郎	松　　浦
	松　永　祐　司	佐世保北
	小　川　　寛	佐世保北
	山　口　裕　之	佐世保中央
	香　月　章　彦	佐世保中央
	竹　房　政　美	大　　村
	川　原　博　司	大 村 東
	丸　木　覚　誠	長崎北東
	草　野　一　夫	長崎北東
	新　島　美佐子	長崎北東
	森　　義　彦	長崎北東
	山　口　　裕	長崎北東
	本　岡　　晃	福江中央

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
ポール･ハリス･フェロー	大　進　建　設 （中村　知也）	長 崎 北
	三　工　電　機 （小林　純一）	長 崎 北
	腎　病　院 （船越　　哲）	長 崎 北
ポリオプラス	溝　口　尚　則	佐 世 保
ベネファクター	大鳥居　　宏	佐世保北
	俣　野　正　仁	大　　村
	辻　本　善　樹	諫 早 西
	横　田　貞　三	長 崎 南

米山記念奨学会

種　類	氏　名	クラブ名
メジャードナー	川　野　恒　雄	諫 早 北
マルチプル	溝　口　尚　則	佐 世 保
	宇　土　義　継	佐世保南
	本　多　善　彦	雲　　仙
	古　川　泰　蔵	諫 早 北
	辻　本　善　樹	諫 早 西
功労者	宮　島　省　吾	唐 津 東
	森　　幸　雄	平　　戸
	大久保　厚　司	佐世保中央
	本　田　　実	佐世保中央
	前　田　眞　澄	佐世保中央
	辻　　登志美	諫 早 北
	中　根　允　文	長　　崎
	荒　木　実　子	長崎出島
	喜々津　京　子	長崎出島
準功労法人	ＡＳＰＩＲＥ （光石　尚彦）	諫 早 北

文庫通信 (328号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

◎「2010年から活動を開始するロータリー・コーディネーター」 村上勘一　2010　1p（D.2540月信）
◎「コーディネーターニュース８月号―RI戦略計画とコーディネーターの責務」 金杉誠　2014　1p
◎「ロータリーコーディネーターニュース９月号」 安満良明　2014　1p（D.2760月信）
◎「コーディネーターニュース10月号―ロータリー公共イメージの推進」 渡辺敏彦　2014　1p（D.2820月信）
◎「コーディネーターニュース11月号―『My Rotary』を活用しよう」 髙野孫左ヱ門　2014　1p（D.2790月信）
◎「全国ロータリー・コーディネーターセミナー」 小船井修一　2014　6p（D.2500月信）
◎「ロータリーのいろは」 深川純一　2014　9p（D.2650地区大会記念誌）
◎「ふたつのロータリーモットー」 久野薫　2014　1p（D.2680月信）
◎「ロータリーの魅力」 久野薫　2014　1p（D.2680月信）
◎「国際ロータリーの変質『ロータリー失われた10年』」 新藤信之　2014　13p

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

お詫びと訂正

月信１月号に誤記載がありました。
ここに訂正し、お詫び申し上げます。

訂正：７頁

（誤）５月に**福江ＲＣ50周年**

↓

（正）５月に**福江中央ＲＣ40周年**

国際ロータリー第2740地区　宮崎清彰ガバナーと行く

2015年ブラジル・サンパウロ国際大会参加旅行のご案内

“サンパウロ・サントス・世界遺産イグアスの滝９日間”

日本から最も遠く、なかなか行くことのない国“ブラジル”
この機会を逃すことなく、是非ご参加ください!!!

最終〆切間近！

日次	月日	地　名	交通機関	行　程	朝	昼	夕
1	6月3日（水）	福岡空港 仁川空港 （ロサンゼルス）	KE790 KE061	・福岡空港（16:25発）大韓航空で仁川空港乗り換えサンパウロへ ＜日付変更線通過＞ （*16:45～19:00　ロサンゼルス空港に駐機）　機中(泊)	×	×	機内
2	6月4日（木）	サンパウロ	専用車	・サンパウロ　ガァルーリョス空港到着（10:40着） サンパウロ(泊)	機内	○	○
3	6月5日（金）	サンパウロ サントス サンパウロ	専用車	**◎ブラジル最大の貿易港・サントス日帰り観光** サンパウロ(泊)	○	○	○
4	6月6日（土）	サンパウロ イグアス	専用車 国内線	**●サンパウロ国際大会参加** **◎サンパウロ市内観光**　・国内線でイグアスへ イグアス(泊)	○	○	○
5	6月7日（日）	イグアス	専用車	**◎世界遺産「イグアスの滝」観光** *アルゼンチン側から見学。トロッコ列車に乗り、展望台『悪魔ののど笛へ』 イグアス(泊)	○	○	○
6	6月8日（月）	イグアス サンパウロ	専用車 国内線	**◎世界遺産「イグアスの滝」観光** *ブラジル側から見学。迫力満点の『ボートツアー』にご案内 ・国内線でサンパウロへ　サンパウロ(泊)	○	○	○
7	6月9日（火）	サンパウロ （ロサンゼルス）	KE062	・大韓航空で帰国の途へ（13:25発） （*21:55～23:55　ロサンゼルス空港に駐機） ＜日付変更線通過＞ 機中(泊)	○	○	機内
8	6月10日（水）	（航空機移動） 機中(泊)			機内	機内	機内
9	6月11日（木）	仁川空港 福岡空港	KE787	・仁川空港到着（04:40着）、乗換えて福岡空港へ（09:20着）	機内	×	×

口基本ご旅行代金（エコノミークラス利用、2名1室利用）　630，000円～690，000円（予定）

・最少催行人員15名（添乗員同行）
・利用ホテル　＜サンパウロ＞　ニッケイパレス(東洋人街のホテルです)、＜イグアス＞　コンチネンタルイン
・費用に含まれるもの
　行程中に記載した交通費、宿泊費、観光施設の入場料、食事代
・費用に含まれないもの
　空港税・燃油サーチャージ・ビザ代金（約85，000円）、大会登録料、その他個人的性質の諸費用
　個室利用追加料金　　約70，000円
　大会登録料　第2期（3月末締切）375USD
　◎国際線区間ビジネスクラスのご利用は約630，000円の追加料金が予想されます。（現在交渉中）
※旅行申込様式及び国際大会登録申込様式・国際大会の行事は別途各クラブ宛てにご案内いたします。
・国際大会の登録は入場時間を同じくするためにガバナー事務所で一括で行います。
別のコースでお申し込みの方も参加登録の受付を行いますのでガバナー事務所までご連絡ください。
・為替レートや燃油サーチャージの変更、現地滞在費の変更により旅行代金が変更になる場合があります。

★参加申込みは第2740地区ガバナー事務所までお願いします。第2期申込期限　3月27日（金）

・旅行申込み・国際大会登録に関してのお問い合わせは第2740地区ガバナー事務所までお願いします。

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

木漏れ日浮かべて

水面に緑陰を宿し

「高城回廊とウォーターフロント」

市内中央辺りに高城回廊と呼ばれる緑陰に抱かれた一帯がある。静寂に包まれた癒しの大空間である、と編者は公言してはばからない。

嘗ておしどりの飛来で知られる諫早高校の庭園のご書院が一般に開放されて、気品あるたたずまいを見せている。

先に紹介した倉屋敷川はこの回廊の傍らを添うように静かに流れ、樹々の緑と水面に浮かぶ木漏れ日が訪れる人を安らぎの境地へと誘う。

水と緑陰が醸しだす絶妙の業であろう。

ご書院

編集後記：２月はロータリーにとって極めて大切な月である。２月23日の創立記念日が巡ってくるし、今年は110年目を数える節目の年に当たる。この一世紀を越える長い年月の間に、ロータリーは時代に即応して進化し、地球規模の拡大と国際奉仕に力点を移してきた。だが急速に変容するロータリーの体制に、各国の末端で細々と会の運営に当たられるクラブの執行部の方々は、どのように順応しておられるのだろうか。ポール・ハリスの残した言葉に「私はただ淋しかったからだ」、とロータリー設立の意図を吐露しているけれど、この言葉にノスタルジーを覚えるのは編者ひとりではないだろう。

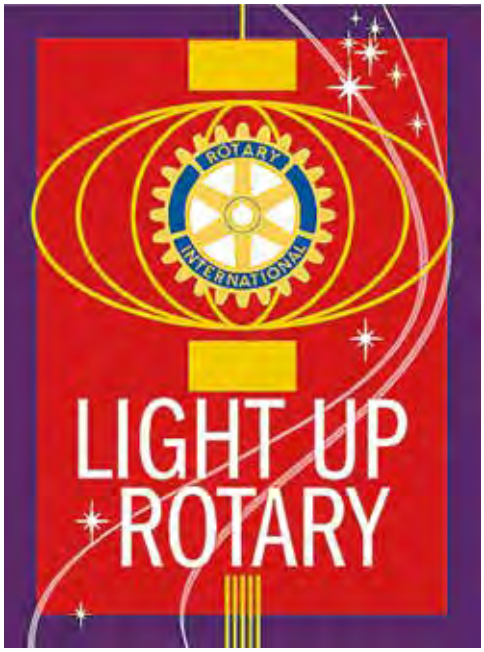
第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740

2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮﨑　清彰

Vol.9
2015.3.1



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

春の訪れ、本明川も河口に近く

河川敷の整備が本明川の上流から下流まで程よく進み、休日など市民の皆さんが余暇を過ごす場所となっている。遊歩道や花壇、堤防には桜並木が配置されて、季節の花々に惹かれて多くの人々が足を運ぶ。観光地のような華やかさはないが、太陽の日を浴びながら終日のんびりとしていたい気持ちになる。季節は春……。

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ……1
Governor's message ……2
国際協議会報告……3
インターシティ・ミーティング報告書……4
ロータリー財団 財団奨学生研修会 ……5
第2740地区奨学生訪問記……6
米山奨学生報告……8
コーディネーターニュース２月号……10
「ロータリーの友」だより ……11
地区大会記念事業 ―時計台贈呈式― ……12
2014年12月会員数・出席報告……13
新入会員紹介……14
物故者紹介……14
寄付者紹介……15
ロータリー文庫通信……15
2015年ブラジル・サンパウロ国際大会参加旅行のご案内……16
「川にまつわる物語」……裏表紙

Governor's message

「つもりちがい十カ条」

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　﨑　清　彰

大学を卒業して早47年が過ぎ去ろうとしています。その間に多くの方々との出会いがあり又多くの教えをいただき誠に感謝に堪えません。

その１人に大学時代のゼミの教授がいらっしゃいます。卒業の時は助教授でした。２、３年は電話でお話をさせていただき元気をいただいていました。その後はお手紙をいただいたり、先生が講演されたレジメを送ってもらったり未だに何かとご指導をいただいています。その中の１つに「つもりちがい十カ条」というのが送られてきましたのでご紹介したいと思います。

①高いつもりで低いのが教養　②低いつもりで高いのが気位　③深いつもりで浅いのが知識
④浅いつもりで深いのが欲望　⑤厚いつもりで薄いのが人情　⑥薄いつもりで厚いのが面の皮
⑦強いつもりで弱いのが根性　⑧弱いつもりで強いのが意地　⑨多いつもりで少ないのが分別
⑩少ないつもりで多いのが無駄

なるほどと思われるものばかりでした。この出所はどこだろうと思っている時に毎日新聞に載っていました。これは「越中富山の薬売りの秘伝」の一つといわれ、富山の薬売りがお客の家に置き薬と共に置いていく標語集にあったものだという。「言葉の置きぐすり」寺田スガキ著　東邦出版。

さっそく本屋に行きましたが今は絶版となっているとの事で古本屋でも見つかりませんでした。もしお持ちの方がいらっしゃったらガバナー事務所にご一報いただければ大変有難いです。よろしくお願いします。

最初に「教養」が出てくるが昔は薬売りがへき地で「先生」と呼ばれて代書や講演を頼まれる場合も少なくなかったという。教養と礼儀はお客の信頼を得る決め手とされていた。だが今やもっぱら「欲の皮」「面の皮」ばかりが目立つ先端医薬の売り手も現れた。

降圧剤の臨床試験疑惑を機に臨床試験への社員の関与を禁じたはずの製薬会社ノバルティスファーマである。だがその後、白血病治療薬の臨床試験の関与が発覚し調べるとその中で重い副作用があった事例を把握しながら国への報告を怠っていたことも判明した。

試験への関与の中止よりも隠蔽（いんぺい）という「面の皮」の厚さ、薬の安全より販売促進という「欲の皮」のつっぱりはなみたいていではない。

さすがにスイスの本社から来日した同社社長は日本法人のトップの総退陣を発表した。後任は全員が外国人となった。少なすぎたのはやはり「分別」というしかない。こちらは薬の臨床研究と販売促進とを企業内においてはっきり「ぶんべつ」できるふんべつのことである。（2014．4．4．余録より）薬を業としている者にとっては頭が痛い大きな事件であった。

製薬会社もグローバル化していく中、外国人社長も増えていく現在、日本の昔からの「越中富山の薬売りの秘伝」の心を忘れる事なく社会への貢献を願いたいものです。

大学の食堂にて（ゼミ会合）

国際協議会報告

2015～2016年度ガバナー　**太　田　善　久**（唐津東ＲＣ）

国際ロータリーの2015年国際協議会は、１月18日から23日まで、アメリカはカリフォルニア・サンディエゴで開催されました。

国際ロータリーの名前の通り、まさに国際色にあふれた研修でありました。

事前に周到な準備がされて、とても充実した会議でした。

Ｋ．Ｒ．ラビンドラン国際ロータリー会長エレクト（スリランカ出身）は、2015～16年度のテーマ『世界へのプレゼントになろう』を発表されました。

このテーマを１年かけて、我々は実践していくわけです。

国際ロータリーがどう進むべきかは、おいおい皆様と一緒に考えながら進むべきだと思っています。

今回は研修の雰囲気を伝えることが大事ですので、以下の写真を説明して研修の様子を伝えます。

■ラビンドラン会長エレクトと奥様

■会場でJapanの国旗が掲げられたところ

■国際色豊かな晩餐会会場
「スリーウェイター」といって、英国・フランス・イタリアの３人の男性が歌と踊りでもてなす。

■日本のエレクト夫人たちが「さくら、さくら」をゆかた姿で踊っているところ。
各国の音楽・舞踊が跳んだりはねたりの演出でしたから、静的な雰囲気が皆様から大変受けていたようです。

■今回の協議会に参加したオールジャパン。
ガバナーエレクトと夫人達、日本の国際ロータリー役員と、大変ご苦労された研修後の皆様と夫人達。

いずれも『ロータリーの友』二神典子編集長撮影

インターシティ・ミーティング報告書

佐世保北ＲＣ会長　**大鳥居　　宏**

国際ロータリー第2740地区 第５・第６グループ 2014－2015年度インターシティ・ミーティング（以下ＩＭ）は、開催テーマを「これからのロータリー！　原点をふまえて」に設定し、佐世保北ＲＣがホストクラブ、平戸ＲＣがコ・ホストクラブとして、去る１月31日㈯に佐世保市のザ パラダイスガーデン サセボに於いて開催されました。中野浩（第５グループ)・宮原明夫（第６グループ）両ガバナー補佐の下、ＩＭ実行委員長を緒方信行君（佐世保北ＲＣ）が務め、宮﨑清彰ガバナーはじめ、市瀬久米嘉、塩澤恒雄、野口清の各パストガバナー、森栄一郎地区幹事、また講師として第2700地区から廣畑富雄パストガバナーご臨席のもと、登録者277名、うち参加者216名のロータリアンにご参加を頂き盛大に行われました。

第１部は廣畑富雄パストガバナーに「ロータリーの心と原点」という演題で基調講演をしていただきました。我々ロータリアンはロータリーの心と原点を大切にしていくべきで、特にロータリーの２つのモットーである、Service Above Selfとシェルドンのいう He Profits Most Who Serves Bestとはロータリーの奉仕の理念であり、社会奉仕と職業奉仕をよく理解して今後のロータリー活動をしていくべきである、と説かれました。

第２部のパネルディスカッションは「これからのロータリー！　原点をふまえて」をテーマにコーディネーターに富田耕司君（佐世保北ＲＣ)、パネラーに渡邉栄二君（平戸ＲＣ)、江口圭介君（佐世保西ＲＣ)、川副源太郎君（ＨＴＢ佐世保ＲＣ)、松尾辰二郎君（佐世保北ＲＣ)、合わせて５名が登壇し、「入会動機」「職業奉仕」「これからのロータリー」の論題について、約１時間30分に渡り熱心に討議が行われました。

また、懇親会も多数の会員の皆様にご参加いただき大変盛り上がり、会員相互の友情と親睦を深めることが出来ました。

最後にＩＭ開催にあたり、ご来賓の皆様、地区ロータリアンの方々の多数のご参加によって盛会裏に終了することが出来ました。ホストクラブの会長として心より感謝申し上げますと共に、皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

ロータリー財団 財団奨学生研修会

ロータリー財団補助金委員会・財団奨学学友担当　**隅　　康　二**（佐賀西ＲＣ）

平成27年１月25日㈰、諫早文化会館にてグローバル補助金奨学生の研修会が開催されました。現在のグローバル補助金奨学生は、アメリカの財団本部で行われる最終審査で容易にパスできないのが現状です。今年度その難関の奨学生に挑まれたのは長崎大学の青年外科医、朝重耕一さんです。まだ最終審査の結果は出ていませんので、現時点では候補者ということになります。

研修は“模擬クラブ例会”方式で行われました。ガバナー、地区幹事、次期地区幹事他多数の方々に参加して頂き、点鐘に始まるクラブ例会さながらの進行で、朝重さんをゲストと見立てて卓話をして頂きました。その後、参加者お一人お一人から貴重な意見を頂戴することができました。

同日は同じ会館内でＲ財団補助金セミナーが開催されていました。地区内の各クラブから会長エレクトほか多数参加されていると伺いましたので、セミナーの本会場にて朝重さんを紹介し、本人から自己紹介と留学の抱負などを語って頂きました。

これまで奨学生の研修会は担当委員会内で行われてきましたが、たまたま今回のように多勢のロータリアンの皆様の前で研修できましたことは、候補者並びに私たち担当委員にとりましても、実に良い経験となりました。財団本部から無事合格通知が届きましたら、朝重さんはアメリカオハイオ州シンシナティへ出発します。肺がんで父親を亡くされた経験から、肺がんの解明と治療の進歩のためにと彼の見据える人生の方針は揺るぎない力強さがあり、また一方で３月に３人目のお子さんが生まれ、家族５人でアメリカに向かうと述べられるもう一つの表情には、ほのぼのとした温かさが感じられました。すばらしい青年に奨学金を拠出し、将来を託すことができるこの活動の尊さを改めて感じる研修会でした。

--------- **お　願　い** ---------

次年度候補者のご推薦をお願い致します。ご不明の点は下記の財団奨学学友委員会メンバーまたはガバナー事務局までご連絡ください。

補助金委員長	西川　義文（大村ロータリークラブ）
グローバル担当	原田　知行（長崎中央ロータリークラブ）
地区補助金担当	岡田　金助（ハウステンボス佐世保ロータリークラブ）
企画・選考担当	喜多　清基（島原ロータリークラブ）
事務	隅　　康二（佐賀西ロータリークラブ）

第2740地区奨学生訪問記

補助金委員長 **西 川 義 文**（大村ＲＣ）

地区補助金セミナーを終えた夕刻より東京へ飛び、深夜便で１週間の日程で、昨年度より始まったロータリー財団の新システム「未来の夢計画」にて、第2740地区として初めて送り出したＧＧ奨学生（グローバル奨学生）の渡辺あゆみさんとＤＧ奨学生（地区補助金奨学生）の松本幸治君、両名の大学院での研究の進み具合や生活の充実度合いを、またお世話頂いている滞在地のロータリークラブへの感謝の気持ちを表すためにロンドン近郊のブライトンとエジンバラへ行ってきました。

渡辺さんは、南部の港町ブライトンにあるサセックス大学院で紛争、安全保障と開発のコースを、松本君は北部のエジンバラ大学院で児童･青年のメンタルヘルスと心理ケア実践コースを専攻し学んでいます。

《ブライトン市内》

《サセックス大学入口正面》

サセックス大学は、郊外の広大な敷地を有する大学で校内を路線バスが通っていて、24時間開館の図書館や地名のついた校舎群や食堂がある自然と調和させた施設が余裕ある敷地に点在してました。校内を彼女と一緒に歩いていると沢山の学生から声をかけられていて、沢山の友人とコミュニケーションをよくとっていると感心しました。

学業は、40人中５カ国語を流暢に話す人や国連機関等でインターン経験者も５人ほど居るなど能力の高さに驚いている。コースの研究では、一緒に資料を調べ文章にまとめ討論するには、ネイティブな人より３倍ぐらい時間かけて勉強しないと満足に授業が受けられない、また講義を録音して確認し復習して次に臨まなければならないとのことでした。

また、卒業後のキャリアアップについても専門性を活かせる職業のために、どこでどのように関わるのかを日本も含めて検討している最中とのことでした。

松本君は、中世都市の面影を色濃く遺すスコットランドの古都エジンバラの歴史ある石造りの大学で学んでいました。彼も今までの内で一番勉強していますよと言う位、学業に頑張っています。授業に関しては、特にエッセーという論文（英単語で5000語、Ａ４用紙20枚程度）提出で苦労してるとのことでした。また、日本人院生５名ほどのまとめ役もしており、学業や生活のことを時には日本語で話さないと押しつぶされそうなストレスを感じると話してました。

二人とも、本当に一生懸命学業に頑張っていて、体中にストレスから来るジンマシンや帯状発疹等を経ながらも頑張ってます。

また補助金が円安の関係で目減りして、公共交通機関や徒歩が主で、部屋は共同生活で、渡辺さんは学生寮に、松本君はポーランド人の社会人とルームシェアしてました。

《エジンバラ大学大ホール》

《大学校舎前》

もう一つの目的である両名のお世話頂くロータリークラブの例会にも出席してきました。ブライトンのSeaford Martello RCは、24名の会員でアットホームな雰囲気での例会でした。ゴルフ場のクラブハウスでの例会で、訪問したらビール片手に談話タイムでした。会長挨拶幹事報告を終え、私の紹介がありバナーの交換をいたしました。

渡辺さんのメンター（カウンセラー）のジェマニさんに良くして頂いており、たびたび例会にも参加し、多くの会員とも顔見知りで仲良くしてるようでした。

スピーチの機会もあり、「渡辺さんを今後とも手厚くお世話ください」と述べてきました。

《エジンバラＲＣ例会場にて》

《カウンセラーのジェマニさんと》

Edinburgh RCは創立1912年の会員数108名と歴史あるクラブです。

約70名参加の例会進行は、歌や綱領唱和等無く会長の点鐘後幹事報告の後食事を取り、プログラムに入るという形式です。どなたもユーモアを必ず混ぜた話をされます。和やかな雰囲気を重視しているようです。松本君が当初お世話になったインド人の方とも挨拶できました。彼はデリーＲＣのチャーターメンバーでもあると聞き、また北米や台湾出身の方もメンバーで、世界的という歴史の大きさを感じましたし、両クラブとも参加会員は、リタイヤした人が大部分でした。私たちもこのような方々に財団本部へ申請等時にパソコン、メールですぐ送れと言っても……と判りました。

両君とも、ＲＣ活動に積極的に参加されてる状況は、メンバーからの言葉がけの中で十分に理解することが出来ました。

何時間でも欲しいという貴重な勉強時間を割いて、例会に帯同したり大学を案内したり生活拠点を見せてもらったりとか、随分迷惑もかけたのかなとも思いましたが、現地で会った時の両君の笑顔を見て、遠かったけど行って良かったと思っています。

米山奨学生報告

奨学生になってから一年間

長崎県立大学　**グェン トゥイ ハン**（お世話クラブ：佐世保南ＲＣ）

ベトナムから参りましたグェン トゥイ ハンと申します。所属の世話クラブは佐世保南ロータリークラブです。米山の奨学生になってからそろそろ一年が経ちます。今までの生活が大きく変わってきました。奨学金をいただき、学業や様々な活動を集中ができ、充実した学生生活を送っています。カウンセラーを始め、クラブの方々、ロータリアンの方々本当にお世話になっております。また、いい友達がたくさんできました。

皆と初めて出会ったのは３月のオリエンテーションでした。その時、初めて皆と会って、時間も少なかったのであまり話せませんでした。４月にある中学生との交流会と地区大会でロータリアンの方々と他の奨学生とよく話しました。皆と仲良くなりました。７月になって、雲仙での研修旅行に行きました。私にとってとても充実した２日間でした。自然の美しさ、災害の怖さ、人の温かさを実感しました。

10月から、世話クラブと他の３つのクラブで卓話をさせて頂きました。最初緊張しましたが少しずつうまくできました。いい経験になりました。

ロータリー米山記念奨学生の一員として選ばれて、本当に幸せです。奨学金のおかげで、勉強も集中ができ、交流会やボランティアなどの活動も参加できました。就職活動も順調に進み、就職先も決まりました。世話クラブ、カウンセラーの方々、そしてロータリアンの皆様に感謝いたします。これからも、この感謝の気持ちを忘れずに、ロータリーのご期待にこたえるよう日々頑張っていきたいと思います。今後ともどうぞ、よろしくお願いいたします。

心豊かになった奨学生生活

長崎外国語大学　**リュウ ダイイ**（お世話クラブ：長崎北ＲＣ）

ロータリー米山の奨学生になってからまもなく一年になる。最近、カウンセラーやロータリーの皆さんと会うたびに、いつもお互いに「月日の経つのは早いものだ」と嘆く。この一年間の奨学生生活を振り返ってみると、とても充実していて、得たものも多いと思う。

ロータリーの活動は普段学校の生活でなかなか体験できないことが多い。例えば、中学生、高校生との国際交流活動、古跡を訪ねる研修旅行、各クラブでの巡回卓話などさまざまなことがある。私は、この一年間の活動に参加することで、地域社会を訪ねながら、色々な人達と触れ合い、日本の歴史、宗教、文化などについて更に勉強ができた。

奨学生たちやロータリアンたちとの懇親を結びながら、視野も広げられた。特に奨学生の皆さんは国籍が様々で、異文化を尊重しながらお互いに交流するという国際コミュニケーション技術の勉強にもなっ

た。それぞれの専攻も水産学、工学、経済学、教育など様々で、お互いに交流しながら、知識の面が非常に拡げられたと思う。

また、私たちはカウンセラーたちと一緒に行動することにより、懇親を深めながら、カウンセラーの方々が私たちを育てる大変さも強く感じた。工学専攻の私のカウンセラーの二宮さんは福祉機器の会社を経営しながら、囲碁もアマチュアで県内二位というレベルである。最初、二宮さんを長者として敬いつつ、日中の歴史、社会、政治などについて交流しながら、今は何でも話し合える友達になった。二宮さんとの出会いは私の人生の宝であると思う。

ロータリーの皆さんと一緒に楽しい時間を送りながら、友情を深め、とても素晴らしい一年を過ごした。ロータリーの皆さんから得たものは以上のようなはっきりと感じ取る部分もあるし、また春雨のようにしとしとと静かに私の心を潤してくれるようなこともたくさんあった。これらは私の人生にとって非常に貴重なものである。私はこれからも、感謝の気持ちを抱いて、ロータリーの奉仕、友好、国際親善、お互いに助け合う精神をバッジにして、常に心につけ、「私はロータリーの一人である」という責任感と誉れを意識しながら、有意義な人生を切り開いて行こうと思う。

貴重な一年間

佐賀大学　**楊　　建　新**（お世話クラブ：佐賀ＲＣ）

2014年４月、桜がまだ綺麗に咲いていた時期、私は諫早でぴかぴか輝く奨学生の「桜バッジ」を付けていただきました、ロータリーの奨学生になりました。平戸中学校の国際交流、乙武洋匡の講演会、雲仙の奨学生旅行、諫早地区大会、新年の奨学生ＢＢＱなどなどの活動に参加させていただきました。奨学生たち、ロータリアンたちと一緒に歩んできたこの充実する一年間を振り返ってみると、これらの経験は自分の人生の中で貴重な宝物になりました。

この一年間、各国からの奨学生たちとふれあいながら、日本文化だけではない、世界各国の文化もわかりました、奨学生との深い友情を築きました。

この一年間、奨学生委員会の皆さんに本当にいろいろお世話になりました。大家さんの笑顔、ユーモアがある小城弁、ちょっとわかりづらいけど、大好きです。本多さんの雲仙ソーダ、温かい温泉卵、愛情をたっぷりこめて食べさせていただきました、これは忘れがたいロータリーの味です。直江さんと花島さんはいつも綺麗な写真を撮っていただいて丁寧にプリントしてたくさんのいい思い出を作っていただきました。みなさん、この一年間、ありがとうございました。

自分の世話クラブでも温かくて優しい人ばっかりです。日本の文化、日本の事情などに関しては、いろいろなご指導をいただきました。会員の方たちと一緒に過ごした佐賀クラブの一年間は素晴らしい一年です。

一度にロータリーの色に染められていつまでもどこへ行っても、私はロータリー米山記念奨学生としての誇りを胸に刻み、「桜バッジ」を輝かせるために、これからもロータリーの社会奉仕精神の種をまいて、友愛を深める理念を実践するために、頑張って参ります。

コーディネーターニュース2015年２月号『負の広報マンを作らないために』

第１ゾーンＲＣ代行　**酒　井　正　人**（ＡＲＣ）

地区とクラブにロータリーの戦略計画の推進と実施を支援するために、ロータリー・コーディネーター（ＲＣ）、ロータリー公共イメージ・コーディネーター（ＲＰＩＣ）、ロータリー財団地域コーディネーター（ＲＲＦＣ）が、地区ガバナーをサポートしています。なかでも、ロータリー・コーディネーターは「クラブのサポートと強化」を担当します。

ゲイリーＣ．Ｋ．ホァン会長から、ロータリーの会員数は2014年11月30日現在1,217,576人と2013年７月１日時点と比較して29,037人増加したと報告を受けています。第１ゾーンも期首に比べて858人、第２ゾーンは683人、第３ゾーンは889人とそれぞれ増加して総会員数は89,199人になりました。

ひとつの方法ではありますが、データから第１、第２、第３ゾーンの2014年10月の退会者数を入会者数で割ってみると、それぞれ順に67／181で37％、76／164で46.3％、91／223で40.8％になり、３ゾーン合計でみると234／568で41.2％になります。当たり前のことではありますが、分母の入会者数を大きくして分子の退会者数を小さくすれば数値は小さくなりますから実質会員増加率が良いことになります。是非、皆様の地区やクラブで算出して、他地区、他クラブと比較し参考にして下さい。

さて、この分子の部分を考察してみます。つまり、退会者について考えます。⑴健康上等のやむを得ない問題（病気、死亡）、⑵職場等の事業上の問題（転勤、退職）、⑶その他があります。**「転勤」**の場合にはSAKUJI作戦を積極的に活用する方法があります。**「退職」**はクラブ会費の見直しをしてはどうでしょうか？　会費の中身はクラブ運営のための絶対経費（事務費、ＲＩと地区分担金等）と食費に分けられます。退職者の多くは高齢者が多いので、クラブ在籍年数も多く出席規定の免除を受けられる会員であると思われます。ですから出席した時のみ食費の負担をすれば、経済的負担を軽減できます。問題は**「その他」**に分類される方々です。すべて理由を把握するのは困難です。しかし、その中にはクラブ内の人間関係やロータリークラブに魅力を感じず、退会をしてしまう方々が多いことも事実でしょう。このような場合、クラブ内の人事や、やり甲斐を感ずる奉仕活動が効果を発揮することがあります。***必要とされていることを実感してもらうプログラムが必要なのです***。皆様のクラブは如何でしょうか？　会員にやり甲斐を感じるプログラムや人事をしているでしょうか？

不満を持って退会した会員は**「負の広報マン」**になる場合が多いのです。クラブに不満がある場合には意外と不況や年齢や健康を表向きの理由として、退会していることが多いような気がしてなりません。退会者を少なくするためにもクラブの戦略計画を立てましょう。退会者数／入会者数の分母である入会者を増やしても、退会者が多ければ穴の開いた器に水を注ぐようなものです。何処に穴があるかを探ることからはじめてください。**「負の広報マン」**を作り出さないためにも。

「ロータリーの友」だより

「ロータリーの友」地区代表委員　**杉　原　宏　一**（諫早北ＲＣ）

ロータリー年度も終盤近くとなり、各クラブでもそろそろ次年度の準備態勢を整えておられる頃と思います。地区に於いても次年度ガバナーを中心に次年度へ向けての地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会などの準備が進められている所です。

２月号には次年度（2015～2016）より、ＲＩで示される特別月間が大きく変更されたことが掲載されています。次年度の計画を立てるための参考になるかと思われますので下記にご紹介します。詳細は本誌をご参照下さい。

◎「ロータリー いま…（38頁）

ロータリーの特別月間が変わります。

新しい月間は以下の通りです。

８月　会員増強・拡大月間	１月　職業奉仕月間
９月　基本的教育と識字率向上月間	２月　平和と紛争予防／紛争解決月間
10月　経済と地域社会の発展月間	３月　水と衛生月間
11月　ロータリー財団月間	４月　母子の健康月間
12月　疾病予防と治療月間	５月　青少年奉仕月間
	６月　ロータリー親睦活動月間

――――― ○ ――――― ○ ――――― ○ ――――― ○ ―――――

今月は当2740地区発信の記事が下記のようにたくさん掲載されました。

◎特集「世界理解月間・異文化理解を育む」

“韓国姉妹クラブとの青少年交換交流”雲仙ＲＣ（15頁）

独自に青少年国際交流事業を行うクラブとして、堀川二雄幹事の報告が掲載されました。

雲仙ＲＣは５年前のクラブ創立40周年を機に第3661地区韓国釜山冬柏（プサントンベク）ＲＣと姉妹盟約を交わし、以降毎年交互に会員同士の訪問を重ねてきました。今年度は45周年を記念して、両国の子供たち（10歳～15歳）を相互派遣し、友好親善と国際感覚を体験できるプログラムを作って、バーベキュー、茶道、空手など有意義な交流が行われました。

帰国後の例会では、参加した子供たちによるレポート発表が行われ、自信と成長の成果が表れた素晴らしいスピーチに感動し、有意義な交流であったと今後の継続も考えられています。

◎「ROTARY AT WORK」

今月号には写真編と文章編にそれぞれわが地区の記事が掲載されました。

（写真編）「広島土砂災害被災地への復興支援バザー開催」神埼ＲＣ（62頁）

８月に発生した広島県での土砂災害を受け、神埼ＲＣでは被災地の復興支援を目的にバザーを開催した。売り上げの総額12万432円は地区ガバナー事務所を通じて寄付された。

（文章編）「観月俳句会」平戸ＲＣ（56頁）

10月９日に年間プログラムの一つである観月俳句会が開かれた。会場のホテルから見る月はこうこうと照り、海峡をはさんで海にゆらゆらと揺れる月を見ながらの素敵な句会となった。

文章を寄せていただいた中野浩さんは、前年度当地区の「ロータリーの友」地区代表委員であり、今年度は第５グループのガバナー補佐の要職をつとめておられますが、多忙な職務の中で、名文を投稿していただいたことに感謝。

◎「ロータリー俳壇」入選（64頁）

平戸ＲＣ　　辻　　賢　治 氏

当地区からの入選がしばらく途絶えていましたが、久しぶりの入選がありました。嬉しいことでした。ありがとうございました。

地区大会記念事業 ―時計台贈呈式―

地区大会実行委員長　緒　方　　聖（諫早北ＲＣ）

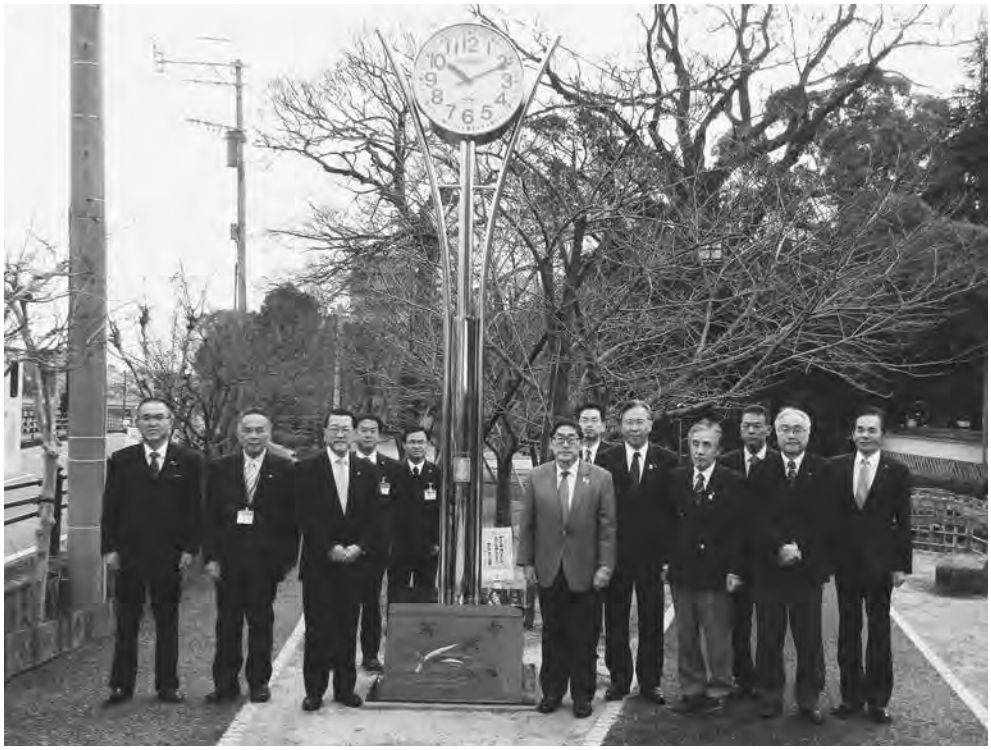
春まだ浅い２月の中旬、県央都市諫早のほぼ中央辺りに広がる諫早公園の一角に、大勢の人が集まりかけていた。これから何やら式典らしきものが挙行されるような雰囲気で、関係者が慌ただしく動き回っている。丁度この日は２月23日、ロータリー会員であれば誰でも周知のＲＩ創立記念日である。

この日、諫早市に寄贈予定になっていた時計台の制作が開始されたのは、昨秋の事であった。諫早北ＲＣの会員の中でも、この種の特殊加工や技術を持った人たちの協力を得て、デザインから細部に亘る作業まで献身的に努力して頂いた結果、ここに完成を見たのである。

贈呈式には諫早市長を初め関係者の列席を賜わり、宮﨑ガバナー（諫早北ＲＣ）を筆頭に地区大会に参加した多数の会員が集まった。今年がロータリー創立110年という記念すべき年でもあり、更に当地にて地区大会を開催できた記念事業として、時計台を贈呈することに歓びと誇りを感じながら贈呈式を見守ったのである。

そもそもこの地は、洪水の流木を塞き止めて自ら痛手を負ったにもかかわらず移設された眼鏡橋と、その復元のために設計された精巧な五分の一縮尺の石橋、この二つの橋が並んだ諫早公園の中でも一番目につく場所である。春には緋寒桜が華やかな雰囲気を演出して、市民の皆さんの憩いの場所でもある。この辺りは高城回廊の一角にも当たり、近くを倉屋敷川が静かに水音を響かせ、夏ともなれば水禍の犠牲者を悼み鎮魂の使者である蛍が飛び交う。

この時計台にも蛍があしらってあり、自然の蛍と共に夕闇迫る頃ここを訪れる人々を癒しと平安の境地へと誘い、争いのない平和の時を刻み続けてくれることを念じるばかりである。



2014年12月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	78.7	58	0	66	0	1	0	1	8
	小城	4	80.7	19	2	22	2	0	0	0	3
	牛津	4	77.5	28	0	30	0	0	0	0	2
	多久	4	78.5	36	6	41	6	0	0	0	5
	佐賀大和	4	79.1	24	3	22	3	0	1	−1	−2
	小計		78.9	165	11	181	11	1	1	0	16
第2グループ	佐賀西	3	94.8	39	0	41	0	0	0	0	2
	佐賀北	4	76.4	41	3	41	3	0	0	0	0
	佐賀南	3	85.4	36	2	39	2	1	0	1	3
	神埼	3	81.8	36	3	37	3	0	0	0	1
	佐賀空港	4	79.0	15	1	16	1	0	0	0	1
	小計		83.5	167	9	174	9	1	0	1	7
第3グループ	有田	3	81.3	33	0	34	0	0	0	0	1
	武雄	4	92.3	52	4	52	4	0	0	0	0
	鹿島	3	93.3	44	3	40	3	0	1	−1	−4
	嬉野	4	91.2	24	1	24	1	0	0	0	0
	大町	3	77.1	15	0	16	0	0	0	0	1
	白石	4	71.4	8	0	6	0	0	1	−1	−2
	太良	4	95.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		85.9	186	8	182	8	0	2	−2	−4
第4グループ	唐津	3	90.3	55	0	56	0	0	0	0	1
	伊万里	4	95.8	27	0	30	0	0	0	0	3
	唐津東	4	86.8	53	0	55	0	0	0	0	2
	唐津西	4	92.4	30	0	33	0	1	0	1	3
	伊万里西	3	81.1	45	0	44	0	0	0	0	−1
	唐津中央	4	91.2	32	4	34	4	0	0	0	2
	小計		89.6	242	4	252	4	1	0	1	10
第5グループ	佐世保	4	100.0	74	0	74	0	0	2	−2	0
	平戸	4	86.4	39	4	39	4	0	0	0	0
	佐世保西	3	84.0	22	1	22	2	0	2	−2	0
	北松浦	3	97.2	24	0	25	0	1	0	1	1
	松浦	3	96.2	26	1	26	1	0	0	0	0
	小計		92.8	185	6	186	7	1	4	−3	1

＊上記の表の新入・退会は**当月中**の数字で、累計は
7月1日から2014年12月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	4	100.0	73	1	77	1	0	0	0	4
	佐世保東	4	91.8	23	0	22	0	0	1	−1	−1
	佐世保北	4	96.9	43	0	45	0	1	0	1	2
	佐世保中央	3	100.0	43	1	45	1	0	0	0	2
	佐世保東南	4	92.1	21	0	19	0	0	0	0	−2
	HTB佐世保	3	84.9	20	3	21	3	0	0	0	1
	小計		94.3	223	5	229	5	1	1	0	6
第7グループ	大村	4	94.3	48	3	48	3	0	1	−1	0
	島原	4	76.1	27	2	25	2	0	0	0	−2
	雲仙	4	85.2	28	1	27	1	0	0	0	−1
	大村北	4	100.0	23	0	24	1	0	0	0	1
	島原南	4	68.0	21	1	23	1	0	0	0	2
	大村東	4	83.8	41	4	39	4	0	0	0	−2
	小計		84.5	188	11	186	12	0	1	−1	−2
第8グループ	諫早	3	84.1	63	0	67	0	1	0	1	4
	諫早北	4	79.2	66	3	65	3	0	0	0	−1
	諫早西	4	93.4	38	0	39	0	0	0	0	1
	諫早多良見	3	83.3	40	0	38	0	0	0	0	−2
	諫早南	4	85.9	24	4	23	4	0	0	0	−1
	小計		85.2	231	7	232	7	1	0	1	1
第9グループ	長崎	4	87.6	82	0	83	0	0	3	−3	1
	福江	2	83.1	34	0	36	0	0	1	−1	2
	長崎北東	4	71.9	38	5	39	5	0	0	0	1
	福江中央	3	95.0	26	0	28	0	0	0	0	2
	長崎西	3	78.4	56	0	58	0	0	0	0	2
	長崎琴海	4	68.8	16	1	16	1	0	0	0	0
	小計		80.8	252	6	260	6	0	4	−4	8
第10グループ	長崎北	1	81.4	78	0	80	0	0	0	0	2
	長崎南	4	78.5	76	0	77	0	0	1	−1	1
	長崎東	3	80.4	44	1	48	4	0	0	0	4
	長崎みなと	3	84.3	23	1	25	1	0	1	−1	2
	長崎中央	4	93.8	61	0	60	0	0	0	0	−1
	長崎出島	4	82.4	55	11	55	12	0	0	0	0
	小計		83.5	337	13	345	17	0	2	−2	8
57クラブ合計			86.0	2,176	80	2,227	86	6	15	−9	51

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。　※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

佐賀ＲＣ
二宮　洋二 君
㈱佐賀共栄銀行
代表取締役頭取

大町ＲＣ
齋藤　浩二 君
ケイズファクトリー
代表

大町ＲＣ
三宅　　毅 君
ミヤケ機工商会
代表

唐津西ＲＣ
渡辺　孝輔 君
わたなべ歯科クリニック
院長

北松浦ＲＣ
徳田　安範 君
とくだ眼科
院長

佐世保北ＲＣ
田島　　慎 君
㈲タジマ時計店
代表取締役

諫早ＲＣ
竹野真一郎 君
九州テクノ㈱
代表取締役社長

物　故　者

謹んでお悔やみ申し上げます。

島原ＲＣ
中村　正年 君
（享年92歳）

福江ＲＣ
才津　圭策 君
（享年86歳）

長崎みなとＲＣ
松浦　矩亨 君
（享年72歳）

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル・ポール·ハリス·フェロー	小　島　浩　彦	唐　津　東
	大　神　邦　明	佐　世　保
	中　瀬　和　隆	大　　村
	西　川　義　文	大　　村
	馬　場　政　徳	長　崎　西
ポール·ハリス·フェロー	中　川　清　美	多　　久
	渡　海　　昇	大　　村
	吉　田　健一郎	諫　早　西
	嶋　崎　真　英	長　　崎
ポリオプラス	森　　栄一郎	諫早北

米山記念奨学会

種　類	氏　名	クラブ名
マルチプル	榎　本　延　光	長　崎　西
功労者	森　　千枝子	鹿　　島
	山　浦　義　行	伊　万　里
	永　田　　章	北　松　浦
	中　村　安　志	長　崎　東

文庫通信 (329号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕について

◎「アーサー・フレデリック・シェルドンの生涯とその学説の特質について―純粋理論の立場から」
小堀憲助 2009　54p（純粋ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学）
◎「職業奉仕を考える」 田中作次　2014　3p（D.2770月信）
◎「職業奉仕は日本が元祖　土屋元作」 塚原房樹　2014　1p（D.2510月信）
◎「『職業奉仕』知る（to know）と成る（to be）」 塚原房樹　2014　1p（D.2510月信）
◎「職業奉仕月間によせて」 池田徳博　2014　1p（D.2800月信）
◎「てんびんの詩」 久野　薫　2014　1p（D.2680月信）
◎「ロータリーの目的」 久野　薫　2014　1p（D.2680月信）
◎「職業奉仕とは」 深川純一　尾道・尾道東ＲＣ　2014　20p
［上記申込先：ロータリー文庫］
◎「超入門　職業奉仕の入口」 村井總一郎　2014　36p
［申込先：早川和男　FAX（052）783－3818］

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第2740地区　宮崎清彰ガバナーと行く

2015年ブラジル・サンパウロ国際大会参加旅行のご案内

“サンパウロ・サントス・世界遺産イグアスの滝９日間”

日本から最も遠く、なかなか行くことのない国“ブラジル”
この機会を逃すことなく、是非ご参加ください!!!

最終〆切間近！

日次	月日	地　名	交通機関	行　程	朝	昼	夕
1	6月3日（水）	福岡空港 仁川空港 （ロサンゼルス）	KE790 KE061	・福岡空港（16:25発）大韓航空で仁川空港乗り換えサンパウロへ ＜日付変更線通過＞ （*16:45～19:00　ロサンゼルス空港に駐機）　機中(泊)	×	×	機内
2	6月4日（木）	サンパウロ	専用車	・サンパウロ　ガァルーリョス空港到着（10:40着） サンパウロ(泊)	機内	○	○
3	6月5日（金）	サンパウロ サントス サンパウロ	専用車	**◎ブラジル最大の貿易港・サントス日帰り観光** サンパウロ(泊)	○	○	○
4	6月6日（土）	サンパウロ イグアス	専用車 国内線	**●サンパウロ国際大会参加** **◎サンパウロ市内観光**　・国内線でイグアスへ イグアス(泊)	○	○	○
5	6月7日（日）	イグアス	専用車	**◎世界遺産「イグアスの滝」観光** *アルゼンチン側から見学。トロッコ列車に乗り、展望台『悪魔ののど笛へ』 イグアス(泊)	○	○	○
6	6月8日（月）	イグアス サンパウロ	専用車 国内線	**◎世界遺産「イグアスの滝」観光** *ブラジル側から見学。迫力満点の『ボートツアー』にご案内 ・国内線でサンパウロへ　サンパウロ(泊)	○	○	○
7	6月9日（火）	サンパウロ （ロサンゼルス）	KE062	・大韓航空で帰国の途へ（13:25発） （*21:55～23:55　ロサンゼルス空港に駐機） ＜日付変更線通過＞ 機中(泊)	○	○	機内
8	6月10日（水）	（航空機移動） 機中(泊)			機内	機内	機内
9	6月11日（木）	仁川空港 福岡空港	KE787	・仁川空港到着（04:40着）、乗換えて福岡空港へ（09:20着）	機内	×	×

口基本ご旅行代金（エコノミークラス利用、2名1室利用）　630，000円～690，000円（予定）

・最少催行人員15名（添乗員同行）
・利用ホテル　＜サンパウロ＞　ニッケイパレス(東洋人街のホテルです)、＜イグアス＞　コンチネンタルイン
・費用に含まれるもの
　行程中に記載した交通費、宿泊費、観光施設の入場料、食事代
・費用に含まれないもの
　空港税・燃油サーチャージ・ビザ代金（約85，000円）、大会登録料、その他個人的性質の諸費用
　個室利用追加料金　　約70，000円
　大会登録料　第2期（3月末締切）375USD
　◎国際線区間ビジネスクラスのご利用は約630，000円の追加料金が予想されます。（現在交渉中）
※旅行申込様式及び国際大会登録申込様式・国際大会の行事は別途各クラブ宛てにご案内いたします。
・国際大会の登録は入場時間を同じくするためにガバナー事務所で一括で行います。
別のコースでお申し込みの方も参加登録の受付を行いますのでガバナー事務所までご連絡ください。
・為替レートや燃油サーチャージの変更、現地滞在費の変更により旅行代金が変更になる場合があります。

★参加申込みは第2740地区ガバナー事務所までお願いします。第2期申込期限　3月27日（金）
・旅行申込み・国際大会登録に関してのお問い合わせは第2740地区ガバナー事務所までお願いします。

「川にまつわる物語」

古来、人間が創りだした文明は大きな川の流域より発祥し、そして発展してきたことは歴史の教えるところである。そして今、どこの街にも母なる川は存在し、そこで暮らす人々の営みに関わっている。いつもは静かに流れているものの、ある日突如として豹変し凶暴性を露わにするその野性に、人々は悩まされてきた。

昨今、異常気象による局地的集中豪雨は地球上の至る所で、洪水による深い爪痕を残している。ここ諫早でも、暴れ川の異名をもつ本明川による悲しい歴史が伝えられている。

今回、月信の編集をするにあたって、洪水の持つ普遍性を考えながら、「川にまつわる物語」を始めることにした。

「子供の情景」

子供の何気ない仕草には、見る者をほっとさせる何かが秘められている。これを癒しと言い換えてもよい。彼等のそのような行動には邪気がないので、その周りに穏やかな雰囲気を醸し出すからであろう。

従って、昔から子供の情景は画家や彫刻家のモティーフの一つになりえたのである。

諫早の街中を散策していると、高城橋という橋の欄干に子供たちの像が何体も取り付けられているのに驚く。

作者は馬場正邦氏、十体ばかりの像が思い思いのポーズをとりながら座っている。

サッカーボールを握りしめた少年、本をむさぼり読む少女、背中合わせに二人の姉弟が仲良くハーモニカを吹いている。犬と戯れる少女、夜空を見上げきらめく星に祈りをささげる女の子。

橋の欄干に腰を降ろして、その下を流れる本明川に向かい平穏な水の流れを願っているのであろう。

本を読む少女

サッカー少年

星を見る少女

仲良し姉弟

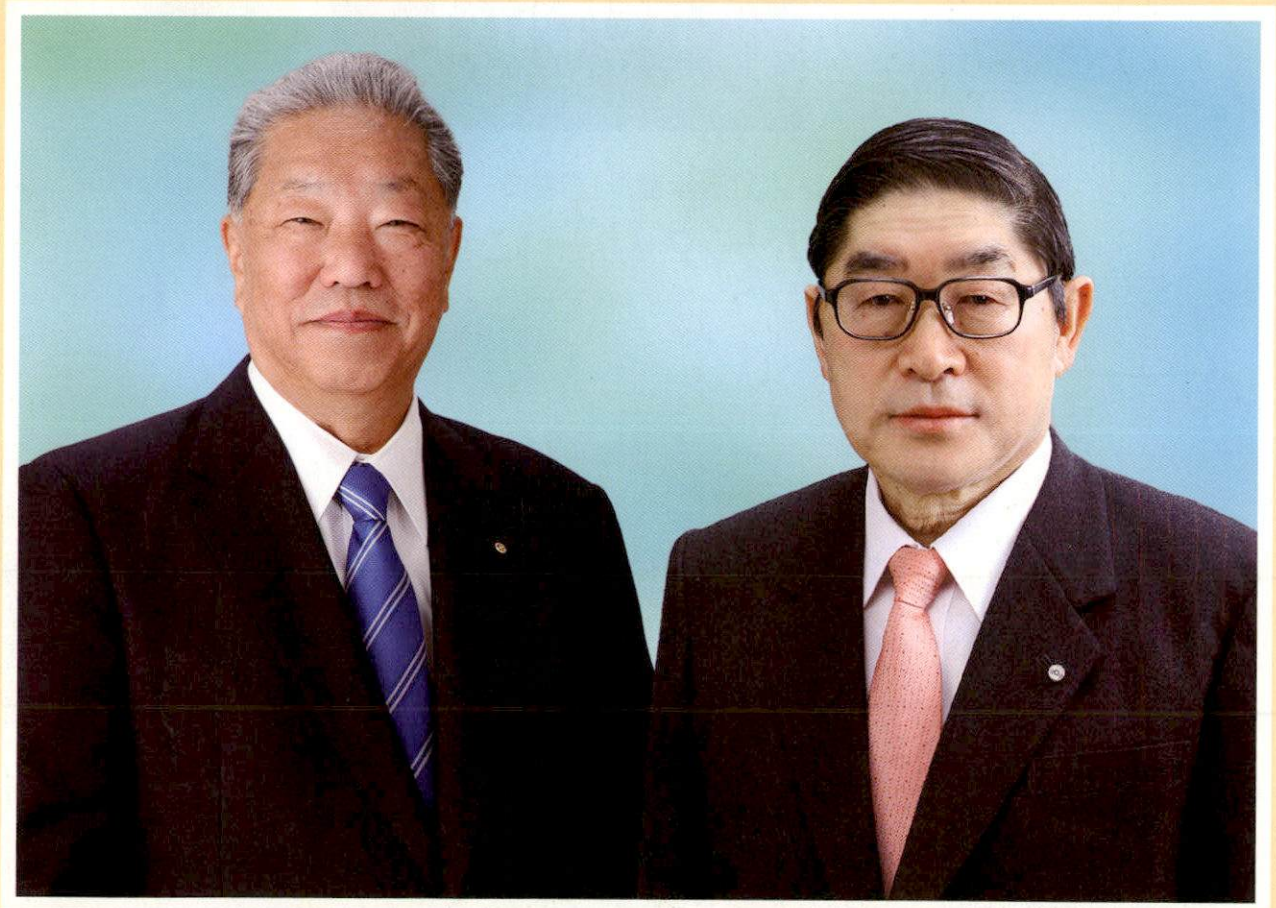
編集後記： ロータリーの基本理念は世界の恒久平和の希求である。今、世界中で何らかの理由はあるだろうが、テロが散発的に起こって尊い人命が失われ、美しい街並みが破壊され、地球という宇宙に浮かぶ水の惑星が危機に瀕している。戦後70年我が国では自然災害に見舞われることがあっても、平和な時を享受できた幸福を実感している。戦争に突入すれば、テロの標的になれば、毎日の長閑な生活が一変し、明日という日も巡っては来ないかもしれないのだ。恐怖と不安に戦く日々……。

ポール・ハリスの言葉に「愛は憎しみより強いもの、憎しみの半分を愛に与えれば、もう戦争は起こらないだろう」

第2740地区ガバナー事務所
〒854-0016　諫早市高城町5-10　諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331　FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp　http：//www.d2740.org/

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

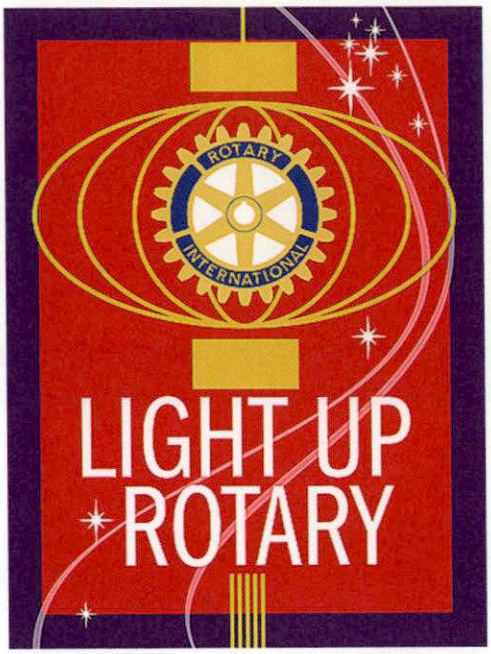
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2740



2014-2015年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー　宮﨑　清彰

総集編

Vol.13



2014-2015年度　国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

表紙の写真説明

総集編号の表紙は新旧ガバナーの握手の写真と決まっていた。ところが予期せぬ事態が生じ、両者の交代式ともいえる写真撮影の機会を失してしまった。それ故、二人の合成写真と相成ったわけである。

月信第１号にＲＩ会長との握手の場面なし、13号もまた編者の思い通りに行かなかった。人知を超えた神のみぞ知る運命とでも思わざるをえない。

CONTENTS

ガバナー挨拶……2
ネパール義捐金報告……3
ＲＹＬＡ報告……4
ローターアクト報告……5
協定書調印式……6
国際青少年ジャパンツアー報告……7
〃　歓送会報告……8
４・５・６月分会員数・出席率報告……9
４・５・６新入会員紹介……12
４・５・６寄付者紹介……16
地区資料……17
「鎮魂の日、諫早万灯川まつり」……裏表紙

Governor's message

「最終号によせて」(感謝)

国際ロータリー第2740地区ガバナー　宮　崎　清　彰

昨年７月１日、同期ガバナーの全員がガバナー会（東京）に出席し、１年の無事と元気に役目を果たそうと決意し、それぞれの地区に戻った事を昨日のように思い出します。無事ガバナーの任期が６月30日に終了し安堵しております。

同期ガバナーが今年６月30日に東京芝のとうふ屋に集合しました。御夫婦67名が集まり、全員無事に１年を終える事ができた喜びを分かち合う時間を持てた事に感謝しました。芝のとうふ屋といっても2000坪の敷地に500坪の家屋と1500坪の見事な庭で、東京タワーの真下にあるお店です。昔、学生時代の頃のその場所はボウリング場でした。

１年間大過なく務めを果たすことができましたのも、ひとえに会員の皆様方の多大なご支援ご協力の賜物と心よりお礼を申し上げます。

10名のガバナー補佐の皆様を始め地区の委員長、委員の皆様、ガバナー事務所のスタッフの皆様、諫早北ＲＣ及び第2740地区のロータリアン一人一人の皆様に心より感謝申し上げます。昨年の夏は猛暑でもなく雨が多い日が続き、病み上がりの私としては大変過ごしやすい気候で体調を崩すこともなく、順調に事が進み、大変よかったと思っています。公式訪問、土日開催の地区委員会並びに研修会、今年は特に周年行事が16クラブもあり、森地区幹事と共に出席させていただきました。インターアクト年次大会、青少年交換オリエンテーション、米山奨学生の歓迎会、終了式、ＲＹＬＡ、ＩＭ、ロータリー財団のＶＴＴ活動やグローバル補助金、地区補助金奨学生のプレゼン等、担当していただきました委員会の皆様の大変なご努力で実に素晴らしい活動ができましたことに感謝申し上げます。若者の真剣な眼差しに国の将来が自分たちにかかっているという思いを感じ、ロータリーの世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を願う気持ちを一人でも多くの若者達が意識してくれるといいなあと思いました。

４月25日ネパールを襲った大地震で当地区会員の皆様から多額の義捐金をお寄せくださいまして有難うございました。東京目黒のネパール大使館を訪問し、直接大使にお会いして義捐金を届けることができました。ネパールの復興に使わせていただきますと大変感謝され、くれぐれも第2740地区の皆様によろしくお伝えくださいとの事でした。ロータリー活動をご存知で特にポリオ撲滅運動には注目しているという話でした。

米山記念奨学会・ロータリー財団における寄付状況も皆様の頑張りとご協力のおかげで例年と遜色のない金額の実績を上げることが出来ました。

気になる会員数においては１昨年より会員減少にストップがかかり３年連続のプラスとなりました。今期の会員数の最終結果は2191人で15人増となり、クラブ奉仕・会員増強委員会及びクラブの努力の賜物です。特に佐賀、小城ＲＣの９名増はお見事でした。大変頑張っていただき有難うございました。

2014－2015年度ＲＩテーマは「ロータリーに輝きを」でした。

110年の歴史を刻んだロータリーに感謝し我々ロータリアンが今後益々輝きを持って地域社会に貢献していこうではありませんか！

多くの出会いと貴重な体験をさせていただいた事に改めて感謝申し上げます。皆様方のご繁栄とご健康をお祈り申し上げ一日も早い太田ガバナーの回復を念じております。最後になりましたが森地区幹事におかれましては見事に地区幹事の大役を果していただき有難うございます。長崎・佐賀57クラブ訪問や各地区での行事、委員会開催の地まで約7000kmを一人で運転し、この１年間は足となり手となり支えていただきましたことに改めて感謝申し上げます。車で移動中いろいろな話ができて良かったと思います。その中で森夫婦のお遍路の話がとても印象的だったのでご紹介したいと思います。これから先は彼の執筆です。

「四国お遍路はチョットしたことから…」

2007年の春、岡山県津山市に我が家（森）のルーツを訪ねた帰り中国道から岡山道に抜け山陽道でそのまま帰るか瀬戸中央道にいくか迷い、家内がここまで来たから四国まで行きたいと言うので着いた所が88番札所の大窪寺でした。どうせならと遍路の衣装や道具などを買い揃え無謀にも逆打ちの旅に出ました。１番から行くのが順打ちで、普通はそうしますが逆打ちでも簡単と思い、出発しました。今では逆打ちでも、次に行くお寺の案内が出ていますが、当時の香川県内には標識はほとんどなくおまけにマイカーにはナビもありませんでした。道路地図とお遍路地図を見比べ地図をひっくりかえして見たりして悪戦苦闘をしてもなかなか目的のお寺には行きつく事ができませんでした。周辺の道路は綺麗に整備され、高速道やバイパスも出来ていますが、目当てのお寺は旧道にあり、入口の道は狭かったり分かりにくかったりしました。その時はやっとの思いで75番の善通寺まで行き、とりあえず帰ってきました。残りを２回に分け、１年かけて１回目のお遍路の旅を済ませました。その後は１番札所の霊山寺まで670kmあり、四国までの往復が大変なので、八十八ヶ寺を７、８日かけ１回で全部お参りをしています。春や秋の連休に時間を見つけては、遍路の旅に出て、今年の春で13回目になります。その間には開祖空海（弘法大師）の高野山にも何度かお参りをしました。回を重ねるに従いスムーズに回れるようになりましたが、四国名物のうどんなどゆっくり食べたことがありません。お寺での納経時間が決まっていて朝７時から夕方５時までの間に１つでも多くのお寺にお参りをしたいので、昼食は運転しながらです。また、どこまで行けるのか分からないので夕方になるとその日の宿さがしに一苦労です。去年の春と今年の春は宮崎ガバナーの健康と、地区幹事としての職務を無事果たすことができますようにと、お参りをしました。

１年間無事終わることができました。ロータリアンの皆様の温かい友情と寛容なお心に感謝いたします。

（地区幹事　森　栄一郎）

ネパール国大地震　義捐金贈呈報告

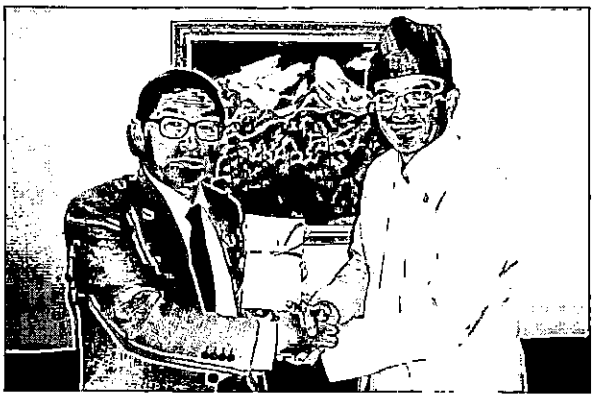
2015年４月25日午前11時56分。ネパールの首都カトマンズで起きた大地震で建物の倒壊、雪崩、土砂災害と甚大な被害が発生しました。

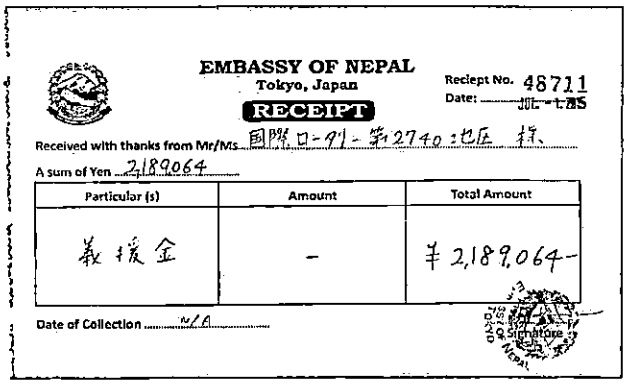
亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災されました方々へ御見舞を申し上げます。

2015年７月１日に東京都目黒区の在日本ネパール国大使館を訪問し、特命全権大使マダンクマール・バッタライ大使に直接義捐金をお渡ししました。第2740地区内全クラブの義捐金として 2,189,064円をお渡ししたことを報告致します。

大使は、母国の建物は地震を全く想定していない上に震源の深さが浅いため、ほとんどの建物が壊れたりした。今後もインフラの復旧に全力を注いでいきたいとの事でした。私達の支援に対し御礼を述べられ、会員皆様に感謝申し上げると話されました。

会員皆様のご支援に深く感謝申し上げ、義捐金贈呈の報告といたします。





EMBASSY OF NEPAL
Tokyo, Japan
RECEIPT
Reciept No. 48711
Date: [illegible]

Received with thanks from Mr/Ms. 国際ロータリー第2740地区 様
A sum of Yen 2,189,064

Particular (s)	Amount	Total Amount
義援金	-	¥2,189,064-

Date of Collection N/A
Signature

第36回 ＲＹＬＡ報告

俵屋　敦
(平戸ＲＣ)

第36回ＲＹＬＡは、平戸ロータリークラブのホストにより下記の要領で開催しました。

開催テーマ

『未来を託す君へ』～限りなき心の翼をひろげて～

開催日：2015年５月23日(土)～24日(日)
主会場：平戸海上ホテル
主なプログラム
第１日目
○オリエンテーション／グループ別自己紹介
○講話／
講師：デロイト　トーマツ　コンサルティング株式会社
シニアコンサルタント　岸谷美穂氏
(ロータリー平和フェロー第２期生)
○グループディスカッション
○歓迎バーベキュー
第２日目
○リーダー研修～グループ討議
○意見発表
参加人数：青少年　70　名
ロータリアン　131　名

ＲＹＬＡ（Rotary Youth Leadership Awards=ロータリー青少年指導者養成プログラム）が５月23日・24日に行われ多数の各地区より第2740地区のロータリアンや青少年からは、一般の方、学生の方、ＲＡＣの方【ローターアクトクラブ（ＲＡＣ）とは、18～30歳（厳密には、30歳になった後の６月30日まで）の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブ（ＲＣ）が提唱する世界的な団体です。地域社会を基盤とするＲＡＣと、大学を基盤とするＲＡＣの２種類のＲＡＣがあり、１クラブは、少なくとも15人の創立会員でスタートすることが望まれています。「ローターアクト（ＲＡ）」の名称は、「ロータリー」(Rotary) と「行動」(Action) からきています。】のメンバーが参加されました。

開講式が終わりオリエンテーションに引き続き、皆さん少々緊張気味でスタートしたグループ別自己紹介。その後の講話では講師に岸谷美穂氏をお招きして面白おかしくお話をして頂きました。青少年の女性参加者がメモを取り、目を輝かせて話を聞いていたのが印象的でした。その後グループディスカッションが終わり、歓迎バーベキューを行いました。ギリギリまで天候が落ち着かずヒヤヒヤしましたが、野外に焼き台を10機設置して平戸の海の幸、山の幸を皆様に堪能して頂きました。

２日目は８：30よりリーダー研修（グループ討議）がスタートしました。１日目のグループディスカッションで６グループに分かれてグループ内で進行役、記録係、発表者を選び、事前に用意した３つのテーマ（児童虐待について・地域の活性化について・自然災害における住民の役割について）の中から協議するテーマを決めてそのテーマを協議していく。

各グループ時間が経つにつれて緊張も少なくなり、真剣な中にも笑顔が見え隠れしていました。各グループの発表は、和やかな雰囲気の中行われロータリアンも真剣に耳を傾けていました。６グループの発表の言葉の中に、どのテーマにも【コミュニケーション】の言葉があったのが印象的でした。今回の活動に参加して、積極性を発揮することの大切さを知り、今後の自分自身のスキルアップにもつながったと思います。

当日の記録については、各ロータリークラブに配布されたDVDをご覧ください。

御協力頂いた各ロータリークラブに感謝を申し上げ、第36回ＲＹＬＡの報告とさせて頂きます。

2015年6月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	76.9	58	0	67	0	0	0	0	9
	小城	4	81.8	19	2	28	3	4	0	4	9
	牛津	4	79.5	28	0	28	0	0	0	0	0
	多久	4	86.5	36	6	36	4	1	1	0	0
	佐賀大和	5	75.2	24	3	21	3	0	1	−1	−3
	小計		80.0	165	11	180	10	5	2	3	15
第2グループ	佐賀西	4	81.2	39	0	40	0	0	0	0	1
	佐賀北	4	75.6	41	3	39	2	0	1	−1	−2
	佐賀南	4	78.5	36	2	38	3	1	2	−1	2
	神埼	4	87.0	36	3	37	3	0	0	0	1
	佐賀空港	4	72.0	15	1	15	1	0	0	0	0
	小計		78.9	167	9	169	9	1	3	−2	2
第3グループ	有田	5	76.0	33	0	34	0	0	0	0	1
	武雄	5	91.5	52	4	52	4	0	0	0	0
	鹿島	4	88.9	44	3	39	3	1	0	1	−5
	嬉野	4	84.8	24	1	20	1	0	3	−3	−4
	大町	4	70.3	15	0	15	0	0	1	−1	0
	白石	4	66.7	8	0	6	0	0	0	0	−2
	太良	5	90.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		81.2	186	8	176	8	1	4	−3	−10
第4グループ	唐津	5	90.5	55	0	54	0	0	2	−2	−1
	伊万里	4	95.0	27	0	26	0	0	4	−4	−1
	唐津東	4	85.3	53	0	52	0	0	0	0	−1
	唐津西	4	91.8	30	0	33	0	0	0	0	3
	伊万里西	4	90.0	45	0	48	0	0	0	0	3
	唐津中央	4	87.7	32	4	34	4	0	0	0	2
	小計		90.0	242	4	247	4	0	6	−6	5
第5グループ	佐世保	4	100.0	74	0	73	0	1	3	−2	−1
	平戸	4	87.1	39	4	33	1	0	6	−6	−6
	佐世保西	5	92.9	22	1	24	2	0	0	0	2
	北松浦	4	95.9	24	0	25	0	0	0	0	1
	松浦	4	83.7	26	1	24	1	0	2	−2	−2
	小計		91.9	185	6	179	4	1	11	−10	−6

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	4	100.0	73	1	73	0	0	2	−2	0
	佐世保東	4	88.1	23	0	22	0	0	0	0	−1
	佐世保北	5	95.6	43	0	46	0	1	0	1	3
	佐世保中央	4	100.0	43	1	45	1	1	1	0	2
	佐世保東南	4	86.9	21	0	23	0	0	0	0	2
	HTB佐世保	5	87.0	20	3	22	2	0	1	−1	2
	小計		92.9	223	5	231	3	2	4	−2	8
第7グループ	大村	4	92.5	48	3	51	3	0	0	0	3
	島原	5	77.6	27	2	25	3	0	1	−1	−2
	雲仙	4	88.0	28	1	24	1	0	1	−1	−4
	大村北	4	100.0	23	0	16	1	0	6	−6	−7
	島原南	4	70.0	21	1	24	1	0	0	0	3
	大村東	5	87.3	41	4	38	4	0	1	−1	−3
	小計		85.9	188	11	178	13	0	9	−9	−10
第8グループ	諫早	4	78.3	63	0	65	0	0	1	−1	2
	諫早北	4	79.8	66	3	66	2	1	1	0	0
	諫早西	4	91.7	38	0	39	0	0	0	0	1
	諫早多良見	5	93.3	40	0	36	0	0	0	0	−4
	諫早南	4	90.0	24	4	25	6	1	0	1	1
	小計		86.6	231	7	231	8	2	2	0	0
第9グループ	長崎	4	81.8	82	0	81	0	2	3	−1	−1
	福江	4	94.4	34	0	33	0	0	1	−1	−1
	長崎北東	4	81.7	38	5	40	5	2	0	2	2
	福江中央	5	94.6	26	0	26	0	0	1	−1	0
	長崎西	4	74.3	56	0	58	0	1	1	0	2
	長崎琴海	4	63.2	16	1	16	1	0	1	−1	0
	小計		81.7	252	6	254	6	5	7	−2	2
第10グループ	長崎北	5	92.6	78	0	81	0	1	1	0	3
	長崎南	4	81.8	76	0	76	0	1	1	0	0
	長崎東	4	78.7	44	1	46	3	0	2	−2	2
	長崎みなと	4	86.2	23	1	27	1	0	0	0	4
	長崎中央	5	92.4	61	0	63	0	0	0	0	2
	長崎出島	4	85.0	55	11	53	11	1	2	−1	−2
	小計		86.1	337	13	346	15	3	6	−3	9
57クラブ合計			85.5	2,176	80	2,191	80	20	54	−34	15

＊上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は
7月1日から2015年6月末までの増減です。

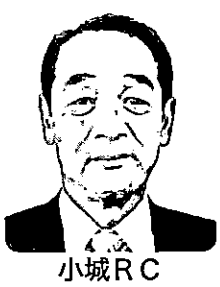
新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

佐賀ＲＣ
富田　久緒 君
損害保険ジャパン日本興亜火災㈱佐賀支店
支店長

佐賀ＲＣ
澤　　直都 君
東京海上日動火災保険㈱佐賀支店
支店長

佐賀ＲＣ
松井　幹雄 君
ＳＭＢＣ日興証券㈱佐賀支店
支店長



小城ＲＣ
古賀　正人 君
㈱古賀木材センター
代表取締役

小城ＲＣ
松尾　裕之 君
㈱五黄住建
代表取締役

小城ＲＣ
安永　　正 君
㈱安永
代表取締役

小城ＲＣ
池田　正恭 君
農業
代表者

小城ＲＣ
江口　　等 君
清水屋
代表者

小城ＲＣ
栗原　　潔 君
岡山神社
宮司

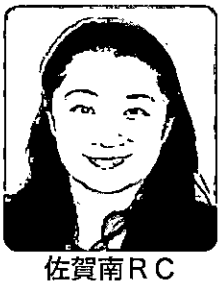
小城ＲＣ
井手真喜子 君
㈱音成印刷
代表取締役会長

小城ＲＣ
江里口　茂 君
鯉しげ
代表者

多久ＲＣ
古川　英敏 君
丸山・古川司法書士事務所
司法書士

佐賀大和ＲＣ
川浪　正大 君
㈱メディック
代表取締役

佐賀西ＲＣ
渡辺　昌之 君
ホテルニューオータニ佐賀
宿泊料飲部長



佐賀南ＲＣ
福成　有美 君
㈱アテンド
代表取締役社長

佐賀南ＲＣ
力久　芳則 君
㈱佐賀共栄銀行　佐賀北支店
支店長

佐賀南ＲＣ
清水　誠一 君
㈱アステム
営業部長

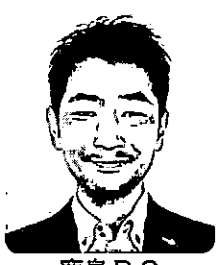
有田ＲＣ
野中研一郎 君
㈱佐賀共栄銀行有田支店
支店長

武雄ＲＣ
池田　順秀 君
㈱タケシタブリコラージュ
代表取締役

武雄ＲＣ
清水　一智 君
三光㈱
顧問

武雄ＲＣ
副島　博史 君
九州ひぜん信用金庫
本店営業部長

鹿島ＲＣ
補伽圭史郎 君
ほとぎ法律事務所
所長



鹿島ＲＣ
馬場栄一郎 君
㈱カシマ美装
専務取締役

唐津ＲＣ
川上　浩司 君
東京海上日動火災保険㈱唐津支社
支社長

唐津東ＲＣ
上野　　徹 君
住友生命保険相互会社 佐賀支社 唐津営業部
営業部長

唐津東ＲＣ
福田　正伸 君
㈱福岡銀行　唐津支店
支店長

伊万里西ＲＣ
岡口　重文 君

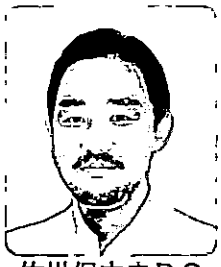
唐津中央ＲＣ
山本　　貴 君
唐津ロイヤルホテル
総支配人

佐世保ＲＣ
筒井　和彦 君
税理士法人　小田・小島総合会計
副所長

佐世保ＲＣ
長浜　陽介 君
東京海上日動火災保険㈱佐世保支社
支社長

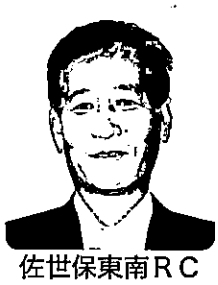
佐世保南ＲＣ
里浦　　徹 君
㈱ＪＴＢ九州・佐世保支店
支店長

佐世保北ＲＣ
田実　貞昭 君
九州電力㈱佐世保営業所
所長



佐世保中央ＲＣ
有吉　　中 君
佐世保北病院
院長

佐世保東南ＲＣ
山口　武臣 君
㈱平成建設
代表取締役

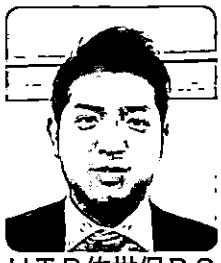


佐世保東南ＲＣ
西田　賢一 君
㈲西田工業
代表

佐世保東南ＲＣ
平地　　誠 君
㈱加根平
社長

佐世保東南ＲＣ
柳場　嘉邦 君
㈱サムソン西九州メンテナンス
代表取締役

ＨＴＢ佐世保ＲＣ
松尾　　努 君
㈱丸協食産
代表取締役社長



HＴＢ佐世保ＲＣ
田邉　靖喜 君
日本生命保険相互会社
営業部長

大村ＲＣ
芦塚　義幸 君
㈲芦塚酒店
専務

大村ＲＣ
大塚　真一 君
㈱琴花園
代表取締役

大村ＲＣ
宮本　朗 君
宮本食品工業㈲
代表取締役

島原ＲＣ
小嶺　嘉浩 君
学校法人　有明学園
理事長

島原ＲＣ
中林　政博 君
㈲サンスポーツ
顧問

島原南ＲＣ
近藤　義光 君
㈱近藤組
代表取締役

諫早ＲＣ
新宮　弘大 君
㈱新宮青果
常務取締役

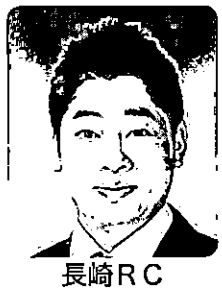
諫早北ＲＣ
善積　研午 君
いちよし証券㈱諫早支店
支店長

諫早北ＲＣ
木下　直人 君
日本生命(相)諫早営業部
営業部長

諫早西ＲＣ
南部　　仁 君
㈲政輪商会
代表取締役

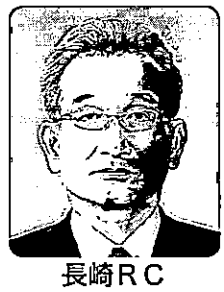
諫早南ＲＣ
村川　明子 君
医療法人五友会助村歯科医院
副医院長

諫早南ＲＣ
徳永　静香 君
Shizuka
代表



長崎ＲＣ
柿川　尚孝 君
㈱平安閣
専務取締役

長崎ＲＣ
深田　康弘 君
九州旅客鉄道㈱長崎支社
支社長



長崎ＲＣ
横田　　宏 君
三菱重工業㈱長崎造船所
執行役員　長崎造船所長

福江ＲＣ
高柳　和彦 君
第一生命保険㈱福江営業オフィス
オフィス長

長崎北東ＲＣ
前田　秀樹 君
㈲共栄
代表取締役

長崎北東ＲＣ
水口　潤二 君
たちばな信用金庫住吉支店
支店長

長崎北東ＲＣ
山口　孝佳 君
あなぶき興産九州㈱長崎出張所
所長

長崎西ＲＣ
石橋　　均 君
合同会社　ISO飛鳥
代表執行役

長崎琴海ＲＣ
大岩　啓介 君
㈱和建設
代表取締役

長崎北ＲＣ
河村　茂樹 君
オックス総合リース㈲
代表取締役

長崎北ＲＣ
石丸　　高 君
㈱親和銀行
執行役員　長崎営業部長

長崎北ＲＣ
小林　　健 君
大和証券㈱
長崎支店長

長崎北ＲＣ
髙橋　信之 君
日本生命保険相互会社　長崎支社
支社長

長崎北ＲＣ
丸田　哲也 君
㈱福岡銀行　長崎支店
支店長

長崎北ＲＣ
藤井　　潤 君
長崎放送㈱
常務取締役

長崎南ＲＣ
司波　　卓 君
損害保険ジャパン日本興亜㈱
長崎支店長

長崎東ＲＣ
古藤　康徳 君
㈱西菱環境開発
取締役営業部長

長崎中央ＲＣ
稲田　和幸 君
あいおいニッセイ同和損害保険㈱
支店長

長崎中央ＲＣ
吉田　修司 君
司法書士法人　吉田合同事務所
代表社員

長崎出島ＲＣ
岩吉　正士 君
三井生命保険㈱長崎支社
支社長

物　故　者

謹んでお悔やみ申し上げます。

唐津東ＲＣ
坂本　達也 君
（享年81歳）

雲仙ＲＣ
宮崎　高幸 君
（享年75歳）

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団

	種類	氏名	クラブ名
4月	メジャードナー	野口 清	佐賀
		福田金治	佐世保
		栗林英雄	諫早北
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	香月 孝	佐賀
		野中博久	佐賀
		木下博行	佐賀
		平野功二郎	唐津東
		山崎光英	伊万里西
		池田光利	諫早
		犬尾博治	諫早
		山下博之	諫早
		井手雅康	諫早
		佐藤 豊	長崎琴海
		友岡純一	長崎琴海
		東 直美	長崎北
	ポール・ハリス・フェロー	古賀利明	佐賀
		川副隆裕	佐賀南
		秋山徳昭	伊万里西
		田中國博	佐世保東南
		村川一人	諫早
		矢野義友	長崎南
	ポリオプラス	栗林英雄	諫早北
	ベネファクター	八江正光	諫早
5月	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	隅田穢男	唐津
		佐保 榮	佐世保
		川原哲也	長崎中央
	ポール・ハリス・フェロー	小川 信	佐世保南
		植木義孝	佐世保南
		宮崎高一	雲仙
		平沼明徳	諫早
		松山敏雄	長崎みなと
	メモリアル・コントリビューション	中嶋泰生	唐津西
6月	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	北島恭一	佐賀南
		福元裕二	佐賀北
		村田純一	佐世保南
		小溝忠徳	諫早北
		平山寿則	長崎西
		荒木正雄	長崎西
	ポール・ハリス・フェロー	江本志寿雄	牛津
		福島隆暢	佐賀大和
		中尾嘉宏	佐賀北
		奥田律雄	佐賀南
		川内 進	有田
		川原建設㈱(川原丈司)	伊万里
		加賀江 順市	平戸
		加城一成	HTB佐世保
		音成征彦	大村北
		松尾健一	諫早多良見
		才津サト	福江
	ポリオプラス	合瀬一男	神埼
		福田 知	佐世保南

米山記念奨学会

	種類	氏名	クラブ名
4月	メジャードナー	福田金治	佐世保
		栗林英雄	諫早北
	マルチプル	小松敏正	佐賀
		七田秀徳	佐賀
		深谷誓志	唐津中央
		村山 優	唐津中央
		東 直美	長崎北
	功労者	池田秀夫	佐賀
		岸川正人	佐賀
		白井 彰	唐津
		平野 敦	唐津
		高崎 章	唐津
		田島幸一	諫早北
		野中澄子	諫早南
5月	マルチプル	隅田穢男	唐津
		墨谷 泉	平戸
		石田一美	大村東
		石田賢二	大村東
		小牧憲明	福江中央
		長谷川 宏	長崎琴海
	功労者	徳川清隆	唐津
		東島吉隆	唐津
		水田智康	伊万里
		村上 伸	唐津東
		平野畯策	唐津東
		田畑 聡	松浦
		橋本雅男	福江
	準米山功労法人	㈲柳田建材(柳田靖夫)	福江
6月	メジャードナー	宮崎清彰	諫早北
	マルチプル	太田明二	伊万里西
		吉原弘雄	伊万里西
		山元章生	伊万里西
		堀川博邦	伊万里西
		平野省蔵	伊万里西
		岩崎修一	諫早北
		鳥巣維文	長崎
	功労者	堤 眞敏	佐賀大和
		福田雅信	有田
		岩本剛人	唐津西
		河野智幸	唐津西
		宮丸典子	唐津中央
		金子壽重子	雲仙
		宅島英樹	雲仙
		原田 徹	雲仙
		平山寿則	長崎西
		飯田義則	長崎みなと
	米山功労クラブ	唐津西RC	第8回
		諫早北RC	第22回

地区資料 (2014～2015年度)

目　　次

主な活動実績（受賞クラブ紹介）…… 18
2014-2015年度　会員数推移 …… 19
2014-2015年度　出席率推移 …… 20
ロータリー財団クラブ別寄付額 …… 21
米山記念奨学会寄付金明細表 …… 22
ロータリー財団寄付者 …… 23
ロータリー米山記念奨学会寄付者 …… 25
ロータリー財団グローバル補助金奨学生・地区補助金奨学生 …… 27
米山記念奨学生一覧 …… 28
国際青少年交換学生 …… 29
インターアクトクラブ一覧 …… 30
ローターアクトクラブ一覧 …… 30
年間行事報告 …… 31
2014-2015年度　物故会員 …… 35
2014-2015年度　地区資金会計、収支決算書 …… 36

《主な活動実績》

（敬称略）

Ⅰ2014-15年度会員増強拡大関係報告（2015年6月30日現在による）

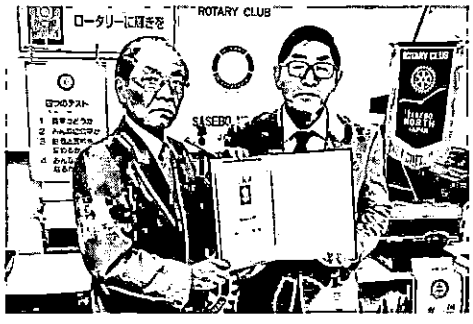
■会員数報告
地区内会員数　2,191名　　2014年７月１日現在比　15名増
（内、女性会員　　80名　　2014年７月１日現在比　０名）

■優秀クラブ（クラブ別会員動向）

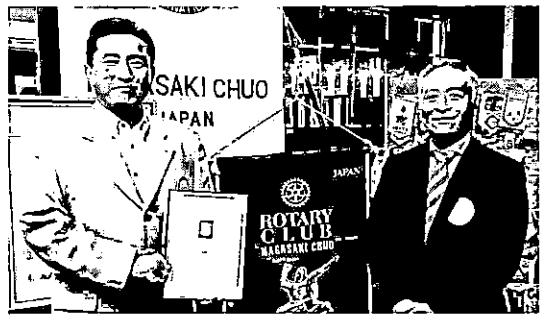
種　　類	ロータリークラブ		
会員増減率	小城RC　147.4%	長崎みなとRC　117.4%	佐賀RC　115.5%
最多新規会員	佐賀RC、小城RC、長崎RC　11名	長崎北RC　8名	佐賀南RC、佐世保RC　7名
退会防止（退会者０名）	神埼RC、太良RC、北松浦RC、島原南RC		

Ⅱ第2740地区　各種表彰　受賞クラブ・受賞者紹介

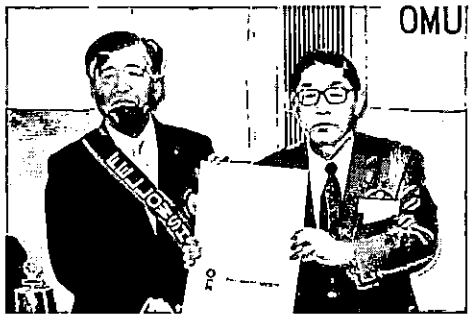
■ＲＩ会長賞
☆佐世保北ロータリークラブ
会長／大鳥居　宏



☆長崎中央ロータリークラブ
会長／岡田　康信



■ポール・ハリス・ソサエティ・メンバー
髙木　栄　　大村ロータリークラブ



■ロータリー米山記念奨学会

達成クラブ	松浦ロータリークラブ	１千万円
	諫早北ロータリークラブ	３千万円

Ⅲその他

■新インターアクトクラブ結成
インターアクトクラブ名：純心女子高等学校インターアクトクラブ
提唱ロータリークラブ：長崎中央ロータリークラブ
結成日：2014年10月４日

《2014-2015年度　会員数推移》

グループ	クラブ名	本年度初会員数	うち、女性会員	本年度中新規会員	うち、女性会員	本年度中退会会員	うち、女性会員	本年度末会員数	うち、女性会員	本年度初比増減数	うち、女性会員
第1グループ	佐賀	58	0	11	0	2	0	67	0	9	0
	小城	19	2	11	1	2	0	28	3	9	1
	牛津	28	0	2	0	2	0	28	0	0	0
	多久	36	6	6	0	6	2	36	4	0	-2
	佐賀大和	24	3	1	0	4	0	21	3	-3	0
	小計	165	11	31	1	16	2	180	10	15	-1
第2グループ	佐賀西	39	0	3	0	2	0	40	0	1	0
	佐賀北	41	3	2	0	4	1	39	2	-2	-1
	佐賀南	36	2	7	1	5	0	38	3	2	1
	神埼	36	3	1	0	0	0	37	3	1	0
	佐賀空港	15	1	1	0	1	0	15	1	0	0
	小計	167	9	14	1	12	1	169	9	2	0
第3グループ	有田	33	0	2	0	1	0	34	0	1	0
	武雄	52	4	4	0	4	0	52	4	0	0
	鹿島	44	3	2	0	7	0	39	3	-5	0
	嬉野	24	1	0	0	4	0	20	1	-4	0
	大町	15	0	2	0	2	0	15	0	0	0
	白石	8	0	0	0	2	0	6	0	-2	0
	太良	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0
	小計	186	8	10	0	20	0	176	8	-10	0
第4グループ	唐津	55	0	2	0	3	0	54	0	-1	0
	伊万里	27	0	4	0	5	0	26	0	-1	0
	唐津東	53	0	4	0	5	0	52	0	-1	0
	唐津西	30	0	4	0	1	0	33	0	3	0
	伊万里西	45	0	4	0	1	0	48	0	3	0
	唐津中央	32	4	3	0	1	0	34	4	2	0
	小計	242	4	21	0	16	0	247	4	5	0
第5グループ	佐世保	74	0	7	0	8	0	73	0	-1	0
	平戸	39	4	3	0	9	3	33	1	-6	-3
	佐世保西	22	1	4	1	2	0	24	2	2	1
	北松浦	24	0	1	0	0	0	25	0	1	0
	松浦	26	1	0	0	2	0	24	1	-2	0
	小計	185	6	15	1	21	3	179	4	-6	-2
第6グループ	佐世保南	73	1	5	0	5	1	73	0	0	-1
	佐世保東	23	0	0	0	1	0	22	0	-1	0
	佐世保北	43	0	4	0	1	0	46	0	3	0
	佐世保中央	43	1	3	0	1	0	45	1	2	0
	佐世保東南	21	0	5	0	3	0	23	0	2	0
	HTB佐世保	20	3	3	0	1	1	22	2	2	-1
	小計	223	5	20	0	12	2	231	3	8	-2
第7グループ	大村	48	3	5	0	2	0	51	3	3	0
	島原	27	2	3	1	5	0	25	3	-2	1
	雲仙	28	1	0	0	4	0	24	1	-4	0
	大村北	23	0	1	1	8	0	16	1	-7	1
	島原南	21	1	3	0	0	0	24	1	3	0
	大村東	41	4	1	0	4	0	38	4	-3	0
	小計	188	11	13	2	23	0	178	13	-10	2
第8グループ	諫早	63	0	5	0	3	0	65	0	2	0
	諫早北	66	3	4	0	4	1	66	2	0	-1
	諫早西	38	0	2	0	1	0	39	0	1	0
	諫早多良見	40	0	0	0	4	0	36	0	-4	0
	諫早南	24	4	2	2	1	0	25	6	1	2
	小計	231	7	13	2	13	1	231	8	0	1
第9グループ	長崎	82	0	11	0	12	0	81	0	-1	0
	福江	34	0	4	0	5	0	33	0	-1	0
	長崎北東	38	5	4	0	2	0	40	5	2	0
	福江中央	26	0	2	0	2	0	26	0	0	0
	長崎西	56	0	5	0	3	0	58	0	2	0
	長崎琴海	16	1	1	0	1	0	16	1	0	0
	小計	252	6	27	0	25	0	254	6	2	0
第10グループ	長崎北	78	0	8	0	5	0	81	0	3	0
	長崎南	76	0	3	0	3	0	76	0	0	0
	長崎東	44	1	5	3	3	1	46	3	2	2
	長崎みなと	23	1	5	0	1	0	27	1	4	0
	長崎中央	61	0	4	0	2	0	63	0	2	0
	長崎出島	55	11	3	1	5	1	53	11	-2	0
	小計	337	13	28	4	19	2	346	15	9	2
合計		2,176	80	192	11	177	11	2,191	80	15	0

《2014-2015年度　出席率推移》

グループ	クラブ名	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
第1グループ	佐賀	86.0	89.3	78.5	86.2	81.1	78.7	76.8	76.4	89.9	81.7	79.4	76.9	81.8
	小城	83.4	85.3	82.0	76.0	78.4	80.7	73.0	75.6	80.2	70.4	74.5	81.8	78.4
	牛津	78.2	79.7	83.3	81.6	80.0	77.5	71.6	72.5	78.3	70.7	73.8	79.5	77.2
	多久	85.0	81.2	84.3	84.3	80.4	78.5	83.3	87.8	83.9	84.3	86.3	86.5	83.8
	佐賀大和	77.9	81.5	79.5	66.3	70.5	79.1	71.2	61.9	75.2	74.6	81.5	75.2	74.5
	小計	82.1	83.4	81.5	78.9	78.1	78.9	75.2	74.8	81.5	76.3	79.1	80.0	79.2
第2グループ	佐賀西	83.9	82.9	87.0	91.0	86.5	94.8	88.7	87.9	85.5	89.0	82.4	81.2	86.7
	佐賀北	77.5	77.8	77.3	72.2	77.6	76.4	70.4	69.6	72.1	76.3	73.3	75.6	74.7
	佐賀南	84.4	79.0	82.0	87.4	74.3	85.4	83.0	83.0	80.0	76.9	72.5	78.5	80.5
	神埼	87.8	90.4	69.9	91.9	91.2	81.8	90.5	89.2	90.0	86.0	91.0	87.0	87.2
	佐賀空港	80.2	76.9	72.0	76.0	75.0	79.0	77.0	76.0	74.0	45.7	71.4	72.0	72.9
	小計	82.7	81.4	77.6	83.7	80.9	83.5	81.9	81.1	80.3	74.8	78.1	78.9	80.4
第3グループ	有田	82.5	74.7	77.9	71.0	76.5	81.3	78.9	74.1	74.3	79.1	75.0	76.0	76.8
	武雄	90.6	93.0	96.6	94.2	96.2	92.3	91.7	93.3	91.8	92.6	94.8	91.5	93.2
	鹿島	97.6	95.1	96.3	91.4	93.1	93.3	87.7	81.3	85.5	91.5	87.0	88.9	90.7
	嬉野	83.3	87.4	81.2	88.5	92.4	91.2	85.3	82.1	86.9	91.3	90.2	84.8	87.0
	大町	68.3	75.6	75.0	75.0	71.9	77.1	76.6	68.8	68.8	73.4	62.5	70.3	71.9
	白石	71.9	66.7	71.4	74.3	67.9	71.4	66.7	72.2	71.1	83.3	61.1	66.7	70.4
	太良	90.0	90.0	97.5	94.0	90.0	95.0	80.0	90.0	95.0	95.0	90.0	90.0	91.4
	小計	83.5	83.2	85.1	84.1	84.0	85.9	81.0	80.2	81.9	86.6	80.1	81.2	83.1
第4グループ	唐津	91.1	89.3	91.7	88.4	84.5	90.3	90.0	89.6	86.4	95.4	83.5	90.5	89.2
	伊万里	99.3	94.4	97.5	94.9	95.7	95.8	97.5	100.0	95.8	98.3	96.7	95.0	96.8
	唐津東	88.1	85.9	87.1	80.4	86.2	86.8	82.3	85.6	88.6	88.4	85.6	85.3	85.9
	唐津西	93.1	90.9	96.6	90.8	90.2	92.4	87.9	90.0	89.9	88.0	88.4	91.8	90.8
	伊万里西	91.7	88.9	86.5	89.7	83.7	81.1	87.6	91.8	92.3	89.3	88.0	90.0	88.4
	唐津中央	83.6	82.8	86.7	81.6	86.0	91.2	83.8	88.2	89.5	88.4	88.1	87.7	86.5
	小計	91.2	88.7	91.0	87.6	87.7	89.6	88.2	90.9	90.4	91.3	88.4	90.0	89.6
第5グループ	佐世保	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平戸	77.6	76.1	83.5	82.2	63.5	86.4	73.4	82.1	71.1	78.2	83.6	87.1	78.7
	佐世保西	90.1	86.4	88.3	90.2	88.0	84.0	91.3	93.5	91.3	91.4	92.4	92.9	90.0
	北松浦	96.9	95.6	95.7	97.9	93.7	97.2	92.9	93.9	93.0	96.0	94.6	95.9	95.3
	松浦	97.0	94.0	90.4	90.8	89.4	96.2	86.5	88.5	90.1	87.5	86.5	83.7	90.0
	小計	92.3	90.4	91.6	92.2	86.9	92.8	88.8	91.6	89.1	90.6	91.4	91.9	90.8
第6グループ	佐世保南	99.7	100.0	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9
	佐世保東	90.9	95.5	97.7	96.6	90.9	91.8	98.8	96.4	95.2	97.1	96.8	88.1	94.7
	佐世保北	99.2	98.1	98.1	98.4	100.0	96.9	97.7	97.1	98.1	96.3	95.8	95.6	97.6
	佐世保中央	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	佐世保東南	83.6	84.1	86.8	82.1	92.1	92.1	98.6	87.0	82.6	78.2	92.8	86.9	87.2
	ＨＴＢ佐世保	98.8	96.4	95.8	86.2	89.5	84.9	95.7	91.6	94.1	91.5	90.2	87.0	91.8
	小計	95.4	95.7	96.4	93.8	95.4	94.3	98.5	95.4	95.0	93.9	95.9	92.9	95.2
第7グループ	大村	90.4	85.7	86.5	87.3	89.9	94.3	89.0	90.1	90.2	90.2	92.8	92.5	89.9
	島原	70.9	72.0	78.0	70.3	68.5	76.1	69.9	70.5	69.3	71.2	69.6	77.6	72.0
	雲仙	91.1	95.0	91.1	92.0	89.8	85.2	85.2	88.5	89.7	90.3	86.0	88.0	89.3
	大村北	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	島原南	70.0	69.0	70.0	67.5	65.0	68.0	70.0	67.0	70.0	70.2	76.0	70.0	69.4
	大村東	89.7	87.6	86.1	86.5	89.1	83.8	83.4	81.2	84.6	92.0	89.8	87.3	86.7
	小計	85.3	84.9	85.3	83.9	83.7	84.5	82.9	82.9	84.0	85.6	85.7	85.9	84.6
第8グループ	諫早	80.2	87.3	84.6	80.1	87.2	84.1	82.4	85.2	84.3	81.9	79.8	78.3	82.9
	諫早北	84.8	78.8	87.4	79.2	83.1	79.2	76.0	79.5	72.3	68.6	77.3	79.8	78.8
	諫早西	89.7	89.7	92.2	90.1	93.4	93.4	93.8	97.3	92.6	95.9	91.0	91.7	92.6
	諫早多良見	81.1	86.8	86.2	85.5	86.2	83.3	84.9	92.0	85.7	85.4	88.9	93.3	86.6
	諫早南	84.7	80.6	84.4	90.3	77.1	85.9	87.0	77.1	80.2	84.4	81.9	90.0	83.6
	小計	84.1	84.6	86.9	85.0	85.4	85.2	84.8	86.2	83.0	83.2	83.8	86.6	84.9
第9グループ	長崎	88.7	86.6	84.5	83.7	86.1	87.6	82.8	95.8	81.2	86.1	85.6	81.8	85.9
	福江	93.8	90.5	88.2	91.4	89.2	83.1	89.0	95.2	86.8	92.4	95.2	94.4	90.8
	長崎北東	82.2	82.4	75.6	84.4	79.0	71.9	75.5	84.8	76.3	83.3	80.5	81.7	79.8
	福江中央	95.2	92.6	93.1	94.2	95.2	95.0	92.4	97.5	94.3	98.0	97.3	94.6	94.9
	長崎西	83.0	73.3	82.6	78.7	89.3	78.4	80.7	88.8	75.6	74.6	76.7	74.3	79.7
	長崎琴海	65.6	56.3	67.2	62.5	68.8	68.8	73.4	70.3	57.8	67.2	74.5	63.2	66.3
	小計	84.7	80.3	81.9	82.5	84.6	80.8	82.3	88.7	78.7	83.6	85.0	81.7	82.9
第10グループ	長崎北	75.4	73.7	80.0	74.4	86.7	81.4	83.5	88.1	78.9	97.5	94.7	92.6	83.9
	長崎南	81.4	80.4	88.5	77.8	80.1	78.5	83.7	82.8	77.8	76.5	77.5	81.8	80.6
	長崎東	83.2	75.1	76.5	83.1	79.0	80.4	82.7	85.5	76.9	80.2	76.1	78.7	79.8
	長崎みなと	82.4	85.4	82.1	84.9	82.5	84.3	80.1	82.2	81.4	85.2	82.3	86.2	83.2
	長崎中央	90.8	93.4	94.4	93.7	96.5	93.8	95.9	96.0	94.1	93.8	93.8	92.4	94.0
	長崎出島	82.7	80.5	81.8	84.0	84.1	82.4	78.2	90.0	76.6	75.9	79.2	85.0	81.7
	小計	82.6	81.4	83.9	83.0	84.8	83.5	84.0	87.4	81.0	84.8	83.9	86.1	83.9
合計		86.4	85.4	86.2	85.5	85.3	86.0	84.8	86.0	84.5	85.4	85.2	85.5	85.5

《ロータリー財団クラブ別寄付額》 2014年７月１日～2015年６月30日

（単位：ドル）

クラブ名	会員数	目標額	達成率	一人当たり	年次寄付	ポリオプラス	恒久基金寄付	合計
佐賀	58	7500	72%	92.93	5390	1000	0	6390.00
小城	19	1000	46%	24.21	460	0	0	460.00
牛津	28	1000	202%	72.27	2023.6	0	0	2023.60
多久	36	1000	100%	27.78	1000	0	0	1000.00
佐賀大和	24	2400	51%	50.83	1220	114.42	0	1334.42
佐賀西	39	3900	51%	51.28	2000	0	0	2000.00
佐賀北	41	3475	123%	104.45	4282.37	0	0	4282.37
佐賀南	36	3600	131%	131.11	4720	0	0	4720.00
神埼	36	3000	67%	55.56	2000	1616.96	0	3616.96
佐賀空港	15	1500	0%	0.00	0	0	0	0.00
有田	33	2000	110%	66.67	2200	0	0	2200.00
武雄	52	5300	107%	109.22	5679.53	0	0	5679.53
鹿島	44	4576	91%	94.76	4169.35	0	0	4169.35
鍋野	24	1900	13%	10.59	254.24	652.54	339	1245.78
大町	15	1000	40%	26.67	400	0	0	400.00
白石	8	240	50%	15.00	120	0	0	120.00
太良	10	424	0%	0.00	0	0	0	0.00
唐津	55	2000	56%	20.20	1111	0	0	1111.00
伊万里	27	2000	100%	74.07	2000	0	0	2000.00
唐津東	53	2000	646%	243.87	12925	9.8	0	12934.80
唐津西	30	3200	36%	38.75	1162.46	0	0	1162.46
伊万里西	45	2000	100%	44.44	2000	0	0	2000.00
唐津中央	32	3200	10%	10.31	330	0	0	330.00
佐世保	74	3000	187%	75.70	5602	882.08	0	6484.08
平戸	39	3000	100%	76.92	3000	0	0	3000.00
佐世保西	22	3000	127%	172.81	3801.89	0	0	3801.89
北松浦	24	1000	10%	4.17	100	0	0	100.00
松浦	26	2900	141%	157.69	4100	0	0	4100.00
佐世保南	73	6000	100%	82.19	6000	1000	1000	8000.00
佐世保東	23	2200	73%	70.06	1611.36	720.29	0	2331.65
佐世保北	43	6750	139%	218.23	9384	0	1000	10384.00
佐世保中央	43	4500	49%	51.51	2215	0	0	2215.00
佐世保東南	21	1000	100%	47.62	1000	0	0	1000.00
ＨＴＢ佐世保	20	2100	48%	50.00	1000	0	0	1000.00
大村	48	4800	110%	110.42	5300	1000	1000	7300.00
島原	27	5050	62%	116.83	3154.28	1332.3	0	4486.58
雲仙	28	3900	70%	97.61	2733	0	0	2733.00
大村北	23	2300	108%	107.83	2480	0	0	2480.00
島原南	21	1500	67%	47.62	1000	0	0	1000.00
大村東	41	4100	73%	73.17	3000	0	0	3000.00
諫早	63	6600	100%	105.24	6630	0	1000	7630.00
諫早北	66	10200	82%	126.06	8320	3000	0	11320.00
諫早西	38	3000	123%	96.95	3684	0	1000	4684.00
諫早多良見	40	2100	126%	66.07	2642.71	0	0	2642.71
諫早南	24	1000	247%	102.92	2470	360	0	2830.00
長崎	82	8750	71%	75.94	6226.78	2001.12	1000	9227.90
福江	34	5250	90%	138.24	4700	1000	0	5700.00
長崎北東	38	4800	81%	102.63	3900	2000	0	5900.00
福江中央	26	4200	45%	73.08	1900	0	2000	3900.00
長崎西	56	8500	40%	61.26	3430.65	1000	0	4430.65
長崎琴海	16	1600	125%	125.00	2000	0	0	2000.00
長崎北	78	8000	159%	162.93	12708.81	0	0	12708.81
長崎南	76	9700	86%	109.21	8300	0	1000	9300.00
長崎東	44	5000	114%	129.55	5700	0	0	5700.00
長崎みなと	23	2000	56%	48.48	1115	0	0	1115.00
長崎中央	61	6100	87%	86.64	5285	1500	1000	7785.00
長崎出島	55	5500	104%	103.64	5700	0	1000	6700.00
２７４０地区					7000	2000	0	9000.00
合計	2176				202642.03	21189.51	11339	235170.54

《米山記念奨学会寄付金明細表》 2014年7月1日～2015年6月30日

(単位：円)

クラブ名	普通寄付金単価（年額）	2014／7月—2015／6月			会員数（1月1日）	一人当たり平均寄付額	過去累計額		
		普通寄付	特別寄付	合　計			普通寄付金	特別寄付金	合　計
佐賀	6,000	372,000	400,000	772,000	66	11,696	12,621,000	16,910,000	29,531,000
小城	3,000	63,000	245,500	308,500	22	14,022	3,486,250	4,964,000	8,450,250
牛津	3,000	87,000	0	87,000	30	2,900	3,133,750	8,500,000	11,633,750
多久	3,000	115,500	0	115,500	41	2,817	2,881,500	4,000,000	6,881,500
佐賀大和	3,500	78,750	316,250	395,000	22	17,954	1,441,250	5,716,250	7,157,500
佐賀西	6,000	234,000	0	234,000	41	5,707	9,093,150	12,350,000	21,443,150
佐賀北	5,000	200,000	403,000	603,000	41	14,707	5,930,750	8,497,000	14,427,750
佐賀南	4,000	144,000	100,000	244,000	39	6,256	3,072,500	4,323,000	7,395,500
神埼	4,500	166,500	500,000	666,500	37	18,013	2,699,250	3,685,407	6,384,657
佐賀空港	3,000	45,000	0	45,000	16	2,812	759,900	0	759,900
有田	4,000	136,000	100,000	236,000	34	6,941	4,728,000	2,460,000	7,188,000
武雄	4,000	208,000	371,000	579,000	52	11,134	7,816,650	7,493,950	15,310,600
鹿島	4,000	166,000	300,000	466,000	40	11,650	5,698,450	6,300,000	11,998,450
嬉野	2,000	48,000	0	48,000	24	2,000	2,730,500	1,580,000	4,310,500
大町	2,000	32,000	0	32,000	16	2,000	3,407,000	2,890,000	6,297,000
白石	2,000	12,000	0	12,000	6	2,000	2,364,000	1,360,000	3,724,000
太良	2,000	20,000	0	20,000	10	2,000	600,000	2,000,000	2,600,000
唐津	3,000	166,500	800,000	966,500	56	17,258	6,556,070	11,100,000	17,656,070
伊万里	4,000	114,000	300,000	414,000	30	13,800	6,104,700	9,620,000	15,724,700
唐津東	4,000	216,000	500,000	716,000	55	13,018	5,334,750	7,635,000	12,969,750
唐津西	4,000	126,000	200,000	326,000	33	9,878	5,048,500	8,030,000	13,078,500
伊万里西	4,500	200,500	500,000	700,500	44	15,920	6,316,500	13,594,000	19,910,500
唐津中央	3,000	99,000	250,000	349,000	34	10,264	1,949,000	9,330,000	11,279,000
佐世保	3,000	222,000	570,000	792,000	74	10,702	9,488,800	74,106,000	83,594,800
平戸	4,000	156,000	200,000	356,000	39	9,128	5,052,450	11,752,435	16,804,885
佐世保西	3,000	67,500	21,000	88,500	22	4,022	4,786,950	17,181,000	21,967,950
北松浦	4,000	96,000	100,000	196,000	25	7,840	4,607,500	10,996,370	15,603,870
松浦	4,400	114,400	300,000	414,400	26	15,938	3,532,900	6,486,221	10,019,121
佐世保南	2,000	150,000	1,000,000	1,150,000	77	14,935	8,252,300	38,848,846	47,101,146
佐世保東	2,000	45,000	190,000	235,000	22	10,681	5,896,500	17,587,679	23,484,179
佐世保北	2,000	88,000	600,000	688,000	45	15,288	3,143,250	30,000,000	33,143,250
佐世保中央	2,000	90,000	300,000	390,000	45	8,666	2,878,000	6,400,000	9,278,000
佐世保東南	4,200	84,000	0	84,000	19	4,421	1,138,800	1,700,000	2,838,800
HTB佐世保	4,000	84,000	0	84,000	21	4,000	2,030,000	4,400,000	6,430,000
大村	4,000	194,000	0	194,000	48	4,041	6,047,350	4,384,000	10,431,350
島原	3,000	75,000	0	75,000	25	3,000	4,547,550	2,300,000	6,847,550
雲仙	4,000	110,000	450,000	560,000	27	20,740	4,478,250	6,369,500	10,847,750
大村北	3,000	70,500	0	70,500	24	2,937	3,451,000	6,020,000	9,471,000
島原南	5,000	112,500	0	112,500	23	4,891	2,030,500	1,000,000	3,030,500
大村東	3,000	120,000	200,000	320,000	39	8,205	2,545,500	5,650,000	8,195,500
諫早	3,000	195,000	500,000	695,000	67	10,373	6,277,250	12,500,000	18,777,250
諫早北	4,000	262,000	2,500,000	2,762,000	65	42,492	7,703,000	22,960,000	30,663,000
諫早西	3,200	123,200	400,000	523,200	39	13,415	3,175,050	5,900,000	9,075,050
諫早多良見	3,000	114,000	0	114,000	38	3,000	2,523,500	4,999,073	7,522,573
諫早南	2,000	47,000	100,000	147,000	23	6,391	1,581,500	1,781,000	3,362,500
長崎	5,000	413,000	356,242	769,242	83	9,267	16,236,850	29,759,764	45,996,614
福江	3,000	106,500	430,000	536,500	36	14,902	5,568,750	13,483,449	19,052,199
長崎北東	3,000	117,000	273,000	390,000	39	10,000	6,678,000	25,260,500	31,938,500
福江中央	4,000	108,000	240,000	348,000	28	12,428	4,858,000	16,308,647	21,166,647
長崎西	4,000	224,000	532,000	756,000	58	13,034	5,720,160	15,889,840	21,610,000
長崎琴海	2,000	32,000	100,000	132,000	16	8,250	1,187,500	4,633,830	5,821,330
長崎北	4,000	312,000	200,000	512,000	80	6,400	11,113,500	21,677,000	32,790,500
長崎南	4,000	306,000	1,030,000	1,336,000	77	17,350	12,367,050	29,698,000	42,065,050
長崎東	10,000	460,000	200,000	660,000	48	13,750	11,766,100	20,955,000	32,721,100
長崎みなと	3,000	69,000	70,000	139,000	25	5,560	3,352,250	8,430,000	11,782,250
長崎中央	5,000	302,500	300,000	602,500	60	10,041	4,431,500	9,869,000	14,300,500
長崎出島	4,000	220,000	330,000	550,000	55	10,000	2,129,000	8,611,000	10,740,000
2740地区その他		0	500,000	500,000	0	0	2,251,000	9,860,500	12,111,500
合　計		8,339,850	17,277,992	25,617,842	2,227	11,503	286,600,980	660,097,261	946,698,241

《ロータリー財団寄付者》

◆ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
古賀利明	佐賀
江本志寿雄	牛津
中川清美	多久
福島隆暢	佐賀大和
中尾嘉宏	佐賀北
川副隆裕	佐賀南
奥田律雄	佐賀南
空閑彰彦	神埼
池田人昭	有田
川内進	有田
谷口優	武雄
川原建設㈱(川原丈司)	伊万里
村上伸	唐津東
秋山徳昭	伊万里西
幸良秋夫	佐世保
加賀江順市	平戸
崎田誠伸	佐世保西
竹本光一郎	松浦
宮地学	佐世保南
小川信	佐世保南
植木義孝	佐世保南
松永祐司	佐世保北
小川寛	佐世保北
山口裕之	佐世保中央
香月章彦	佐世保中央
田中國博	佐世保東南
加城一成	HTB佐世保
竹房政美	大村
渡海昇	大村
森山一秀	島原
宮崎高一	雲仙
音成征彦	大村北
川原博司	大村東
村川一人	諫早
平沼明徳	諫早
原田典範	諫早西
吉田健一郎	諫早西
松尾健一	諫早多良見
嶋崎真英	長崎
中村栄治	福江
才津光寛	福江
才津サト	福江
丸木覚誠	長崎北東
草野一夫	長崎北東
新島美佐子	長崎北東
森義彦	長崎北東
山口裕	長崎北東
本岡晃	福江中央
堀啓二	長崎北
大進建設（中村知也）	長崎北
三工電機（小林純一）	長崎北
腎病院（船越哲）	長崎北
矢野義友	長崎南
松山敏雄	長崎みなと
高谷忠	長崎出島
塚本敏	長崎出島

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
香月孝	佐賀
野中博久	佐賀
木下博行	佐賀
福元裕二	佐賀北
駒井英基	佐賀南
北島恭一	佐賀南
合瀬一男	神埼
富永正嗣	武雄
隅田穢男	唐津
小島浩彦	唐津東
平野功二郎	唐津東
山崎光英	伊万里西
大神邦明	佐世保
円田昭	佐世保
佐保榮	佐世保
中野浩	平戸
松本芳喜	平戸
江口圭介	佐世保西
福田輝機	佐世保西
小田浩	松浦
中山吉則	松浦
藤永辰弘	佐世保南

村田純一	佐世保南
豊島揆一	佐世保北
宮原明夫	佐世保北
中井康晴	佐世保北
蒲池芳明	佐世保北
中村静生	佐世保北
三谷秀和	佐世保北
富田耕司	佐世保北
藤井良介	佐世保北
湯口純二	佐世保北
平石晃一	佐世保北
中瀬和隆	大村
西川義文	大村
髙木栄	大村東
池田光利	諫早
犬尾博治	諫早
山下博之	諫早
井手雅康	諫早
岩崎修一	諫早北
溝越孝	諫早北
宮﨑清彰	諫早北
小溝忠徳	諫早北
辻本善樹	諫早西
助村房子	諫早南
千葉まさこ	諫早南
張本民雄	福江
田中紀男	長崎北東
馬場政徳	長崎西
平山寿則	長崎西
荒木正雄	長崎西
佐藤豊	長崎琴海
友岡純一	長崎琴海
中嶋久光	長崎北
坂井秀之	長崎北
東直美	長崎北
内田信康	長崎東
岡田康信	長崎中央
尾上信哉	長崎中央
井筒亮平	長崎中央
川原哲也	長崎中央

◆メジャードナー

氏名	クラブ名
野口清	佐賀
福田金治	佐世保
前田一彦	佐世保南
福田俊郎	佐世保北
緒方信行	佐世保北
南野健	大村北
栗林英雄	諫早北

◆ポリオプラス

氏名	クラブ名
合瀬一男	神埼
溝口尚則	佐世保
福田知	佐世保南
森栄一郎	諫早北
栗林英雄	諫早北
岩永信昭	長崎北東
長崎中央ロータリークラブ	
福江ロータリークラブ	
大村ロータリークラブ	

◆ベネファクター

氏名	クラブ名
直江弘明	佐世保南
大鳥居宏	佐世保北
俣野正仁	大村
八江正光	諫早
辻本善樹	諫早西
上田良樹	長崎
本岡晃	福江中央
神之浦潔	福江中央
横田貞三	長崎南
岡田康信	長崎中央
加藤公子	長崎出島

◆メモリアル・コントリビューション

氏名	クラブ名
中嶋泰生	唐津西

《米山記念奨学会寄付者》

◆米山功労者

氏　名	クラブ名
池田秀夫	佐賀
岸川正人	佐賀
七田利秀	小城
堤　眞敏	佐賀大和
古宇田れい子	佐賀南
福田雅信	有田
森　千枝子	鹿島
志田原　哲	唐津
白井　彰	唐津
高崎　章	唐津
平野　敦	唐津
徳川清隆	唐津
東島吉隆	唐津
山浦義行	伊万里
水田智康	伊万里
井上猛雄	唐津東
佐伯岳歩	唐津東
宮島省吾	唐津東
村上　伸	唐津東
平野畯策	唐津東
岩本剛人	唐津西
河野智幸	唐津西
佐々木義文	唐津中央
宮丸典子	唐津中央
円田　昭	佐世保
森　幸雄	平戸
永田　章	北松浦
小林尚人	松浦
田畑　聡	松浦
作元誠司	佐世保南
金澤　一	佐世保東
中村静生	佐世保北
前田眞澄	佐世保中央
本田　実	佐世保中央
大久保厚司	佐世保中央
金子壽重子	雲仙
宅島英樹	雲仙
原田　徹	雲仙
村川一人	諫早
村田好隆	諫早
中尾通明	諫早
辻　登志美	諫早北
田島幸一	諫早北
池松和彦	諫早西
平　武	諫早西
野中澄子	諫早南
上田良樹	長崎
中根允文	長崎
橋本雅男	福江
平山寿則	長崎西
中村安志	長崎東
飯田義則	長崎みなと
喜々津京子	長崎出島
荒木実子	長崎出島

◆米山功労者（マルチプル）

氏　名	クラブ名
小松敏正	佐賀
七田秀徳	佐賀
福元裕二	佐賀北
富永正嗣	武雄
花島光喜	鹿島
迎　雅瑞嗣	鹿島
野口晶教	唐津
隅田毓男	唐津
吉原弘雄	伊万里西
平野省蔵	伊万里西
山元章生	伊万里西
堀川博邦	伊万里西
太田明二	伊万里西
村山　優	唐津中央
深谷善志	唐津中央
山下尚登	佐世保
幸良秋夫	佐世保
溝口尚則	佐世保
墨谷　泉	平戸
中村文昭	佐世保南
藤永辰弘	佐世保南
山口嘉浩	佐世保南
小川　信	佐世保南
雪竹弘男	佐世保南

相良紘一郎	佐世保南
宇土義継	佐世保南
古賀良一	佐世保南
林田市也	佐世保東
湯口純二	佐世保北
富田耕司	佐世保北
本多善彦	雲仙
石田賢二	大村東
石田一美	大村東
森長之	諫早
藤本俊春	諫早
千葉憲哉	諫早北
松角雅夫	諫早北
黒田隆雄	諫早北
古川泰蔵	諫早北
岩崎修一	諫早北
辻本善樹	諫早西
木村暢義	諫早西
鳥巣維文	長崎
北島博志	福江
神之浦潔	福江中央
小牧憲明	福江中央
榎本延光	長崎西
長谷川宏	長崎琴海
中嶋久光	長崎北
東直美	長崎北
小川春彌	長崎南
大田義弘	長崎東
岡田康信	長崎中央
尾上信哉	長崎中央
殿村周三	長崎出島

◆米山功労者（メジャードナー）

氏名	クラブ名
白川十郎	伊万里
武井洋一	佐世保
福田金治	佐世保
朝永春郎	松浦
前田一彦	佐世保南
永田武義	佐世保北
福田俊郎	佐世保北
西沢茂	佐世保北
川野恒雄	諫早北
栗林英雄	諫早北
宮崎清彰	諫早北
嵩則雄	福江
塚崎寛	長崎中央

◆米山功労法人

法人名	クラブ名
富士貨物自動車㈱	神埼

◆準米山功労法人

法人名	クラブ名
芦塚皮膚泌尿器科医院	諫早北
税理士法人 ASPIRE	諫早北
㈲柳田建材	福江

◆米山功労クラブ

クラブ名
唐津
唐津西
佐世保
佐世保南
佐世保北
雲仙
諫早北
長崎北東
長崎南

《ロータリー財団補助金奨学生》

■2014-15年度　グローバル補助金奨学生

氏　名	教育機関	研究分野	留学国	ホストクラブ
渡 辺 あゆみ	University of Sussex	平和と紛争予防／紛争解決	イギリス	長 崎 南
朝 重 耕 一	Cincinnati Children's Hospital Medical Center	疾病予防と治療	アメリカ	長崎中央

■2014-15年度　地区補助金奨学生

氏　名	教育機関	研究分野	留学国	ホストクラブ
松 本 幸 治	The Uneversity of Edinburgh	小児福祉	イギリス	大　村

■2015-16年度　地区補助金奨学生

氏　名	教育機関	研究分野	留学国	ホストクラブ
家 田 絵 麻	Queen Mary University of London	教育	イギリス	大　村

《2015学年度　米山記念奨学生・世話クラブ》

氏　名 (オリジナル)	氏　名 (カナ)	性別	国　籍	学校名	課程	学年	奨学金区分	専　攻	世話クラブ (団体名)
雲　成天	ウン ソンチョン	男	韓　国	長崎大学	学部	４年	ＹＵ	海洋生物化学	長　崎
ブイ, チ　ティ ビック	ブイ, チ　ティ ビック	女	ベトナム	長崎国際 大　学	学部	４年	ＹＵ	国際観光学科	佐世保
ピアムダレド, ルンプレア	ピアムダレド, ルンプレア	女	タ　イ	活水女子 大　学	学部	４年	ＹＵ	文学部	長崎みなと
朴　絆野	パク　バニャ	男	韓　国	長崎ウエス レヤン大学	学部	４年	ＹＵ	外国語学科	諫早北
カオ　テイ, ゴック　ジャウ	カオ　テイ, ゴック　ジャウ	女	ベトナム	長崎県立 大　学	修士	２年	ＹＭ	国際交流学	長崎琴海
陳　嘉晞	チン　カヘイ	女	中　国	長崎国際 大　学	学部	４年	ＹＵ	国際観光	大村
覃　建恩	タン　ケンオン	男	中　国	長崎国際 大　学	博士	２年	ＹＤ	地域 マネジメント	佐世保北
フィン,ガー キャン　イェン	フィン,ガー キャン　イェン	女	ベトナム	長崎総合 科学大学	学部	４年	ＹＵ	経営情報	長崎西
許　諾	キョ　ダク	男	中　国	長崎大学	修士	２年	ＹＭ	総合工学	長崎東
姜　珊珊	キョウ サンサン	女	中　国	長崎大学	博士	３年	ＹＤ	海洋フィールド 生命科学	雲　仙
王　希聞	オウ　キブン	女	中　国	佐賀大学	修士	２年	ＹＭ	教科教育社会科	伊万里西
ドー, ゴック　ビッ	ドー, ゴック　ビッ	女	ベトナム	佐賀大学	修士	２年	ＹＭ	教科教育英語	牛　津
趙　巧燕	チョウ コウエン	女	中　国	佐賀大学	修士	２年	ＹＭ	教科教育英語	嬉　野
レ, フェン ミン	レ, フェン ミン	女	ベトナム	佐賀大学	修士	２年	ＹＭ	教科教育	佐賀西
グエン, スアン ティ　キム	グエン, スアン ティ　キム	女	ベトナム	佐賀大学	修士	１年	ＹＭ	教科教育	鹿　島
武　小吉	ブ　ショウキチ	女	中　国	佐賀大学	学部	４年	ＹＵ	基盤環境コース	佐　賀

《国際青少年交換学生》

■2014-15年度　派遣学生

氏　名	在籍校	派遣国	スポンサークラブ
永石　菜々子	活水高校	アメリカ	長崎
松尾　知佳	長崎南高校	オーストラリア	長崎出島
森　まどか	鎮西高校	アメリカ	諫早北
山田　美法	聖和女子高校	オーストラリア	佐世保南
石田　真悠	長崎西高校	アメリカ	諫早多良見
中村　優介	龍谷高校	アメリカ	神埼
芥川　翔一郎	佐世保北中学校	アメリカ	佐世保中央
對馬　ゆうみ	佐賀西高校	ブラジル	佐賀大和
宮本　陸王	武雄高校	イタリア	武雄

■2014-15年度　来日学生

氏　名	在籍校	派遣国	ホストクラブ
Nicholas　Mckee	南山高校	オーストラリア	長崎出島
Jacob　Raymond	九州文化学園	オーストラリア	佐世保南
Parker　Morrison	佐賀清和高校	アメリカ	神埼
Rosa　Silvia	武雄高校	イタリア	武雄
Elizabeth　Lacine	鎮西学院高校	アメリカ	諫早北
Sarah　Landis	鎮西学院高校	アメリカ	諫早多良見

■2015-16年度　派遣学生

氏　名	在籍校	派遣国	スポンサークラブ
新納　忠義	武雄高校	アメリカ	武雄
井手　杏香	伊万里高校	カナダ	伊万里西
細波　泉	長崎日本大学高校	オーストラリア	島原南
浅沼　千珠	北諫早中	アメリカ	諫早
樋口　妃菜乃	活水高校	アメリカ	諫早南

■2015-16年度　来日学生

2015.7.1現在

氏　名	在籍校	派遣国	ホストクラブ
Claudia　Andrews	島原翔南高校	オーストラリア	島原南

《インターアクトクラブ一覧》

IAC名	提唱RC	創立	例会日時		事務所住所
佐賀清和高校	佐賀	1972. 7. 27	第3木	16:30	〒840-0047 佐賀市与賀町78
牛津高校	牛津	1982. 7. 17	水	16:00	〒849-0303 小城市牛津町牛津274
佐賀女子高校	佐賀北	1978. 9. 19	第1・3木	13:10	〒840-0047 佐賀市与賀町153-1
有田工業高校	有田	1965. 2. 24	水		〒844-0012 西松浦郡有田町桑古場乙2902
武雄高校	武雄	1967. 12. 13	不定		〒843-0024 武雄市武雄町大字富岡7719 武雄商工会議所内 武雄RC
唐津西高校	唐津	1969. 11. 10	月1水	17:30	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 唐津RC
			月1土	15:30	
西海学園高校	佐世保	1980. 10. 20	不定		〒857-0011 佐世保市春日町29－22
聖和女子学院	佐世保南	1976. 1. 27	第1昼休み		〒847-0015 佐世保市松山町495
E. J. キングスクール	佐世保南	1989. 5. 1	不定		〒857-0056 佐世保市平瀬町 米海軍佐世保基地内
向陽高校	大村	1971. 6. 22	月1木	15:35	〒856-0825 大村市西三城町16
島原中央高校	島原	1978. 5. 20	不定		〒855-8550 島原市船泊町3415
大村工業高校	大村北	1963. 11. 30	第3金	16:00	〒856-0815 大村市森園町1079－3
大村城南高校	大村東	2001. 4. 23	不定		〒856-0835 大村市久原1-416
諫早農業高校瑞穂寮	諫早	1979. 2. 21	第3水	20:00	〒854-0043 諫早市立石町1003
鎮西学院高校	諫早北	1985. 5. 21	水	16:30	〒854-0082 諫早市西栄田町1212-1
長崎女子高校	長崎	1979. 1. 16	月1木	16:30	〒850-0834 長崎市上小島町1-11-8
五島高校	福江中央	1985. 3. 24	金	16:10	〒853-0018 五島市池田町1-1
海星学園	長崎西	1997. 5. 17	第1・3土	13:30	〒850-0911 長崎市東山手町5-3
長崎女子商業高校	長崎南	1976. 2. 24	水	16:15	〒850-0875 長崎市栄町2-10
純心女子高等学校	長崎中央	2014. 10. 4	不定		〒852-8515 長崎市文教町13-15
活水高等学校	長崎出島	2001. 9. 12	月1火	12:30	〒852-8016 長崎市宝栄町15-11

《ローターアクトクラブ一覧》

RAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日時		事務所住所
佐賀	佐賀・佐賀北	1968. 12. 12	活動休止中			〒840-0826 佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル4F 佐賀RC
鹿島	鹿島	1981. 5. 20	7	第1・3水	20:00	〒849-1311 鹿島市大字高津原4296-41 鹿島商工会館2F 鹿島RC
唐津東	唐津東	1973. 10. 18	7	第2・4水	19:30	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 唐津東RC
佐世保東	佐世保東	1974. 4. 9	3	第1・3火	20:00	〒859-3215 佐世保市早岐2-16-10 佐世保東RC事務所
長崎国際大学	佐世保	2005. 3. 13	15	第2・4木	18:30	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 佐世保RC
島原	島原	1981. 4. 10	3	第1・3水	19:30	〒855-8550 島原市高島2-7217 島原商工会議所内 島原RC
諫早	諫早	1970. 5. 29	5	第2・4水	19:30	〒854-0016 諫早市高城町5-10 諫早商工会議所内 諫早RC
長崎	長崎	1971. 2. 4	13	第1・3火	19:30	〒850-0057 長崎市大黒町14-5 ホテルニュー長崎地下1階 長崎RC
長崎北	長崎北	1970. 5. 20	13	第2・4木	19:30	〒850-0057 長崎市大黒町14-5 ホテルニュー長崎地下1階 長崎北RC
長崎東	長崎東	1983. 3. 11	10	第2・4木	19:00	〒850-0035 長崎市元船町2-8 元船さくらビル 長崎東RC

《年間行事報告》

7月	1日（火）	ガバナー事務所開設	諫　早
		ガバナー会議・ロータリーの友合同編集会議	東　京
	2日（水）	第1回ロータリー財団地域セミナー	東　京
		【米山記念奨学】米山奨学生学校担当者説明会	東彼杵
	12日（土）	【米山記念奨学】米山奨学生一泊研修旅行	雲　仙
	13日（日）		
		クラブ奉仕・会員増強セミナー	武　雄
		【ロータリー財団】地区ロータリー財団委員会	諫　早
	15日（火）	鹿島RC公式訪問	鹿　島
	16日（水）	第1回諮問委員会	諫　早
	16日（水）	佐世保RC公式訪問	佐世保
	17日（木）	長崎RC公式訪問	長　崎
	18日（金）	佐世保南RC公式訪問	佐世保
	19日（土）	危機管理委員会	佐世保
	20日（日）	【国際青少年交換】第1回地区委員会・オリエンテーション	大　村
	23日（水）	伊万里RC公式訪問	伊万里
	24日（木）	佐世保東RC公式訪問	佐世保
	25日（金）	福江RC公式訪問	福　江
		福江中央RC公式訪問	福　江
	26日（土）	【インターアクト】インターアクト年次大会	大　村
	27日（日）		
	28日（月）	長崎北RC公式訪問	長　崎
	29日（火）	唐津RC公式訪問	唐　津
		佐賀南RC公式訪問	佐　賀
	30日（水）	佐賀空港RC公式訪問	佐　賀
	31日（木）	佐賀RC公式訪問	佐　賀
8月	1日（金）	松浦RC公式訪問	松　浦
	4日（月）	武雄RC公式訪問	武　雄
	5日（火）	有田RC公式訪問	有　田
	6日（水）	小城RC公式訪問	小　城
	7日（木）	唐津東RC公式訪問	唐　津
	8日（金）	長崎東RC公式訪問	長　崎
	11日（月）	佐賀西RC公式訪問	佐　賀
	12日（火）	島原RC公式訪問	島　原
	18日（月）	長崎中央RC公式訪問	長　崎
	19日（火）	佐世保西RC公式訪問	佐世保
	20日（水）	長崎北東RC公式訪問	長　崎
	21日（木）	佐世保中央RC公式訪問	佐世保
	22日（金）	長崎出島RC公式訪問	長　崎
	23日（土）	【インターアクト】インターアクト地区委員会	諫　早
		【ロータリー財団】地区グローバル補助金小委員会	長　崎
	24日（日）	【国際青少年交換】第2回地区委員会・来日学生歓迎会	大　村
	26日（火）	長崎みなとRC公式訪問	長　崎
		大村RC公式訪問	大　村
	27日（水）	長崎南RC公式訪問	長　崎

《年間行事報告》

8月	28日（木）	伊万里西ＲＣ公式訪問	伊万里
	30日（土）	第１回ガバナー補佐会議	武　雄
		【職業奉仕】職業奉仕セミナー	武　雄
		【ロータリー財団】地区補助金・資金管理委員会	大　村
	31日（日）	【米山記念奨学】カウンセラー交流・研修会	東彼杵
9月	1日（月）	佐世保北ＲＣ公式訪問	佐世保
	2日（火）	北松浦ＲＣ公式訪問	北松浦
		ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）	東　京
	3日（水）	佐賀北ＲＣ公式訪問	佐　賀
	4日（木）	地区研修リーダーセミナー（DTLS）	東　京
		平戸ＲＣ公式訪問	平　戸
	5日（金）	嬉野ＲＣ公式訪問	嬉　野
	9日（火）	佐賀大和ＲＣ公式訪問	佐　賀
	10日（水）	諫早西ＲＣ公式訪問	諫　早
		大村北ＲＣ公式訪問	大　村
	11日（木）	大町ＲＣ公式訪問	大　町
	12日（金）	唐津中央ＲＣ公式訪問	唐　津
	13日（土）	【インターアクト】前期指導者研修会	大　村
	14日（日）	【ライラ】地区委員会	諫　早
	16日（火）	長崎西ＲＣ公式訪問	長　崎
	17日（水）	白石ＲＣ公式訪問	白　石
	18日（木）	多久ＲＣ公式訪問	多　久
	19日（金）	牛津ＲＣ公式訪問	牛　津
	21日（日）	【国際青少年交換】　第３回地区委員会及びオリエンテーション	大　村
	22日（月）	諫早南ＲＣ公式訪問	諫　早
	23日（火）	【米山記念奨学】地区委員会	諫　早
	24日（水）	島原南ＲＣ公式訪問	島　原
	25日（木）	長崎琴海ＲＣ公式訪問	長　崎
	26日（金）	諫早ＲＣ公式訪問	諫　早
	27日（土）	長崎南ＲＣ創立50周年記念式典	長　崎
	28日（日）	【青少年奉仕】青少年奉仕セミナー	東彼杵
	29日（月）	大村東ＲＣ公式訪問	大　村
	30日（火）	諫早多良見ＲＣ公式訪問	諫　早
10月	1日（水）	佐世保東南ＲＣ公式訪問	佐世保
	2日（木）	太良ＲＣ公式訪問	太　良
	4日（土）	純心女子高等学校インターアクトクラブ結成集会	長　崎
		第３Ｇ　ＩＭ	白　石
		雲仙ＲＣ公式訪問	雲　仙
	5日（日）	【米山記念奨学】米山の集い	諫　早
		長崎西ＲＣ創立30周年記念式典	長　崎
		【ロータリー財団】地区委員会／Ｒ財団奨学生研修会	東彼杵
	7日（火）	ＨＴＢ佐世保ＲＣ公式訪問	佐世保
		神埼ＲＣ公式訪問	神　埼
		【国際青少年交換】長崎くんち見学旅行、平和学習	長　崎

《年間行事報告》

10月	8日（水）	【国際青少年交換】長崎くんち見学旅行、平和学習	長　崎
		唐津西ＲＣ公式訪問	唐　津
	9日（木）	諫早北ＲＣ公式訪問	諫　早
	11日（土）	第３ゾーンロータリー戦略計画推進セミナー	広　島
	12日（日）	【ロータリー財団】ロータリー財団セミナー	東彼杵
	18日（土）	第2730地区　地区大会	鹿児島
	19日（日）		
		【国際青少年交換】　第４回地区委員会及びオリエンテーション	大　村
	25日（土）	佐賀南ＲＣ創立30周年記念式典	佐　賀
	26日（日）	第２回ガバナー補佐会議	諫　早
	31日（金）	第２回諮問委員会	諫　早
11月	2日（日）	ジャパン・ロータリーデー in 愛知　２日～３日 【国際青少年交換】唐津くんち見学旅行　２日～４日	愛　知 唐　津
	3日（月）		
	4日（火）		
	14日（金）	地区大会　ＲＩ会長代理歓迎晩餐会	諫　早
	15日（土）	本会議・特別講演・記念懇親会	
	16日（日）	記念懇親ゴルフ大会	
	22日（土）	【国際青少年交換】　第５回地区委員会及びオリエンテーション	大　村
	24日（月）	【米山記念奨学】米山奨学生面接官オリエンテーション	長　崎
	25日（火）	ロータリー財団地域セミナー	東　京
	26日（水）	全国ガバナー・パストガバナー会議	
		第２回ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）	
	26日（水）	佐賀北ＲＣ創立45周年記念式典	佐　賀
	27日（木）	第43回ロータリー研究会	東　京
	28日（金）		
12月	5日（金）	第３回諮問委員会	諫　早
	7日（日）	社会奉仕セミナー	東彼杵
		【国際青少年交換】第６回地区委員会及びクリスマスパーティ	大　村
	12日（金）	【国際青少年交換】鹿児島旅行　12日～13日	鹿児島
	14日（日）	【米山記念奨学】2015学年度米山奨学生面接試験	長　崎
	20日（土）	【インターアクト】地区委員会	諫　早
1月	18日（日）	(2015-16年度）国際協議会	アメリカ サンディエゴ
	23日（金）		
	16日（金）	諫早ＲＣ創立55周年記念	諫　早
	17日（土）	太良ＲＣ創立20周年記念	太　良
	24日（土）	【インターアクト】地区委員会	諫　早
	25日（日）	補助金セミナー	諫　早
		Ｒ財団グローバル奨学生研修会	諫　早
	31日（土）	第５・６グループ　ＩＭ（佐世保北RC）	佐世保
2月	4日（水）	ジャパン・ロータリーデー in東京	東　京
	7日（土）	諫早西ＲＣ創立30周年記念式典	諫　早
	8日（日）	長崎東ＲＣ創立45周年記念式典	長　崎
	11日（水）	第９・10グループ　ＩＭ	長　崎
		【国際青少年交換】　第７回地区委員会及びオリエンテーション	大　村
	14日（土）	唐津東ＲＣ創立50周年記念式典	唐　津

《年間行事報告》

2月	16日（月） 17日（火）	第2580地区　地区大会	東　京
	21日（土）	【インターアクト】後期指導者研修会	諫　早
	22日（日）	第４グループ　ＩＭ	伊万里
		(2015-16年度）地区チーム研修セミナー	唐　津
	24日（火） 25日（水）	第2750地区　地区大会	東　京
	28日（土）	第７・８グループ　ＩＭ	諫　早
3月	１日（日）	【米山記念奨学】地区委員会	諫　早
	７日（土）	第１・２グループ　ＩＭ	佐　賀
	14日（土）	多久ＲＣ創立30周年記念式典	多　久
	15日（日）	【米山記念奨学】米山奨学生終了式	諫　早
	20日（金） 21日（土）	第2720地区　地区大会	大　分
	22日（日）	【国際青少年交換】　第８回地区委員会及びオリエンテーション（観桜会）	大　村
	28日（土）	(2015-16年度）ＰＥＴＳ及び次期幹事セミナー	唐　津
	29日（日）	【ロータリー財団】地区グローバル奨学生研修会・壮行会	諫　早
	30日（月） 31日（火）	会員基盤向上セミナー	東　京
4月	４日（土）	【米山記念奨学】2015学年度米山奨学生研修会	佐　賀
	11日（土）	第2700地区　地区大会　11日～12日	北九州
	12日（日）	【国際青少年交換】　第９回地区委員会及びオリエンテーション	大　村
	16日（木）	【ロータリー財団】地区補助金委員会	大　村
	17日（金）	第2670地区　地区大会　17日～18日	愛　媛
	18日（土）	【ロータリー財団】地区グローバル補助金小委員会	長　崎
	19日（日）	(2015-16年度）地区研修・協議会	唐　津
	25日（土）	【インターアクト】地区委員会	諫　早
	26日（日）	大村ＲＣ創立55周年記念式典	大　村
5月	11日（月）	【国際青少年交換】関東・関西旅行　11日～17日	東　京
	17日（日）	福江中央ＲＣ40周年記念式典	福　江
	22日（金）	第４回諮問委員会	嬉　野
	23日（土） 24日（日）	第36回　ＲＹＬＡ	平　戸
	31日（日）	【国際青少年交換】　第10回地区委員会及びオリエンテーション及び選考会	大　村
6月	１日（月）	長崎中央ＲＣ創立45周年記念式典	長　崎
	３日（水）	サンパウロ国際大会　　３日～11日	ブラジル
	６日（土） ７日（日）	第33回　ローターアクト年次大会	鹿　島
	13日（土）	【ローターアクト・ライラ】　合同地区委員会	諫　早
	18日（木）	臨時諮問委員会	佐世保
	20日（土）	新旧ガバナー補佐会議及び新旧役員交代式	諫　早
	27日（土）	(2015-16年度）米山奨学委員長セミナー	唐　津
	28日（日）	【国際青少年交換】　第11回地区委員会及びオリエンテーション及び送別会	大　村

《2014-2015年度　物故会員》

米倉保治	鹿島RC	2014.7.20 逝去	享年 88歳
横田勝次	武雄RC	2014.8.5 逝去	享年 89歳
今村博	鹿島RC	2014.9.12 逝去	享年 91歳
北川俊明	長崎中央RC	2014.9.29 逝去	享年 80歳
竹内榮	長崎RC	2014.10.28 逝去	享年 86歳
中村正年	島原RC	2014.11.6 逝去	享年 92歳
松浦矩亨	長崎みなとRC	2014.12.1 逝去	享年 72歳
才津圭策	福江RC	2014.12.11 逝去	享年 86歳
柴田正範	長崎RC	2015.1.10 逝去	享年 68歳
権藤幸彦	佐賀空港RC	2015.2.17 逝去	享年 80歳
宮島傳二郎	唐津東RC	2015.3.4 逝去	享年 85歳
才津金人	福江RC	2015.3.27 逝去	享年 85歳
新部富夫	長崎東RC	2015.3.28 逝去	享年 82歳
宮崎高幸	雲仙RC	2015.4.24 逝去	享年 75歳
坂本達也	唐津東RC	2015.5.20 逝去	享年 81歳

2014-2015年度　地区会計報告

《地区資金一般会計、収支決算書》

（単位：円）

	科目		内訳科目	予算	決算	予算対比
収入の部	［1］	地区資金分担金		13,860,000	13,875,750	15,750
	［2］	地区大会分担金		11,660,000	11,771,300	111,300
	［3］	日本事務局分担金	R文庫協力金	660,000	660,450	450
			全国G分担金	440,000	440,300	300
			平和奨学生支援金	33,000	33,405	405
	［4］	特別会計分担金	世界社会奉仕資金	792,000	792,900	900
	［5］	その他収入		500,000	1,661	-498,339
	本年度収入合計		A	27,945,000	27,575,766	-369,234
	前年度繰越金				15,436,842	15,436,842
	収入合計		B	27,945,000	43,012,608	15,067,608

（単位：円）

	科目		内訳科目	予算	決算	予算対比
支出の部	［1］	ガバナー関係費	GE国際協議会	1,200,000	1,200,000	0
			全国G・PG会議費	2,500,000	2,291,877	-208,123
			地区G・PG会議費	1,300,000	1,695,475	395,475
			各種会議費	1,000,000	900,047	-99,953
			G記念品代	100,000	100,000	0
			渉外・広報費	600,000	625,183	25,183
			小計	6,700,000	6,812,582	112,582
	［2］	地区活動補助金	地区大会	11,660,000	11,771,300	111,300
			地区研修・協議会	300,000	258,823	-41,177
			PETS	300,000	289,562	-10,438
			地区チーム研修セミナー	400,000	437,534	37,534
			インターアクト年次大会	600,000	600,000	0
			ローターアクト年次大会	400,000	400,000	0
			ライラ年次大会	300,000	300,000	0
			R財団学友会	100,000	122,600	22,600
			小計	14,060,000	14,179,819	119,819
	［3］	ガバナー補佐費		1,700,000	1,699,717	-283
	［4］	地区委員会費	クラブ奉仕部門	500,000	499,207	-793
			職業奉仕部門	300,000	308,174	8,174
			社会奉仕部門	200,000	145,058	-54,942
			青少年奉仕部門	1,030,000	1,010,183	-19,817
			国際奉仕部門	1,000,000	1,243,732	243,732
			米山記念奨学部門	200,000	200,000	0
			小計	3,230,000	3,406,354	176,354
	［5］	日本事務局分担金	R文庫協力金	660,000	660,450	450
			全国G会分担金	440,000	440,300	300
			平和奨学生支援金	33,000	33,405	405
			小計	1,133,000	1,134,155	1,155
	［6］	特別会計繰入金	世界社会奉仕資金	792,000	792,900	900
			規定審議会積立金	200,000	300,000	100,000
			小計	992,000	1,092,900	100,900
	［7］	研修会関係費用		100,000	130,312	30,312
	［8］	その他支出		30,000	3,348	-26,652
	本年度支出合計		C	27,945,000	28,459,187	514,187
本年度収支差額			A－C	0	-883,421	-883,421
次年度繰越金			B－C	0	14,553,421	14,553,421

※地区委員会内訳

（単位：円）

委員会	予算	決算	委員会	予算	決算
クラブ奉仕統括委員会	200,000	197,219	R財団委員会	200,000	336,754
会員増強委員会	300,000	301,988	補助金委員会	500,000	580,542
職業奉仕委員会	300,000	308,174	資金推進委員会	100,000	134,993
社会奉仕委員会	200,000	145,058	資金管理委員会	100,000	93,002
青少年奉仕統括委員会	200,000	201,230	ポリオプラス	100,000	98,441
青少年危機管理委員会	0	0	米山記念奨学委員会	200,000	200,000
インターアクト委員会	400,000	389,093	小　計	1,200,000	1,443,732
ローターアクト委員会	200,000	190,796			
ライラ委員会	230,000	229,064			
国際青少年交換委員会	別会計				
小　計	2,030,000	1,962,622	合　計	3,230,000	3,406,354

地区資金特別会計　収支決算書

（単位：円）

		前年度繰越	本年度繰入	本年度取崩	次年度繰越
世界社会奉仕資金	予　算	********	792,000	0	********
	決　算	6,587,033	794,953	0	7,381,986
ＶＴＴ	予　算	********	0	0	********
	決　算	8,000,000	0	0	8,000,000
規定審議会積立金	予　算	********	200,000	0	********
	決　算	400,000	300,000	0	700,000

《ガバナー事務所費・月信費会計　収支決算書》

（単位：円）

	科　目	予　算	決　算	予算対比
収入の部	G事務所分担金	9,900,000	9,911,250	11,250
	月信費分担金	4,180,000	3,982,400	-197,600
	ＲＩ補助金	1,500,000	1,772,964	272,964
	地区大会余剰金		37,305	37,305
	その他収入		414	414
	収入合計　A	15,580,000	15,704,333	124,333
	前年度繰越金		631,450	631,450
	収入合計　B	15,580,000	16,335,783	755,783

（単位：円）

	科　目	予　算	決　算	予算対比
支出の部	公式訪問費	300,000	285,000	-15,000
	人件費	2,900,000	2,832,732	-67,268
	月信費	4,180,000	4,386,528	206,528
	通信費	550,000	614,611	64,611
	消耗品費	900,000	943,340	43,340
	室料及び会議費	1,000,000	981,119	-18,881
	旅費交通費	200,000	235,282	35,282
	GE事務所費	5,400,000	5,400,000	0
	直前G事務所費	100,000	100,000	0
	予備費	50,000	45,024	-4,976
	雑　費	0	0	0
	支出合計　C	15,580,000	15,823,636	243,636
本年度収支差額	A－C	0	-119,303	-119,303
次年度繰越金	B－C	0	512,147	512,147

《国際青少年交換事業会計　収支決算書》

（単位：円）

	科　　目	予　算	決　算	予算対比
収入の部	青少年交換分担金	3,960,000	3,964,500	4,500
	地区資金助成金	0	0	0
	クラブ負担金	0	480,000	480,000
	来日学生負担金	0	730,000	730,000
	その他	0	349,264	349,264
	本年度収入合計　A	3,960,000	5,523,764	1,563,764
	前年度繰越金		1,268,549	1,268,549
	収入合計　B	3,960,000	6,792,313	2,832,313

（単位：円）

	科　　目	予　算	決　算	予算対比
支出の部	学生滞在費補助	2,000,000	1,375,000	-625,000
	学生合同旅行	700,000	2,166,052	1,466,052
	オリエンテーション費	200,000	274,895	74,895
	学生歓送迎費他	400,000	403,787	3,787
	委員会・全国委員会費	300,000	471,970	171,970
	印刷費他	50,000	18,798	-31,202
	通信費	50,000	30,080	-19,920
	ＪＹＥＣ維持協力金	220,000	217,600	-2,400
	損害保険料	20,000	14,000	-6,000
	予備費	20,000	15,000	-5,000
	本年度支出合計　C	3,960,000	4,987,182	1,027,182
本年度収支差額	A－C	0	536,582	536,582
次年度繰越金	B－C	0	1,805,131	1,805,131

地区人頭分担金の受入会計である地区資金（一般・特別）会計、ガバナー事務所・月信会計及び国際青少年交換会計の収支決算を、上記の通りご報告いたします。

2014-2015年度　ガバナー　　宮﨑　清彰　／　地区幹事　　森　栄一郎　／　会計長　　光石　尚彦

2014-2015年度収支決算について、帳簿並びに諸証憑を監査いたしましたところ、適正に執行されておりましたことを報告いたします。

監査　税理士　　井手　雅康

●米山記念奨学会収支決算書

（単位：円）

	収入の部	支出の部
ロータリー米山記念奨学会助成金	903,500	
地区委員会助成金	200,000	
お世話クラブ助成金	260,000	
その他の収入	28	
奨学生活動費		1,042,636
選考試験費		103,754
カウンセラー研修会費用		184,710
次年度繰越金		32,428
合　　計	1,363,528	1,363,528

2015年6月30日　　地区米山記念奨学委員長　　本多　善彦

●ＲＯＴＥＸ勘定、収支決算書

（単位：円）

前年度繰越金	収入の部	支出の部	次年度繰越金
1,952,097	100,285	10,000	2,042,382

この会計は、ＲＯＴＥＸ（国際青少年交換の派遣・帰国学生）の留学準備や帰国後の交流に資する資金の勘定で、収入金は全て派遣学生の負担金による。

《地区資金から補助金を支出した先の収支決算報告》

①地区大会収支決算報告（確定分）

	項目	内訳項目	登録料・出席者数	金額
収入の部	人頭分担金		5,300円×2,221名	11,771,300
	大会登録料	会員	10,000円×1,274名	12,740,000
	懇親会登録料	会員	7,000円×740名	5,180,000
		家族	5,000円×3名	15,000
		青少年	3,000円×17名	51,000
			小計	5,246,000
	歓迎晩餐会	会員	15,000円×133名	1,995,000
		家族	15,000円×14名	210,000
			小計	2,205,000
	来賓登録料	地区外会員	10,000円×4名	40,000
	歓迎晩餐会	地区外会員	15,000円×3名	45,000
	懇親会	地区外会員	7,000円×4名	28,000
	ゴルフ	会員	6,000円×120名	720,000
		家族	6,000円×3名	18,000
			小計	738,000
	ご祝儀			850,000
	雑収入			749
			合計	33,664,049

	項目	内訳項目	金額
支出の部	大会事務局	総務	3,567,251
		事務局	3,725,887
		会議費	1,253,014
		記念事業	4,035,119
	歓迎晩餐会		3,522,358
	記念懇親会		5,359,520
	式典部会		4,673,203
	会場設営部会		1,276,179
	記念誌・広報部会		3,047,856
	接待部会	接待・観光	490,444
		宿泊	547,840
	ゴルフ運営部会		620,073
	R財団・米山記念奨学会寄付		1,508,000
	支出合計		33,626,744
	剰余金		37,305

※剰余金は、ガバナー事務所費へ繰入致します。

②地区研修セミナー収支決算報告

研修セミナー種別	収入 項目	収入 金額
■地区チーム研修セミナー	地区補助金	437,534
	収入合計	437,534
■PETS（会長エレクト研修セミナー）	登録料収入	1,120,000
	地区補助金	289,562
	預金利息	1
	収入合計	1,409,563
■地区研修・協議会	登録料収入	3,720,000
	地区補助金	258,823
	収入合計	3,978,823

支出 項目	支出 金額
会場・懇親会費	305,875
資料印刷費	98,609
雑費	33,050
支出合計	437,534
会場・懇親会費	1,257,900
資料印刷費	93,408
雑費	58,255
支出合計	1,409,563
会場・懇親会費	3,074,704
資料印刷費	739,844
事務費等雑費	164,275
支出合計	3,978,823

国際ロータリー第2740地区ローターアクト代表事務局

2014～2015年度　予算書・決算書

（単位：円）

	科目		予算	決算	備考
収入の部	[1] ガバナー事務局助成金		400,000	400,000	
	[2] 負担金	①代表事務局	720,000	720,000	
		②地区行事	126,000	126,000	
		小計	1,246,000	1,246,000	
	[3] 他地区登録料（各クラブ徴収）		0	0	
	[4] 雑収入		0	0	
	[5] 前期繰越		290,608	290,608	
	合計		1,536,608	1,536,608	

（単位：円）

	科目		予算	決算	備考
支出の部	[1] 負担金	①地区行事	100,000	100,000	一泊￥30,000　IM ￥20,000 2690交流会￥30,000　LF ￥10,000 平和￥10,000
		②全国研修会負担金	50,000	50,000	
		小計	150,000	150,000	
	[2] 交通費	①地区内移動分	70,000	50,250	車１台のみ（他クラブのメンバーも同乗）
		②他地区移動分	150,000	171,040	車1台(吉井)のみ(他クラブのメンバーも同乗)
		③全国ＲＡ研修会分	160,000	168,680	￥49,860(1名)￥56,240(1名)￥62,580(1名) 現地合流の為金額がそれぞれ違う
		小計	380,000	389,970	
	[3] 登録料	①平和活動	6,000	4,500	￥1,500（３名）
		②一泊懇親会	20,000	20,000	￥5,000（４名）
		③インターシティミーティング	12,000	4,000	￥2,000（２名）
		④リーダーシップフォーラム	6,000	7,500	￥1,500（３名）懇親会￥3,000（１名）
		⑤年次大会	60,000	45,000	￥15,000（３名）
		⑥公式訪問例会	40,500	42,000	￥1,500(4クラブ3名)￥2,000(2クラブ3名) ￥2,000（３クラブ２名）
		⑦2690地区交流会	60,000	48,000	￥12,000（４名）
		⑧七地区会	45,000	60,000	￥15,000（４名）
		⑨他地区年次大会	210,000	204,000	￥13,000（３名）￥13,500（２名） ￥15,000（３地区２名）￥16,000（３名）
		⑩全国ＲＡ研修会	60,000	60,000	￥15,000（４名）(スピーカー含む)
		⑪公式訪問ニコニコ	27,000	18,000	￥1,000（９クラブ２名）
		⑫その他(ニコニコ含)	45,000	35,000	地区内例会・行事・他地区行事など
		⑬第３ゾーン会議	6,000	6,000	￥3,000（２名）
		小計	597,500	554,000	
	[4] 周年祝賀金	長崎北ＲＡＣ	10,000	10,000	
		諫早ＲＡＣ	10,000	10,000	
		小計	20,000	20,000	
	[5] 事務管理費	①事務用品費	3,000	4,381	
		②通信費	5,000	0	
		③印刷・製本費	10,000	12,299	名刺など
		④地区広報費	2,000	8,964	次年度広報用ＨＤＤなど
		小計	20,000	25,644	
	[6] 年次大会	①年次大会記念品	30,000	40,000	鹿島ＲＡＣへ
		②表彰関係	10,000	15,000	商品券×９名・賞状・品物など
		③ガバナー助成金	210,000	210,000	鹿島ＲＡＣへ
		④年大余興費	10,000	17,000	余興グッズ・ＤＶＤ・レンタルなど
		⑤粗品	5,000	3,240	マルボウロ（30個）
		小計	265,000	285,240	
	[7] 慶弔費		15,000	16,210	卒業者プレゼントなど（３名分）
	[8] 振込手数料		10,000	11,502	振込の回数が多いため
	[9] 他地区登録料（各クラブ分一括支払）			0	
	[10] 予備費		79,108	0	
	[11] 次期繰越			42,021	
	合計		1,536,608	1,494,587	
	収支の差		0	42,021	

地区ローターアクト委員長　古賀秀仁

地区ローターアクト代表　吉井将平

地区ローターアクト会計　村田英司

2014～2015年度　インターアクト年次大会決算報告書

（単位：円）

	費　用	決　算	備　考
収入の部	登録料（インターアクター）	1,136,000	142名×8,000円
	登録料（顧問教師）	192,000	24名×8,000円
	登録料（ロータリアン）	1,080,000	72名×15,000円（含 地区役員18名）
	提唱ロータリークラブ協力金	1,260,000	18RC×70,000円
	コ・ホストクラブ援助金	200,000	２RC×100,000円（大村ＲＣ・大村北ＲＣ）
	ホストクラブ負担金	150,000	150,000円（大村東ＲＣ）
	地区助成金	600,000	ガバナー事務所より
	雑収入	53	預金利息
	大村市観光コンベンション協会助成金	200,000	
	合　計	4,818,053	

（単位：円）

	費　用	決　算	備　考
支出の部	宿泊	2,517,147	宿泊費・夕べの集い・表彰.他
	会場	185,340	会場費.他
	記録・記録誌・プログラム	754,320	記録誌・パンフレット・看板.他
	講師	31,752	講師謝礼.他
	分科会	412,163	３分科会費・謝礼費・材料費.他
	会議費	409,626	会場費.他
	事務費	129,858	事務委託費.他
	雑費	377,847	通信費.他
	合　計	4,818,053	

第36回　RYLA収支決算書

（単位：円）

	費　目	決　算	備　考
収入の部	前年度繰越金	2,158,542	
	地区補助金	300,000	
	クラブ負担金	1,784,000	2,230名×800円
	登録料（ロータリアン）	520,000	130名×4,000円
	登録料（青少年）	144,000	72名×2,000円
	平戸観光	36,000	36名×1,000円
	その他	0	
	合　計	4,942,542	

（単位：円）

	費　目	決　算	備　考
支出の部	宿泊食事代	684,060	6,630×94名　8,790×3名　10,950×3名　朝食のみ1,620×1名
	会場設営費	95,440	看板、案内板、駐車場
	登録関係費	160,918	名札、リボン、プログラム
	参加者記念品	0	ボールペン、ティッシュ他寄付（十八、親和、保険会社）
	講演関係費	193,680	謝礼金（空港送迎含む）
	野外活動費	756,563	海上ホテルバーベキュー、木炭ほか
	記録ＤＶＤ費	324,000	1,500円×200×1.08（消費税）
	会議費	10,000	
	保険料	0	
	通信費	11,775	案内送付、ＤＶＤ送付
	印刷・事務用品費	150,454	プログラム印刷費ほか
	雑費	2,430	振込手数料
	予備費	0	
	次年度繰越金	2,553,222	
	合　計	4,942,542	

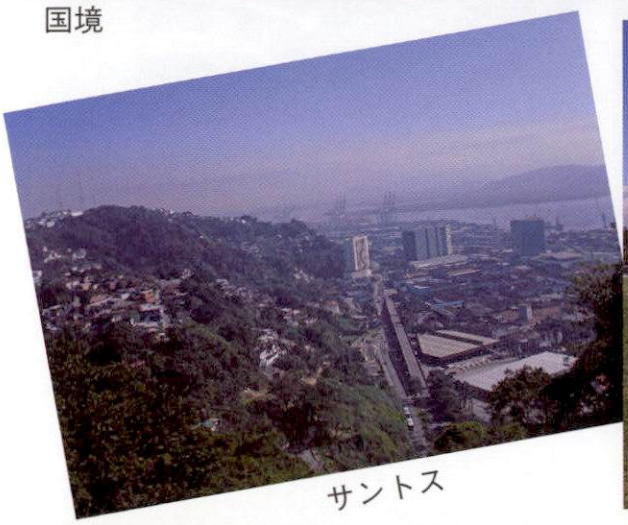
ロータリー国際大会（ブラジル／サンパウロ）

2015.6.3～11

国際大会会場

国境

イグアスの滝



サントス

「鎮魂の日、諫早万灯川まつり」

諫早の街は荒れ狂う濁流によって、壊滅的な被害を受けた。緑深い街も尊い人命も一夜にして飲み込まれてしまった。昭和三十二年七月二十五日の忘れがたい出来事である。

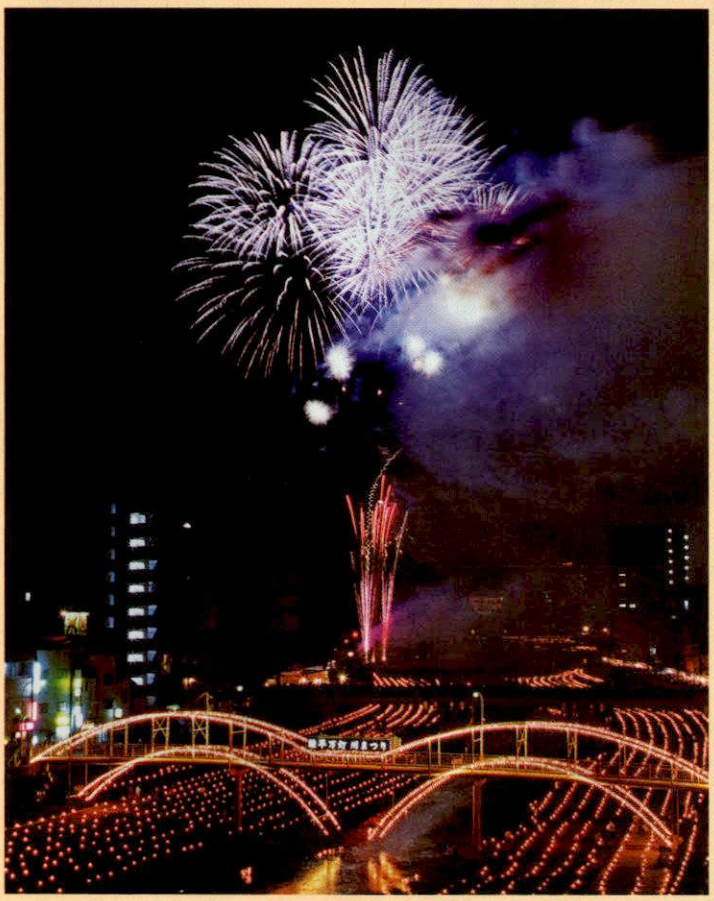
今期、月信一号にはその惨状を詠まれた風木雲太郎氏の碑文「氾濫」を紹介し、これを皮切りに「川にまつわる物語」を展開してきたが、何時しか最終回となった。

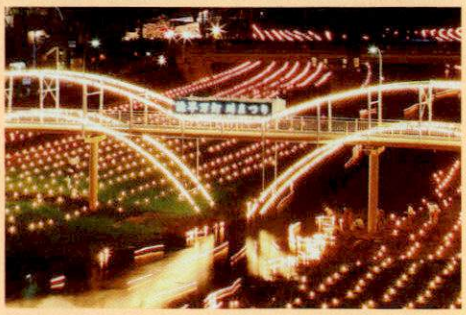
川はその流域に住む人々にとって、農耕にも都市生活にも不可欠の水を導く水路であるけれど、文明生活の便利さ故にその存在さえ忘れがちである。毎年この日は犠牲者の冥福を祈って、万灯が本明川の流れに放たれ、天空に向かって儚い瞬時のいのちの象徴である花火が打ち上げられる。各地の夏祭りや納涼の花火大会とは、趣が異なることを市民は良く知っている。

今年も日本各地で集中豪雨による川の氾濫によって大きな被害が続出し、山肌を削る土石流も多発して人命を奪われたことも、体験者は自分の身に置き換え共感できるのである。

いつの時代でも、天と地から無尽蔵に授かる水の有難さと怖さを肝に銘じておかねばならない。

この一年間、「川にまつわる物語」にお付き合いくださり感謝いたします。





国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONALDISTRICT 2740
2014-2015年度 ガバナー 宮崎清彰

第2740地区ガバナー事務所 | 〒854-0016 諫早市高城町5-10 諫早商工会館302号
TEL:0957-56-9331 FAX:0957-56-9332
E-mail：ri2740miyazaki@axel.ocn.ne.jp http：//www.d2740.org/